

右塗布料(慢性癩麻質斯)

(ロ) 貌魯謨化依的兒(貌魯謨化「エチール」ヲ見ヨ)
(ハ) 格魯兒化依的兒(格魯兒化「エチール」ヲ見ヨ)

(ニ) 石油依的兒 *Aether Petrolæi* 「ペトロールナフタ」
「ケロソール」
「ペトロール」
「ケロソール」

局所麻醉藥

本品ハ無色水明ニシテ甚流動シ易ク且最揮發シ易キ液ニシテ石油ノ臭アリテ頗ル點火シ易シ比
重ハ〇、六七〇—〇、六七五沸騰點ハ四十五度乃至六十度ナリ水ト混合セス

本品ヲ皮膚ニ滴下スルキハ其蒸發時寒冷ヲ覺エ霏散法トナシ用ユルキハ知覺麻醉ヲ致ス此
蒸氣ヲ吸入スルキハ睡眠及一般麻醉ヲ催ス〇本品ハ唯小手術ニ於テ局所麻醉ヲ起スガ爲メ
多クハ依的兒ト混和シテ霏散法トナシ應用スルノミ(本品一分依的兒四分ノ者)

本品ハ至テ點火シ易キ危險アルヲ以テ使用貯藏上大ニ注意ヲ加フ可シ

(ホ) 沃度依的兒 *Aether Jodatus* C_2H_5I

本品ハ澄明無色依的兒性中性ノ液ニシテ固有ノ臭氣アリ七十一乃至七十二度ニ沸騰シ酒精及
依的兒ト混合スレバ水ニハ混和セス比重一、九七五ナリ

本品ハ氣道病ノ吸入料、喘息ノ鎮痙藥、心病ノ呼吸困難ニ投シ梅毒ニ内用及外用ス吸入ニハ
六乃至十滴ヲ一日十回乃至十二回用ヒ内用ニハ〇、三—一、〇ヲ投ス

(ハ) 「ヨツラン」依的兒(無色ノ液ニシテ蜜尿病、癩咳ニ二、〇—四、〇内用シ防腐藥
トシテ外用ス)

(ト) 「メチールヒドロクロール」化依的兒(格魯兒「メチール」ヲ見ヨ)

(チ) 硫酸依的兒

「プロフェソール」レモネ氏ハ尿毒症及尿毒性呼吸困難ニ皮下注射及同時ニ内服セシメタリ
而シテ呼吸困難緩解スルニ及ヒ注射數及用量ヲ減少シ盛ニ利尿アルニ及ヒ初テ休藥スヘシ必
スシモ此劑ニ由リテ治療スル者ニアラスト雖モ之ニ由リテ患者ノ生命ヲ延長シ浮腫速ニ減
退シ呼吸著シク輕快ス劇シキ呼吸困難アル尿毒症ノ一例ニ於テハ此療法ノ初日ニ尿千四百
瓦ヲ泄シ其後ハ毎日二三「リテール」ノ尿ヲ泄セリ

内用量ハレモネ氏ニ從ヘハ重症ハ晝夜毎時本品一咖啡匙ヲ糖水ニ加用シ皮下注射ト交々
相用ヒタリ

皮下注射ハ晝夜毎時乃至每半時ニ二或ハ三立方仙迷ヲ内服ト交々相行フ而シテ注射ハ深ク皮
下細胞組織内ニ行ハサル可カラス是レ疼痛ヲ減シ皮膚ノ麻醉ヲ起サシメサルカ爲メナリ

(リ) 的列並底依的兒(依的兒四分の列並底油一乃至二分ノ混合物ニシテ膽石ニ十
五乃至二十滴ヲ卵黃ト共ニ攪拌シ又ハ糖水ト共ニ混シ用ユ)

〇「エルバ、レウタ」 *Yerba Renana*

本品ハ眼病及淋疾ニ外用シ其流動越幾斯ヲ赤痢ニ内用セシム(丁幾二十五滴及水七五、〇ノ
者ヲ賞用ス)

〇「エルバ、サンタ」 *Yerba santa*

本品ハ流動越幾ストナシ喉頭炎、氣管枝炎、肺癆等ニ四、〇—一五、〇ヲ多クハ規尼涅及舍利別ト伍ノ一茶匙宛用ユ

〇「エフソール」酸加爾叟謨 *Calcium eosolicum*.

本品(硫黃、二十五%ノ結麗阿曹篤ヲ含メル同交換體、加爾叟謨ヲ含ム)ハ灰白色ノ粉末ニシテ竄透臭ト稍苛辣ノ味アリ冷水八乃至十分ニ溶解シ酒精ニ僅ニ溶解シ鹽酸及枸橼酸ニ溶ケ易シ大量ニ於テハ尿綠色ニ變スハイソルヒ、ステルン氏ハ蜜尿病、尿崩、肺癆ニ其防腐作用アルガ爲メニ賞用セリ用量ハ一日三四回〇、三—〇、五—〇、七五ヲ投ス

〇「エンテロクレンソール」 *Enterosol*.

本品ハア、ヒルレル氏ガ「クレンソール」油石鹼ト名ケタル者ニシテ「トリクレンソール」ニ似タル爹兒ノ蒸餾產物ナレモ水ニハ溶解セス脂肪(阿列布油、蓖麻子油)及石鹼ト混合スルニ由リテ澄明ニ溶解ス此溶液ニ水ヲ加ヘ輕ク振盪シツ、體温ニ暖ムルキハ乳和液ヲ生ス而シテ膽汁及尿液ニ遇フキハ(即チ腸ニ至レバ)全ク乳和スヒルレル氏ニ從ヘハ本品ハコツホ氏及フインクレルブリオル氏虎列拉桿菌ニ感作スルカ如ク亦窒扶斯桿菌ニモ感作スルコト甚強シ病牀ニ試驗スルニ腸内容中〇、三ノ本品ヲ存スルキハ發酵及蛋白ノ腐敗ヲ防止スルカ故ニ窒扶斯ノ有效ナル殺菌的療法ニハ〇、二五ヲ要ス本品ハ水ニ溶解セス唯強亞兒加里、石鹼及一定ノ鹽溶液ニ溶解スルカ故ニ殊ニ腸管ノ消毒ニ適ス即腸液ハ弱亞兒加里性ニシテ腸内容中ニハ石鹼アルヲ以テ唯少量ノ「クレンソール」溶解吸收セラル、ノミ〇、五ノ稀薄液ハ腸粘膜ヲ微

防腐藥

ニ刺戟スル者ニシテ毎日一、五—二、〇宛數日間腸管中ニ輸送スルモ毫モ中毒症狀ヲ發起セズ本品ヲ以テ窒扶斯ヲ治療スルニハ患者ニ可及的早ク治療ニ着手シ且可能的速ニ有效ノ量即チ一日量一、二瓦ヲ投セサル可ラス本品ノ窒扶斯ノ經過ニ影響アルハ明白ナリ

本品ハ〇、三立方仙迷ノ内容アル膠囊ニ約〇、一ヲ含有シタル者トナシ與フヘシ故ニ上記ノ「クレンソール」量ヲ輸入セントスルニハ一日三回膠囊四個夜間二三回四個ヲ投スベシ

〇「エビカリン」 *Epicarin*.

本品ハ「クレンソール」酸ト「ナフトール」ノ集成產物ニシテ茲ニ得タル製劑ハ粗製產物即チ獸醫用「エビカリン」ヲ生成ス之ニ氷醋ヲ加ヘテ結晶セシムルキハ無色ノ小板狀結晶ヲ得ベシ熔點ハ百六十六度ニシテ百二十度ニ熱スルカ、或ハ再ヒ酒精、「ベンツソール」或ハ水ヲ以テ結晶セシムルキハ純粹ノ「エビカリン」ヲ得此者ノ熔點ハ百九十九度ナリ

性状 純「エビカリン」ハ白色針狀ノ結晶ニシテ粗製「エビカリン」ハ帶赤黃色ノ粉末ニシテ弱

キ醋酸臭アリ酒精、依的兒、華攝林、阿列布油ニ溶解ス本品ノ酒精溶液ニ格魯兒鐵液ヲ加フレバ濃藍色ヲ呈ス本品ニ強硫酸ヲ加ヘテ熱スルキハ赤褐色ノ液トナリ盛ニ綠色ノ螢石彩ヲ現ハス本品ニ嚼囉仿謨及加里滷汁ヲ加ヘテ振盪スルキハ黃色ヲ呈シ次テ帶黃綠色ニ變ス

應用 「ドクトル」アイヘングリユン氏ハ本品ヲ疥癬ニ對スル無臭無害ノ汚染セサル有效

ノ劑トシテ賞用セリ其他禿髮水泡疹、痒疹等ニ於ケル效用アルハカボシー氏モ唱フル所ナリカボシー氏ハ疥癬ノ諸症ニ一回塗擦(十%本品軟膏)シタルニ瘙痒鎮靜シ二時間ノ後蟲道

疥癬及皮膚病藥

疥癬ニ於ケル效用

エフソール酸加爾叟謨 エンテロクレンソール エビカリン

禿髮水胞疹
ニ於ケル效
用

ノ乾燥ヲ致セリ併發ノ濕疹ニハ本品效ナシ
 一般ニ斑狀禿髮水胞疹ニハ八乃至十回軟膏ヲ用ユレバ足レリ即チ患部全ク消散ス本品ハ斯
 ク速ニ皮膚刺戟ヲ止ムル性質アルヲ以テ殊ニ痒疹ノ療法ニ適シ此症ニハ本品ノ全ク無毒ナ
 ルヲ確定セリ蓋シ全身殊ニ小兒ニ於テ十回塗擦シタルニ毫モ蛋白尿并ニ其他ノ自覺症ヲ發
 セシコナシ甚シク蔓延シタル痒疹ニ於ケル作用ハ實ニ奇效アリ二三週間ノ後ハ已ニ全ク輕
 快スト(カボシー氏)

ブアイフエンベルゲル氏ハ二十名ノ禿髮水胞疹ニ於テ十%本品酒精溶液ヲ一日一回患部ニ
 塗布シ良效ヲ得タリ此溶液ハ塗布後速ニ乾燥ス而シテ顔面ニモ亦用ユルヲ得ベシ唯塗布部分
 ニ僅ニ紅色ヲ呈スルノミ乾燥ノ後ハ漸ク微ニ臭氣ヲ感スルニ過キズ故ニ本品ハ禿髮水胞疹
 患者ノ外來治法ニ頗ル適スル者タリ其塗布ノ數ニ至テハ水胞疹ノ廣狹及其存在ノ長短ニ從
 フ通常輕症ニハ四乃至六回塗布スレバ足レリ勿論當該皮膚部分ハ塗布前ニ少ナクモ數回入
 浴シ或ハ洗滌スルヲ忘ル可ラス同氏ハ三名ノ鱗屑疹ニ用ヒシモ毫モ良效ナカリキ然ルニ
 「プロフエラソル」リルレ氏ハ二十%本品軟膏ヲ滲潤及炎症性ナキ尋常性鱗屑疹ニ用ヒ良效ヲ得
 タリト

「ドクトル」フェルジナンドウインケル氏ハ頭部皮膚脂漏及之ニ由來スル毛髮脫落ニ本品ノ表
 皮上層ヲ枯死セシムル作用アルカ爲メニ本品酒精液(「エビカリン」五、〇硫酸依的兒一五、
 〇酒精八〇、〇)ヲ實用セリ

凍瘡ニ於ケ
ル效用

同氏ハ毛髮ヲ左右ニ分チタル後一日一回頭皮ニ此溶液ヲ塗布シタリ此際豫メ頭皮ニ石鹼精
 ヲ塗布スルヲ要セズ即チ頭皮上ニ直チニ本溶液一二滴ヲ滴下シ指ニテ擦過ス大量ニ過クル
 酒精劑ヲ用フルキハ其脫脂ノ爲メニ往々不快ノ緊張感覺ヲ喚起シ毛髮脆弱トナル然レモ小
 量ノ本品ハ却テ毛髮ノ柔軟ヲ招ク

凍瘡ニハ同氏ハ本品ヲ用ヒシガ一方ニハ鎮痒作用他方ニハ皮膚血管ニ及ホス或影響ヲ利用
 セルナリ紅斑狀并ニ潰瘍性凍瘡ニハ本品良效ヲ奏ス氏ハ必ス「カセイン」軟膏ヲ以テ調劑セ
 リ(本品三、〇加里石鹼〇、五「カセイン」軟膏三〇、〇)之ヲ皮膚ニ貼スレバ乾燥滑澤ノ被膜
 ヲ生成ス此「カセイン」軟膏ハ「エビカリン」ノ強防腐作用ヲ久時間變化セズ保存セシム此
 軟膏ハ毎日溫浴中ニ除去シ丁寧ニ拭乾シテ新ニ貼スベシ第一日ニノ已ニ痒痒、灼熱并ニ壓
 迫時ノ疼痛消散シ紅斑消失シテ凍瘡潰瘍忽チ治癒ス

フリック及ミユルレル氏ハ犬ノ疥癬蟲病ニ卓效アル藥品トシ本品ヲ用ヒ忽チ其痒痒ヲ鎮靜
 スルヲ得タリ

(イ)「エビカリン」一〇、〇 單軟膏一〇、〇

右塗擦料(禿髮水胞疹)

(ハ)「エビカリン」一五、〇 硫黃華五、〇
 ウイルソン軟膏一〇〇、〇 桂皮油一滴

右塗擦料(落屑性濕疹)

(ニ)「エビカリン」一〇、〇 硫酸依的兒

右爲軟膏(疥癬)

(ロ)「エビカリン」一五、〇 綠石鹼二〇、〇
 亞鉛華一〇、〇

ヒカリン

酒精 各四〇、〇、〇、〇 屈利設林五、〇

右塗布(瘡痒)

(ホ)「エビカリン」一〇、〇 華攝林一〇〇、〇

油ヲ加へ(濕疹、頭虱等)

(ハ)「エビカリン」一〇、〇 滑石 澱粉

各一五、〇 華攝林四五、〇

右外用

右油劑トス(随意ニ蘇合香、樟油、石

〇「エムベリア」酸(驅條劑トシテ、一五—〇、四ヲ與フ)

〇「エスクリン」(防腐ノ性ヲ具フ)

〇「エチールメチールエーテル」(知覺脫失藥)

〇「エチールフエナチエチン」(催睡及解熱劑)

〇「エトキシカッフエイン」 *Neloxycaffeinum*. $C_8H_{10}(OC_2H_5)_2N_2O_2$

鎮靜藥
白色針狀ノ結晶ニシテ水ニ溶ケ難ク熱酒精ニ溶ケ易シ依的兒及冷酒精ニハ唯僅ニ溶解スルノミ百四十度ニ溶融シ本品ハ生理的及治療的性質ニ於テハ咖啡涅ニ類シ且腦脊髓系統ニ鎮靜作用ヲ及ボストユシヤルダン、ボーメ氏ハ偏頭痛、神經痛殊ニ顔面痛ニ賞用セリ大量ハ戒ム可シ是レ〇、五ハ已ニ眩暈、踉蹌、惡心ヲ起シ且一、〇ハ中毒ヲ致ス用量ハ〇、二五ヲ「オプラート」或ハ水劑トナシ用ユ但シ本品ノ溶解ハ等分ノ撒里失爾酸曹達ヲ加フレバ容易トナル〇皮下注射ニハ二%ノ液ヲ用ユ

〇「エヒナチア、アングスチフオリア」(梅毒ニ用ユ)

〇「エヒユヤ」(實麥答利ノ如キ效アリ)

〇「エムベリア、リーベス」(驅條劑)

〇「エムブリガ」(消化不良、便秘等ニ用ユ)

〇「エルゴチノール」 *Ergotinol*

止血劑

本品ハ麥角製劑ニシテ其一方仙迷ハ麥角越幾斯〇、五ニ應ス貯藏シ難キ「エルゴチン」ノ代用劑トシテ久シク貯フルニ適シ流産後及分娩後ノ急性出血并ニ筋腫出血ニ皮下注射スアール氏ハ殊ニ筋腫ノ出血ニ賞用セリ即チ近年唯甚短キ休歇時ヲ以テ常ニ二十四日持續スル月經様強出血アル患者ニ約三十回皮下注射ノ後ハ唯六七日間少量ノ出血アルノミ其休歇時間モ常ニ復セリ本品ハ筋腫ヲ縮小セシムル作用ナシ又近時肺出血ニモ良效アリ皮下注射又ハ一日數回十五乃至二十滴ヲ内服セシム

〇「エキストラジーネ」(白色粉末ニシテ安知歌貌林九十分撒里矢爾酸曹達五分炭酸曹達五分ノ混合物ナリ)

〇「エカ」沃度仿謨 *Eca-jadoforn*

本品ハ沃度仿謨ト「バラフォルム」トノ製劑ニシテ「ドクトル」トマルラ氏ハ無刺戟ノ強防腐劑トシテ創傷ノ消毒ニ賞用セリ

〇「エフエドラ、チファアデンジス」葉(浸劑ヲ淋疾ニ内用ス)

〇「エメチン」 *Emetinum*

吐劑及祛痰劑

エトキシカッフエイン エルゴチノール エカ沃度仿謨 エメチン

白色無形無臭ノ亞兒加里性反應アル粉末ニシテ苦味アリ水ニ溶ケ難ク依的兒、酒精及嘔囉仿
謨ニ最容易ニ溶解ス吐劑、祛痰劑、解熱劑トシテ散劑或ハ水劑トナシ吐劑ニハ〇、〇〇五—〇、
〇一ヲ與ヘ祛痰劑及解熱劑ニハ〇、〇〇一—〇、〇〇二トス

○「エフェドラ、アンヂナ」 *Ephedra asiatica*.

赤褐色ノ茄皮ヲ被レル樹皮ニシテ近時、膀胱病ニ煎劑或ハ流動越幾ストナシ用ユ

○鹽酸「エフェドリン」 *Ephedrinum hydrochloricum* C₁₀H₁₅NO.HCl.

性状及應用 本品ハ長井長義氏ガ麻黄ヨリ一種ノ類鹽基ヲ發見シ「エフェドリン」
Ephedrin C₁₀H₁₅NO 名ケタル者ニシテ其鹽酸「ニフェドリン」ハ無色針狀結晶ニシテ水ニ溶
ケ易ク散瞳力アリ教授高橋順太郎氏助教猪子吉人氏醫學士三浦謹之助氏種々試驗シ主作
用ノ散瞳ナルコトヲ確定セラレタリ是レ瞳孔散大神經末端若クハ瞳孔散大筋ヲ刺戟スルニ由
ル動物試驗ニ依レハ少量ノ「エフェドリン」ヲ投スレハ瞳孔ヲ散大スルノ外特異ノ作用ヲ認
メザルモ大量ヲ與フレハ全身ノ痙攣ヲ發シ其際大ニ血壓ヲ高ム「エフェドリン」ハ「アトロ
ピネ」ニ反シ毒性極テ少キカ故ニ點眼ノ際中毒ノ虞無シト云フヘシ十%ノ水溶液一二滴ヲ
點眼スルキハ四十乃至六十分ヲ經レハ瞳孔散大ノ極度ニ達シ其際副作用及調節機麻痺ヲ起
サズ又頭蓋内ノ壓力變化セズ此散大ハ五乃至二十分ニシテ平常ノ状態ニ復ス弱溶液ハ效力十
分ナラス檢眼鏡検査ノ際散瞳藥トシテスクリバ甲野、三浦、井上氏ガ實用セル所ナリ但虹彩ノ
刺戟及炎症アルモノニハ奏效セズ上記ノ如ク本品ニ因スル瞳孔散大ハ久シク持長セス是レ

瞳孔散大藥

眼科診斷藥

眼底検査ニ適スル所以ナリ通常十%ノ水溶液ヲ點眼料トス然レモ溶液ハ久シク貯フルニ堪
ヘスノ忽チ效力ヲ減損ス井上氏ハ純品ヲ眼内ニ致セリ「エフェドリン」ト汗液分泌トノ關係
未タ詳ナラス

○「エスコルチン」 *Ascorbin*.

本品ハ「ロースカスタニ」ニ於テ含メル「エスクリン」ノ分裂產物ニシテ白色ノ結晶ヲナシ水ニ
溶解ス本品ノ十乃至二十%ノ水溶液一滴ヲ點眼スルキハ結膜ノ上皮缺損、角膜缺損部ヲ紅
色ニ染ムルヲ以テ診斷上ニ用ヒラル本品ハ結膜或ハ角膜ヲ刺戟スルコトナシ

○「エスコルチン」〇、二 餾水二、〇

右一滴ヲ點眼ス

○「エルゴステリン」(麥角ノ一成分ナリ)

○「エルゴチニン」(效用ハ他ノ麥角劑ノ如シ)

○「エキソジン」 *Exodin*.

本品ハ黄色無臭無味ノ粉末ニシテ百八十度乃至百九十度ニ熔融シ水ニ溶解セズ酒精ニハ甚僅
ニ溶解スエブスタイン氏ハ之ヲ下劑トシテ數多ノ患者ニ投シテ效ヲ得タリ即チ本品服後胃
ノ消化ヲ害セズ食後直ニ服スベク通常八時乃至十二時ヲ經テ下利シ其際毫モ腹痛ヲ起サス
但頑秘ニハ痙攣ヲ來タスコトアリ又本品ハ妊娠初期ニ於テ他ノ下劑適應セサル場合ニ用ヒ無
害ニシテ下利ノ效アリ

エフェドラ、アンヂナ 鹽酸エフェドリン エスコルチン エキソジン

同氏ハ初メハ粉末ヲ用ヒシモ後ニハ錠劑トナシ(各錠中ニハ〇、五ヲ有ス)小兒ニハ一錠、大人ニハ一乃至三錠ヲ用ユ用法ハ水中ニ投シ攪拌シツ、匙ニテ服セシムベシ

○「エリグロン」(利尿劑)

○「エリトリナ、コラルロデンドロン」(解熱防腐劑、催眠鎮靜劑)

○「エラテリウム」 *Elatium*.

(イ) 黑色「エラテリウム」

本品ハ胡蘆科植物即チ「モモルヂカ、エラテリウム」ヨリ得タル者ニシテ殆ト成熟セル瓜實ヲ撞碎シテ得タル汁液ヲ濾過シ重湯煎上ニ稠厚ナラシメタル者ナリ褐色ノ越幾斯ニシテ水ニハ混濁シテ溶解ス

之ヲ内用スルキハ峻下ノ效ヲ奏シ大量ヲ服スレバ嘔吐、制止ス可ラサル下痢、虚脱ヲ起ス本品ハ峻下劑トシテ頑固ノ便秘、鉛毒疝、水腫ニ投スレバ其作用甚強劇ナルヲ以テ獨逸ニ於テハ用ヒス又老人、虚弱家ニハ全ク用ユ可ラス 用量ハ〇、〇一—〇、〇五ヲ丸劑トシ一日二三丸與フ

(ロ) 白色「エラテリウム」

本品ハ帶綠灰白色ノ粉碎シ易キ約一「リニー」大ノ塊片ニシテ約半量ハ熱酒精ニ溶解ス應用ハ前者ニ同シキモ尙強劇ナリ 〇、〇〇五—〇、〇一〇、〇三丸劑トス

○「エラテリン」 *Elatium*. (モモルヂカ)

峻下劑

峻下劑

本品ハ無色光輝アル小結晶ニシテ水ニ溶ケス沸騰酒精ニ溶ケ易シ本品ハ中性反應ノ苦味物ナリ「エラテリウム」ノ有效成分ニシテ峻下ノ效アリ本品ノ應用ハ大ニ注意ヲ要ス 〇、〇〇二五—〇、〇〇五ヲ一日二三回丸劑、散劑或ハ酒精溶液トナス

○鹽酸「ヲキシスバルテイン」 *Oxytropium hydrochloricum*.

本品ハ白色無臭ノ針狀結晶ニシテ水ニ容易ニ溶解ス本品ヲエフェーレ氏ハ心臟病ニ皮下注射セリランローア及ムランジー氏ニ由レバ嘔囉仿謨麻酔ニ於テ著シク心機ノ衰弱スベキ者ニ頗ル適當スト云ヘリ此場合ニハ莫兒比涅ト配伍シテ手術前一時ニ皮下注射スルニ少許ノ嘔囉仿謨ヲ以テ麻酔ヲ助クルヲ得ベシ久時ニ漏ル手術ニ於テハ麻酔ヲ催セル後一時ニ尙第二回ノ注射ヲ行フ可シ此時ニハ莫兒比涅ヲ用ユ可ラスヲエフェーレ氏ハ初メ〇、〇四ヲ皮下注射シ後チニハ増量シテ〇、一マテヲ一回ニ用ヒタリ麻酔ニハ〇、〇三一〇、〇四莫兒比涅〇、〇一ノ者ヲ用ユ

○鹽酸「ヲキシスバルテイン」一、〇 苦扁桃水二〇、〇

右一筒ノ六分乃至八分ヲ皮下注射ス

○「エリトロフロレイン」 *Erythrophleinum*.

性状作用 亞非利加ニ産スル「エリトロフロレウム、ユヂャアール」ト稱スル喬木皮ノ類鹽基ニシテ其鹽酸「エリトロフロレイン」ハ黄色結晶性粉末ニシテ水ニ溶解シ易ク水溶液ハ容易ニ類鹽基ニ分解ス重湯煎上ニ於テ水溶液ニ強硫酸ヲ加ヘ加熱スルキハ溶液紅色ヲ呈ス

黑色エラテリウム 白色エラテリウム エラテリン 鹽酸ヲキシスバルテイン エイト
ロフロレイン

麻酔藥

麻酔藥

本品ハレウイン氏ガ局所麻酔薬トノ古加乙混ニ代用セリト雖モ強ク刺戟スルヲ以テ帯痛の麻酔薬タリ(ローブライヒ氏)其他危険ノ副作用アリ之ヲ内用スルキハ吸收後實麥答利ノ如ク心筋ニ作用シ脈數減少シ同時ニ痙攣ヲ起ス性アリ心臟病ニ於ケル效用ハ毫モ實麥答利ニ優ル所ナシ本品ハ動モスレバ中毒症狀即チ瞳孔散大、惡心、大量後嘔吐、眩暈、衰弱感覺ヲ發ス

眼科的應用

應用 ヘルシュベルグ氏ハ〇、二即チ「エリトロフレイン」〇、〇一ヲ五千倍昇永水五、〇ニ溶解シタル者ヲ點眼セルニ二分半ヲ經テ灼痛、潮紅、流涙ヲ來タシ五分ノ後知覺麻痺ヲ來タシ漸次其度ヲ増シ久時持續ス又角膜ハ混濁シ視力朦朧タリ又ハ十二名ノ患者ニ於テ點眼後十乃至十五分ヲ隔テ角膜ヨリ鐵片ヲ除出スルニ無痛ナリシト〇ウエルケル氏ハ十三名ニ實驗シ其成績ヲ總括シテ曰ク視力調節、瞳孔共ニ變化ナク稀液ニ於テハ知覺減少ヲ見ス濃液ニ於テハ痛ヲ感セサル迄ノ知覺減少ヲ認メ純然タル麻酔ハ見ルヲ得サリシ

外科的應用

〇カレウスキ氏ハ外科病ニ用ヒ其成績ヲ公ニセリ皮下注入ニテハ知覺麻酔完全ナラスエスマルヒ氏驅血帶ヲ用ユルキ麻酔スルヲ多シト雖モ疼痛不感ハ每常望ムヘカラス之レヲ得ントスルニハ少クモ〇、〇〇二五ヲ要ス其麻酔ハ穿刺部半仙迷立方ナリ時間ハ藥量多少ニ由リ異ル者ナリ即チ〇、〇〇五ヲ注入スレハ十二時間ニ及フ局部ノ副作用ハ疼痛、皮膚潮紅、浮腫等ヲ十數時間殘スヲ常トス全身症ハ掲クヘキナシカ實驗セシハ瘰癧ニ二回假骨除去術、腱除去術各一回、拔齒術六回、腱鞘水腫切開術、鼻茸摘出術、結核性肉芽排除、頸腺切開術

鎮痛的應用

及ヒ抓除術等ナリ瘰癧ニ於テハ二回共ニ效ナシ假骨、腱瘤、腱鞘ノ手術ハ驅血帶ヲ併用シ無痛ナリシ拔齒術ニ於テハ六回中四回ハ無痛ナリシ然レトモ副作用ナル局部痛ハ二十四時持續セリ鼻茸ニ於テハ噴嚏ヲ發シタル後無痛ニテ除去スルヲ得タリ肉芽抓除術ニ於テハ〇、五%ノ者ヲ二回塗布シ十八分ヲ經テ無痛ニテ手術ヲ終レリ

〇カレウスキ氏ハ鎮痛ノ目的ヲ以テ神經痛ニ試用シ意外ノ良效ヲ收メタリ即チ腰痛、上膊痛、肋間痛各二回、坐骨神經痛一回ナリ藥量ハ〇、〇〇五—〇、〇〇五注射後毎ニ劇痛ヲ感シ一時乃至一時半ヲ經テ疼痛ハ神經痛ト共ニ消失ス持續時間ハ〇、〇〇〇五ニテ一時間〇、〇〇二五ニシテ二十四時間ナリ坐骨神經痛、肋間神經痛ハ〇、〇〇五ニテ腰痛ハ〇、一ニ由テ全治セリ

皮膚病藥

用量 點眼ニハ〇、〇五—〇、二%ノ水溶液「皮下注射ニハ〇、一—一%ノ液半筒乃至一筒トス内用ニハ〇、〇〇一—〇、〇〇五ヲ溶液或ハ丸劑トス

〇鹽酸「ヒドロロキシールアミン」 *Hydroxylinin hydrochloricum.*
N H₂ O H. H. Cl.

鹽酸「ヒドロロキシールアミン」ハ乾燥セル無色ノ礫砂様臭氣アル結晶ニシテ水ニ溶解シ易ク十五分ノ酒精及屈利設林ニ溶解ス此水溶液ハ鹽様ノ味アリ「ラクムス」紙ニ對スレバ酸性ナリ化學的ニハ強キ還元性アルヲ特徴トス本品ハフェリング氏液ニ遇ヘバ亞酸化銅ノ沈澱ヲ生ス

鹽酸ヒドロロキシールアミン

麻酔薬

ピントツ氏ハ本品ノ還元性アルニ基キ「ピロガル、ス」酸、「クリサロピン」及「アントラロピン」ノ代用劑トシテ用ヒタルニ患者ノ裸衣ヲ汚染セサルヲ以テ本品ヲ優レリトス同氏ハ之ヲ皮下注射セシニ忽チ「メタヘモグロビン」ヲ生セリ乃チ血中ニ於テ其硝酸鹽ヲ證明スルヲ得タリ謹テ之ヲ用ユルハ其純粹ノ麻痺作用ヲ起スヲ得ベシロエウ氏ニ從ヘハ本品ノ毒性ハ顯著ニ植物性萌芽ハ本品ノ一萬五千倍ノ液ニ由テ枯死スト○注意シテ貯フベシ

○鹽酸「ヒドロキシールアミン」〇、二

○鹽酸「ヒドロキシールアミン」一、〇

一〇、五 酒精一〇〇、〇 炭酸石灰適

餾水一〇〇〇、〇 炭酸石灰適宜ヲ加

宜ヲ加ヘ中和ス

ヘ中和セシム

右爲泥劑

右爲法料

○鹽酸「ヒドロキシールアミン」〇、一 酒精 屈利設林 各五〇、〇

右外用 以上ハ皮膚ノ微菌性疾患ニ處ス

○「エキサルギン」, *Exalgin*, $C_6H_6(C_2H_5)(CH_3CO)$, 「メチールアチ

エタニリツド」

性状 本品ハ微細ノ針狀或ハ大ナル白色板狀ノ結晶ニシテ臭味共ニナシ冷水ニ溶ケ難ク沸湯ニ溶ケ易ク少許ノ水ヲ加ヘタル水ニハ甚溶ケ易シ百度ニ溶融シ二百四十乃至二百五十度ノ間ニ於テハ分解セスノ沸騰ス

作用及應用 本品ヲ内用スレバ「アチエタエリツド」(即チ安知歌貌林)ノ如キ作用アリ然レハ本品ハ之ヨリモ有毒ナルヲ以テカーン及ヘツプ氏ハ實地上ノ應用ニ適セサル者トナ

處方

セリドユシヤルダン、ボーメ及バルデー氏ハ之ヲ解熱劑トシテ用ヒ且頗ル鎮痛作用アリ本品ハ諸種ノ疼痛殊ニ真ノ神經痛、其他脊髄癆ノ穿鑽樣痛、狭心症ニ用ヒラル又蜜尿病ニ本品ヲ投シタルニ尿量及糖分ヲ減少セリラボウ氏ハ偏頭痛及他ノ頭痛、三叉神經痛ニ良效ヲ得タレハ坐骨神經痛ニハ效ナシレエウエンタール氏ハ舞踏病ニ於テ效ヲ得タリ副作用即チ疲勞眩暈、酩酊樣感覺、眼火閃發、視野暗黒、耳鳴或ハ譫語、神識缺亡、或ハ搐搦ヲ發スルヲアリ稀ニハ胃部壓重、惡心、黃疸、暫時ノ紅斑ヲ發ス

用量 内用ニハ〇、二五ヲ溶液トスフラゼル氏ハ〇、〇三—〇、〇五ニシテ既ニ屢、效ヲ得タリ用時謹慎ヲ必要トス大量及久ク持長スルハ宜ク避クベシ一日量一、五トス

○「エキサルギン」二、五 薄荷精五、〇ニ

○「エキサルギン」二、五ヲ橙皮丁幾五、〇

溶解シ 菩提樹水一二〇、〇 橙花舎 〇、〇

ニ溶解シ 餾水一二〇、〇 橙皮舎三

三〇、〇 右朝夕一食匙(エキサルギン〇、)

右朝夕一食匙(エキサルギン〇、)

○「エビデルミン」, *Epidermium*.

軟膏料

本品ハ有機性「フルアル」化合物ニシテ種々ノ藥物ヲ外用スルニ當リテ應用スル新軟膏配伍料ナリ本品ハ乳汁樣半流動形ノ物質ニシテ之ヲ展布シテ薄層トナシ氣中ニ放置スルハ菲薄堅固ノ皮膜ニ凝固ス有害ノ副作用ナシ、

種々ノ藥劑ノ配伍料トスエス、コーン氏ハ十%乃至二十%ノ沃度仿護「エビデルミン」ヲ壞

疽創ニ用ヒ「イヒチオール、エビデルミン」ヲ丹毒及凍瘡ニ「沃度鉛、エビデルミン」(十乃至三十%)ヲ吸收藥トシテ腺ノ腫脹及峯丸炎ニ使用ス

○「エキストラステムシン」(胃ノ吸收力催進料)

○「エムルジン」(乳和劑ノ調製料)

○「エシユシヨルチア、カリフォルニカ」(催睡劑)

○「エモール」(創傷ノ繃帶料)

○「エゼリヂン」 *Eserinum*. $C_{15}H_{21}N_3O_9$

「ヒソスチグミン」(即「エゼリン」)ト共ニ加刺抜兒豆中ニ含有セル類鹽基ニ其「ヒソスチグミン」ト異ナルハ溶解點ノ高度(百三十二度)ナルト依的兒ニ溶ケ難キトニ在リ本品ニハ結晶及粉末ノ兩種アリ「エゼリヂン」ハ確實ノ下劑ニシテ諸般ノ副作用ナシ主トシテ獸醫治療上ニ下劑トシテ用ユル者トス大ナル動物ニハ〇、一ヲ與ヘ平均一日量〇、〇一〇、〇二ヲ皮下注射ス

祛痰劑

○「テルピノール」 *Terpinolum*.

本品ハ無色爽快ノ香氣アル揮發シ易キ油樣液ヲナシ比重〇、八五二ニシテ百六十八度ニ沸騰シ水ニ溶ケズ酒精及依的兒ニ溶解ス本品ハ氣管枝ノ分泌ヲ催シ之ヲ溶解スル性アルヲ以テ氣管枝加答兒ニ安息香酸曹達ト配伍シ祛痰劑トナス一回量〇、一ヲ丸劑或ハ膠囊トス一日五乃至十回與フ大量ハ消化ヲ害ス

確實ノ下劑

解熱劑

ヤノウスキー氏ハ肺癆ノ咯血ニ毎二時三滴ヲ乳汁ニ加用シ效アリ十二時後出血減退シタルキハ此量ヲ減シ毎二時二滴或ハ毎三時三滴ヲ投ス出血全ク靜止シタル後モ尙一二日間毎日三四回二滴ヲ投ス若シ一日半ヲ經ルモ輕快セサルキハ之ガ服用ヲ廢スベシ

○「テルピノール」 安息香酸曹達 各一、〇 甘草末適宜

右爲十九、一日五乃至十九服用

○「テルピネロール」(香水ノ調製又沃度仿謨ノ消臭料)

○「テルピン」(抱水「テルピン」ヲ見ヨ)

○「テルモジン」 *Thermopin* 「アチエチール、ハ、エトキ
シフエニールワレタン」

本品ハ無色無臭ノ結晶ニシテ冷水ニハ溶ケ難ク温湯ニハ僅ニ溶解ス八十六乃至八十八度ニ溶解ス

メーリング氏ハ緩和ノ解熱劑トシテ費用セリ本品ノ服用後一時間以内ニ此作用現ハレ多クハ少シク發汗シ時トシテ輕キ惡寒ニ由リテ再ヒ體温昇騰ス危險ノ副作用ハ未タ曾テ實驗セズ本品ハ微ニ神經痛ニ效アレバ解熱作用ニ比スレバ劣レリ

○、五—〇、七ヲ散劑トシ肺癆家ニハ〇、三「小兒ニハ〇、二—〇、三ヲ散劑トシ投ス

○「テルミン」(瞳孔散大ノ作用アリ)

○「テイン」 *Teinun*.

本品ヲマイス氏ハ筋肉痲痺質斯、坐骨神經痛、腰痛ニ止痛藥トシテ稱用セリ本品ハ單純ニ痛

鎮痛藥

エゼリヂン テルピノール テルモジン テイン

アル部ニ感應シ神經中樞ニハ全ク感應セサルカ故ニ莫兒比涅ニ優ル又誤用習慣等ノ恐レナシ皮下注射大量ハ〇、〇三ニシテ患部ニ注入スレハ灼感ヲ覺エ次テ知覺脫失ス又内用量ハ〇、〇二ニ一〇、〇三ニテ舌端ニ知覺脫失ヲ覺ユ

○「テフエチア」(下劑)

○「デヒドロメチールフェニールピペラチン」(解熱ノ性アリ)

○「デルフィン」(麻酔藥トシテ喘息、神經痛等ニ〇、〇一〇、〇二ヲ投ス)

○「デスイنفエクトール」*Desinfektolum*.

本品ハ黒褐色油狀ノ液ニシテ「クレオリン」ニ類スル微臭アリ亞兒加里性反應ヲ呈ス防腐藥及消毒藥トシテ外科ニ應用シ消毒劑トシテ用ユルニハ其濃厚油樣液ニ水ヲ加ヘ乳化セシメニ乃至七、五%ノ液トナシ供ス可シ

○「ラルミフギン」(解熱劑トシテ〇、一〇、〇二五ヲ用ユ)

○鐵製劑 *Ferrum-Präparate*.

(イ)蛋白化鐵 *Ferrum albuminum*.

本品ハ透明微黃色ノ小板ニシテ全ク溶解ス易化ノ鐵劑ニシテ萎黃病ニハ頗ル良效アリ殊ニ脚氣ノ貧血ニ賞用ス

(ロ)安母尼亞枸橼酸亞砒酸鐵(截瘧劑トシテ麻拉利亞ニ用ユ)

(ハ)屈利設林磷酸鐵(黃色ノ小板ニシテ神經強壯劑トス)

(ニ)「カコジール」酸鐵 *Ferrum Kakohlicum*.

本品ハ灰白黄色無形ノ粉末ニシテ水ニ溶解シ酸化鐵四十五%亞砒酸三十二%ヲ含有ス酒精ニ溶ケ難シギルベルト氏ハ亞砒酸及尋常ノ鐵劑ニ代テハ萎黃病ニ投セリ内用ニハ一日ニ〇、〇五―〇、三「皮下注射ニハ左方ニ從ヒ〇、〇三―〇、一ヲ用ユ

○「カコジール」酸鐵〇、三 餛水一〇、〇 ○「カコジール」酸鐵一、〇 桂皮水二五、

右一日一筒乃至三筒皮下注射

右一日三回二十乃至四十滴服用

(ホ)乳糖加鐵(〇、二五鐵ノ鐵ヲ含有ス)

(ヘ)結晶性過魯魯鐵 *F. sesquibromatum crystallatum*.

本品ハ暗紅色溶流シ易キ結晶ニシテ水ニ溶ケ易ク酒精及依的兒ニハ溶ケ難シ月經閉止、腺腫脹、白帶下、肺癆等ニ〇、〇二―〇、〇六ヲ用ユ(極量一回〇、一ニメ一日〇、五ナリ)

(ト)「ワナジン」酸鐵 *T. vanadinum*.

本品ハ暗灰白褐色ノ粉末ニシテ水ニ溶ケス萎黃病、貧血ニ毎日一日量〇、〇〇四―〇、〇〇五ヲ投ス

○「ワナジン」酸鐵〇、一 白礬土「トラカント」護膜漿 適宜

右爲百瓦、礬土ヲ衣トス毎日二日ニ四五丸宛

(チ)溶性「デキストリン」酸化鐵(十%ノ鐵ヲ含有ス)

- (リ) 溶性乳糖加酸化鐵(十%ノ鐵分ヲ有ス)
- (ヌ) 溶性「イヌリン」加酸化鐵(十%ノ鐵分ヲ有ス)
- (ル) 溶性「マンナ」糖加酸化鐵(十%ノ鐵分)
- (ヲ) 百弗頓化鐵 皮下注射ニ供ス 以上皆蛋白
化鐵ニ同シ
- (ワ) 撒里矢爾酸鐵(收斂及防腐作用ヲ有ス内用量〇、一五—〇、五丸劑トス)
- (カ) 珊篤寧酸鐵 珊篤寧ト鐵ト
ノ效用アリ
- (ヨ) 琥珀酸鐵

琥珀酸鐵ハ嘔囉仿謨ト伍ノ膽石ニ用ヒ頗ル良效アリ數月連用スレハ全ク結石ヲ溶解ス毎月
四乃至六回嘔囉仿謨十滴ヲ加ヘ毎食後服セシム

(タ) 棗酸鐵(黃色ノ粉末ニシテ萎黃病ニ朝夕二回〇、三宛與フ)

○「テトロナル」(「トリヲナル」ノ條ヲ見ヨ)

○的列並底油 *Oleum kerebinthinum.*

近時、實布の里ニ良效アルヲ見タリ則チ病室ニ散霧セシメ且十滴ヲ一茶匙ノ粘滑物、糖水或
ハ乳汁ニ加用ス

○「テタヌスアంతトキシシ」(破傷風治療血清ヲ見ヨ)

○「テナリン」 *Tenalin.*

本品ハ殊ニ獸醫ノ用ユル新藥ニシテ腸内驅蟲劑(條蟲及蛔蟲)トシテノ用量ハ馬ノ體量每一磅ニ一

滴ヲ等分ノ水ニ混和シ用ユ今日ニ至ルマテ人體ニ未タ實驗セラレズ

○「テアツン」 *Terben. C₁₀H₁₆*

本品ハ的列並底油ニ五%ノ強硫酸ヲ加フルニ由テ製シタル者ニシテ黄色「チミアン」様ノ香氣
アル液ナリ水ニハ僅ニ溶解シ酒精及依的兒ニ溶ケ易シ本品ハ的列並底油ニ代ヘテ内用及外
用ニ供ス内用ニハ一日數回四乃至六滴「外用ニハ吸入(腐敗性氣管枝炎等)繃帶(一分水二十
分)トナシ用ユベシ

○鐵「ソトローゼ」 *Eisensomrose.*

本品ハ肉類ノ蛋白質ヨリ製シタル鮮褐色無臭殆ト無味ノ粉末ニシテ水及温湯ニ溶ケ易ク有機
化合物トナリ二%ノ鐵分ヲ有ス本品溶液ハ稀酸類及亞兒加里ニ由リテ沈澱セズ又蛋白ヲ沈
降セズ故ニ食物ト共ニ與フルヲ得、本品ハ殺菌スルキハ皮下注射ニ供スルヲ得ベシ本品ヲ
以テ虛弱及萎黃病性ノ處女ヲ療セシニ生活及營養ノ狀況ヲ變セスノ奏效シ暫時間ニ體重及
血液ノ血色素量増加シ食氣充進シ一般調和及體力著ク佳良トナル一日量五、〇—一〇、〇ヲ
二三回ニ分チ日用食物ノ液ニ溶シテ與フベシ一日一〇、〇ヲ投セシニ二三回下痢ヲ發セリ然
レモ便秘ヲ患フル處女ニ於テハ却テ爽快ヲ覺エタリ他例ニ於テハ此量ヲ用ユルモ此ノ如キ
副作用ヲ發セサリシ一日量五、〇ニ於テハ便通ニ感作セス或ハ怠慢ナル便通ヲノ稍整然ナ
ラシム此實驗ニ由リテ鐵「ソマトーゼ」ハ「ソマトーゼ」ト良好ノ鐵劑トシテ強壯作用ヲ併有ス
ル者ナリ(「ドクトル」エ、ロース氏)

琥珀酸鐵 的列並底油 テナリン テレメン 鐵ソマトーゼ

○「デルマトール」 Dermatol. $C_6H_2(OH)_2CO_2Bi(OH)_3$

鹽基性浸食
子酸基鉛

性状 「デルマトール」ハ「サフラン」様黄色無臭殆ト無味ノ比重重キ粉末ニシテ濕潤セル藍色「ラクムス」紙ヲ微ニ紅變ス本品ハ水、酒精、依的兒ニ溶解セズ又甚シク稀釋セル酸類ニモ然リ強鹽酸ニ遇ヘハ速ニ格魯兒化蒼鉛ニ變ス加熱時稀硫酸ヲ注ケバ溶解ス

作用及應用 本品ハ創傷療法ニ於テ沃度仿護ノ代用劑トシハインツ及リーブレヒト氏カ賞用セシ所ナリ之ヲ創面、潰瘍等ニ散布スレハ乾燥、分泌減少ヲ致シ創傷ノ治療ヲ催ス乃チ速ニ堅固ノ痂皮ヲ生シテ治療ヲ營ム者トス本品ハ刺激性ナシ概シテ本品ハ無毒ノ者ト看做セラルト雖モ本品ハ次硝酸蒼鉛ト同ク蒼鉛製劑ナルヲ以テ大量ハ毒性アルヲ以テ注意スヘシ本品ハ創傷療法ニ用ヒテ效アリ其他火傷、濕疹、水泡疹、糜爛、潰瘍、足潰瘍、發汗過多ニ應用シ眼科治療及耳漏ニ投ス但從來ノ實驗ニ由レハ「デルマトール」ハ沃度仿護ニ代用スルニ足ラサレモ沃度仿護ノ作用ヲ補助スル者タリ○内用 ハインツ氏ハ次硝酸蒼鉛ニ代用シテ胃病、腸病、殊ニ多量ノ下痢ヲ兼ヌル加答兒症及膿潰性症ニ與ヘタリ又赤痢ニ投ス

用量 外用 創傷療法ニハ原品ヲ吹粉器ニ由テ散布シ其分泌少キ創面ニハ薄層ヲナサシメ分泌多キ者ニ多量ニ散布スヘシ創面或ハ潰瘍面ト其上ニ接セル綑帶品トノ粘著ヲ豫防スルカ爲メニ多クハ其中間ニ絹糸ヲ挿入スヘシ「輕キ皮膚病ニハ本品澱粉等分ノ者ヲ散布スヘシ小ナル創傷ニハ十%「デルマトール」古魯胃膜乳劑ヲ用ヒ他ノ目的ニハ十%—二十%「デルマトール」屈利設林乳劑ヲ投ス」軟膏ニハ十%—二十%ノ者ヲ用ヒ瘻管ニハ本品ノ小杆

ヲ挿入ス「デルマトール」ガ「ゼ」ハ十%及二十%ノ者ニ善ク「ガ」ゼ「ラ」殺菌スヘシ○内
用 一日數回○、二五—〇、五ヲ與ヘ一日量二、〇—五、〇ヲ散劑トナシ處ス

○「デルマトール」二〇、〇 雲母末七〇、

○「デルマトール」五、〇 「ラノリン」四

〇 澱粉一〇、〇

〇、〇 華攝林五、〇

右散布末トス(足汗過多)

右爲軟膏、外用

○「デルマトール」二、五—五、〇 澱粉
酸化亞鉛 各一〇、〇 華攝林五〇、〇

○「デルマトール」二、五 古魯胃膜一五、
〇

右爲泥劑、外用

右外用 使用前振盪スベシ

○「デルモール」(皮膚病ニ外用ス)

○「デルモサポール」劑 Dermosapol.

本品ハ脂肪アル拔兒撒護肝油石鹼ニシテ種々ノ藥劑(沃度加里、結麗阿曹篤、「チヲコール」等)ヲ含在セシム「プロフェッソル」ナイセル氏等ハ腺病及肺癆ニ對シテ塗擦綑帶スルニ用ヒ其他皮膚病ニ用ユ

○「デキストロフォルム」 Dextroform.

本品ハ「デキストリン」ト「フォルムアルデヒット」ノ化合物ニシテ水及屈利設林ニ溶解ス淋疾二十乃至二十%液、胸膿ノ洗滌料ニ五乃至十%ノ液ヲ用ユ

○「アルムノール」 Aluminolum.

防腐及收斂藥

デルマトール デルモサポール デキストロフォルム アルムノール

性状 「アルムノール」ハ微細白色非引濕性ノ粉末ニシテ冷水ニ容易ニ溶解シ酒精ニハ藍色ヲ以テ僅ニ溶解シ又屈利設林ニモ溶クレモ依兒的ニハ然ラス本品ニ格魯兒鐵ヲ加フレバ藍色ヲ呈ス本品ヲ蛋白溶液或ハ膠溶液ニ加ヘ更ニ過剰ノ蛋白或ハ膠質ヲ投スルニ再ヒ溶解スル沈澱ヲ生ス本品ハ還元ノ性アリ

作用及應用 本品ハ防腐及收斂ノ作用アリ其稀薄液(一%以下)ハ血管ヲ收縮シ濃溶液(五—十一—二十%)ハ甚シク刺戟ス本品ハ膿性分泌物中ニハ溶解スルヲ以テハイソツツ及リーブレヒト氏ハ他ノ收斂劑ヨリモ深部ニ達スル作用ヲ營ム者トセシモカスベル氏ハ然ラストセリ○本品ハ外科及産科ニ於テハ洗滌及灌注ニ供シ下脚潰瘍ニハ溶液及軟膏トナシ淋毒性子宮内膜炎ニハ小杆條トナシ或ハ綿球ニ浸シ用ヒ「諸種ノ皮膚病、濕疹、鱗屑疹、紅斑、狼瘡ニハ散布末、水溶液及酒精溶液、軟膏等トナシ」火傷ニハ散布末トナシ「軟下疳ニハ原品ヲ投ス」シヨツェン氏ハ淋疾ニ注入シ殊ニ效アリト云フモ可一定セズ喉頭加答兒ニ吸入或ハ吹入セシメ咽頭炎、臭鼻ニ吹入及塗布シ「又鼻出血ニ用ユ」化膿性中耳炎ニ溶液及散布劑トナシ用ヒ眼科ニ於テハ硝酸銀ヲ點眼スルノ前清洗スルニ供ス

用量 軟下疳、龜頭冠ノ膿潰性糜爛ニハ原品ヲ包皮内ニ散布シ「濕疹、火傷等ニハ雲母末及澱粉ヲ以テ十乃至二十%ノ散布劑トナス」洗滌、灌注ノ水溶液ニハ〇、五—一—二、%「皮膚病治療ニハ一—五%」酒精溶液ハ二、五%「軟膏ハ二、五—五—十一—二十%トナシ」小杆條ニハ一—十一—二十%「尿道注入ニハ一—二%ノ水溶液ヲ一日三四回行ヒ淋毒球菌消失セル

後ハ一日一回トス」吸入液ニハ半—一%「喉頭内吹入ニハ粉末二—五—十%」鼻ノ洗滌ニハ

〇、五—一%「塗布ニハ一—五%ノ屈利設林溶液トナシ」鼻ノ吹入ニハ澱粉ヲ以テ十一—二十%ノ者トナシ「點眼ニハ四%ノ水溶液トナス

〇「アルムノール」一〇、〇 「ラノリン」 〇「アルムノール」一八、〇 蓖麻子油二五〇、〇 巴拉賓三五、〇 蠟五、〇 〇、〇 古魯胃謨一六〇、〇 右外用 使用前善ク振盪スヘシ (滲潤性皮炎)

〇「アブタ」(強壯劑) 〇「アブリン」(「ジクイリチー」ノ一名) 〇「アカシア、アンテルミンチカ」(驅條劑) 〇「アカリフインジカ」(吐劑) 〇「アチエトアミノール」(結核ニ用ユ) 〇「アチエチールタンニン」(「タンニゲン」ヲ見ヨ) 〇「アブラストール」(腸内防腐藥其他食品ノ貯藏ニ供ス) 〇「アチエタール」(Acetalm. CH₃·CH(OC₂H₅)₂)

本品ハ透明依的兒性ノ液ニシテ攝氏廿二度ニ於テ〇、八二一ノ比重アリ百〇四度ニ溶解ス攝氏廿五度ニ於テ十八分ノ水ニ溶解シ酒精ニ溶ケ易ク微苦味アリ知覺脫失劑及催睡藥トシテ乳

麻醉劑

アルムノール アチエタール

劑ヲ製シ内服セシメ又灌腸ス又用量ハ五、〇—一〇、〇トス

防腐兼利尿藥

- 「アチエルトアミドヒノリン」〔解熱劑〕
- 「アチエチールエチールフェニールヒドラチン」〔「ピロジン」ヲ見ヨ〕
- 「アチエトフェノン」〔「ヒブノン」ヲ見ヨ〕
- 「アチエトバラアニジン」〔「メタチエチン」ヲ見ヨ〕
- 「アチエトフェネチン」〔「フェナチエチン」ヲ見ヨ〕
- 安息香酸「エチールフェニールヒドラチン」酸〔解熱劑〕
- 亞撒里失兒酸 *Acidum salicylicum*, $C_6H_4(OH)CHO$.

防腐藥

無色爽快ノ香氣アル液ニノ零下二十度ニ至レバ凝固ノ結晶トナリ百九十五度ニ沸騰シ水ニ溶ケ難キモ酒精、依的兒ニハ溶ケ易シ消毒性ヲ具フ防腐藥及利尿劑トシ一日數回〇、一—〇、五ヲ服セシム

性狀 本品ハ灰白色無臭殆ト無味ノ粉末ニシテ五四、五%ノ銀ヲ含有ス冷卻水(一分ト十八分)ニ溶解シ熱湯ニハ容易ニ溶解ス此液ヨリシテ放冷後再ヒ析出セラル

百二十度ニ熱スルキハ分解ヲ起シ盛ニ「アルデヒッド」ヲ發生シテ溶解ス又本品ノ水溶液ニ腐蝕亞兒加里ヲ加フルキハ暗褐色ノ酸化銀ノ沈澱ヲ生ス

應用 クレーデ氏ハ外科的防腐藥トシ實用セリ一千倍ノ溶液ハ分裂菌ヲ五分間ニ殺滅シ

「アクトール」
セノ效用

五万倍ノ液ハ其發育ヲ制止スルヲ(加之、血清中ニ於テハ十万倍ノ液ニテモ發育ヲ止ム)認メタル後之ヲ病牀ニ使用シタリ氏ノ研究ニ由レバ「アクトール」ハ無腐敗性創傷ヲシテ分裂菌ノ侵襲ヲ免レシメ得ベク已ニ分裂菌ニ感染シタル創傷ヲシテ可及的再ヒ無腐敗性ニ赴カシム可ク而カモ其際腐蝕セズ無刺激性且無毒性ニシテ粉末狀トナシテ使用シ得ヘク其創液中及組織液中ニ於テ漸徐ニ溶解スルヲ以テ持續的及遠達的作用ヲ具フルヲ發見シタリクレーデ氏ハ「アクトール」一、〇ヲ一回ニ皮下注射シタルニ其注射部ニ於テ暫時輕キ灼熱ヲ感シタルノ外ニハ更ニ不快ノ副作用アラザリキ

「アクトール」ノ不利ナル點ハ相凝集シテ凝塊ヲ生シ易キカ故ニ更ニ粉末トナシ難キト其光線ニ感シ易クシテ鼻腔及喉頭ノ粘液ヲ刺戟シテ嘔吐及咳嗽ヲ發セシムルトニ在リ

用量 脾脫疽ニ於テハ本品〇、〇五水二〇、〇ノ者、丹毒ニ於テハ〇、三—一、〇水一〇〇、〇—二〇〇、〇ノ者ヲ豫メ古加乙涅局所麻醉又ハ麻醉ヲ行ヒタル後チ腹壁ノ皮下ニ注射ス用量ハ初メ〇、〇一ヲ投スベシ而シテ含嗽料及洗口料ニハ五十倍ノ液一茶匙ヲ一盞ノ水ニ加ヘテ行ハシム

○亞鉛新製劑

(イ)「クリソフアン」酸亞鉛(褐赤色ノ粉末ニシテ水ニ溶解ス創傷ノ散布末)

(ロ)藏化亞鉛(白色不溶性粉末ニシテ心臟神經症ニ〇、〇〇五ヲ丸トシ一日三回用ユ效用實麥答利斯ノ如シ)

亞撒里失兒酸 アクトール 亞鉛新製劑

- (ハ)大楓子酸亞鉛(黃色ノ粉末ニ依的兒、酒精ニ溶解シ皮膚病ニ散布料トス)
- (ニ)油酸亞鉛(慢性濕疹ニ澱粉ト共ニ散布ス)
- (ホ)過滿俺酸亞鉛 *Zincum Permanganicum.*

本品ハ過滿俺酸加里ニ類シタル結晶ニ甚潮解シ且水ニ溶ケ易シベルケレー、ヒル氏ハ之ヲ諸種ノ尿道炎殊ニ其急性症ニ本品〇、〇五水二〇〇、〇ノ者ヲ用ヒ良效ヲ得タリト但處方中ニ酒精、植物性越幾斯等ヲ用ユ可ラス蓋シ此等ノ品ヲ配伍スルキハ爆發性物ヲ生スレバナリ

- (ヘ)撒里失爾酸亞鉛(無色ノ結晶ニ水二十五分ニ溶解ス皮膚病ニ於テ散布末トス)
- (ト)乳酸亞鉛(白色光輝アル針狀結晶或ハ白色結晶塊ニシテ冷水六十分ニ溶解ス堪ヘ易キ劑ニシテ癩癩ニ〇、〇三—〇、〇六ヲ丸劑トシ一日數回與フ)
- (チ)磷酸亞鉛(破碎シ易キ結晶性粉末或ハ褐色粉末ニシテ臭アリ水ニ溶ケズ磷ヲ用ユル症ニ於テ之ニ代用シ〇、〇〇—〇、〇〇五ヲ一日數回丸散トナシ用ユ)
- (リ)硫酸石炭酸亞鉛(「リ」ノ條下ヲ見ヨ)
- (ヌ)亞硫酸亞鉛(白色結晶性粉末ニシテ水ニ溶解ス創傷療法ニ用ユ)

- 「アダンソニア、ヂギタタ」(赤痢ニ用ユ)
- 「アダンソニン」(解熱劑)
- 「アンチレウマチニウム」(撒里失爾酸曹達ト「メチーレン」青トノ抱合物ニシテ)

儂麻質斯ニ〇、〇六—一、〇ヲ投ス

○亞麻仁茶劑 *Leinsamen-Thee.*

本品ヲ「プロフェッソル」ハ、ウエ、フオーゲル氏ハ七年來罹レル蜜尿病ニ與ヘテ頗ル良效ヲ得タリ然レモ同氏ニ從ヘハ本品ハ其服用時ニ全ク糖分食餌ヲ遮絶シタルキニ效アルノミ而シテ本品ノ服用ニ由リ尿ノ糖分含有皆無ニ歸シタルキハ之ヲ休止スベシ

用法ハ先ツ本品一食匙ヲ水八百乃至九百立方仙迷ニ加ヘ其容積六百立方仙迷ニ至ルマテ煮沸シ此煎煮物ヲ濾過シテ一日量トシ貯フベシ用量ハ早朝二百瓦(咖啡飲用ノ前後ニ)中食ノ前後(二時乃至四時)ニ兩回二百瓦、夜間就眼前ニ再ヒ二百瓦ヲ投ス此茶劑ハ尿ノ糖分含量皆無(〇%)ニ至ルマテノ間用ユベシ

○「アドニス、エスチファリース」 *Adonis aestivalis.*

本品ハ近時利尿劑トシ心臟瓣膜病ノ脈搏微弱且不正、呼吸困難、尿量減少、浮腫等アル者ニ用ヒ良效アリ第三日或ハ第四日ニノ良效ヲ現ハス此草ヲ粉末トナセル者四、〇—八、〇ヲ浸劑トナシ用ユ

○「アドヘシウム」 *Adhaesivum.*

本品ハ赤色粘稠ノ液ニシテ空氣ニ觸ル、ヤ直チニ硬化シ復タ軟化セサル性質アルカ故ニ之ヲ清潔ナル無菌ノ創面又ハ空氣ニ接觸セサル創面ニ塗布スルニ其乾燥スルキハ鞏硬ナル皮膜ヲ生シテ以テ創面ノ汚染ヲ豫防スル者ニシテ終ニハ痂皮狀ヲナシ此皮膜脱落ス〇ヒユゴ、

利尿劑

創面蓋護劑

亞麻仁茶劑 アドニス、エスチファリース アドヘシウム

ブラウト氏ハ曰ク本品ハ高價ニ容易ニ容器内ニ乾涸シ皮膚ニ貼スレバ治セスシテ却テ往々甚シク刺戟シ甚シキハ潰瘍ヲ生シタルコアリキト

○「アブシインチン」 Absylin.

「アブシインチン」ハ無色ノ尖柱狀結晶ニシテ苦味ヲ有シ水、酒精、依的兒ニ溶解ス本品ハ的列並底油ノ如ク適宜ニ用フレハ反射機ヲ鈍麻シ抑鬱症狀ヲ呈シ多量ヲ與ヘ或ハ之ヲ用ユル久シキニ至レハ遂ニ癩癩ニ於ケルカ如キ搐搦ヲ發ス内用トシテ〇、一乃至〇、二ヲ一日二回與フレハ食慾ヲ増進シ適宜ニ大便ヲ利スルモ下痢スルニ至ラス故ニ貧血患者ノ食思缺損及便秘ニ適スト云フ

○「アサプロール」 Aspirolum. (アサラストール)

「アサプロール」ハ無色中性ノ粉末ニノ一分半ノ水及約三分ノ酒精ニ溶解ス本品ハ刺戟性ナクシテ防腐ノ效アルヲ以テ殊ニ痲瘋質斯、痛風、窒扶斯等ニ一日數回〇、五—一、〇ヲ液劑、丸劑トナシ用ユ本品ハ規尼涅、安知必林、沃度加里、硫酸鹽ト共ニ用ユ可ラス

神經痛藥

○「アガチン」 Agathinum.

本品ハ白色小板狀ノ結晶ニノ水ニ溶ケズ酒精、依的兒、「ベンツオール」ニ溶解ス約〇、〇五ノ「アガチン」ヲ強硫酸ニ溶スキハ帶褐黃色ノ溶液ヲ得ベシ今之ニ強硝酸ヲ滴加スルキハ藍色ヨリ次テ綠色ニ變ス本品ヲエ、ローゼンバウム氏ハ神經痛藥トシ賞用セリ氏ハ痲瘋質斯性神經痛、坐骨神經痛ニ一日二三回〇、一五—〇、五ヲ投シ良效ヲ收メタリト〇本品ハ光ヲ

防キ注意シテ貯フベシ

催睡及鎮靜藥

○「アンチスバスマミン」 Antispasminum.

本品ハメルク氏カ製セル「ナルセイン」製劑ニ「ナルセイン」ヲ曹達滴汁ニ溶シ之ニ撒里失爾酸曹達ヲ加ヘテ蒸發シテ「ナルセイン」那篇留膜一分子ト撒里失爾酸曹達三分子トヨリ成ル者トナス

本品ハ白色ノ粉末ニシテ殆ト無臭無味ナリ約五十%ノ「ナルセイン」ヲ含有ス水ニハ容易ニ溶解シテ淺黃色ノ液トナル「少量ハ靜鎮作用大量ハ催睡作用ヲ營ム本品ハ大量ト雖モ善ク之ニ堪ユレモ忽チ習慣トナル本品ハ莫兒比涅ヨリモ四十乃至五十倍弱キヲ以テ小兒ニ服用セシムルニ適ス

本品ハ慢性肺病ニ於テ他劑ト交代使用シ喘息及流行性感冒ニモ亦然リ催睡劑トシハ大量ヲ用ユルニ適セズ然レモ小兒科ニ於テ殊ニ痲咳、氣管枝炎、麻疹ヲ患ヘタル小兒ノ困苦ナル咳嗽ニ用ユルニ可ナリ

之ヲ服用セシムルニハ溶液或ハ滴劑トナシ鎮靜藥トシ一日數回〇、〇五—〇、一ヲ投シ小兒ニハ〇、〇一—〇、〇五ヲ與フ皮下注射ニハ局所ヲ刺戟スル性アリ

(イ)「アンチスバスマミン」一、〇 苦扁桃

(小兒ノ痲咳及聲門痲攣)

水一〇、〇

生後六ヶ月以下ノ小兒三乃至五滴

右一日二回乃至四回左量ヲ與フ

一歳以下五乃至八滴

アブシインチン アサプロール アガチン アンチスバスマミン

一歳以上八乃至十滴
二歳以上十乃至十二滴
三歳以上十五乃至二十滴

〇、〇「コンニヤク」酒 薄荷水 各
四〇、〇 屈利設林二〇〇、〇
右一日二乃至三回一食匙（流行性感
冒）

（ロ）「アンチスバスマン」一、〇 水一〇

〇「アドニスクバニヤナ」 *Adonis vernalis*.
「アドニスクバニヤナ」ハ「アドニジン」ノ成分ヲ含有シ其心臟ニ於ケル效用ハ「アドニス、ウ
エルナールリス」ニ同ジ

性狀及應用

「アドニス、ウエルナールリス」草ノ有效成分即「アドニジン」及「アドニ
ト」酸「アドニヂン」ハ無色無臭苦味ノ糖元質ニシテ酒精ニ溶解スト雖モ水、依的兒ニ溶解シ
難シ之レヲ蛙ニ試用スルニ實マ多利斯ニ類似スル作用ヲ呈ス即チ心臟筋質ノ彈力ヲ増加シ
從テ血壓ヲ亢進セシム

「アドニス」ハ迷走神經中樞起根ヲ興奮シ且ツ心臟ノ運動神經ヲ興
奮シ速ニ麻痺セシム又同氏ハ心臟病、肝臟病ニテ浮腫ヲ發スル者ニ用ヒ良效ヲ收メタリ
ライデン氏ハ血壓下降、脈搏緩徐ナル者ニ與ヘ偉效アリト本品ハ實マ多利斯ノ如ク集積作
用ナシト雖モ時トシテ惡心嘔吐下痢等ノ副作用ヲ發スルコトアリ「アドニス」ハ其效、實マ多利
斯ニ及バスト雖モ或ル原因ニ由リ實マ多利斯ヲ用ユルコト能ハサル場合ニ及ヒ實マ多利斯ニ

堪ヘサル者或ハ實マ多利斯ノ效ナキ者ニ適ス用量ハ其浸劑（四、〇乃至八、〇）一八〇、〇ヲ
毎二時一食匙宛服用セシム

「アドニス、ウエルナールリス」浸（六、〇）一五〇、〇 橙皮舍利別三〇、〇

右毎二時一食匙（心臟病、及腎臟水腫）

〇「アドニジン」 *Adonitum*.

「アドニジン」ハ無色或ハ帶黃白色苦味引濕性ノ粉末ニシテ水及酒精ニ溶ケ易ク依的兒、嘔囉
仿謨ニ溶ケズ九十度以上ニ熱スレバ黒褐色ニ變シ此糖原質ハ窒素ヲ含マズ炭素四二、六〇
%水素七、五%ヲ含有ス本品ハ心臟強壯藥及利尿劑トシテ大動脈及僧帽瓣膜病ニ實マ答利斯
ニ代用ス殊ニ心筋ノ脂肪變性、心包炎、腎臟炎、心臟肥大、「アテローム」變性其他「ニコチン」
中毒、狭心症ニ一日三四回〇、〇〇二一〇、〇〇五一〇、〇一ヲ投ス

〇「アドニヂン」〇、〇一 安息香酸曹達一、五

右與十包、毎四時一包（腎臟炎）

〇「アコニチン」 *Aconitum*.

「アコニチン」ニハ其製法ト產地ニ從ヒ種々ノ製劑アリテ其化學的及生理的狀况亦從テ差異
ナシトセズ現今ハ分テ左ノ三種即チ（一）「アコニチン」（之ニ結晶性ト無形性トアリ）（二）
「ブソイドアコニチン」及（三）「ヤバアコニチン」トナス醫療上ニハ專ラ「アコニツム、ナベル
ルス」ヨリ製セル結晶「アコニチン」ヲ用ユルノミ 此製劑ハ強度同シカラスト雖モ其差僅少

アドニクバニヤナ アドニス、ウエルナールリス アドニジン アコニチン

處方

心臟強壯及
利尿劑

麻醉鎮痛劑

ニ過キス無形「アコニチン」ハ大差アル者トス「ブソイドアコニチン」及「ヤバアコニチン」ハ
毫モ結晶性「アコニチン」ニ優レル所アルヲ見ス

○結晶「アコニチン」(「アコニチン」ヲ製セルモノ) C21H33NO11

性狀

本品ハ無色稜柱狀或ハ六角形結晶狀粉末ニシテ石油依的兒、屈利設林、冷水ニ溶ケス
熱湯ニ僅ニ溶解シ酒精、依的兒ニ溶ケ易ク「アコニチン」ニ最多ク溶解ス此溶液ハ弱亞兒加里性
ニ分極光線ヲ左旋ス百八十三度ニ溶解シ之ニ酸ヲ加フレバ結晶性非引濕性鹽トナル此溶
液ニ腐蝕加里、炭酸加里、安母尼亞ヲ加フレバ白色ノ沈澱ヲ生ス最モ注意シテ貯フベシ

作用

「アコニチン」ハ皮膚及粘膜ニ接スルキハ刺痒、灼熱、後チ鈍麻ヲ來ス本品ハ損傷セ
サル皮膚ヨリ吸收セラル殊ニ「アコニチン」ニ溶解セル者ニ於テ然リ○「アコニチン」ハ最猛毒物
ニ屬ス味ハ苦ク後チ辛辣破搔様ナリ少量ヲ與フレバ迷走神經中樞ノ刺戟ニ由リテ遲脈、體
溫下降、知覺及反射減少、唾液、利尿及時トノ發汗ノ增多ヲ致ス大量ノ後ハ流涎、嘔氣、腹部
雷鳴、嘔吐、下痢、三叉神經分布部域ノ牽掣感覺、皮膚ノ蟻走樣刺痒狀感覺、一般衰弱、瞳孔散
大、劇甚ノ呼吸困難、遲脈、後チ脈搏細小不整、知覺機消失ヲ發ス其死亡ハ呼吸麻痺ニ由リ或
ハ心動靜止ニ由ルナリ神識ハ多クハ瀕死前マテ保存ス

中毒療法

對症法(コンニヤック)咖啡涅、炭酸安母尼亞、樟腦ヲ施シ唯少量ノ服用後ニハ人
工呼吸法奏效ヲ望ムベシ亞篤魯必涅及實麥答利斯ヲ試用ス

應用

軟膏、擦劑或ハ「アコニチン」溶液ヲ筋痲麻質斯、神經痛、殊ニ三叉神經痛ニ外用ス○解

熱、發汗及利尿劑トシテ熱性炎症例之肋膜炎、肺炎、心包炎、扁桃腺炎、關節痲麻質斯、丹毒等
ニ内用セシメ其他三叉神經痛、肋間神經痛、神經性頭痛、齒痛、耳痛、神經性心悸亢進、妊婦ノ
嘔吐、月經閉止ニ供用ス

用量

本品〇、一—〇、ニヲ十分ノ脂肪、「ラノリン」、酒精、「アコニチン」溶液トナシ外用ス創
傷或ハ表皮ノ剝脫セル部分ニハ決シテ外用ス可ラズ又眼目ノ近傍ニ塗擦スルキハ軟膏眼目
ニ入ルノ恐アルヲ以テ之ヲ戒ムヘシ皮下注射ニハ〇、〇〇〇一—〇、〇〇〇二トス(「硝酸」ア
コニチン」ヲ最良トス)此注射ハ大ニ疼痛アリ○内用ニハ〇、〇〇〇一—〇、〇〇〇二(注意
ヲ要ス)ヲ一日三乃至四回丸劑、錠劑、酒精溶液等トナシ用ユ佛國ニ於テハ〇、〇〇〇五ヲ用
ユレモ宜シク此量ヲ投セサルヲ佳トス初メハ一日量〇、〇〇〇三ヲ超越ス可ラス醫師及調
劑師ハ供用スヘキ製劑ニ就テ十分知了スル所アルヲ要ス

○「ブソイドアコニチン」及「ヤバアコニチン」モ結晶「アコニチン」ト同量ヲ使用ス可シ

○結晶「アコニチン」〇、〇〇三 甘草根 十滴 「ラノリン」一〇、〇

末及膏適宜

右爲三十九、(調劑時最モ注意スベシ)

シ)一日二三丸服用

每丸〇、〇〇〇一ノ「アコニチン」ヲ

含ム)

外用塗擦料

○「アグニン」(粗製「ラノリン」ナリ)
 ○「アンチコール」(白色ノ粉末ニシテ安知歌貌林、重曹、酒石酸ノ混合物ナリ神經痛ニ〇、三〇、六ヲ用ユ)

○「アンチピロニン」(眼科ニ於テ角膜炎結膜炎ニ用ユ)

○「アスポリン」(結核ニ用ユ)

○「アウラニン」(防腐藥)

○「アグピリン」(流行性感冒等ニ用ユ)

○「アンチフンギン」*Antifungin*.

「アンチフンギン」ハ白色甘味ノ粉末ニシテ温湯四分ニ溶解シ強劇ナル消毒藥ニシテ實布垣里ノ特效藥トナシ十四%ノ者ヲ毎時五滴乃至十五滴ヲ與ヘ或ハ毎二時局處ニ塗布ス

○「アドレナリン」*Adrenalin*.

性狀 「アドレナリン」ハ工學博士高峰讓吉氏ノ創製ニ係ル極キ白色微細ノ結晶物質ニシテ其製出セラレタル溶液ノ状態ニ從テ變化スル五種ノ結晶形ヲ現ハス而シテ其結晶ハ實ニ結晶方法ノ異ナルニ從ヒ甲ヨリ乙ト互ニ相變形シ得ルモノトス即チ(一)木瘤或ハ赤茄子様(二)舟狀或ハ木葉狀(三)菱板狀及其團塊(四)細針狀(五)三稜柱狀是レナリ

「アドレナリン」ハ微ニ苦味アリ其接觸シタル舌ノ部分ニ麻痺ノ感覺ヲ殘貽ス本品ハ乾燥スル時ハ全然硬固トナリ之ヲ熱スレバ攝氏二百〇五度ニ於テ褐色ニ變ジ二百〇七度ニ於テ熔

融分解シ且ツ同時ニ膨脹ス「アドレナリン」ハ濕潤セル「ラタムス」試験紙ニ弱亞爾加里性ノ反應ヲ呈シ「フェノールフタレイン」モ亦弱亞爾加里性ヲ示ス冷水ニハ溶解シ難ケレドモ熱湯ニハ容易ニ溶解シ其溶液ハ冷却後結晶ヲ析出ス始メ無色ノ水溶液ハ空氣ニ接觸シテ容易ニ酸化シ始メ石竹様次デ赤色最後ニ褐色ヲ呈ス「アドレナリン」ハ容易ニ酸及亞爾加里ニ溶解セズ下ノ反應ハ最モ特異ナル者ナリトス即チ「アドレナリン」ノ溶液ニ鹽化鐵ヲ加フル時ハ美麗ナル翠玉綠色ヲ呈シ注意シテ之ニ苛性亞爾加里ヲ加フレバ其綠色ハ紫色トナリ次デ「カルミン」紅色トナル強酸ハ酸化鐵ノ此反應ヲ妨グ汚穢ノ帶黃綠色ニ止マラシム本品ハ甚ダ強ク銀鹽及鹽化金ヲ還元シ且ツ其液ヲ赤變ス藏化鐵及重格魯謨酸ノ如キ酸化藥ハ同様ノ變化ヲ受ク下ノ鹽基試藥即チ沃度化加留謨水銀、「ピクリン」酸、單寧酸、磷「モリブデン」酸、磷「ウオルフラム」酸、鹽化汞、重格魯謨酸加里、鹽化白金等ハ何レモ沈澱ヲ生ゼズ

「アドレナリン」ハ酸中ニ能ク溶解シ難キ鹽ヲ形成ス高峰氏ハ鹽酸、硫酸、安息香酸ノ三種ノ鹽類ヲ作レリ即チ各三種ノ酸中ニ注意シテ「アドレナリン」ヲ溶解シ真空内ニ於テ強硫酸中ニ蒸發シテ得タリ此際其殘渣ハ脆キ褐色無晶形ノ塊トナリテ空氣中ニ潮解ス而シテ之ヲ結晶セシメントセシ氏ノ盡力ハ無効ニ歸セリ

「アドレナリン」ノ亞爾加里性ハ左ノ比例ニ近シ

百分ノ「アドレナリン」ニ七三八分ノ硫酸

「アドレナリン」ハ苛性亞爾加里中ニ溶解スレドモ其溶解スルヤ空氣中ノ酸素ニ由テ變化セ

ラル、ガ故ニ氏ハ之レガ爲メニ其一定化合物ヲ得ルコト能ハザリキ
作用 「アドリナリン」ノ生理的作用ハ驚クベキ強劇ナルモノニシテ其水溶液或ハ其鹽類
ハ1:10,000ノ稀薄度ニシテ通例三十乃至六十秒時中ニ結膜ヲ白色ナラシム而シテ本品ハ有
力ナル收斂藥ナリ

「アドリナリン」ノ靜脈内注射ハ概シテ筋肉系統ニ有力ノ作用ヲ呈シ殊ニ血管ノ筋肉層ニ於
テ然リトス而シテ心臟ノ筋肉壁ニ作用シテハ血壓ノ著大ナル昇騰ヲ來タス
三十磅即一五、五基瓦ノ體重ヲ有スル犬ニ鹽化物ノ形狀ニ於ケル「アドリナリン」〇、〇〇〇
〇一六ヲ靜脈内ニ注入セシニ殆ド九密迷水銀柱ニ等シキ血壓ヲ昇騰セシム茲ニ體重一基瓦
ニ對スル「アドリナリン」ノ注射量ハ殆ド百萬分一瓦ナリ

「アドリナリン」ト副腎ノ新鮮越幾斯トノ比較試驗ヲ體重七基瓦ノ犬ニ就テ施セリ（其新鮮
越幾斯一立方仙迷ハ新鮮ノ副腎一瓦ヲ代表スル者ナリキ）茲ニ〇、〇〇〇〇〇八瓦ニ相當ス
ル「アドリナリン」溶液ヲ靜脈内ニ注入シ十四密迷水銀柱ニ等シキ血壓ヲ昇騰セシメタリシ
ニ之ト同様ノ血壓昇騰ヲ起サシメンニハ副腎越幾斯ノ〇、〇〇〇五瓦ヲ與ルヲ要シタリキ之
ニ由テ見レバ「アドリナリン」ノ副腎越幾斯ニ比シテ六百廿五倍強キヲ知ルベシ此試驗ニ使
用シタル「アドリナリン」ハ幾分ノ鹽物性夾雜物ヲ含有セル者ナリシガ故ニ純粹ナル「アド
リナリン」ハ新鮮副腎越幾斯ニ比シテ千倍以上ノ強度ヲ有スルナルベシ
體重一基瓦ニ就テ十四密迷水銀柱ニ等シキ血壓ヲ昇騰セシムル「アドリナリン」ノ量ハ一瓦

ノ一百万分一ナリトス故ニ上記量ノ十四分一ノ「アドリナリン」ハ安全ニ一密迷水銀柱ニ等
シキ血壓ヲ昇騰セシメ得ルヲ或ハ少ナクモ心臟及血壓ニ生理作用ヲ生ゼシメ得ルヲ假定
シ得ベシ吾人ハ斯ノ如クシテ體重一基瓦ニ就キ千四百萬分一ノ一瓦ヨリ多カラザル量ノ「ア
ドリナリン」ハ明ニ生理的作用ヲ生ズルトノ驚クベキ決定ニ達シ得タリ依テ大人ノ靜脈内
ニ注入セラレタル廿萬分一瓦ノ「アドリナリン」ハ能ク其著明ナル作用ヲ呈シ得ルモノナリ
應用 「アドリナリン」ノ治療的應用ハ已ニ多般ニ其新用法モ實驗者ノ異ナルニ從テ
頻々發見セラル之ヲ概言スレバ「アドリナリン」ハ局處ニ使用スレバ最モ有力ナル收斂及止
血藥トシテ認識セラレ又諸般ノ炎症ニ有效ニシテ且ツ心臟ノ最強興奮劑ナリトス本品ハ無
毒無刺戟性ニシテ又蓄積作用ノ患ナク毫モ有害ノ性質ヲ有セズ左記ノ諸病及諸症狀ノ治療
ニ於テ満足ノ成績ヲ呈セリ即チ無血手術、眼ノ疾患、耳ノ疾患、鼻加答兒及諸般ノ感冒、衄血

齒科ノ治療、咽喉疾患、心臟疾患、嘔囉仿謨麻酔、咯血、吐血、血尿、月經過多、産後出血、阿片
中毒、枯草熱、急性濕疹、血友病、眼球突出症、循環性蛋白尿、慢性肥厚性鼻炎、尿道膀胱及腎
臟ノ出血、動脈硬化症、歇兒尼亞、赤痢、痔、喘息、アチソン氏病等是レナリトス「アドリナリ
ン」ノ治療的效用ハ其發見以來日尙淺キニ關セズ已ニ疑ナク確定セラレ藥物學上卓絶ノ地
位ヲ占ムベキヲ信ズ

用量 ハ千倍鹽化物又ハ酸化物ヲ以テ定度トシ時ニ應シテ二十倍乃至三十倍ニ稀釋ス又
酒石酸鹽類トスル時ハ錠劑トナシ用ユルヲ得又本劑ハ使用ニ先チ溶液トナスヲ要ス

本品溶液ノ用法、鹽化「アドリナリン」ハ收斂薬トシテ咽喉炎、喉頭炎、氣管支炎、尿道炎、膀胱炎等ノ如キ發炎粘膜炎ニ直接ニ應用ス其應用スルヤ毛筆ヲ以テシ或ハ卷綿子ニ纏絡シタル脱脂綿ヲ以テシ時ニハ單ニ棒ヲ以テス而シテ薄弱過敏ノ發炎粘膜炎ハ刺戟或ハ搔破セザル様濕潤綿ヲ以テ注意シテ毎四時乃至五時ニ徐々ニ塗布或ハ塗擦スベシ多クハ一日ニシテ希望ヲ達ス此直接應用法ハ咽喉ノ視得ベキ部ニ用ユ(扁桃腺、口蓋、咽頭)鼻腔、後鼻腔ノ炎症治療ニハ吹撒器ヲ要ス此器ハ他ノ方法ノ及ブ能ハザル部分ニ鹽化「アドリナリン」ヲ使用スル最良方法ナリトス但シ可成微細ノ噴霧ヲ放出スル者ヲ撰ブヲ要ス其應用スルヤ先ツ扁側ノ鼻腔ニ於テシ次デ他側ニ及ビ決シテ過充ノ強力ヲ用ユベカラズ次デ數秒時間待ツ時ハ其液體ニ觸接シタル部分ハ收縮スルヲ認メ少クモ鼻腔一部ノ開通シタルヲ發見セン尙之ヲ反復スルキハ數分間ニシテ液ハ鼻腔ヲ通過シテ後鼻腔ニ吹達スルヲ得ルニ至ル

此法ニ由テ鼻腔内ニ鹽化「アドリナリン」ヲ使用スルニ一ノ注意アリ即チ粘膜炎收縮スルキハ頭蓋ノ諸空洞(ハイモル氏竇、前頭竇、蝴蝶竇、篩骨蜂窠等)ト鼻腔ト交通スル諸孔ハ廣ク開口ス故ニ患者若シ強ク鼻カム時ハ汚染セル鼻分泌物ヲ其交通管中ニ吸入シ其實中ニ炎症ヲ發セシムル危險アリ此ノ如キ不意ノ危險ハ稀ナリト雖モ尙ホ往々發生スル事アルガ故ニ古加乙涅及「アドリナリン」ノ併用ヲ行フニ至レリ

鹽化「アドリナリン」溶液ヲ微細ニ噴霧セシメ患者又能ク吸入スレバ氣管及大氣管支迄深ク達セシムルヲ得豫メ壓搾空氣ヲ用意シタル醫家ハ喉頭炎、假性格魯布、瘧咳、氣管支炎及喘

息ノ治療ニ大ニ效ヲ奏スルヲ得

溶液ノ強度ハ醫家使用ノ目的ニ從テ種々ニ變化スルモ規則トシテ弱度ノ液ヲ噴霧セシムルヲ要ス脱脂綿ヲ以テ扁桃腺、口蓋、咽頭等ノ炎症ニ塗布センニハ千倍液ヲ用ユベシ感冒、枯草熱等ニ鼻内ニ吹撒センニハ左方ヲ用ユルヲ良トス

鹽化「アドリナリン」溶液一乃至二分

定規食鹽液ヲ加ヘテ六分トス

喉頭ニ吹撒センニハ最初ハ一萬倍ヲ用ユルヲ良トス若シ效ナキ時ハ漸次其強度ヲ増シテ三千倍ヨリ千倍ニ至ラシム通常喉頭炎ニハ弱度ノ溶液ニテ充分有效ナリトス中耳ノ炎症ニハ千倍液一二滴ヲ外聽道内ニ點耳シ後鼻腔ニ能ク吹撒ス

眼ノ疾患ヲ治療センニハ此溶液一二滴ヲ下眼瞼内ニ點入スベシ中等度ノ炎症ニハ三千倍液二三滴ヲ點眼シテ病機ヲ止ムルニ充分ナリトス點眼ハ必要ニ應ジテ毎二時乃至四時行フベシ

若シ古加乙涅ヲ使用センコトヲ希ハハ豫メ「アドリナリン」溶液ヲ點眼シテ古加乙涅ノ少量ヲ以テ奏效ヲ得、且ツ其作用長カラシムルヲ得セシム斯ノ如クニシテ手術ハ無痛ナルノミナラズ無血ニ行フヲ得

尿道、腔、子宮頸等ノ如キ他部炎症ノ治療ニハ卷綿、注射器等最モ必要ナリトス膀胱ノ炎症ニ於テハ先ヅ普通ノ水ヲ以テ洗滌シ次デ「アドリナリン」溶液一六、〇定規食鹽液一三四、〇

ノ混液ヲ注入シ五分間滯溜セシム深部尿道ニハ「カテーテル」ヲ介シテ千倍液數滴ヲ注入ス尿道狹窄ニ「ブリーヂ」或ハ「カテーテル」ヲ挿入セントセバ之ヲ介シテ千倍液ヲ流入セシムレバ障礙ヲ除去シテ其通過ヲ容易ナラシム腔ノ炎症ニハ大ニ節儉的ニシテ千倍液ヲ綿塊ニ漬シテ腔壁ニ塗布シテ可ナリ

衄血ニハ先ヅ食鹽液ヲ以テ鼻腔内ノ凝血又ハ粘液ヲ洒掃シタル後千倍液ヲ噴霧スベシ此法若シ奏效不十分ナル時ハ幅半「インチ」長サ十乃至十二「インチ」ノ「リント」片ニ浸シテ鼻内ニ注意シテ栓塞ス

抜齒後齒齦ノ出血、切開後扁桃腺ヨリノ出血及ビ其他粘膜損傷ノ出血ニハ千倍液ヲ「リント」ニ浸シテ用ユ膀胱尿道ヨリノ出血ニハ前條記載セル炎症治療ト等シク應用スベシ肺、胃、腎或ハ腸等ヨリノ内出血ニハ千倍液十滴乃至卅滴ヲ内服セシムベシ

略言スレバ炎症或ハ出血ハ其發炎部或ハ出血部ニ直接鹽化「アドリナリン」ヲ應用スベシト云フニアルノミ

醫學博士保利真直氏ハ種々ノ眼病ニ用ヒテ血管收縮顯著ニシテ速ナル「コカイン」ノ比ニ非ス之ヲ結膜病ニ用ユルニ病勢ノ強弱ニ由リ藥效持續時間ニ長短アレハ點眼後暫時ニシテ直チニ全結膜面甚シク貧血トナルハ實ニ一驚セシムルニ足ル唯眼深部ノ病ニ來ル角膜周攔充血及深層ノ鞏膜炎ニハ其效結膜ノ如ク著シカラスト雖モ數回之ヲ點眼スルハ其效アリ本品ノ效力ハ一時的ニシテ久時持續シ難ク其作用モ專ラ血管收縮ニ止ルカ故ニ之ノミヲ以

テ諸眼病ヲ治療シ難シト雖モ結膜及角膜病ニ於テ之ヲ他ノ藥液ト併用スレバ其效ヲ補助スル「少カラズ」「コカイン」及「アトロピネ」ノ併用時ニ最モ然リ然レモ本品ニモ特異性ヲ呈スル人アリ點眼後却テ不快ノ疼痛及分泌過敏等ヲ訴フル者往々之アリ

眼科手術ニ對スル本品ノ效力ハ最モ顯著ニ特ニ斜視手術、虹彩切除術、霰粒腫摘出、淚囊摘出、諸種ノ眼瞼手術等ニ於テ本品ヲ「コカイン」ト共ニ點眼若クハ注射スレバ毫モ術者ノ妨害トナルベキ出血ナクシテ手術スルヲ得ベシ云々ト(醫學中央雜誌第九號)

久木田盛哉氏ハ「バセド」氏病患者ニ本品ヲ二ヶ月間連用セシニ著效ヲ奏シタリト(醫事新聞第六四一號)

醫學士保科保二氏ハ「アロンソン」氏ノ報告ニ從ヒ喘息發作ニ本品ヲ用ヒタリ

東京病院耳鼻喉科醫長佐藤信郎氏ハ「アドリナリン」ハ血壓ヲ亢進シ止血收斂ノ效アリテ急性炎症ニ向テハ消炎ノ效アリト述べ東京病院ニ於テ數十人ノ上氣道患者ニ之ヲ試ミ良結果ヲ得タリトシ其成績ヲ舉ゲタリ

醫學士淺井建吉氏ハ東京醫科大學耳鼻喉科ニ於テ主任岡田博士ノ命ニ從ヒ昨三十四年六月米國ノ高峰博士ヨリ岡田博士ノ許ヘ送り來リタル「アドリナリン」ヲ用キテ實地ニ試ミン「ヲ企テ今日マデ百廿八人ノ患者ニ試用シ同時ニ從來ノ副腎越幾斯ノ效力ト比較セン「ヲ計リタリトテ先ツ第一ノ問題從來ノ副腎越幾斯ノ缺點ハ「アドリナリン」ニテ補ヒ得ル乎ニ向ツテハ後出血ノ稀レニ來タル「ヲ刺戟性ノ微弱ナル「ヲ越幾斯ノ如ク腐敗セザル「ヲ「アドリ

ナリン」鹽基ノ結晶體ナルヲ以テ溶液ヲ造ルニ%量ヲ明確ニスルヲ得ル等ヲ述ベ第二ノ問題副腎越幾斯ノ特效ハ「アドリナリン」ニモ亦存スル乎ニ向ツテハ血壓増加作用ハ千倍乃至五千倍ノ溶液ニテ來ルヲヲ説キ止血劑トシテ又收斂劑トシテ效アリ且ツ充血ノ勢力ヲ減殺スルハカニ到リテハ「コカイン」ニ優ル旨ヲ報セリ

竹内式郎氏ハ醫科大學教授河本博士ガ醫科大學眼科並ニ自宅ニ於テ試用セラレタル「アドリナリン」ノ成績ヲ報告セラレタリ

即チ博士ハ鹽化「アドリナリン」ノ千倍溶液ノ十%ノモノヲ常用シ種々ノ眼病及手術ニ試用セラレシニ點眼液數秒時ニシテ結膜血管高度ニ縮少シテ貧血ス貧血ノ極度ハ五分乃至十分間ニシテ其レヨリ漸次藥效減退シテ約二時間ニシテ殆ンド消失ス故ニ之ヲ四五回點眼シテ斜視手術、紅彩切除術等ニ應用シ出血セザルヲ以テ便益多シトナシ亦眼瞼手術ノ際創面ヨリノ出血ハ單ニ脫脂綿ニ浸シテ塗布スルノミニテハ餘程濃厚ナル液ト雖モ充分止血ヲ確ムル能ハズ故ニ此際ハ鹽化「アドリナリン」千倍溶液二、〇、鹽酸古加乙涅〇、二、餉水一〇、〇ノモノ一筒ヲ注射スル時ハ奏效赫々タリ淚囊摘出術等ニ於ケル亦頗ル便利ナリトス
船曳泰祥氏ハ六年來頑固ノ痔血ニ惱ミ諸法效ナク貧血ニ陥レル四十三歳ノ患者ニ千倍ノ鹽化「アドリナリン」一、五阿片丁幾一、〇水一〇〇、〇ヲ一日三回分服セシメ且局部ニ單事水浸漬綿球ヲ用ヒシニ十日ニ至ク止血シ大ニ佳良トナレリト(兵庫縣醫會雜誌九二號)

防腐藥

〇「アンス」酸 *Acidum anisicum.*

「アンス」酸ハ「アンス」實ヨリ製スル者ニシテ無色針狀ノ結晶ヲナシ酒精依的兒ニ溶解シ撒里失爾酸ノ如ク防腐及ヒ解熱ノ效ヲ有ス大量ヲ溫血動物ノ靜脈中ニ注入スルニ癩癩様ノ搐搦ヲ發スルヲ見タリ而シテ外科的諸病ニ防腐藥トナシ試用スルニ良效ヲ奏シ少シモ中毒症ヲ發セス

〇「アルフタル」 *Alphol.* 「ア、ナフチール」
撒里失爾酸依的兒

本品ハ白色ノ粉末ニシテ水ニ溶ケス酒精、依的兒、脂肪油ニ溶解ス本品ハ「ベトール」ノ如ク腸ニ至リテ撒里失爾酸及「ア、ナフトール」ニ分解ス依テ本品モ亦急性關節痲痺質斯及淋毒性膀胱炎ニ〇、五—一、〇—二、〇ヲ投ス

〇「アリストール」 *Aristol C₂₀H₃₁O₂* (「ア、ニダリン」又(1))
(沃度化ニ「ナモール」)

性状 本品ハ鮮紅褐色無臭ノ極テ細緻ノ粉末ニシテ水及屈利設林ニ溶ケス僅ニ酒精ニ溶解シ依的兒及脂肪油ニ容易ニ溶解ス本品ハ依的兒性溶液ヨリ酒精ニ由リテ沈澱セラル氣温及光線ニ觸ル、キハ變化ヲ被ムルカ故ニ光ヲ遮リ黑色ノ瓶ニ貯フヘシ

作用及應用 本品ハ無臭無毒ニシテ沃度仿讓ノ代用品トシテ賞用セラル之ヲ粉末又ハ軟膏トナシ用ユルキハ毫モ殺菌ノ能力ナシ依的兒性溶液ハ作用疑ハシ本品ハ創傷及潰瘍面ヨリ吸收セラレズ之ヲ内用スルモ尿中ニ沃度ヲ證明スルヲ能ハズ本品ハ外科ニ於テ沃度仿讓ニ代用セラル其他皮膚病殊ニ鱗屑疹、梅毒性潰瘍、狼瘡ニ外用ス狼瘡ニハ直チニ用ユルモ效力ナシト雖モ豫メ患部ヲ把抓シ腐蝕シタル後ニ用ユルキハ治癒ヲ催ス軟下疳、淋疾ニハ

防腐藥

アンス酸 アルフタル アリストール

無效タリ子宮内膜炎ニ油溶液ヲ綿球ニ浸シテ腔内ニ送入シ小桿トナシ子宮腔部内ニ挿入ス
 子宮周圍炎症滲出物ヲ吸收セシムルカ爲メ坐藥トナス○甲狀腺腫ニ塗布シ火傷ニハ軟膏ト
 ナシ鼻腔、咽喉、喉頭、臭鼻、梅毒性潰瘍ニ吹布シ急性中耳炎、慢性耳漏ニ用ユ鼓室化膿ニハ
 殊ニ注意ヲ要スルヲ以テ防腐性及分泌制減ノ散布末トシテ外耳病ニノミ應用スルヲ良トス
用量 散布末ニハ純品或ハ本品一分乳糖十乃至二十分ノ者「吹入ニモ亦同量ヲ用ユ」「アリ
 ストール」依的兒(一分依的兒十分)「アリストール」古魯胃膜(一分十分)軟膏ニハ一分ト
 十乃至二十及「ラノリン」、脂肪、華攝林、脂肪油ヲ加ヘ「坐藥ニハ本品一、〇ニ柯々阿酪ヲ
 配伍ス」此溶液ヲ調製スルニハ温ヲ加フ可ラス

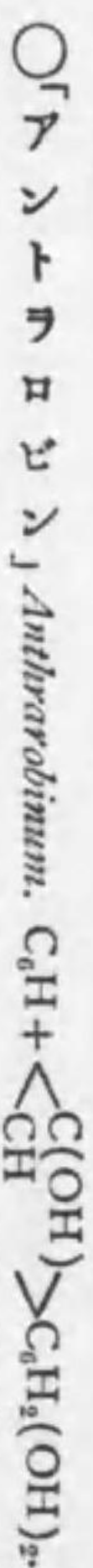
○「アリストール」三、〇 阿列布油二〇、〇 ○「アリストール」二、〇 華攝林二〇、〇

○「ラノリン」一〇〇、〇

右爲軟膏 外用(皮膚病)

右外用 (瘰癧)

皮膚病藥



性状及應用 「アントラロビン」即チ「アントラツエン」ハリーベルコン氏カ「アツア
 リン」ヲ還元シ製セル顆粒ヨリ成ル帶黄白色ノ粉末ニシテ一種固有ノ臭氣ヲ有シ百度ノ温
 ニ於テ十倍ノ屈利設林ニ溶解ス又十倍ノ酒精ニハ溶解スルモ水ニハ溶解シ難シ本品ノ作用
 ハ「クリサロビン」ヨリ弱キモ「ピロガル、ス」酸ヨリハ強シ本品ノ「クリサロビン」ニ優ルハ
 顔面及陰部ニ用ユルモ皮炎ヲ發セサルト「ピロガル、ス」酸ニ勝ルハ作用強クノ全身ヲ害セ

サルトニ在リ本品ヲ十乃至二十%軟膏或ハ十乃至二十%ノ酒精溶液トシ諸般ノ皮膚病ニ使
 用シ數週ニ互ルモ「クリサロビン」ノ如ク炎症及搔痒ヲ發セス又顔面眼險等ニ用ユルモ眼險
 腫脹、結膜炎ヲ發セスペーレント氏ハ二十五名ノ乾癬十七名ノ寄生性匍行疹及ビ二名ノ頑
 癬ニ使用シ偉效ヲ得タリ

○「アントラロビン」一〇、〇 偏里設林 ○「アントラロビン」一〇、〇 阿列布油

九〇、〇

三〇、〇 「ラノリン」六〇、〇

右温ヲ與ヘ溶解シ塗布料トス

右爲十%軟膏、(皮膚病)

(皮膚諸病)

尿器諸病藥

處方



性状及應用 「アルブチン」ハ「ウワウルシ」葉ヨリ製スル糖元質ニシテ絹絲様光輝ヲ有
 スル細針狀白色結晶ヲナシ臭氣ナク苦味ヲ有シ百六十七度乃至百七十八度ニ溶解シ冷水ハ
 分沸湯一分酒精十六分ニ溶解シ依的兒ニ殆ンド溶ケズ其水溶液ニ少量ノ過格魯兒鐵液ヲ加
 フレハ藍色ヲ呈シ多量ナレハ綠色ヲ呈ス亞兒加里及酸類ヲ加フルモ沈降スルヲナシ又稀酸
 ヲ加ヘ煮沸スレハ「ヒドロヒノン」及ビ糖ニ分解ス大量ヲ服スルモ中毒症ヲ發セス利尿ノ效
 アリ體中ニ於テ「ヒドロヒノン」及ビ糖トナリ尿中ニ「ヒドロヒノン」硫酸トナリ排泄ス而シ
 テ水劑、散劑トナシ〇、五乃至一、〇ヲ一日三回膀胱加答兒其他尿器諸患ニ稱用ス(一日量
 三、〇—四、〇)

處方

○「アルブチン」一、〇 白糖〇、五

右爲一包、一日三四回一包(膀胱加答

兒)

○「アルブチン」五、〇 餛水一〇〇、〇

右每二時一食匙(腎臟病)

消毒藥

○「アルゲンタミン」 *Argentamin.*

性状 本品ハ無色亞兒加里性ノ液ニシテ食鹽或ハ蛋白ヲ含メル液ヲ加フルモ沈澱ヲ生ス可ラス

作用及應用 本品ハシヤエフェル氏ニ從ヘハ硝酸銀ヨリモ強キ消毒作用アリ組織間液ニ遇フモ沈澱ヲ生セサルカ故ニ深く身體組織中ニ竄入ス本品ハ淋疾ニ注入スルニ速ニ淋毒球菌ヲシテ消失セシム然レモ其刺戟稍劇シキカ故ニ他ノ消炎收斂性藥物ヲ伍用スルヲ可トス

用量 尿道前部ニ注射スルニハ五千乃至四千倍「尿道後部ニハ一千倍トナシ注射ス

滋養劑

○「アルカルノーゼ」 *Alcanose.*

本品ハ爽快ノ味アル黄色粉末ニシテ溶解性消化性ノ動植物性營養物ナリ滋養品トシテ瀉腸及食道消息子ニ由リテ人工營養ヲ行フニ用ユ

本品ハ殊ニ微温湯ニ溶解シ易シ本品一分ト微温湯五分又ハ十分トナシ食匙ヲ以テ投スルヲ最良トス此一食匙ヲ一罐ノ温湯中或ハ温湯、茶、咖啡等ニ加ヘ或ハ二三食匙ヲ一皿ノ肉羹汁粘滑液等ニ混スレバ最適當ナル吸收シ易キ物トナル毎日三回此一罐宛又ハ二回一皿ノ汁液ヲ最適當トス

○「アナスバリン」(「ラノリン」)「ワセリン」ノ混合物ニシテ軟膏ノ基料)

○「アンチカムニア」(解熱及鎮痛藥)

○「アンチノンニン」(昆蟲類ノ驅除ニ用ユ)

○「アンチロイマチン」 *Anticholinin* 「フルタルロイミン」

本品ハ有機性「フルタル」化合物ニシテメルク氏ニ由レバ「フルタルフェネトール」一、〇「ジフルタルジフェニール」四、〇無水「ラノリン」八五、〇華攝林軟膏一〇、〇ノ構成ヲナス而シテ本品ハ有害ノ副作用ナシ僂麻質斯、腰痛、流行性感冒ニ賞用ス

○「アンチツツシン」 *Antichusin.*

本品ハ有機性「フルタル」化合物ニシテメルク氏ニ從ヘハ「ジフルタルジフェニール」五、〇無水「ラノリン」八五、〇華攝林軟膏一〇、〇ノ構成ヲ呈シ急性喉頭炎、痙咳、扁桃腺炎ニ塗擦ス

○「アンチ」窒扶斯越幾斯 *Antichyphus Extract.*

本品ハ「ドクトル」セツツ氏ニ從ヘハ豫メ窒扶斯菌ヲ感染セシメタル動物ノ臟器ヨリ得タル越幾斯(製法ハ略ス)ヲ腸窒扶斯ニ内用セシム此療法ニ由リテ熱ハ稽留性ヲ失ヒ二三日以内ニ弛張性ヲ呈シ脈數減少シ脈搏整正、全身調和佳良、舌濕潤清潔、尿量増加ス氏ノ經驗ニ從ヘバ熱ハ本品服後二日或ハ三日ニシテ弛張シ二三日持續シ全ク無熱トナル用量ハ大人ニ本品毎二時一食匙ヲ投シ第一回弛張ノ後ハ唯毎日三食匙ヲ内服セシメ解熱後ハ謹テ尙一二日

少量ヲ與フ

ゼニツ氏ニ從ヘハ本品ハ腸室扶斯ニ唯良效アルノミ輕微ナル有害ノ副作用ヲモ呈セズ之ニ反シテ本品ノ約百瓦ノ用後唯腸室扶斯ニ於テ數多ノ蓄微疹ヲ發セシム此現象ニ由リテ本品ハ治療的ニ其病勢ヲ短縮スル作用ノ外尙緊要ナル診斷的價値アリトセリ

アイヒホルスト氏ハ本品ヲ十二名ノ腸室扶斯ニ與ヘ良效ヲ得タリ而シテ重症ニノミ投シタルニ患者ハ凡テ四日乃至六日無熱トナリ神識全ク明瞭、調和清爽トナレリ但此療法ニ由リテ治療シタル中二回再發ヲ見タリト

○「アンチ」窒扶斯血清 *Antiphilus-Serum.* (動物ヨリ得タル第一種)

本品ハ窒扶斯菌ノ加熱培養基ヲ漸次增量シテ處置シタル動物ヨリ得タル者ニシテ冷暗所ニ貯ヘ皮下注射ニ供ス用量ハ大人ニ一日一立方仙迷ヲ適當ト認ムルマテノ間反覆行フベシ

○窒扶斯恢復期ヨリ得タル第二種血清

グ、ホルラック氏ハ窒扶斯恢復期患者ノ血清ヲ以テ腸室扶斯患者ヲ治療シタリ即チ氏ハヤクシユ氏ノ「クリニーク」ニ於テ十八名ノ患者ニ此血清ヲ皮下注射シタルニ毫モ良效ヲ得ザリキ

○「アレトリス、コルジアーネ」 *Altris Cordial.*

本品ハ子宮ノ強壯劑、ニノ月經異常、子宮出血、月經閉止、子宮炎、白帶下、常習性流産ニ效アリ一日三四回一茶匙ヲ内用セシム

○「アニリピリン」 *Antipyrinum.*

本品ハ白色ノ粉末ニシテ水ニ溶ケ易シ「アチエタニリッド」一分、安知必林二分ヲ共ニ溶解シテ製ス解熱及痲質斯藥ニシテ〇、五—一、〇ヲ蠟紙ニ包ミ一日數回供用ス

○「アンチジセンテリウム」 *Antizyentivium.*

本品ハラーゲマン氏ノ製セシ劑ニシテ「ミロバラン」、「ベルレチーリン」、玫瑰越幾斯、柘榴根皮越幾斯ヨリ成ル丸劑ナリ赤痢、吐瀉症、急慢ノ下痢、義膜性結腸炎ニ用ユ赤痢ニハ初メ四日間一日三回三丸宛、次ノ六日乃至八日間毎日四乃至六丸ヲ與ヘ其際肉食、米粥ヲ加ヘタル肉羹汁、卵黃ヲ加ヘタル羹汁、赤葡萄酒及水、茶、咖啡ヲ投スルモ牛乳ヲ禁ス新發症ニハ初メ三日乃至四日午前ニ蓖麻子油三〇、〇—四〇、〇ヲ服セシムベシ

○「アルゲントール」 *Argentol.*

本品ハ「ラキシヒノリン」硫酸銀ニシテ水ニ溶ケ難キ粉末ヲナシ無刺戟及無毒性ナリ本品若シ腐敗物質ニ接觸スルハ分裂シテ「ラキシヒノリン」ト銀トヲ遊離ス本品ハ近世ノ銀製劑ノ代用トナスヲ得ベシ本品ハ創傷療法ニ於テ肉芽ノ發生ヲ催進シ其他梅毒性潰瘍、經久潰瘍等ニ賞用セラル華攝林或ハ「ラノリン」(一分ト五十乃至百分)ヲ以テ軟膏トナシ用ヒ尿道淋ノ注射料トシ本品一分粘滑物千乃至三千分ノ者ヲ用ユ

本品ノ服後患者ハ即日收斂性苦味ヲ訴フ「ドクトル」ギウセツベ、チブリアニー氏ハ試驗的成績及臨床的實驗ニ基キ其意見ヲ述ヘテ曰ク(一)本品ハ無臭ニシテ胃液ニ溶解セサルヲ以テ此

腸防痲藥

アンチ窒扶斯血清 窒扶斯恢復期ヨリ得タル第二種血清 アレトリス、コルジアーネ
アニリピリン アンチジセンテリウム アルゲントール

性質ハ腸防腐藥トノ缺ク可ラサル者タリ(二)本品ハ腸液ニ遇フキハ「ヲキシヒノリン」及銀ニ分解セラレ此兩者ハ甚シキ防腐作用ヲ營ム(三)毒性甚僅微ナルカ故ニ一日量一、〇以上ニ増量スルモ害ナシ

解熱、鎮痛
及
痲痺質斯
藥

性状

「アスピリン」ハ撒里失爾酸ノ一新製劑(撒里失爾酸ノ醋酸體)ニ「プロフェン」
ドレーセル氏ハ之ヲ藥物學的ニ試驗セリ本品ハ白色小針狀結晶ヲナシ熔融點ハ百三十五度
ニノ三十七度ノ水ニハ一%ニ至ルマテ溶解ス尋常有機性溶解劑例之酒精ニハ容易ニ溶解ス
格魯兒鐵ヲ加フルモ本品溶液ハ藍色ヲ呈セズ本品ノ注意スヘキ性質ハ稀薄ノ亞兒加里ニ容
易ニ溶解スルト其溶解シタル液中ニハ數分時ニ兩成分ニ分解セラル、ニ在リ而シテ本品ハ
腸中ニ至リテ亞兒加里性ノ液ニ觸ル、ヤ初テ其成分ニ分裂セラル、者トナスベシ

「アスピリン」ノ通常撒里失爾酸ト異ナル點ハ則チ胃ヲ侵サズ胃中ニハ變化セスノ通過シ亞
兒加里性腸液ニ遇ヒテ初テ分裂スルニ在リトス

應用

此ノ性質ニ由リテ本品ハ撒里失爾酸曹達ニ優ル所ニ「ドクトル」クルトウイトハ
ウエル氏ハ五十名ノ患者ニ之ヲ實驗セシニ撒里失爾酸曹達ヲ嫌厭スル患者ト雖モ皆好テ
「アスピリン」ヲ服用シ其味ノ佳快ナルヲ賞セリ

同氏ノ報告ニ由レバ撒曹ノ服後劇シキ胃障礙ヲ訴ヘシ患者モ「アスピリン」ニハ此恐ナク善
ク之ガ服用ニ堪ヘ且其效力ハ關節及筋肉痲痺質斯并乾性及濕性肋膜炎ニ於テハ少クモ撒曹
「アスピリン」ヲ服用シ其味ノ佳快ナルヲ賞セリ

モ良效アリキ

其他蜜尿病及其瘡痒、偏頭痛、新發ノ流行性感冒ノ神經痛ニモ用ヒラル

眼科ニ於テ痲痺質斯性硬膜炎、淋毒性及痲痺質斯性虹彩炎、慢性及出血性綠内障ニウオルフ
ベルグ氏ハ本品ハ一日二回一、〇宛(他ノ局所療法ニ兼テ)用ヒ效ヲ得キルヒネル氏ハ急性
虹彩炎、毛樣體炎、毛樣虹彩炎、上眼窩神經痛ニ内用セシメ良效ヲ奏セリト

耳科ニ於テハブジネル氏ハ本品ヲ重症中耳炎ノ疼痛ニ投シテ著シク緩解シタリト
醫學士川島慶治氏ハ青山博士ノ許ニ於テ肺結核ニ本品ヲ試用シ醫事新聞第六百三號ニ報セ
リ其效ハ解熱ト鎮痛ニシテ他ノ解熱劑ニ優レルハ(イ)服用シ易ク(ロ)胃ヲ刺戟セス(ハ)心
臟ヲ強壯ニスル三點ニシテ厥フヘキ副作用少ナキニ在リ用量ハ一日三、〇—四、〇ニシテ糖
ト共ニ水ニ和シ一日三回乃至四回ニ分服セシメ或ハ「ラブラート」ニ包ミ投ス發汗ヲ防ク爲
メニハ樟腦酸一、〇ヲ配伍シテ可ナラント

矢島國太郎氏ハ「アスピリン」ノ「比較試驗ニ就テ」ト題シ醫事新聞第六百九號ニ報告セリ其

アスピリン

要ヲ約スレバ(一)急性痲瘋質斯ニハ奏效確實ナルモ慢性症ニハ緩慢若クハ全然無效ナリ
 (二)撒曹ニ比シテ其作用優且速ナリ(三)流行性感冒ニ於ケル解熱作用確實ニシテ且劇頭痛ヲ
 鎮靜セシムル力他藥ニ冠タリ(四)熱性疾患ニハ〇、六ニテ必ス發汗ヲ伴フ(五)通常二、〇ヲ
 三包トナシ一日量トシテ適當ト認ム(六)服用シ易ク且症狀ヲ來サス又他ノ副作用ヲ認メズ
用量 大人ニハ一、〇ヲ散劑トシ「ラブラート」ニ包ミ或ハ三四倍ノ糖水ヲ加ヘ「リモナー
 デ」様飲料トナシ少許ノ枸櫞汁ヲ加ヘテ用ヒシメ一日量四、〇—五、〇トス小兒ニハ一日三
 回〇、三—〇、五ヲ投ス

本品服用時ニハ同時ニ亞兒加里ヲ處ス可ラス蓋シ亞兒加里ハ胃中ニ於テ已ニ撒里失爾酸ノ
 分解ヲ催セバナリ

〇「アスピドスピヌロス」越幾斯 *Ex. Aspidii Spinosi.*

本品ハ條蟲ヲ驅除スル製劑ニシテ、〇ヲ投シ(一)〇宛膠囊ニ容ル(一)時間半ノ後チ下劑ヲ與
 フルニ多クハ條蟲ヲ其頭首ト共ニ排除スト云ヘリ

局所麻酔藥

〇「アコイン」 *Acain.* 「アルキロチキシフエ
 ニールケアニジン」

「アコイン」ハ製藥家ハイデン氏ノ製造シタル品ニシテ知覺脫失ノ性質ヲ具フルヲ以テ治療上
 ニ應用スベシ本品ニハ十種ノ製劑アリ(C號「アコイン」即「ジバアラアニジールモノフエネチー」
性状 本品ハ白色無臭結晶性ノ粉末ニシテ百分ノ水ニ溶解シ酒精ニハ甚溶解シ易ク依的兒
 ニハ溶解セズ甚シキ苦味アリ本品ノ溶液ハ光ヲ透リ有色ノ塊ニ貯フベシ

本品ノ溶液ヲ製スルニハ(一)「アコイン」ニ必要量ノ新鮮ノ蒸餾水ヲ加ヘテ振盪シ且暫時
 常溫ニ於テ振盪シ速ニ完全ノ溶液トナスベシ但シ之ヲ容ル、壘子ハ豫メ硝酸ヲ以テ煮沸
 シ再ヒ水ニ洗滌シタル者タルベシ若シ夫レ眞ニ純粹ノ新製蒸餾水トモモ溶解性亞兒加里ヲ
 含マサル壘子ト用ヒザルハ其溶液ハ二色性ヲ呈スベシ何トナレバ「アコイン」基體ハ
 水ニ溶解セスシテ且亞兒加里性物質(石鹼等)ノ痕跡アルモ已ニ一部分ハ析出セラルレバ
 ナリ此二色性ノ液ハ數時間靜置シタル後濾過スルルハ澄清ナラシムルヲ得此澄清液ハ暗
 所ニ置クハ數日間分解セズ此溶液ヲ製スルニハ可及的、溫湯ヲ用ユ可ラズ亦熱溶液ニ
 冷水ヲ加ヘテ稀釋ス可ラズ

(二)ダリエー氏ハ壘子ニ先ツ硝酸次ニ新製ノ餾水ヲ加ヘテ洗滌シ其壘子ニ〇、八%ノ生
 理的食鹽溶液ヲ注キテ「アコイン」ヲ加ヘ熱セスノ彼此ニ振盪シテ溶解スベシ

作用

トルロデニーエ氏ハ最初ニ本品ノ毒性及其中毒症狀ヲ決定スルカ爲メ此藥劑ヲ犬
 ニ食セシメタリ則チ試驗動物ニ早朝膠囊ニ包ミテ本品ノ一定量ヲ與ヘ而シテ其午前及午後ニ
 モ何モノヲモ食セシメザリキ此方法ニ於テ投シタル量ハ體重五乃至九「キログラム」ノ犬ニ於テ
 一回量〇、五ニ至ルマテハ概シテ反應ヲ呈セズシテ之ニ堪ヘタリ〇、七五瓦以上ニ増量スル
 ニ及ヒテ或ハ嘔吐シ或ハ死ニ陥レリ其死セシハ急性胃腸炎及腦充血(腦刺戟)ノ結果ナリ是
 ヲ以テ本製劑ハ古加乙涅ヨリモ遙カニ其毒性微少ナリトス何トナレバ同様ノ方法ヲ以テ與
 ヘタル古加乙涅ハ〇、一瓦ニシテ劇シキ神經症狀即チ異常ノ運動、知覺及意識ノ鈍麻、體溫、

呼吸及脈搏ノ著シキ増加ヲ發シ體重四「キロ」瓦半ノ犬ハ古加乙涅〇、二五ニノ劇烈ノ強直性痙攣ニ由リテ斃ル

「アコイン」製劑ノ知覺脫失作用ヲ試驗スルカ爲メニ先ツ家兎ノ眼目ヲ撰用セリ則チトロールデニーエ氏ハ初メニ本品ノ原品及濃溶液トヲ眼目ニ用ヒシニ角膜及結膜ニ數日持續セル知覺麻痺ヲ發セシモ忽チ其甚シキ炎症刺戟ヲ起セリ之ニ由リテ溶液ノ濃度ヲ減シタルニ左ニ掲グル興味アル現況ヲ認メタリ則チ本品十種諸製劑皆一致セルヲ以テ次條ニハ其中ノ一種ノ製劑即チC號ニ就テノミ論述セントス蓋シ此製劑ハ他ノ製劑ニ比スレバ溶解シ易キヲ以テ長所トスレバナリ概シテ此「アコイン」Cノ作用ハ他ノ諸劑ノ作用ニ同一トス

茲ニ調製シタル溶液ヲ家兎眼球ノ下眼瞼ニ塗布シ結膜囊内ニモ一二滴ヲ點眼シ約一分時ニノ排出セシメタリ溶液愈濃厚ナルニ從ヒ所期スル知覺麻痺忽チニ來ルカ或ハ一二分ヲ經タル後チ發シ若干時持續セリ故ニ溶液ノ濃度ヲ加減スルニ由リテ隨意ニ或ハ必要ニ從ヒ知覺麻痺ノ時間ヲ伸縮セシムルヲ得タリ則チ左ニ掲グルカ如シ

千倍ノ液ハ十五分間　四百倍ノ液ハ三十分間　二百倍ノ液ハ六十分間　一倍ノ液ハ四十分乃至八十分間　四十倍ノ液ハ一日以上

四十倍ノ液ハ眼目ヲ刺戟スレモ毫モ損害ヲ誘起セス其他上記ノ弱溶液ハ有害ナル副作用或ハ後作用ヲ認メズノ實ニ知覺麻痺完全ニノ手術ニ適當ナリトス尙一言スベキハ甚短簡ノ方法ニ由リテ弱溶液ノ作用ヲ増強シ得ルハ是ナリ則チ溶液ヲ一分間以上結膜囊ニ止ルカ或ハ

初メ一滴點眼セル後チ一二分時ニ第二滴ヲ點眼セシムルニ在リ此方法ニ由リテ強溶液ヲ用ヒタルト同一持續ノ知覺麻痺ヲ起サシムルヲ得ベシ然レモ知覺麻痺ノ長ク持續スルヲ欲セバ初メヨリ直チニ百倍ノ液ヲ使用スベシ

此新藥ハ古加乙涅ニ類スル者ニノ殊ニ家兎ノ眼目ノ知覺ヲ麻痺セシメテ眼球内接種ヲ行フニ當リテ之ヲ使用シタルニ忽チ即效ヲ得タリ本品ノ眼目ノ神經末器ニ良效ヲ奏スルノ實驗ニ基キテ之ヲ皮下及皮内ニ注射スルモ亦同效ヲ呈ス可キヲ想ヒトロールデニーエ氏ハ本品ノ濃厚液(六分水百分)ヲ犬ニ皮下注射シタリ而シテ其作用ハ單ニ局所的ニノ大量ヲ注射スルモ途ニ腦髓性障礙ヲ呈セザリキ之ニ反シ濃厚液三立方仙迷以上ヲ注射スルキハ注射部近傍ノ皮膚壞疽狀トナリ數日ヲ經過スルキハ脫離ス小量ニ於テハ毫モ壞疽ヲ發セザリキ此作用能ク現レサルキト雖モ注射後忽チ注射部ノ近傍感覺ヲ失フ者タリ此試驗ニ由リテ本品ハ一般症狀ハ勿論毫モ危險ナキ者タルヲ確定シタルヲ以テ進テシユライヒ氏ノ滲潤法ニ使用セントシ之ニ試ミタリトロールデニーエ氏ハ此注射ヲ自體ニ行ヒ且他人ニモ之ヲ施シテ對照シタリ即チ先ツシユライヒ氏ノ原液ヲ以テ注射ヲ行ヒ次デ格魯魯兒依の兒ヲ噴射シタルニ此際注射針ノ刺入ハ痛ナカリシモ已ニ寒冷トナレル組織部ノ注射ハ依の兒ヲ噴射セザリシ時ヨリモ遙カニ疼痛アルヲ見タリ故ニ其後ニ至リテハ復タ依の兒噴射器ヲ使用セザリキ然ルキハ最初ノ刺入ハ疼痛ヲ感スレモ此痛ハ前段ニ述ヘタル注射痛ニ比スレバ素ヨリ論外タリ

是ニ於テカトロールデニーエ氏ハ古加乙涅ニ代ヘテ左方ニ從ヒ「アコイン」ヲ用ヒタリ

○「アコイン」〇、一 鹽酸莫兒比涅〇、〇二 食鹽〇、二 餛水一〇〇、〇

此溶液ヲシユライヒ氏ノ法ニ從ヒテ皮下ニ注射シタルニ刺入部及注射部隆起ノ形成ニ當リテ微痛ヲ起シタレモ此痛ハ組織中ニ液ノ進入スルカ爲メニ起リタル者ニシテ注射スルキハ稍之ヲ緩解セシムベシ局部ニ生シタル注射隆起部ハ其蔓延スルニ從ヒテ忽チ全ク知覺ヲ脱失シタリ今ヤ益々注射スルキハ滲潤面ヲシテ増大セシメ其際痛ヲ覺フルコトナク其後疼痛ヲ貽サ、リキ而シユライヒ氏原液ヲ用ヒタルキノ如ク注射局部ノ近傍ニハ紅暈ト輕度ノ腫脹トヲ呈セリ此現狀ノ原因ハ其後ノ研究ニ由レハ溶液ノ食鹽ヲ含ムコト過少ナルニ歸セリ生理的食鹽溶液ニ倣テドロルデニエ氏ハ〇、二ニ代ヘテ〇、八ノ食鹽ヲ加ヘタルニ此不快ノ副作用消失セリ加之、之ニ由リテ注射其者ハ全ク痛アラサルノ益ヲ得タリ

終ニ尙鹽酸莫兒比涅ノ此處方ニ於ケル知覺麻酔作用ヲ論述セントス即チ〇、〇二%ノ莫兒比涅溶液ヲ皮内ニ注射スルニ久時ニ瀰ル劇痛アリテ毫モ知覺脱失ヲ呈セサリキ依テトロルデニエ氏ハ處方中ヨリ鹽酸莫兒比涅ヲ除去シタリシニ毫モ麻酔作用ノ妨害ヲ認メサリキ是ニ由リテ知覺脱失液ヲ左方ノ如ク變更シタリ

○「アコイン」〇、一 食鹽〇、八 餛水一〇〇、〇

此處方ニ於テ廣ク本品ヲ試用シタルニ些ノ損害ヲモ招カス加之、注射ニ由來スル反應モ頗ル僅少ニシテ前方ヨリモ速ニ消散シタリ

此皮内注射ニ由來スル知覺脱失ノ持續ニ關シテ留意スヘキハ此注射ハシユライヒ氏原液ノ

注射後ヨリモ著シク長ク其效ヲ持續スルコト是ナリ即チ注射後同局部ニ約四十分乃至五十分其效持續シ次テ知覺部ノ限界ハ徐々ニ注射部ノ中心ニ向ヒテ減退シ來ル例之、一仙迷ノ平面ニ注射シタル後、一時半乃至一時ヲ經ルトキハ尙一乃至三密迷ノ知覺脱失部ヲ殘スカカ如シ弱溶液例之、〇、〇五%ノ「アコイン」ヲ用ユルモ知覺脱失ハ約三十分持續ス

本品ノ溶液ヲ貯フルニハ宜シク直接ニ來ル光線ノ影響ヲ甚クシク受クルコトヲ避クヘシ然レトモ此影響ヲ受クルモ其效力ヲ失フニ非ス唯暗處ニ貯フルトキハ久時保存スルヲ得ヘシ絲狀菌或ハ分裂菌ハ毫モ本品溶液ニ影響セス甚濃厚液ニ於テハ強キ防腐作用アリ使用ニ適スルカ如キ弱溶液ニ於テモ毫モ分裂菌ヲ發生セス本品溶液ヲ開放シタル器ニ容レ三日乃至十一日氣中ニ放置シ次ニ之ヲ寒天扁平培養上ニ灌注シタルニ每常此溶液ハ無菌ナルヲ認メタリ然レモ注射ニ供スル溶液ハ毎回新製スルカ若クハ煮沸シテ用ユルヲ至當トナスカ如シ

應用

トロルデニエ氏ハ本品ヲ「コカイン」ヨリ毒性少キモノトシ稀薄液ヲ局所麻酔藥トシテ皮下注射ニ賞用セリダリエー氏ハ眼科ニ於テ角膜炎、視神經炎等ニ於テ結膜下ニ注射セリ此注射ハ刺入後二三分間ハ稍痛アリ「コカイン」ヲ加フルキハ殆ト無痛トナス唯ダリエー氏ニ從ヘハ「アコイン」ハ眼瞼ノ腫脹ヲ誘起ス但シ此疼痛ハ「アコイン」ト共ニ三格魯兒沃度(千倍液)ヲ注射スルキハ消散スル者ニシテ然ルキハ注射筒内ニ於テ少シク混濁ヲ生スレモ知覺脱失ノ作用ヲ失ハズトロルデニエー氏ノ液ハシユライヒ氏ノ原溶液ニ優リテ其作用四十分乃至五十分時間持續ス

濃厚液ハ腐蝕スルカ故ニ皮下注射ニ用ユ可ラス

○「アコイン」〇、〇五 鹽酸古加乙混〇、

〇藏化水銀〇、〇一 食鹽一、〇 餾水五

一 八%食鹽液五、〇

〇、〇〇「アコイン」溶液(百倍ノモノ)

右注射筒ノ一二分マテヲ結締織下ニ

一滴

注入スベシ(ダリエー氏)

右四分一筒ヲ結膜下ニ注射ス

○「アクアツツラン」(強壯劑)

○「アガリチン」 Agaricinum. $C_{10}H_{18}O_8H_2O$.

盜汗藥

性狀及應用

「アガリチン」ハ落葉松菌ヨリ製スル白色結晶性粉末ニシテ水ニハ只僅ニ溶解ス其液ハ酸性反應ナリ依的兒、酒精ニハ溶解ス熔融點ハ百二十度乃至二十九度ナリ肺癆患者ノ盜汗ニ偉效ヲ奏シ其效五乃至六時間持長ス故ニ「アガリチン」ハ亞篤魯必涅ノ良好ナル代用品ニシテ亞篤魯必涅ニ比スレバ害極テ少シ其他肺癆患者ニ用ユレハ睡眠ヲ促シ且ツ咳嗽刺戟ヲ減シ又體溫脈搏ヲ減少スル性アリ本品ハ強ク局所ヲ刺戟スルカ故ニ皮下注射スルルハ發炎、化膿シ大量ノ後ハ吐瀉ヲ來ス

用量

ハ〇、〇〇五—〇、〇三一回極量ハ〇、一ナリ容易ニ下痢ヲ發スルヲ以テ阿片ヲ加ヘ内服セシム〇カール氏ハ〇、〇二或ハ〇、〇三ヨリ〇、一迄ヲ内服セシムルニ止汗作用ハ暫時間ノ後ニ現ハレ二十四時持續ス

處方

(イ)「アガリチン」〇、一 甘草末及甘草膏

各適宜

右爲二十九臨臥一丸漸次増量五丸

(ロ)「アガリチン」〇、〇〇五 托氏散〇、二

(盜汗)

右爲一包、與十包、朝夕一包(盜汗)

○「アスピロスピリミン」 Aspirospirinum. $C_{22}H_{38}N_2O_2$

本品ハ無色ノ稜柱狀結晶或ハ細微針狀結晶ニシテ酒精、ベンチン、噶囉仿謨ニ溶ケ易ク依的兒ニ僅ニ溶解シ冷水ニ溶ケ難シ過格魯兒鐵ヲ加ヘ熱スルルハ紅色ヲ呈ス本品ハ主トシテ呼吸ニ感作スル者ニシテ大量ノ後初メ呼吸數及深サ増加シ呼吸困難トナリ體溫下降ス大量ヲ投スレバ呼吸麻痺ニ由リ搖蕩シテ斃ル本品〇、〇〇三ハ人ニ於テハ筋肉振顫ヲ起ス本品ハ呼吸困難ニ内用セシメ熱性病ニ解熱劑トス用量〇、〇〇一—〇、〇〇二トス

○「アイゴン」 Aigon.

「アイゴン」トハ沃度蛋白及貌羅謨蛋白ニシテ種々ノ沃度劑及貌羅謨劑ヲ製スルニハ左ノ諸劑ヲ用ユ

(一)沃度「アイゴン」(沃度「アルブメン」)

鮮褐色無臭無味ノ粉末ニシテ水ニ溶ケス二十%ノ沃度ヲ含有ス此沃度ハ亞兒加里及尙容易ニ酸類(故ニ胃中ニ於テ)ニ由リテ分離セラル本品ハ殊ニ外用ニ適ス創傷療法ニ於テ沃度仿謨ニ代用シテ乾燥劑及消毒劑トス毒性ナク又濕疹ヲ發生セズ

(二)沃度「アイゴン」那篤留謨

本品ハ殆ト白色全ク無臭ニシテ殆ト無味ノ粉末ナリ約十五%ノ蛋白ト那篤留謨ニ化合セザル

アガリチン アスピロスピリミン アイゴン

沃度トヲ含有ス冷水ニ少シク溶解シ熱湯ニ容易ニ溶解ス本品ハ最貴重ナル賞用スベキ有機性沃度劑ニシテ殊ニ内用ニ適スル所ノ沃度亞兒加里ノ代用品ニシテ、一〇、三〇、五ヲ水ニ溶解シ一日三回投與シ或ハ錠劑、麥芽越幾斯、葡萄酒單含ニ加ヘ用ユ一日量二、〇トス
(3)百弗頓沃度「アイゴン」

本品ハ頗ル沃度「アイゴン」那篤留謨(約十五%ノ沃度ヲ含ム)ニ類スル者ニシテ水ニ溶解シ胃ノ消化障礙アルモ容易ニ吸收セラル、長所アリ用量ハ前者ニ同シ
沃度「アイゴン」ハ驅梅藥及腺病藥トシテ沃度加里ニ比スレバ優レリ蓋シ胃ヲ刺戟セザレバナリ又沃度仿謨ノ代用品トシテ陰莖硬下疳ニ撒布シテ著效アリ「アイゴン」ハ殊ニ梅毒療法ニ適スルヘマン氏ハ「アルファ、アイゴン、ナトリウム」ヲ腐蝕藥及收斂藥トシテ賞用セリ角膜炎、角膜炎、フククテン「性眼炎」(一—二%ノ軟膏、二—五%ノ水溶液)攝護腺肥大(二—四%ノ坐藥)ニ用ユ梅毒ニ由來スル脊髄炎ニハ五%液ヲ投スゴルドマン氏ハ十%ノ貌羅謨「アイゴン」ト五%ノ沃度「アイゴン」ノ混合物ヲ撒布末トシテ沃度仿謨ニ代用セリ慢性鼻加答兒ニハ貌羅酸「アイゴン」〇、一及沃度「アイゴン」〇、〇五ヲ「ブーシ」ニ塗リテ挿入スベシ皮下注射ニハ疼痛アルヲ以テ適セス、唯少量ノ沃度ノミヲ奏效セシメントシ上記ノ諸製劑ヲ用ユル能ハサル場合ニハ本製劑ノ製藥會社ニ於テハ左劑ヲ製シテ供用セリ
沃度蛋白化麥芽越幾斯(蛋白ト〇、〇三%ノ沃度ト化合ス)沃度蛋白丸(全量二〇、〇ヲ百丸トス每丸蛋白ニ化合シタル沃度〇、〇〇四ヲ含ム)沃度蛋白化滿俺鐵液(〇、六%鐵、〇、一%

ノ滿俺、蛋白ニ化合シタル〇、〇三%ノ沃度)等ナリ

外用ニハ左ノ製劑ヲ用ユ

沃度蛋白膠帶(五%及十%ノ「ア、アイゴン」ヲ有スル膠製綑帶)沃度蛋白硬膏(五%及十%ノ沃度蛋白軟膏(五%及十%)坐藥(二%)「アイゴン」石鹼(五%ノ沃度「アイゴン」)等トナス

〇沃度「アイゴン」那篤留謨「ペプトン」沃

度「アイゴン」五、〇 餛水一五〇、〇

右一日三四回半乃至一食匙 餛水二〇、〇 橙皮舍一八〇、〇

(4)貌羅謨「アイゴン」(貌羅謨蛋白)

本品ハ白色殆ト無臭無味ノ粉末ニシテ水ニ溶解セズ不快有害ノ副作用ナシ約十一%ノ貌羅謨ヲ含ム屈利設林、酒精、依的兒、嘔囉仿謨ニハ殆ト溶解セズ本品中ニハ貌羅謨水素酸ノ痕跡ト共ニ唯結合シタル貌羅謨ヲ含有ス本品ハ癩癩、神經痛、神經衰弱、不眠、痙咳ニ内用セシメ外用ニハ創傷療法、花柳病、水泡疹、赤色苔癬、感冒ニ投ス用量ハ貌羅謨加里ニ同シ大量(二〇、〇マデ)ヲ用ユルモ毫モ貌羅謨中毒ヲ起スコナシ

(5)百弗頓貌羅謨「アイゴン」(貌羅謨百弗頓)

本品ハ白色ノ粉末ヲナシ殆ト無臭無味ニシテ水ニハ稍容易ニ溶解シ約十%ノ貌羅謨ヲ含有ス本品ハ貌羅謨「アイゴン」ト同一ノ場合ニ用ユゴルドマン氏等ハ神經衰弱性頭重、不眠、歇私的里、癩癩、舞蹈病并ニ脊髓癆ノ劇痛ニ〇、一—〇、五ヲ與ヘ歇私的里性癩癩發作ニハ一日

一、五—四、〇ヲ投ス用量ハ内用ニ一日三回〇、五—一、〇—一、五ヲ投シ漸次増量シ一〇、〇ニ至ル、坐薬ニハ二%ナリ

○「ペプトンブロムアイゴン」五、〇ヲ箇
利設林一五、〇 箇水一三五、〇
〇「ペプトンブロムアイゴン」五、〇ヲ箇
右弱溶液ニシテ唯屈利設林ニ由リ貯藏
セルル一食匙宛投用

右一咖啡匙宛投用

○「アイランツス、グランドニローサ」(腸内驅蟲劑)

○「アラングウム」(吐根ノ代用劑)

○「アラントール」(防腐藥)

○「アレトリス、フアリノーサ」(強壯健胃劑)

○「アルラマンダ、カタルチカ」(此葉ノ煎劑ヲ下劑トス)

○「アルゴニン」Argonin 乾酪化銀

淋疾藥

性状 本品ハ白色微細ノ結晶ニシテ冷水ニ溶ケ難ク温湯ニ溶ケ易シ硝酸銀ト異ナルハ水溶液ハ中性ニシテ食鹽溶液ヲ加フルモ沈澱セズ硫化亞兒加里ヲ加フルモ毫モ硫化銀ノ黑色沈澱ヲ生セザルニ在リ本品ハ蛋白含有液ニ於テモ沈澱ヲ生起セス光ニ遇フキハ自ラ分解スルカ故ニ黒瓶ニ貯フヘシ本品ノ溶液ヲ製スルニハ本品ヲ陶皿ニ容レテ等分ノ屈利設林ヲ加ヘテ研磨シ此軟泥ニ處方シタル熱湯量ヲ加フルニ在リ此液ハ黑色瓶ニ貯フベシ

作用及應用

本品ハ強キ殺菌ノ性アリ實地上ニ用ユル濃度ニ於テハ腐蝕スルヲナシ本品ハ硝酸銀ニ代用セラル

ホルツ氏ハ淋疾ニ本品ノ三乃至七、五%溶液ヲ注射シタルニ通常三週間ニシテ淋毒球菌消失セリ其際刺戟症狀ヲ見ス又淋疾ノ諸期ニ用ヒテ效アリヨゼフ氏ハ七十名ノ淋疾患者ニ一乃至二%ノ液ヲ用ヒ實驗中其十五名ハ八日乃至九日ニシテ淋毒消滅シタリ本品ハ淋毒菌ヲ速ニ殺滅シ且尿道粘膜炎ヲ刺戟セサルヲ以テ淋疾ノ治療上大ニ實用スベキ者ナリト云ヘリ

東京大學士肥博士ノ許ニ於テ木下藤一氏ハ急性性淋四名慢性淋九名ニ本品ヲ實驗シ東京醫事新誌第千八百七十七號ニ報告セリ用法ハ一日一回一、五—二%ノ液ヲ注入セリ自己洗料ニハ一%慢性淋ニハ一%液ヲ用ヒタリ治療ノ方法正確ナルキハ本品ハ治淋藥中ノ有力品ノ一タル價値アリト云ヘリ

用量 外用ニハ一、五%ノ水溶液トス之ヲ調製スルニハ本品ノ粉末ヲ硝子蓋中ノ冷水ニ定量ニ溶解スルマテ善ク攪拌シ然ル後チ此硝子蓋ヲ約九十度ノ重湯煎上ニ置キ其際「アルゴニン」ハ溶解シテ螢石彩アル液トナル之ヲ振盪スルキハ其溶解ヲ催スベシ終ニ硝子綿ニ由テ濾過シ光ヲ遮リ黑色瓶ニ貯フベシ

○「アルゴニン」一、五—二、〇 水一〇〇、〇

右黑色罐ニ容ル、尿道注入料(淋疾)

左ニ新「アルゴニン」アリ之ヲ掲ク

アルゴニン

○溶解性「アルゴニン」 Lösliches Argonin.

單純ノ舊「アルゴニン」ハ水ニ溶ケ難キヲ以テ近時ヘクスト社ニ於テハ十%ノ銀ヲ含メル新「アルゴニン」ヲ製造セリ此品ハ微細ナル黄色粉末ニシテ甚容易ニ冷水ニ溶解ス而シテ此溶液ハ月餘貯藏スルヲ得ベシ

本品溶液ニ稀鹽酸、食鹽或ハ硫化水素ヲ加フルモ沈澱セズ然レモ強鹽酸ヲ加フレバ水ニ溶解スル沈澱ヲ生ス又蛋白ヲ凝固セス用法用量ハ舊「アルゴニン」ニ同シ

○「アチエトン」 *Actonum* 魚性脂肪 「メサットアルコホル」

本品ハ無色ノ流動シ易キ液ニシテ發火シ易シ固有ノ臭氣アリ隨意ノ比例ニ於テ水、酒精、依的兒ニ混和シ沸騰點ハ五十六度比重〇、七九二ナリ〇發火ノ危険アリ

本品ハ局部ヲ刺戟スル性アリ緩下劑トシテ應用セラル外用ニハ本品阿列布油等分ノ者ヲ用ユ

○「アロイロナート」 *Aluronat*.

本品ハ帶黄白色無味ノ粉末ニシテ容易ニ消化セラレ專賣特許的ノ方法ニ由リテ製造セル植物性蛋白ニシテ大ニ滋養ノ效アリ蜜尿病患者ノ食餌ニ供用ス

○「アルソール」(醋酸酒石酸亞爾密紐誤ヲ見ヨ)

○「アネジン」 *Anesin* (「アチエトン」) (「アネソン」)

本品ハ水様澄明ナル1%ノ「アチエトン」コロロフォルム液ニシテ樟腦及薄荷腦様ノ香氣アリ

麻酔藥

養管劑

人ニ〇、五—一、〇ヲ投スルニ催眠ノ效アリ血液ニハ毫モ作用ヲ及ボサス呼吸、血壓、心機ヲ減少ス局所麻酔ノ作用アリ本品1%ノ液ハ二—五%ノ古加乙涅溶液ニ應ス

「ドクトル」ヨハン、アンタール氏ハ無害ノ麻酔藥トシテ拔牙術、ニ皮下注射シ著シク疼痛ヲ減少セリ殊ニ拔牙間及其後モ更ニ何等ノ副作用或ハ後作用ヲ呈セズ

ステルンベルグ氏ハ小外科手術ニ皮下注射シ其良效アリシヲ報告セリ曰ク(一)本品ハ大人ニ十七瓦ヲ用ユルモ有害ノ副作用ナク之ニ堪ヘ危険ナシ又刺戟作用ヲ起サズ(二)本品ハ注射後忽チ知覺脫失ヲ起シ三分乃至十分間ノ後ニ現ハル(三)本品ハ創傷ノ縫合ヲ無痛ニ行フニハ針ノ創縁刺入部ニ少量ヲ注射スレバ足レリ(四)皮下蜂窠織炎ニ於テモ充分ノ知覺麻酔ヲ起サシム

皮下注射ノ用法及用量ハ拔牙術ニハ半乃至一筒(本品半乃至一仙瓦)ヲ用ユ通常三分ノ後ニ知覺麻酔ヲ來タス

○「アニチン」及「アニトール」 *Amylin und Amylole*.

或硫酸含有ノ炭化水素ニ強硫酸ヲ加ヘテ之ニ安母尼亞ヲ以テ中和シ次テ之ニ酒精ヲ注加シ酒精及水ニ溶解セサル部分ト共ニ炭化水素ニ硫酸ノ感作スルニ由リテ生成セル硫酸エステル所ノ(酒精并ニ水ニ溶解スル)產物ヲ含有ス之ヲヘルメルス氏ハ「アニチン」ト名ケタリ

「アニチン」ノ乾燥セルモノハ帶褐黑色引濕性ノ粉末ニシテ隨意ノ比例ニ於テ水ニ溶解ス本品ハ炭素、水素、酸素ノ外硫黄一六、五%及安母尼亞四、五%ト含有ス「アニチン」ハ其水溶液

溶解劑

溶解性アルゴニン アチエトン アロイロナート アネジン アニチン及アニトール

ヨリ石鹼ヲ以テ亞兒加里性トナスニ由リ變化セスノ析出セラレ此ニ生セル沈澱ハ水ヲ注ク
キハ再ヒ溶解ス

「アニチン」ハ他ノ水ニ溶解セサル物質ヲ「アニチン」ノ存スルニ由リテ水ニ溶解セシムル性
質アリ此ノ如ク「アニチン」ニ由リテ得タル液ヲヘルメルス氏ハ「アニチン」ト名ケタリ種
々ノ物質ノ溶解力ハ其物質ノ性質ノ外、「アニチン」溶液ノ濃稠如何ニモ關係ス其益、濃稠ナ
ルニ從ヒ水ニ不溶解ノ物質ヲ攝取スルコト愈、多シ此ノ如ク「アニチン」ハ不溶解性物質ヲ溶
液トナス性アルニ由リテ消毒作用アル物質ニ其溶解力少キカ爲メニ從來唯稀薄ナル者ノ
ミヲ使用シタル品ヲ濃溶液トナシ用ヒ實地上消毒ニ必要ナラシムルコトヲ得タリ

ロエフレル氏ハ「アニチン」ノ殺菌作用ヲ試驗セリ然レモ氏ノ検査ハ「アニチン」ノ外四十
%ノ「エム、クレソール」ト六十%ノ「アニチン」トヲ含メル「メタクレソール、アニチン」及
十%ノ沃度ト九十%ノ「アニチン」トヲ含メル沃度「アニチン」ニ限レリ

本品ハ實布埜里桿菌及脾脫疽桿菌、鏈鎖狀球菌ニ對シテハ發育ヲ制止セリ他ノ幼微機生體
ニ影響スルコト少キヲ以テ此點ニ於テハ「イヒチヤール」ノ如シ

二%「クレソール、アニチン」溶液ハ僅ニ皮膚ヲ刺戟スルノミ其一%液ハ全ク作用セス此液
ハ手ノ消毒及傳染性創傷ノ消毒ニ適スロエフレル氏ノ實布埜里ノ局所療法ニ於テモ二%
「クレソール、アニチン」溶液ヲ試用スベキヲ賞讃セリ

○「アナカルジウム」硬膏 *Anacardium-Plaster*.

本品ハ「アナカルジウム」實ヨリ製シタル者ニ有カナル、漸次無痛、奏效スル、皮膚刺戟劑
トシテ殊ニ氣管枝炎及之ニ由來スル喘息、自覺苦痛、坐骨神經痛（其一乃至三個ヲ上腿前面
ニ貼ス之カ爲メニ痔瘡ヲ生セズ或ハ腓腸部ニ貼スルコトアリ）局所痲痺質斯（痲痺質斯性腰
痛）乾性肋膜炎、ニ賞用ス即チ患部ノ上又ハ近傍ニ之ヲ貼シテ週餘放置シ自然ニ脱落スルニ
至ルベシ時トノ本品ノ爲メニ下在ノ皮膚若クハ其近圍ニ癢痒アル輕キ炎症ヲ發起スルコト
アリ

○「アイロール」 *Ainol. C₆H₆BrO₆*.

防腐藥

性状及應用

「アイロール」ハ一種ノ蒼鉛化合物即チ化學上酸化沃度沒食子酸蒼鉛ニ
シテ蒼鉛ト沃度ト沒食子酸ヨリ集成ス本品ハ灰白色無臭無味ノ粉末ニシテ水、酒精、依的兒
ニ溶解セズ曹達滴汁及稀磷酸類ニ容易ニ溶解ス濕潤ニ遇ヘバ少許ノ沃度ヲ含メル橙黃色ノ
產物ニ變ス本品ハ組織ニ觸ルレハ其成分殊ニ沃度ヲ容易ク遊離シテ其效ヲ奏ス故ニ其作用
沃度仿謨ニ似タリ含沃度防腐藥ニシテ殺菌作用ノ外ニ分泌ヲ減シテ乾燥シ大ニ肉芽ノ發生
ヲ促スノ效アリ沃度仿謨ニ比スレハ無臭ナルト無毒ナルト刺戟ナキトノ益アリ乾燥空氣中
ニハ變化セスト雖モ濕潤空氣或ハ水或ハ組織液ニ觸ルレハ其成分ノ一部ヲ遊離シテ沃度及
ヒ沒食子酸ニ同シキ鹽基性化合物ニ變化ス近年最モ採用スル防腐藥ニシテ左ノ場合ニ適用
ス

外科的應用 (イ)手術創ニ用キテ沃度仿謨ニ優レリ其法ハ創内ニ少量ノ「アイロール」ヲ撒

布シ創口ヲ縫合シ創縁ニ厚ク「アイロール」ヲ撒布シ其上ニ二十%ノ「アイロールガーゼ」ヲ置キ滅菌綿帶ヲ爲ス又「アイロール」古魯胃膜(十%)ハ小創ニ外用シテ大ニ宜シ (ロ)縫合シタル創傷ノ閉鎖綿帶ニ用キテ效アリ其法ハ篋ニテ二十%「アイロール」泥劑ヲ厚ク縫合創部及附近ニ塗リ針痕部ニハ指ニテ能ク塗擦シ薄キ綿花層ニテ輕ク壓シ綿帶ス (ハ)新創ニハ先ツ石炭酸水ニ清洗シ本品ヲ撒布シ其上ヲ綿帶ス往々大ニ止血ノ效ヲモ奏スルコトアリ (ニ)爪床炎ニハ其肉芽面ニ本品ヲ撒布シ綿ヲ以テ被ヒ綿帶ス (ホ)火傷ニハ大ニ效アリ第二度ノ火傷ハ本品ヲ撒布スレハ二日內ニ硬キ痂ヲ結ヒ殆ト綿帶ヲ要セサルニ至ル第三度ノ火傷ニモ亦宜シ (ヘ)下脚潰瘍ニ撒布スレバ其效沃度仿謨ニ優レリ

皮膚病及梅毒科的應用 (イ)硬性下疳ニハ先ツ潰瘍ヲ清洗シ厚ク本品ヲ撒布シ其上ニ灰白水銀硬膏ヲ貼シ二日ニ一回此法ヲ反復ス (ロ)丘疹、潰爛性護膜腫ニ撒布シテ大ニ效アリ (ハ)横痃ニハ先ツ切開シ搔爬シ「アイロールガーゼ」ヲ以テ其腔ヲ填塞シ始メハ五日後次ハ七八日後ニ其綿帶ヲ交換ス又患部ヲ清洗スルノ後横痃ヲ穿刺シ膿ヲ排泄シ注射器ニテ「アイロール」偏里設林(偏里設林一〇〇、〇「アイロール」一五、〇)ヲ注射シテ膿瘍腔ヲ十分ニ充滿シ此法ヲ五日乃至七日間ニ五回乃至七回反覆スルモ亦可ナリ (ニ)淋病ニ右ノ「アイロール」偏里設林ヲ注射シテ效アリ七回乃至八回反覆スレハ慢性淋ト雖モ善ク治ス

眼科的應用 (イ)角膜潰瘍及膿瘍ニ用ヒテ良シ其法先ツ古加乙涅水ヲ點眼シテ知覺ヲ奪ヒボーマン氏消息子ニ卷キタル綿布ニテ其潰瘍或ハ膿瘍ヲ清潔トナシ後「アイロール」層ニテ

潰瘍面ヲ被覆ス (ロ)水泡性角膜炎ニ本品ヲ撒布シ或ハ五乃至十%ノ「アイロール」華攝林軟膏ヲ貼ス (ハ)「トラホーム」ニハ撒布藥トノ用ユ (ニ)初生兒膿漏ニハ「アイロール」華攝林(一ト二十)ヲ筆ニテ眼瞼ニ塗リ十分間ヲ經テ除去ス

產科及婦人科的應用 (イ)陰部剝脫療法ニハ其部ニ撒布ス (ロ)慢性化膿性子宮頸管加答兒ニハ先ツ頸管ヲ清淨シ本品ヲ撒布ス (ハ)子宮炎ニ用ユ其法ハ「アイロール」偏里設林(偏里設林四立方仙迷ニ「アイロール」一、〇)ヲ混シテ攪拌シタルモノ)ヲ子宮內栓球ニ浸シテ用キ或ハ腔栓球ニ浸シテ用キ或ハ防腐藥ニテ子宮腔ヲ洗滌シ綿ニテ拭フノ後「アイロール」偏里設林ヲ浸シタル栓球ヲ徐々ニ子宮內ニ挿入シ二日間ヲ經テ除クモ可ナリ (ニ)凡ソ沃度仿謨「ガーゼ」ヲ用ユル場合ニハ「アイロールガーゼ」ヲ代用スルヲ可トス

耳鼻咽喉科應用 (イ)慢性鼻炎及鼻ニハ本品ヲ撒布シ或ハ五%ノ「アイロール」華攝林軟膏ヲ貼用ス (ロ)慢性喉頭炎及結核性喉頭潰瘍ニハ本品ヲ撒布シ良シ (ハ)慢性耳漏ニ本品ヲ吹入スレハ速ニ分泌ヲ減シテ效アリ

吉田忠氏ハ土肥博士ノ許ニ於テ沃度仿謨ニ代用スベキ諸乾燥制腐劑殊ニ「アイロール」ノ皮膚病梅毒科ニ於ケル效力ニ就テト題シ比較詳論シタル後結論シテ曰ク能ク沃度仿謨ノ短處ヲ補ヒ而カモ其效ニ於テ多ク之ニ讓ラサル乾燥制腐藥トシテ吾人ハ自家ノ經驗ニ基キ「アイロール」ヲ以テ至當ナルヲ信スト全文ハ東京醫學會雜誌第十三卷第四號ニアリ

(イ)「アイロール」五、〇

彈力古魯胃膜

四五、〇

右「アイロール」古魯胃膜ト稱ス

(ロ)「アイロール」五、〇 酸化亞鉛五、〇

石松子五〇、〇

右撒布藥トナス輝裂ニ偉效アリ

(ハ)「アイロール」二、五乃至五、〇 華攝

林四五、〇

右「アイロール」軟膏ト稱ス

(ニ)「アイロール」二、〇 餛水五、〇 屈

利設林一五、〇

右外用 十立方仙迷ヲ二回宛尿道ニ

注入ス

下劑

○「アロイン」 *Alumina*

本品ハ淡黄色無臭ノ細小結晶ニシテ特異ナル蘆薈ノ臭氣アリ初メ甘味ニシテ後チ強苦味アリ冷水少量ニ溶解シ熱湯及酒精ニ溶ケ易シ有力ノ下劑ニシテ皮下注射(四%ノ溶液トス)スルモ下泄ノ效アリ主トシテ常習便秘ニ適應ス 内用量〇、一二—〇、二五ヲ丸劑トシ極量一回〇、二五ニシテ一日〇、六トス〇、一五—〇、二ヲ皮下注射ス

○「アルストニン」 *Akomin*

(ホ)「アイロール」二、〇 佩里設林一〇、〇

〇 蒸餾水一〇、〇

右注射ニ用ユ

(ヘ)「アイロール」一〇、〇 亞羅尼亞護

膜漿一〇、〇 佩里設林一〇、〇 白陶

土二〇、〇

右軟泥トナス之ヲ「アイロール」泥劑

ト稱ス

(ト)「アイロール」五、〇 柯々阿酪四五、〇

右坐藥トナス

鎮靜藥

本品ハ「アルストニア」コンストリカ「樹皮」ノ酒精越幾斯ヨリ得タル白色光輝アル絹絲様ノ小結晶ニシテ依的兒、酒精及嘔囉仿謨ニ溶解シ冷水ニ僅ニ溶解シ熱湯ニ稍溶ケ易シ苦味アリ糖及防腐藥トシテ供ス用量ハ未定ナリ

○「アンヒエタ、サルタリス」梅毒、瘰癧等ニ此根末〇、一—〇、二ヲ一日ニ用ユ

○「アンダ、アスウ」實及油(下劑トシテ油六、〇—一〇、〇ヲ用ユ)

○「アンジラ、イネルミス」吐劑及麻酔藥トシテ粉末一、五—四、〇ヲ用ユ

○「アンジロバ」(間歇熱ニ用ユ)

○「アコピリン」 *Acopyrin*. (「アチエチル、サリチル」酸「フ」
「エニールゲメチルヒラゾロン」)

白色結晶性ノ粉末ニシテ殆ト冷水ニ溶解セズ熱湯二十分、二%ノ重曹液二十分、「コンニヤク」五分、酒精、嘔囉仿謨ニ溶解スレバ依的兒ニハ溶ケ難シ本品ニ格魯兒鐵ヲ加フレバ血紅色ヲ呈シ強硫酸ヲ加フルキハ鮮黄色ニ變ス 本品ハ解熱、鎮靜藥及痲質斯藥トシテ急性關節痲麻質斯、頭痛、腦充血、坐骨神經痛ニ一日六回〇、五ヲ「ラブラート」又ハ糖水ニ加用ス

○「アルバルギン」 *Albargin*

本品ハ鮮黄色ノ粉末ニシテ「ゲラトールセ」ト硝酸銀トノ化合物ナリ光ニ遇フモ變化セズ冷水及温湯ニハ分解セズノ溶解ス此溶液ハ褐色ノ塊ニ貯フベシ本品ノ銀含量ハ十五%ナリホルネマン氏ハ淋疾劑トシテ〇、一—〇、一五—〇、二%ノ溶液トナシテ賞用セリ

○「アルギノイド」製劑

アロイン アルストニン アコピリン アルバルギン アルギノイド製劑

左ニ此製劑ノ品名ヲ列記スレモ皆著效アル特異ノ藥品ナキカ如シ

- 「アルギノイドアンチモン」
- 「アルギノイド」砒石
- 「アルギノイド」鐵(他ノ鐵劑ニ堪ヘサル場合ニ〇、一五—一、〇ヲ用ユ)
- 「アルギノイド」苦土
- 「アルギノイド」莫兒比涅
- 「アルギノイド」酸化汞
- 「アルギノイド」亞酸化汞
- 「アルギノイド」ストリキニーネ
- 「アルギノイド」蒼鉛
- 「アミグトフェニン」Amygdolennin.

本品ハ灰白色ノ水ニ溶ケ難キ粉末ニシテ其效用ハ「フェナチエチン」及「ラクトフェニン」ノ如シ神經痛及關節痠痛ニ一回量一、〇—二日量六、〇ヲ投ス

○「アミロフォルム」Amyloform.

本品ハ「フォルムアルデヒッド」ト澱粉トノ化合物ニシテ白色無臭不溶性ノ粉末ナリ刺戟性ナシ分解ヲ防キ分泌ヲ減ス創液及體液ノ感作ニ由リテ遊離ノ「フォルムアルデヒッド」ニ分解ス本品ハ沃度仿謨ノ代用劑ニシテ壞疽性瘡面及惡膿性膿瘍ニ純品ヲ撒布シ或ハ十%ノ「ア

防腐藥

防腐藥

ミロフォルム、ガーゼ」トナシ用ユ無毒性ナルヲ以テ大ナル體腔ヲ填塞スルニ適ス

○「アンチノシン」Antisyn 四沃度化「フェノール」
タレイン、ナトリウム

性状 本品ハ藍色無臭ノ粉末ニシテ水及酒精ニ溶解シ易シ冷處ニ於テ空氣ニ觸ル、キハ炭酸ニヨリテ漸々分解シ此溶液ヲ煮沸スルモ變化セズ酸ヲ加フルキハ四沃度化「フェノール」フタレイン「ノゾフェン」沈降ス本品ハ善ク閉鎖スル器中ニ貯フヘシ

作用及應用 濕潤綳帶及創傷療法ニハ二%ノ溶液ヲ用ヒ粉末或ハ〇、〇—一%ノ液ハ殊ニ膿球、脾脫疽、實布淫里ニ對シ殺菌ノ效アリ急性咽喉炎ノ含嗽料(〇、二%) 中耳化膿及急性化膿性中耳炎、惡臭分泌アル慢性中耳化膿ニ於テ聽道ノ洗滌料(〇、一—〇、五%) 軟下疳ノ撒布末、膀胱加答兒ニ於ケル膀胱ノ洗滌料ニハ稀薄液(〇、〇—一〇、〇—二)トナシ用ユ

○「アニラドール」Anidol.

本品ハ「バラフォルムアルデヒッド」ト屈利設林ノ溶液ニシテ無色清澄ノ液ナリ少シク蒜樣臭アリ甚シク稀釋スルキハ臭氣消散ス本品ハ一%ノ溶液トシテ販賣セラル本品ハ有力ノ防腐藥トシテ鼻、口、含嗽水トシテ二千倍ノモノ、創傷療法ニハ四千倍乃至七千倍ノ者ヲ用ユ

- 「アンチアルトリン」(痛風ニ丸、散トシテ一日六、〇—一〇、〇ヲ用ユ)
- 「アンチヂアベチウム」(蜜尿病ニ朝夕食後一食匙ヲ投ス)
- 「アンチネラン」(淋疾藥)
- 「アンチブチシン」(肺癆藥ナレモ效否詳ナラズ)

アミグトフェニン アミロフォルム アンチノシン アニラドール

鎮靜藥

○「アネモネ、ブルサチルラ」 *Anemone pulsatilla*.

本品ハ加答兒性熱、粘膜ノ分泌ヲ閉止スルニ用ヒ白帶下、月經異常、月經閉止等ニ丁幾トナシ(二分ト一分)一日二、〇—四、〇或ハ二乃至四食匙ニ水ト舍利別ヲ加ヘ用ヒシム可シ

○「アネモニン」 *Anemonin. C₁₅H₁₂O₂*.

前記「アネモネ、ブルサチルラ」ノ有效成分ニノ針狀菱形無色無臭ノ結晶ナリ中性反應ヲ呈シ熱酒精ニ溶解シ冷酒精ニ溶ケ難ク水及依的兒ニ全ク溶ケズ鹽酸ニハ容易ニ溶解ス本品ハ氣管枝加答兒、咳嗽、喘息ニ用ヒ心筋及脊髓中樞ニモ感作スルニ由リ心機ヲ緩和スルヲ見ル又月經異常、副峯丸炎并ニ交感神經病ニ一日〇、〇二—〇、〇四ヲ與ヘ一日極量〇、一トス
○、二ハ頭痛ヲ喚起スルコアリ

○「アネスチール」(バンゲ氏製) *Anesite*.

本品ハ格魯兒「メチール」ト格魯兒「エチール」ノ混合物ニノ「ドクトル」バウルリッテル氏ハ局所麻醉藥トシテ手術ニ賞用セリ本品ハ用法單簡ニシテ格魯兒「エチール」ヨリモ頗ル速ニ寒冷及貧血ヲ起シ其作用深達ニシテ知覺銳失甚完全ナリ

局所麻醉ヲ營ムニハ施術スベキ部分ニ皮膚ヨリ十四乃至二十仙迷ヲ隔テ、本品ヲ噴射スルキハ初メ淡紅色次ニ濃紅色トナリ遂ニ黃色トナル而シテ必シモ見ルニ非サルモ白色ヲ呈スルキハ知覺銳失ノ徵ナリ然レモ白色ヲ呈セサルモ知覺銳失ハ完全ナリ通常半分時少クモ一分時ノ後ニ現ハレ約二分間持續ス然レモ必要ナルキハ尙噴射ヲ延長スルヲ得ベシ

解熱鎮痛藥

○「アポリシン」 *Apocisin*. (單「フェネチン」枸橼酸)

性状 「アポリシン」ハ帶白黃色ノ粉末ニシテ冷水ニ溶ケ難ク熱湯并ニ酒精、屈利設林ニ溶ケ易シ酸味及微臭アリ

應用 本品ハ解熱及鎮痛作用アリ肺炎、窒扶斯、猩紅熱、流行性感冒、丹毒、坐骨神經痛、偏頭痛及喉頭炎ニ投シテ效アリ解熱ノ效ハ「フェナセチン」ヨリモ有力ナリ本品ハ無毒ナリ小兒ノ解熱劑并ニ流行性感冒ニ用ユルイ、フイシエル氏ハ大人ニ一日量一、〇—四、〇「小兒ニ一日量〇、三—一、〇ヲ投ス又服用ヲ厭忌スル小兒ニハ坐藥トナスベシ「アポリシン」ハ胃ニ對シテ恰モ枸橼酸ノ如キ作用ヲ營ム故ニ空腹時又ハ酸性過度ナルキニハ決シテ之ヲ用ユ可ラズ

○「アポリシン」四、〇 甘朮〇、四 白糖

一個插入

四、〇

○「アポリシン」四、〇 白糖四、〇 葯刺

右爲十包、毎二時一包

巴根末二、〇

(一歳ノ小兒)

右爲十包毎二時(小兒ノ胃腸加答兒

○「アポリシン」〇、五 柯々阿酪一、〇

高熱)

右坐藥一個トス十個ヲ投ス毎二三時

○「アガーフェ、アメリカナ」 *Agave Americana*.

此植物ハ中央アメリカニ産スルモノニシテ此根ヲ梅毒ニ用ヒタリ此植物ノ汁液ハ無色舍利別

アネモニー子、ブルサチルラ アネモニン アネスチール アポリシン アガーフェアメリカナ

様弱酸味アルヲ以テ清涼嗜好物トシテ用ヒラレ此葉ノ浸劑ハ昆蟲ヲ殺戮スルニ供シ又近時
メキシコニテハ本品ヲ狂犬病ニ賞用セリ

○「アツハラ」 *Aghara*.

此植物ハ收斂及利尿ノ性アリ赤痢、下痢、子宮出血、水腫ニ内用シ又昆蟲及匍行蟲(蛇、等)咬
蟻ニ外用ス」煎劑(一分水二十分)五十乃至六十瓦流動越幾斯(等分ノ調劑)五、〇ヲ用ユ

○「アリスマ、プランティアゴ」(此草ヲ毒蛇咬傷、破傷風ニ用ユ)

○「アネトール」(防腐藥)

○「アニス」油筆(昆蟲ノ蟄刺ニ塗擦ス)

○「アンチカルミン」(安知必林ノ代用劑トナスヘキガ如シ)

○「アンチネルグイン」 *Antiverin*.

解熱及鎮痛劑

本品ハ白色酸味ノ粉末ニ冷水ニ僅ニ溶解シ熱湯、酒精、依的兒ニ溶解ス解熱劑、鎮痛劑
トナシ小兒ニハ〇、一—〇、二大人ニハ〇、五—〇、八ヲ與フレバ安知必林ヨリモ多時間二度
ヲ下降ス又關節痲質斯ニ應用ス

○「アンチネルグイン」〇、五

右與十包、每一二時一包解熱ニ至ル

○「アチエトピリン」 *Acetopyrin*. (「アチエト、サリチル」
酸安知必林)

本品ハ「アチエトール」撒里矢爾酸ト安知必林トヨリ成ル者ニシテ微ニ醋酸様臭氣アル白色結

晶様粉末ヲナシ冷水ニ甚溶ケ難ク温湯、酒精、嚼嚙仿謨ニ溶ケ易シ依的兒ニ甚タ溶ケ難シ
本品ハ防腐、解熱及鎮靜藥トシテ急性關節痲質斯、腸室扶斯、流行性腦脊髓膜炎、流行性感
冒、氣管枝炎、胃腸炎、肺結核、神經痛、坐骨神經痛、多發神經炎、心包炎ニ用ユ

本品ハ一回〇、五ニノ一日三、〇マテ用ユ重症ノ熱性病ニハ午後一回ニ一、〇ヲ投ス

○「アチエチール、ロイコエチーレンブラウ」

○「アチエチール、ロイコメチーレンブラウ」

此二品ハ「メチーレンブラウ」ノ代用品ナリ

○安母尼亞製劑

(イ)樟腦安母尼亞 *Ammonium camphoratum*.

本品ハ白色ノ結晶ニシテ潮解シ易ク水ニ容易ニ溶解ス本品ハ鎮靜藥トシテ内用(〇、一—〇、二)
并ニ外用ス

(ロ)格魯兒安母尼亞(近時神經痛ニ一、五ヲ賞用ス)

(ハ)「フルラル」安母尼亞 *Am. fluoratum*.

本品ハ解熱及截瘧劑トナシ又脾腫大ニ五滴ヨリ増量シテ二十滴乃至三十滴ヲ食後ニ投スル
ヲ良トス久服後食思佳良トナル

(ニ)「フルラル」水素酸安母尼亞(強防腐藥ニシテ二%ノ水溶液ハ脾脫疽芽胞ヲ殺
ス)

(ホ) 硫酸「イヒチオール」安母尼亞「イヒチオール」ヲ見ヨ

(ヘ) 尿酸安母尼亞(白色ノ粉末ニシテ粘膜加答兒ニ試用ス)

(ト) 纈草酸安母尼亞 *Am. valerianicum.*

本品ハ白色絹糸様光輝アル結晶ニシテ濕潤空氣中ニ溶流シ纈草臭アリ水及酒精ニ溶解ス本品ハ神經痛、歇私的里、癲癇、舞踏病、吃逆ニ用ユ味ハ苛烈ニシテ甘シ「灌腸ニハ〇、一〇、二水ニ〇〇、〇トス内用ニハ〇、〇五—〇、二ヲ一日數回丸劑或ハ溶液トナシ用ユ

(チ) 安息香酸安母尼亞 *Am. benzoicum.*

本品ハ無色ノ結晶ニシテ水及酒精ニ溶ケ易シ加熱スルキハ全ク揮散シ格魯兒鐵ヲ加フレバ紅褐色ノ沈澱トナル本品ハ老人加答兒、喘息ノ祛痰劑、鎮痙劑、發汗劑、利尿劑トナシ其他痛風ニ用ユ〇、五—一、〇—二、〇ヲ溶液トス

(リ) 焦性炭酸安母尼亞(效用炭酸安母尼亞ノ如シ本品ハ賞用スルニ足ラス)

(ヌ) 「エムベル」酸安母尼亞 *Am. emblicum.*

本品ハ紅色無臭ノ粉末ニシテ稀酒精ニハ美麗ノ紅色ヲ以テ溶解ス本品ハ有力ノ驅條藥ニシテ無味ナルト人ニ對シ無毒ナルトヲ以テ他ノ條蟲劑ニ優レリ大人ニハ〇、三—一、〇、四ヲ少許ノ蜂蜜或ハ舍利別ニ加ヘ用ユルヲ最良トシ或ハ丸劑或ハ散劑トナス本品服用ノ前後ニ蓖麻子油ヲ投スベシドユランド氏ハ患者ヲシテ三日間乳汁ノミヲ食セシメ第二日ノ朝空腹時ニ本品〇、四ヲ投シ二十四時ノ後蓖麻子油三〇、〇ヲ服セシム

驅條蟲劑

〇「エムベル」酸安母尼亞〇、〇五 護膜末 護膜舍利別 適宜

右爲一丸、與十九、小兒ニハ三九、大人ニハ一日七九(條蟲)

(ル) 沃度安母尼亞(白色ノ粉末ニシテ水一分酒精九分ニ溶解ス光ヲ防キ貯フベシ

沃度加里ニ代用スルモ賞用スルニ足ラス外用(一乃至三分脂肪類三十分ノ軟膏)

内用(〇、一—〇、五ヲ溶液トス)ニ供ス

(ヲ) 磷酸安母尼亞(價廉質劣、痛風ニ〇、五—一、〇ヲ用ユ無用品)

(ツ) 「ピクリン」酸安母尼亞 *Am. picouiricum.*

本品ハ鮮黃色ノ小板狀結晶ニシテ水ニ溶ケ易ク酒精ニ溶ケ難シ強苦味アリ打撃或ハ衝突ニ由リテ容易ニ爆裂ス

解熱劑

本品ハ麻拉利亞ニ賞用セリシエルロング氏ハ唯一症ニ於テ解熱發作ノ停止スルヲ久シキヲ見タリ解熱作用及脾腫ニ於ケル作用未タ詳ナラス要スルニ本品ハ規尼涅ヨリモ效力少シトス本品ノ服用間皮膚及結膜ニ黃色ヲ呈シ尿ハ橙黃色トナル此染色ハ本品休止後二乃至三週ニシテ消散ス

用量ハ一日三乃至五回〇、〇一—〇、〇五ヲ丸劑トスクラルク氏ハ間歇熱ノ多數ニハ〇、〇

三ヲ無熱時ニ與ヘテ足レリトセリ此丸劑ヲ調製スルニ當リ本品ハ爆發ノ性質アルト他ノ物質ト共ニ乾燥的ニ研合ス可ラサルトヲ注意セシムバアラズ

(カ) 硼酸安母尼亞(肺癆ニ一、〇—四、〇ヲ投シ咯痰減少ス)

纈草酸安母尼亞 安息香酸安母尼亞 エムベル酸安母尼亞 ピクリン酸安母尼亞

防腐藥

(ヨ)撒里失爾酸安母尼亞 (白色結晶性粉末ニメ水ニ溶ケ易シ祛痰劑トス用量ハ他ノ安母尼亞鹽ニ同シ)

○「アセプトール」 *Asphal. C₆H₅ + OH* 「ソツチール酸、又「チルトフ」
「アセプトール」トハ防腐ノ意ヨリ來ル名義ニシテ防腐作用ヲ有スル無色舍利別狀ノ液ニシテ弱

キ石炭酸ノ香氣アリ能ク水、酒精、屈利設林ニ溶解シ依的兒、嘔囉仿謨、脂肪油類ニ溶解セス其屈利設林、酒精ニ溶解セル者ハ效ナシ本品ノ防腐力ハ十%溶液ハ能ク五%石炭酸溶液ニ均一ナリトス内用ニハ撒里失爾酸ト同一ノ用量ニ於テ醱酵制止ノ目的ヲ以テ胃加答兒、腸加答兒ニ稱用ス

防腐藥

○「アンチセプトール」 *Antiseptolum* (沃度硫酸シ)

本品ハ製法ニ從ヒ構成ヲ異ニスルモ概キ紅褐色ノ粉末ニメ水ニ溶ケス酒精及嘔囉仿謨ニ溶解ス約五十%ノ沃度ヲ含有ス沃度仿謨ノ代用劑トシテ用ユレモ甚必要ナラズモ殊ニ良效アルヲ見ス

○「アンチセプシン」 *Antiseptin* (メラブロムアチエタリツド「モノ」
「アロムフエニールアチエアミツド」)

本品ハ無色ノ稜柱狀結晶ニシテ百六十五乃至百六十六度ニ溶解シ水ニ殆ト溶解セス酒精ニ溶解ス

本品ハ葡萄狀球菌ニ作用スル者ニシテ千五百倍ノ溶液ニ於テ殺菌ノ性質アリ防腐藥トシテ外用シ解熱、鎮靜藥及神經痛藥トシテ内用ス創傷療法ニハ撒布末トナシ痔疾ノ坐藥 (〇、二、一〇、

解熱劑

四柯々阿酪)トス〇内用ニハ〇、〇二一〇、〇五ヲ毎三時散劑トナス

○「アンチテルミン」 *Antithermin. C₁₁H₁₆N₂O₂*

「アンチテルミン」ハ千八百八十七年ニコット氏カ醫用ニ供セシ者ニシテ其性狀ハ無色光輝アル堅硬ノ結晶ヲ呈シ齒間ニ挟ムキハ僅ニ味ヲ覺エ咀嚼スルキハ微弱灼味ヲ生ス冷水ニハ溶解セス酒精ニハ溶ケ難ク沸湯及酒精ニハ容易ニ溶解シ水溶液ハ中性ニ反應シ攝氏百〇八度ニ溶解ス百七十度以上熱スルキハ水ヲ放チテ「フェニールヒドドラチン、レフリン」酸「アンヒドリット」ニ變化ス益々熱スルトキハ分解スルコトナク蒸餾シ水ヨリ結晶スルニ由リ再ヒ「フェニールヒドドラチン、レフリン」酸ニ變化ス

ニコット氏ハ解熱劑トシテ賞用セリ用量ハ〇、二五―〇、五ニメ其不溶解ナルカ爲メ殊ニ散劑トナシ處スベシ

鎮痛藥

○「アナルゲン」 *Analgem* 「アンツナ

性狀 本品ハ白色結晶性粉末ニシテ全ク味ナクニ二百〇八度ニ溶解ス水ニハ殆ト溶ケズ冷酒精ニ溶ケ難ク沸騰酒精及稀酸類ニ容易ニ溶解ス

作用及應用 本品ハ鎮痛藥トシテ痛風及筋痠麻質斯ニ用ヒタレモ解熱劑トシテハ奏效セス發汗スルカ爲メニ賞用スニ足ラス或ハ副作用即チ惡心、嘔吐、下痢、耳鳴、振顫ヲ發シ或

ハ猩紅熱様ノ甚シキ痒痒アル發疹ヲ見ルコトアリ本品ハ服後體中ニ於テ分解シテ安息香酸及「アルト、エトキシ、アナ、アミドヒノリン」トナル後者ハ尿酸ト共ニ一化合物ヲ生シテ尿ヲ

アセプトール アンチセプトール アシチセプシン アンチテルミン アナルゲン

〇、二五—一、〇月經違常ニ〇、二—〇、三ヲ與フ可シ

〇「アポアトロピネ」(瞳孔散大ノ性アリ)

〇「アポコデイン」 Apocodinum. C₁₈H₁₉NO₇.

性状 本品ハ赤色無形護膜様ノ物質ニシテ水ニ溶ケス酒精、依的兒、嚼囉仿謨ニ溶解ス反應藥ニ對シテハ「アポモルヒネ」ノ如シ鹽酸「アポコデイン」ハ帶黃綠色ニシテ水ニ溶解スル粉末ナリ

應用及用量 鹽酸「アポコデイン」ヲ祛痰劑トシテ慢性氣管枝炎ニ用ヒ吐劑トシテ格魯布、癆咳ニ於テ「アポモルヒネ」ニ代用ス祛痰劑ニハ〇、一五—〇、二五ヲ散、丸劑或ハ溶劑トス皮下注射ニハ二%ノ水溶液ヲ半筒乃至一筒トス吐劑ニハ〇、〇四ヲ内用ス又癲狂狀與奮狀態ニ内用及皮下注射ス

〇鹽酸「アポコデイン」〇、五 水一〇〇、〇 〇鹽酸「アポコデイン」〇、二 餾水一〇、〇

〇覆盆子舍利別二五、〇

右半乃至一食匙

右皮下注射料(一筒宛)

〇「アルシコジール」(「カコジール」製劑ニシテ神經衰弱、皮膚病、麻拉利亞、糖尿病ニ用ユ)

〇「アルテミン」(貧血、萎黃病ニ投ス)

〇「アセプトリン」 Aspirin 「フェニール」
必魯加兒必涅

本品ハ必魯加兒必涅ト石炭酸トノ溶液ニシテ無色油様ノ液ヲナシ水及酒精ニ溶解スエドツン氏ハ肺癆及間歇熱ニ賞用セリ用法ハ二、七五%ノ石炭酸水百立方仙迷ニ必魯加兒必涅〇、〇二ヲ加ヘタルモノヲ皮下ニ注射ス初メハ一日量トシテ二乃至五立方仙迷ヲ一回ニ注射シ漸次増量シテ六乃至七立方仙迷ニ達ス間歇熱ニハ一日二回六立方仙迷ヲ腹皮下ニ注射シ六日ノ後半量ニ減ス

〇「アスバロール」(糖尿病、腎臟病ニ用ユ)

〇「アトラピリン」(麻酔藥ニシテ古加乙涅ノ如シ)

〇「アステロール」 Astevol.

本品ハ微細結晶狀白色ノ粉末ニシテ熱湯殊ニ沸湯ニ最易ニ溶解ス濃厚液ニテハ放冷スルモ澄明ナリ本品中ノ水銀ハ通常ノ試藥ヲ以テハ發見スル能ハスシテ硫化水素及硫酸安母尼亞ヲ加ヘ熱スルニ及ヒ初メテ現出シ腐蝕加里及安母尼亞ニ由リテ沈澱セズ

本品ハ重複鹽即チ「バラフェノール」硫酸水銀安母尼亞酒石酸ニシテ酸化汞十五%ヲ含有ス「プロフェソール」コツヘル氏ハ本品ノ二千倍水溶液ヲ創面及皮膚ヲ腐蝕セザル溶液トシテ用ヒ深創、潰瘍ノ療法并ニ手術部分、手、器械ノ消毒ニ有力ノ防腐劑トシテ賞用セラレ且有害ノ作用ナシ本品ハ其溶液ヨリ蛋白ヲ沈澱セズ且鐵(外科器械)ヲ侵サズ

「プロフェソール」シユルレル氏ハ通常本品ノ五千倍液ヲ用ヒ稀ニハ二千五百倍ノ液ヲ用ユ而シテ淋巴管炎、丹毒、癰腫、蜂窠織炎、癩疽、膿瘍ニ於テ罨法トナシ(二十四時間放置)甚良效アリ

アポコデイン アステロール

リ殊ニ膿瘍ニ於テハ深ク組織中ニ侵入スル作用著明ナリシユルレル氏ノ「クリニーク」ニ於テベントルツブ氏ハ乳房膿瘍ノ切開洗滌後ニ本品ニ浸セル綿ヲ切開孔ヨリ挿入シ五千倍本品溶液ニ浸セル「ガーゼ」ヲ置キ殺菌綿帯ヲ施シ治療ヲ得タリト又淋巴腺膿瘍ノ切開後ニモ良效アリ

其他マルチンフリードレンデル氏ハ膀胱病ニ本品ヲ用ヒ良效ヲ得タリ即チ本品溶液ヲ膀胱内ニ數時間接觸セシメ十分其消毒力ヲ發展セシムベシ又本品溶液(二、〇—五、〇水一〇〇、〇ノ者)ヲ膀胱鏡検査ノ前後ニ洗滌料トス即チ清洗及検査ニ由ル感染ノ豫防ニハ十分ニ之ニテ目的ヲ達ス而シテ慢性膀胱炎モ之ニ由リテ治療セリト

○「アボン」(即チ「カブシクム」實丁幾ハ僂麻質斯性諸患ニ外用シ痔疾(十至二十滴)消化不良(三乃至十滴)ニ内用ス)

○「アラリバ」皮(解熱劑トシテ間歇熱ニ用ヒ「アリピン」ナル赤色素ヲ含ムヲ以テ獸毛ヲ染ムルニ用ユ)

○「アスポリン」(防腐藥)

○「アスクレピアス」(吐劑、祛痰劑又止血劑トス)

○「アラリア」(淨血劑トシテ「サツサバリラ」ニ代用ス)

○「アルテミシア、フリギダ」(規尼涅ニ代用シテ流動越幾斯ヲ用ユ清涼飲料トシテ一咖啡匙ヲ毎半時ニ用ユルヲ最良トス)

○「アスクレピアス、インカルナタ」*Asclepias incarnata*.

本品ハ速カニ確效ヲ奏スル利尿劑ニシテ此丁幾(一分ト十分ノモノ)〇、二五—二、〇ヲ用ユベシ

○「アスクレピアス、シリアカ」(利尿發汗劑ニシテ此丁幾(一分ト十分)〇、二五—二、〇)

○「アスクレピアス、ツペローサ」(發汗、變質、下泄劑トシテ急性僂麻質斯、肺炎、氣管枝炎其他加答兒性疾患ニ散劑(一回ニ一、〇—二、〇)煎劑(三〇、〇水五〇〇、〇)一食匙ヲ投ス)

○「アスクレピアジン」(前記ノ「アスクレピアス」屬ヨリ製セル黃色無形溶解性物質ニシテ局部充血、急性僂麻質斯、肺患ニ用ユ)

○「アトランアチ、モノファイルラ」(慢性僂麻質斯ニ外用ス)

○「アポシヌム、カンナビウム」根 *Apocynum cannabinum*. (加那太大麻)

此根ハ無臭不快ノ味アリ催吐及下泄ノ效アリ二個ノ「ヂキタリン」類則チ「アポシニン」及「アポシナイン」ヲ含有ス利尿劑及發汗劑トシテ水腫及尿鬱積ニ用ユブラッドフォルド氏ニ從ヘハ其心臟ニ及ボス作用ハ「ストロファンツス」ノ如シト云ヘリ二、〇ヲ一〇〇、〇或ハ三〇、〇ヲ一〇〇、〇ノ煎劑トナシ一日數回一酒盞ヲ與ヘ又一、〇—二、〇ヲ散劑トナシ或ハ酒精性丁幾(一分ト五分)〇、五—二、〇ヲ與フ

利尿及發汗劑

アスクレピアス、インカルナタ アポシヌム、カンナビウム根

○「アレカ、カテヒユ」實 *Areca cathu.*

球状ノ子實ニ驅條劑トシ此粉末トナセシ者四、〇一六、〇ヲ用ユ但シ此量ハ大人ニ於テモ
心臓及呼吸器ニ作用ヲ及ボスガ故ニ注意ヲ加フ可シ

○「アレカ」類鹽基 *Areka-Alkaloids*

印度ニ於テハ古來「アレカ、カテヒユ」(棕櫚科)ノ子實ヲ興奮性嗜好物トシテ使用セルコト尙
恰モアメリカニ於ケル古加葉ノ如シ千八百八十六年ボムベロン氏ハ「アレカン」ト名ケタル
揮發性鹽基ヲ製出セリ

(イ)「アレコリン」 *Arekolin. C₉H₁₃NO₂.*

本品ハ無色無臭ノ油狀液ニシテ強亞兒加里反應アリ水、酒精、依的兒、嘔囉仿謨ニハ隨意ノ比
例ニ於テ溶解シ重湯煎上ニ揮發シ二百九度ニ沸騰シテ樹脂様トナル本品ニ鹽酸ヲ加ヘテ熱
スルキハ格魯兒「メチール」ヲ分離シツ、「アレカイジン」トナリ又本品ニ加里滷汁ヲ加ヘ熱
スルキハ「メチールアルコホール」トナル

(ロ)「アレカイジン」 *Arekatin. C₇H₁₁NO₂+H₂O*

本品ハ無色ノ四角或ハ六角ノ板狀結晶ニシテ氣中ニ變化セズ百度ニ於テ水ヲ失ヒ二百二十三度乃至二百二十四度ニ溶解
ス此鹽基ノ「メチールエーテル」ハ「アレコリン」ナリ

(ハ)「グワチン」 *Gueatin. C₆H₉NO₂.*

本品ハ無色ノ結晶ニシテ氣中ニ變化セズ水ニ溶ケ易ク酒精、依的兒、嘔囉仿謨、「メンツチール」ニ溶解セズ水溶液ハ中性

ニシテ格魯兒ニ由リテ濃紅色トナル二百七十一度乃至二百七十二度ニ於テ分解シツ、溶解ス

(ニ)「アレカイン」 *Arekain. C₇H₁₁NO₂+H₂O* 「メチール
グワチン」

本品ハ無色光輝アル結晶ニシテ氣中ニ變化セズ水ニ容易ニ溶解シ酒精ニ溶ケ難ク依的兒、嘔囉仿謨、「メンツチール」ニ
殆ト溶ケス水溶液ハ中性ニシテ格魯兒ニ由リテ微ニ紅色トナル百度ニ於テ水ヲ失ヒ二百十三度乃至二百十四度
ニ溶解ス

(ホ)「ホモアレコリン」 *Homo-arekolin. C₇H₁₀(C₂H₅)NO₂* 「アレカイジン」
「チールエーテル」

本品ハ無色亞兒加里性ノ液ニシテ水ニハ隨意ノ比例ニ混合シ重湯煎上ニハ揮發ス

應用 「アレカイジン」「アレカイン」及「グワチン」ハ無効ノ品ナレモ「アレコリン」ハ甚有

效ノ品ナリ即チ「アレコリン」ヲ内用或ハ皮下注射スルキハ「ムスカリン」ノ如ク心臓ニ感作
シ其他呼吸ニ影響シ腦髓ヲ麻痺シ唾液腺ノ機能亢進ス點眼スルキハ瞳孔收縮シ〇、〇四%
ノ溶液一滴ニ由リテ瞳孔ハ數分間以内ニ其直径三分一ニ減縮ス此作用ハ約一時間持續シ調
節機ニ感作セズ「ホモアレコリン」ハ毒性強シトス

「アレコリン」ハ治療上未タ實驗スルコト多カラス驅條藥トシテ用ヒタルコトアリキ此鹽類中最適
當ナルハ左ニ掲クル抱水貌羅謨「アレコリン」ナリ

(ヘ)抱水貌羅謨「アレコリン」 *Arekolin Bromhydrat. C₉H₁₃NO₂·HBr.*

本品ハ「アレコリン」ノ熱酒精溶液ヨリ結晶セシメタル者ニシテ水ヲ含マス非引濕性ノ長柱狀結晶ナラス溶解點ハ百六
十七乃至百六十八度ニシテ水ニハ容易ニ溶解シ中性ナリ大人ニハ殆ト〇、〇〇四一〇、〇〇六ヲ投ス

○「アレナリア、ルブラ」勝胱病ニ此煎劑〔四〇、〇水二五〇、〇ノ者〕ニ食匙ヲ用

- 「アルゲモーネ、メキシカナ」(膿創、梅毒、淋疾等ニ用ユ)
- 「アリストロヒア、ナムビフェラ」(痲痛發作ノ鎮靜ニ供ス)
- 「アルメリア、フルガリス」(利尿劑トシテ流動越幾斯八、〇―一五、〇ヲ一日二回用ユ)
- 「アセプチン」(防腐藥)
- 「アシミン」(吐劑利尿劑等ニ用ユ)
- 「アノジニン」(安知必林ノ別名)

變質劑

○「アトキシール」(Aloxy)

本品ハ白色無臭微鹹味アル粉末ニシテ温湯(二十%ニテ)ニ溶解ス此溶液放冷スルキハ約二%ハ再ヒ澄明ノ結晶トナリ析出ス久時放置スルキハ水明ノ液ハ微黃色ヲ呈スルニ至ル本品ノ砒石含量ハ三七、六九%ナリ故ニ本品ハ亞砒酸ヨリモ約半倍多ク砒石ヲ含メリ
動物試験ニ由レバ其砒石含量ヨリモ毒性四十倍少シトス故ニ本品ハ同量ノ亞砒酸ニ比スレバ其毒性ニ倍少シ其毒作用及治療作用ハ「カコジール」酸ト略相同シ
治療上ニハラッサル氏及ワルテル、シルド氏ハ本品ヲ皮膚病ニ用ヒタリ適當ノ量ニ於テハ亞砒酸ノ作用ニ劣ラザルヲ見ル
本品ハ内用ニ適セズ蓋シ少量ノ後已ニ食思缺亡ヲ招ケバナリ之ニ反シテ筋肉内及皮下ノ注

射ハ刺戟及疼痛ナシ爾後ノ經驗ニ由リテ亞砒酸ト同效ナルヲ確定スルニ至ラバ恐クハ多少ノ長所アルナルベシ

之ヲ用ユルニハ二十%ノ液ヲ製シ其使用前全ク溶解セシムルカ爲メニ少シク加温シ最初ハブラワット注射器ノ十分ノ二筒(本品〇、〇四)ヲ注射シ第二回ニハ十分ノ四筒ヲ注射シ順次増量シテ第五回ニハ全一筒(即チ〇、二)ヲ注射ス而シテ之ヨリ以上ハ通常用ヒスノ療法ノ終結ニ至ルマテ此量ヲ持續スベシ最初ノ五筒ハ一日間ヲ隔テ注射シ次回ニハ二日間ヲ隔テヲ行フベシ

本品ハ全ク副作用ナキニアラズ即チ前記ノ量ヨリモ大量ナルキニ發スルノミナラズ時トシテハ久時〇、二―〇、三ヲ注射スルキニモ來ルコトアリ通常日晡時ニ惡寒シ眩暈、頭痛、頸部把攝ノ感覺ヲ起ス本品ヲ休止スルキハ此症狀一日乃至二日ニシテ消散ス尿中決シテ蛋白ヲ見ス
禁忌ハ心臟瓣膜病ニシテ已ニ少量ノ後心悸亢進及呼吸困難ヲ起セバナリ

○「アツアジアラクタ」(強壯劑截瘧劑)

○「アナルゲシン」(安知必林ノ別名)

○「アスバラギン」(Asparaginum. $C_4H_8N_2O_4 + H_2O$)

本品ハ堅硬菱形無色無臭ノ大結晶ニシテ冷水及熱湯ニ溶解シ冷酒精、依的兒、脂油ニ溶ケズ魯謨加里ト伍シテ慢性痛風及心臟病性水腫ニ一日三回〇、〇五―〇、一ヲ用ユ

○「アテロスペルマ、モスカツム」皮 (Atrospina moschatum)

アトキシール、スバラギン、アテロスペルマ、モスカツム皮

本品ハヲウスタリアノ「サツサフラス」樹ノ芳香性皮質ニ依的兒性油及一種ノ類鹽基
(「アテロスベルミン」)ヲ含有ス

本品ハ褐色強固纖維様ノ皮ニノ灰白色ノ栓狀隆起ヲ以テ被包セラル利尿、發汗、鎮靜藥トシ
テ喘息、氣管枝炎、或心臟病ニ用ヒ依的兒性油ハ殊ニ發汗利尿ノ效アリ依的兒性油毎六時乃
至八時一乃至三滴「同丁幾」一分ト十分三十乃至六十滴ヲ投ス

○亞篤魯必涅製劑

(イ)油酸亞篤魯必涅(別拉敦那越幾斯ニ代ヘテ坐藥トナス)

(ロ)珊篤寧酸亞篤魯必涅(本品ハ硫酸亞篤魯必涅ト異ナリ容易ニ分解セス效用
ハ之ニ同シ濃厚液ハ溫暖ニ調製スベシ即チ○、○一縮水二○、○ノモノヲ點眼
ス)

(ハ)硫酸亞篤魯必涅(「リ」ノ部ヲ見ヨ)

(ニ)亞篤魯必涅華攝林 *Atropin-nasim.*

純亞篤魯必涅(硫酸鹽ニ非ス)一分ヲ白色華攝林百二十分ニ溶和シタル者ニノグーソン氏ハ眼
科ニ於テ亞篤魯必涅點眼水ノ代用劑トナセリ蓋シ點眼ハ時トノ譚妄ヲ招ケバナリ本品ヲ用
ユルニハ刷子ニ由テ下眼瞼ノ内面ニ塗ルニ在リ然ルキハ同強度ノ水溶液ノ如キ效アリテ毫
モ中毒症狀ヲ發セス唯檢眼鏡検査ニ於テハ之ヨリモ水溶液ヲ優レリトス是レ華攝林ハ角膜
上ニ久シク存留シ其透徹ヲ妨クレバナリ

亞篤魯必涅
點眼ノ代用

(ホ)沃度酸亞篤魯必涅(眼科ノ瞳孔散大藥トス他劑ヨリモ速ニ散大シ速ニ消退
ス)

(ハ)撒酸亞篤魯必涅(同シク瞳孔散大藥)

○安知必林

Antipyrinum. C₁₁H₁₂N₂O. 「アナルゲシン」「アノウニン」「パロロン」
「セダチン」「メトキシシン」「フエニロン」

解熱及ヒ鎮
痛藥

安知必林即チ「ヂメチールフエニールピラツオロン」ハ「ヒノリン」ヨリ誘導スル者ニシテ一
ノ「ヒモジン」ヨリ成ル而シテ特ニ解熱ノ效顯著ナルヲ以テ安知必林ト名ク蓋シ安知必林ト
ハ解熱ノ義ニシテ「フイレーネ氏」ノ命スル所ナリ

性状

本品ハ無色板狀ノ結晶、通常ハ白色ノ結晶性粉末ニシテ芳香性ノ臭氣及ヒ爽快ノ
甘樣苦味ヲ有ス水一分ハ該品○、七ヲ溶解ス又酒精、嘔囉仿謨ニ溶解シ易シ依的兒五十倍ニ
溶解ス熔融點ハ百十三度ナリ

鑑識

安知必林溶液ニ格魯兒化鐵液ヲ加フレハ紅褐色ヲ呈シ沃度ト沃度加里ヲ加フレハ褐色ノ沈
澱ヲ生ス又二分ノ縮水ニ溶解シ少シモ殘渣ヲ止メス中性反應ヲ呈シ無色或ハ稍帶黃色ニシ
テ硫化水素ニ由テ變化スベカラズ

作用

安知必林ノ小量ヲ家兎ニ與フレバ神經中樞ヲ興奮シ痙攣ヲ發シ血管運動神經中樞
麻痺シ血壓減退シ反射機消失ス又心臟自己ノ筋纖維麻痺セルカ如キ症狀ヲ呈ス「ドクトル」
シエー氏ハ動物ニ注入セシニ知覺及反射機能ノ減少ヲ目撃シ心臟調節ニ變ナキヲ實驗セリ
アトニー、モゼラ氏ノ說ニ安知必林ノ吸收ハ初メ胃及皮下組織次ニ直腸ニシテ健全ノ皮膚

ハ之レヲ吸收セス其排泄ハラインミユルレル兩氏ノ説ニ由レハ服後硫酸ト合シ四時間半ニ初マリ五十六時間ニ終ルト且ツ尿色橙黄ニシテ異重上昇ス之レニ格魯兒鐵液ヲ注加スレハ紅褐色トナル

健體ニハ解熱ノ效ナシ

解熱作用及ヒ副作用

安知必林ハミユルレル氏ノ説ニ由レハ一、〇ヲ健康人ニ與フルモ體溫ニ變化ナケレモ脈搏二三至ヲ減ス二、〇乃至三、〇ヲ與フルトキハ體溫却テ一二分ヲ上昇スト云フ「カイリン」ノ如キ不快ノ症狀即チ惡寒戰慄等ノ發症稀ニシテ無熱時間「カイリン」ヨリ長ク大抵其效六時間持續ス然レモ「カイリン」ヨリ不良ノ性ナキニ非ス即チ服後、心神不安、嘔吐、皮膚赤斑等ヲ發ス但シ後服ヲ止ムレハ此症直ニ退去ス又安知必林ハ規尼涅、撒里失爾酸ノ如ク頭痛、眩暈、耳鳴、戰慄等ヲ發スルヲ稀ナリ通常嘔吐ヲ發スルヲ少カラス殊ニ男子ヨリモ女子ニ多シ

中毒症ノ例

ホワイトハウス氏ハ一小女ニ〇、五ヲ用ヒ服後二分時間胃痛苦悶ヲ發シ全身ニ蕁麻疹ヲ發シ遂ニ人事不省トナリ心臟麻痺ノ恐アルヲ以テ亞篤魯比涅〇、〇〇一ヲ皮下ニ注入シ諸症漸ク緩解セルヲ實驗セリ〇ストラウス氏ハ四十五年ノ腸室扶斯患者ニ全量五、〇ヲ一日間ニ與ヘシニ體溫常度以下ニ降リ脈結代、心音微弱不正、音聲啞シ手足尖端冷却、全身ニ紫斑ヲ呈シ危險ニ迫リシガ之レニ葡萄酒等ノ興奮藥ヲ與ヘ漸次恢復セルヲ實驗セリ

毒性及ヒ中毒療法

デムノ氏ノ試驗ニ由レバ安知必林ハ一種ノ「プロトプラスマ」毒ニシテ之ヲ筋肉中ニ注射スレハ直ニ其興奮性ヲ減少ス故ニ大量ヲ投シ心臟麻痺ヲ見ルハ敢テ怪ムニ足ラス然レモ其量少

ナレハ主トシテ神經中樞ニ作用ス

安知必林ノ輕度ノ中毒ニハ少量ノ咖啡涅ヲ皮下ニ注射シ神經中樞及心臟筋肉ヲ興奮スヘシ又該中毒ニハ「ベルラドンナ」或ハ亞篤魯比涅ノ皮下注射ヲ良トセリ

安知必林疹

本品ノ内服或ハ外用ニ由リテ所謂安知必林疹ヲ發スル特異性ノ人アリ即チ身體種々ノ部位ニ紅斑(最モ多シ)蕁麻疹、浮腫、水疱、紫斑ヲ生シ局部ニ瘙痒アリ紅斑ハ圓形或ハ楕圓形ニシテ初メ紅色ナルモ數日ニシテ漸次褪色シ黃褐色トナル(安知必林疹ノ詳細ハ土肥博士ノ皮膚病梅毒圖譜第一帙ヲ見ヨ)

醫學士山田弘倫氏ハ醫事新聞第五百八十六號ニ於テ固定安知必林疹診斷法ヲ秋庭俊照氏ハ東京醫學會雜誌第十六卷第三號ニ於テ一時性安知必林疹及經血症ニ就テ報告セリ就テ見ルベシ成本治幹氏ハ中外醫事新報五八六號ニ於テ固定安知必林疹二例又佐藤季雄氏ハ固定安知必林疹三例(北海醫報三卷六號)ヲ報セリ醫學士宮戸俊治氏ハ固定安知必林疹一例(中央醫學會雜誌第五二號)又永富恕平氏モ同例(中外醫事新報第五五四號)ニ報告セリ

應用

急性關節痲質斯、室扶斯、丹毒、痘瘡、猩紅熱、子宮炎、肺炎、心臟內膜炎、產褥熱、肺癆ニ解熱トシ卓效アリ最效アルハ肺結核ニ於ケル解熱ナリ其解熱時間ハ各病ニ從ヒ異ナリ七乃至九時或ハ十八乃至二十時持續ス其解熱作用ヲ得ントスルニハ五乃至六時間ヲ隔テテ二回ニ、〇ヲ與ヘ次テ一、〇ヲ投シ若クハ三回ニ、〇宛ヲ與フルニ在リ間歇熱ニハ效ヲ奏セズ〇淋疾ニ注射スルモ他劑ノ如キ效ナシ

解熱作用ノ實驗

グットマン氏ハ熱病患者ニ安知必林ヲ試用シ左ノ報告ヲナセリ即チ解熱ノ效、確實ニシテ解熱時間長ク副作用少ナク老人小兒ニ用ユルヲ得且ツ持長スルモ害ナキ故ニ病性ノ如何ニ關セズ解熱藥中ノ冠タル者トセリ高熱ニ該品ヲ每一時ニ二、〇ヲ頓服セシメ反復シテ二回ニ至レバ一時間ノ後漸次一、五乃至二度或ハ二度以上下降ス但シ病性ニヨリ多少量ヲ異ニセサルヲ得ス即チ回歸熱、肺炎等ニハ四、〇―六、〇ヲ要シ窒室扶斯、肺癆等ニハ〇、二以下ニテ解熱ノ效ヲ奏スル者ナリ

ブリブラム氏ハ安知必林ヲ用ヒ嘔吐、虛脫、發汗等ノ副作用アルヲ以テ氏ハ消耗熱ニ向テ左ノ法ヲ稱用セリ即チ初メ一二日間毎二時ニ熱度ヲ計リ其經過ヲ豫知シ而シテ後、第一日ニハ發熱半時間前ニ一%液二食匙ヲ與ヘ其後每一時一食匙ヲ與ヘ三十八度以下ニ至ルヲ度トスヘシ第二日第三日モ同一ノ方法ニ由テ投與スヘシト

ウユルト氏ハ減熱時間ヲ檢スル爲安知必林ヲ直腸ニ注入セシニ大量ヲ注入スル者ハ減熱時間長ク少量ハ短キヲ證セリ即二百九十名ニ二、〇ヲ注入セシニ減熱時間二時十分三十分ニ二、〇ヲ與ヘ檢スルニ四時十二分、四十八名ニ四、〇五時、十八名ニ五、〇五時十二分持續セリコレビーウスキー氏ハ七十人ノ急性關節痲質斯ニ一日四、〇―五、〇用ヒ偉效ヲ得タリ但シ服後虛脫症ナク且ツ發疹ハ只二人ニ於テ見タルノミナレモ服後嘔吐ヲ發スル者屢ヒアリ而シテ關節病ノ治スルハ熱度沈降ニ併行スルモ痲質斯ニ續發スル心内膜炎ヲ豫防スルコト能ハサリシト

消耗熱ニ對スル用法

效用持續時間

痲質斯ニ於ケル效用

鎮痛作用

頭痛ニ於ケル效用

眼科的效用

本品皮下注射ハ「モルヒネ」ニ代

ゲルマン、セー氏ハ解熱作用ヲ第二位ニ置キ其主ナル效用ヲ鎮痛作用ニ歸セリ殊ニ疼痛ヲ兼スル神經諸症、神經痛、偏頭痛、痛風、痲質斯等ナリ用量ハ二時間毎ニ二、〇ナリ又脊髓癆、大動脈瘤ノ疼痛等ニハ三、〇―六、〇ヲ内用シ或ハ五十%ノ液ヲ皮下ニ注射シ良效アリ即チ通常呼吸、心調、體溫ニ變化ナク發汗ナシ

グ、セー氏ハ十二名ノ學生頭痛ニ一日二、〇―三、〇ヲ與ヘ二三日ニシテ輕快六七週ニシテ全治シタリ同氏ハ四十二名ノ偏頭痛ニ朝一、〇ヲ與ヘ後一時間ヲ經テ一、〇ヲ與ヘタルニ少シモ消化器、循環器、神經器ニ障害ナク效アリタリ又「ドクトル」ウンガル氏ハ半面痛一回ノ量トシテ一、〇稀ニ一、五ヲ「オブラート」ニ包ミ與ヘシニ良效ヲ得タリ

カザウロー氏ハ眼病ニ發スル眼痛及頭痛、例之、角膜炎、白內障手術後、綠內障等ニ一、〇ヲ頓服セシメ良效アリト報セリ〇アルドル氏ハ慢性角膜滲潤ニ用ヒ角膜ヲ透明トナシ即チ治癒ヲ催進スルヲ發見セリ其症狀ハ散布スル後チ涙液ニ由リ忽チ溶解シ羞明灼痛ヲ發スルノ二分時間ニテ十五分後ノ後涙液ノ分泌増加ス〇エドムント氏ハ角膜翳ニ甘汞ノ如ク本品ヲ撒市シ大ニ透明ナラシムルヲ得(三名ニ於テ)左ノ結論ヲ爲セリ此ノ療法ヲ以テ虹彩切除術ヲ避クルヲ得ヘシ若シ然ラサレハ之ヲ以テ假瞳孔ヲ施スニ餘地ヲ與フルヲ得ヘシ

「ドクトル」ラーヘルヒルシユ氏ハ鎮痛ノ爲安知必林留水等分ヨリナル液一筒ヲ疼痛ノ方向ニ從テ注入スレハ如何ナル重症ト雖モ善ク奏效アリ注入器ハ施用後二十倍ノ石炭酸水ヲ以テ洗滌スヘシ是レ安知必林ノ結晶ニテ針管ヲ閉止スレハナリ十全清潔トナレハ乳狀ヲ呈ス

止血及
腐效用

小兒科ニ於
ケル效用

ルヲナシ
 ゲー氏ハ以上ノ皮下注射法ヲ以テ莫兒比涅ノ位置ニ代ルヘキ者ナリト如何トナレハ莫兒比涅ノ如ク脈フヘキノ嘔吐ナク血行器ヲ害セス興奮症及ヒ昏愒症ナク必要ノ際ニハ頻回使用スルヲ得レハナリ
 カザチー氏ハ四乃至五%溶液ヲ止血藥トシ偉效アルヲ報告セリ即チ安知必林ハ有力ノ止血藥ニシテ中毒ノ恐レナキヲ以テ麥角ニ優リ創面ヲ荒蕪スルナキヲ以テ過格魯兒鐵丁幾ニ勝ル又防腐ノ效力アル故ナリト
 オリクホー氏ハ咯血患者ニ安知必林二、〇餉水一八〇、〇ノ液ヲ頻回吸入セシメ良效ヲ得タリ
 又ヘノツク及ヒフシャー氏ハ外科的患者ニ粉末ヲ散布シ良效アルヲ報セリローゼー氏ハ遲鈍性潰瘍ニ外用シ肉芽發生ヲ催進スル一新藥トナセリグリンスキー氏ハ痲鈍性潰瘍ニ乾性繃帶トナシ用ヒ偉效アルヲ報告セリ又ヘノツク氏ハ防腐作用アルヲ説ケリ即チ乳癌ニハ安知必林一分華攝林三分ヲ混シ潰瘍面ニ貼スレハ惡臭出血ヲ止ムル效、著大ナリト報告セリ
 ○「ドクトル」モンコルボー氏ハ二百名ノ小兒ニ用ヒ諸解熱藥中最良ナルヲ報告セリ即チ間歇熱ニ用ヒ良效アリテ少シモ障害ナシト又痲瘋質斯、神經病等ニ毎日三、〇乃至四、〇ヲ與ヘシニ營養及ヒ尿分泌ニ少シモ關係ナク却テ體重増加スト其他舞蹈病ニ用ヒ偉效アルヲ數多ノ病牀日誌ヲ掲ケ報告セリ

痲咳ニ於ケ
ル效用

遺尿ニ於ケ
ル效用

產科婦人科
效用

醫科大學實
驗脚氣ニ於
ケル效用

ゾンネンベルゲル氏ハ痲咳患者七十名ニ試用シ良效ヲ得タリ即チ乳兒ニハ〇、〇六嬰兒ニハ〇、五大人ニハ一、〇ヲ一日三回服用セシメタルニ規尼涅ノ如キ苦味ナキヲ以テ不便ヲ感セサリシト○ロイブシエル、ゲンゼル氏等ハ痲咳ノ豫防法トシ稱用セリ
 フイリツブス氏ハ遺尿ニ最良劑トシテ賞用セリ氏ハ漸次增量シテ與ヘシカ第七歳ノ男兒ニ毎夕〇、四一〇、五ヲ投シタリ數月間應用スルニ發疹其他不快ノ副作用ヲ認メザリキ氏ハ小兒ニハ少量ヲ以テ始メ其月數ニ應ジテハ一日量一仙瓦ヲ増シ年數ニ應ジテハ一日量一「デチ」瓦ヲ増加スルヲ規則トセリ然レモ一日量〇・五以上ヲ投スルヲナシ
 ○ラーゲット、スタインタール、クエイレル氏等ハ陣痛持續スル者ニ二、〇宛二回灌腸ヲ施シ少シモ子宮收縮ニ關係ナク疼痛消散セルヲ報告セリ又皮下注射トシテ同一ノ效ヲ收メタリト云フ○レエルスキー氏ハ三回ノ分娩、二回ノ流産ニ一、〇ヲ與ヘ效ナキ時ハ二時間ノ後再ヒ同量ヲ用ユレバ少シク陣痛機能ヲ防クニ能ク疼痛ヲ鎮靜シ得タリ○グラリン氏ハ格魯刺兒ニ一、〇ヲ混シ用ヒ一時間ヲ隔テ又一、〇ヲ用ヒ後二時間毎ニ三分ノ二、〇ヲ用ユレハ陣痛機能ヲ妨ケス能ク疼痛ノミヲ止メ得タリ○クワイレル氏ハ分娩時ニ〇、二五ヲ皮下ニ注入セシコト二十回中十五回ハ良效ヲ得タリ若シ一回ニテ效ナキハ二時間ノ後チ再ヒ注入スヘシ○フチャルド氏ハ月經時ニ〇、九ヲ與ヘ屢、口渴、顔面四肢ニ蒼白及ヒ反覆性人事不省、月經閉止等ヲ發セリ故ニ月經間ハ注意スヘシト云ヘリ
 ○醫科大學醫院ニ於テ醫學士多田貞一郎氏ハ安知必林ヲ輕症或ハ中等ノ脚氣症ノ初期ニ用

安知必林

ヒタルニ主トシテ運動及知覺麻痺ヲ輕減シ腓腸筋ノ攣縮アル者ニ於テハ奏效最モ著明ナルヲ見タリト但慢性及急性脚氣ノ心臟ヲ侵セル者ニハ奏效ナカリシト而シテ其用法ハ内服及皮下注射ニシテ一日量一、五—二、〇ヲ數回ニ分チ一回〇、五ヲ散劑又ハ水劑トシテ與フベシ皮下注射ニハ五十%(同量ノ水ニ溶解ス)ノ液ヲ一筒(即〇、五ヲ一日一回腓腸筋ノ最モ緊張壓痛アル部分ニ注射スルニアリ然ルモハ注射時疼痛ヲ發スルモ數分數十分乃至一二時ニテ緩解スルモノトス

用量 小兒ニハ解熱劑トシテ其年齡ニ應スル「デチ」瓦量ヲ與ヘ其量ヲ以テ奏效セサルキハ更ニ其「デチ」瓦ノ倍量ヲ投ジ又アルグチンスキ―氏ハ決シテ一日三回以上與フルヲナク生後半歲乃至一歲ノ兒ニハ〇、二ヲ與ヘ一乃至三歲ノ小兒ニハ〇、三トシ四乃至五歲ニハ〇、三—〇、四ヲ用ヒ六乃至八歲ニハ〇、五—〇、六トシ乃至十二歲ニハ〇、六—〇、七ヲ與ヘタリデシメ氏ハ第一歲以内ノ小兒ニ一回ニ大量〇、二ヲ與ヘ又五歲以下ノ兒ニ一回〇、五ヲ投スルニハ最嚴ニ監視スルヲ要スト決定セリ
大人ニハ一回量一、〇—三、〇高熱ニハ一日二三回四、〇—八、〇ヲ與フ窒扶斯ノ末期、肺癆ノ熱候ニハ二、〇—三、〇ヲ與ヘ十二時間無熱ナラシムルヲ得可シ神經痛ニハ其輕重ニ從ヒ一日三回一、〇—一、五—二、〇ヲ散劑トシ用ユ
皮下注射ニランク氏ハ供用セシカ通常少量二、〇ヲ用ヒ速ニ奏效セリ而シテ穿刺部ノ微痛ノ外、更ニ不快ノ症狀ナシト云ヘリ然レモアレキサンドル氏ハ穿刺部ニ膿瘍ヲ生セシヲ見

タリト「灌腸スルニハ四、〇—六、〇ヲ五〇、〇ノ微温湯ニ加ヘ小硝子注射器ヲ以テ直腸ニ送ルベシ」尿道注射ニハ一%液ヲ用ユ

處方

○安知必林二、〇—五、〇

右爲十包「オブラート」ヲ以テ每一時

一包宛 (痔熱、窒扶斯等)

○安知必林五、〇 餹水五〇、〇 橙皮舍

利別二五、〇

右每一時一食匙 (安知必林一、〇ヲ

含ム)宛 (肺炎)

安知必林四、〇 水七五、〇 桂皮舍利

別一〇〇、〇

右每二時一咖啡匙(小兒ノ解熱劑)

○安知必林 貌魯讓安母尼亞 各〇、五

枸橼酸咖啡混〇、〇— 緬草酸古加乙

混〇、〇—

右爲一包、十包ヲ投シ疼痛發作間一

包服用(偏頭痛及神經痛)

○安知必林一〇、〇 水一五〇、〇

右灌腸料 (肺炎)

○安知必林五、〇 餹水五、〇

右一乃至二筒皮下注射料(偃麻質斯ニ於テ疼痛アル關節近部ニ注射ス)

○安知必林二、五 「フエナチエチン」一、〇

安知歌貌林〇、五

右爲八包、一日四包服用(流行性感

冒、頭痛及高熱)

○安知必林〇、五—一、〇 「トカエン」酒

水各二五、〇 橙花舍利別五〇、〇

右每二時一咖啡匙(癩咳)

○安知必林〇、五—一、〇 水 單舍各五

〇、〇
右每一二時一咖啡匙(小兒下痢)

○安知歌貌林

Antifebrinum. $C_6H_5NH_2 \cdot CH_3CO_2$

「アチエ」
「アチエ」

安知歌貌林ハ「アチエ」誘導體ニシテ解熱ノ效、著明ナルヲ以テ安知歌貌林ノ名稱ヲ得タリ本品ハカーン、ヘツブ兩氏創用シ次章ノ報告ヲ公ニセシヨリ諸家爭テ研究シ良效アルヲ證セリ

性状 安知歌貌林ハ光輝アル無色無臭ノ葉狀結晶ニシテ中性ノ反應ヲ徵シ味僅カニ辛辣ナリ百十三度ノ熱ニ於テ熔融シ大約二百分ノ冷水十八分ノ熱湯及三、五分ノ酒精ニ溶解ス白金板上ニ熱スレハ固性物ヲ遺サスシテ燃化ス可シ

本品〇、一瓦蘭謨ヲ稀硫酸二立方仙迷ト共ニ二三分時間煮沸シタル後更ニ酒精二三滴ヲ加ヘテ温ムレハ醋酸依的兒ノ香氣ヲ發ス之ニ那篤倫溶液ヲ加ヘテ亞爾加里性トナシ且ツ多量ノ水ヲ以テ稀釋シタル冷溶液ニ格魯兒那篤倫溶液一二滴ヲ加フレハ紫堇色ヲ呈ス注意シテ貯フベシ

作用 ボカイ氏ノ試驗ニ由レハ安知歌貌林ノ〇、五%ノ溶液ハ滴蟲ノ運動ヲ減退セシメ十五乃至二十分時ノ後全ク之ヲ抑制ス家兔ノ白血球ノ「アメバ」運動ハ〇、二五%ノ液ニ於テ已ニ全ク抑制セラル

ボカイ氏ハ〇、五%ノ水溶液ヲ蛙ニ與ヘシニ「クラール」ノ如ク運動神經末端ヲ麻酔ス家兔ニ死量ヲ與フレハ五分時ノ後沈衰卒倒シ十五乃至二十分時ノ後全身ニ纖維性攣縮ヲ發シ且ツ呼吸緩徐困難トナリ且ツ「チアノーゼ」ヲ發ス蓋シ安知歌貌林ハ腦髓ニ固有ノ作用ヲ呈セ

ス然レモ脊髓ノ知覺機ヲ麻痺セシムルカ如シト

安知歌貌林ハ健康人ノ體温ニハ少シモ感應ヲ呈セスト雖モ熱性患者ニ與フレハ體温著シク下降シ脈搏減少且ツ緊張力ヲ増加ス而シテ此作用ハ服後三乃至四時間ニシテ極度ニ達シ服量ノ多少ニ由リ三乃至十時間ヲ經テ體温再ヒ上昇ス此際尿利増加シ安眠スルヲアリ

ボカイ氏ノ說ニ由レハ安知歌貌林ノ解熱ハ温ノ發生ヲ抑制スルニアリ動物ニ死量ヲ與フレハ血管神經ノ麻痺ヲ來タシ温ノ放散ヲ盛ナラシム又人體ニ於テモ發汗スルハ之レト同一理ナリ中量ヲ與フレハ皮膚血管ノ收縮ヲ發ス故ニ體温ノ發散ヲ減少スルニ拘ラズ能ク體温下降ス此際心臟ハ特異ノ變化ヲ呈セサルモノナレハ温ノ發生ヲ抑制スルヤ最モ賭易キ理ナリ此ノ如キ解熱作用ハ容易ニ「メトヘモグロビン」ヲ造ル性アルニ由リ體內酸化機ヲ抑制スルナラン

「ドクトル」グリーネベルク氏ノ報告ニ由レハ副作用ハ至ツテ微弱ニシテ解熱ノ際虛脫嘔吐ヲ發スルコトナク脈搏減少、尿量増加ス或ル患者ニ於テ一、〇ヲ與ヘシニ害ナカリキ體温減退ニ當リ發汗スルハ各人均シカラスト雖モ多數ノ患者ニ於テハ發汗ヲ見タリ但シ全身蒼白、皮膚赤斑、虛脫症等ヲ發ス又服後安知必林ノ如ク惡心嘔吐等ヲ目撃セス時トシテ體温高進ノ際惡寒戰慄ヲ發スルコトアリ

ケスト氏ハ一名ノ小兒ニ毎二時安知歌貌林〇、二五ヲ投シタルニ脈搏頻數微弱トナリ虛脫ノ狀アリ百方治療スルモ效ナク遂ニ斃レタルヲ報告シ又或ル壯年男子、半面痛ニ罹リ自ラ

空扶斯ニ於
ケル解熱效
用

本品二、〇ヲ服シ後チ二十四時間ヲ隔テ同量ヲ服セシニ十五分時ノ後、身體疲勞、眩暈、脈搏頻數、顔面四肢蒼白ヲ發スルヲ以テ咖啡、下劑、芥子泥等ヲ與ヘ呼吸恢復スルヲ實驗セリト

應用 解熱劑トシテ空扶斯、肺炎、急性關節僂麻質斯、丹毒、肋膜炎、產褥熱、肺癆等ニ用ヒテ效アリ〇化膿ヲ制限スル無刺戟性防腐藥トシテ創傷療法ニ用ユルモ稀ナリトス

「ドクトル」グリーネベルグ氏ハ數多ノ空扶斯患者ニ一回量トシテ〇、二五—〇、五ヲ與ヘタリ甲量ハ熱ノ退降期、乙量ハ熱ノ高進期ニ用ヒシニ其效力大抵同一ニシテ三時乃至四時間中ニ二乃至二度半體溫下降シ四乃至六時間ヲ經レハ再ヒ上昇ス此時ニ當リ前量ヲ反復スレバ充分解熱ヲ持續セシムルヲ得ヘシ輕症空扶斯ニ在テハ既ニ二時間ノ後二度ヲ下降シ且ツ或ル患者ニ於テハ用後十時ヲ經テ黄昏ノ溫度早朝ノ溫度ヲ越エサリシ而シテ體溫減退ノ時間ハ病症ニ由リ異ナレリ即チ病高進スルトキハ短ク減退スルトキハ長ク平均四乃至五時間ナリ

肺癆ニ於ケ
ル解熱效
用

「ドクトル」チアールス、エム、コードウエル氏ハ三十名ノ肺癆患者ニシテ殊ニ持續セル惡寒發熱アル者ニ試ミ著效ヲ認メタリ即チ内九名ハ只一側ノ肺ニ於テ輕度或ハ中等ノ硬結ヲ有セル者ニシテ此症ニ本品ヲ與ヘシニ速ニ其作用ヲ達フシ體溫常度ニ復シ脈搏強實ニシテ其數ヲ減シ食機亢進シ、消化不良、胸痛、神經症消失シ尿量大ニ増加セリ他ノ十一名ハ多クノ硬結ヲ有シ一部ハ已ニ軟化ヲ始メシ者ニシテ本品服後ハ體溫常度ニ復シ脈搏緩徐、食機恢

小兒病ニ於
ケル解熱效
用

復シ消化不良ヲ治スルヲ前ノ如シト雖モ數多ノ患者ニ於テハ脱汗ヲ起セリ然レモ「アガリチン」ヲ伍用スレハ此ノ副作用ヲ見ス他ノ十名ハ兩肺中ニ數多ノ小空洞ヲ有スル者ニシテ死期ノ迫リシ者ト雖モ發熱惡寒不眠ヲ治スルヲ得タリ

「ドクトル」ウドウイツ氏ハ五十三名ノ小兒熱性病ニ用ヒ特拔無比ノ解熱藥トセリ即チ大量ヲ與フルモ中毒症ヲ發セス持長スルモ不快ノ副作用ヲ呈セス且ツ病苦ヲ緩快スルノ效アリ但シ病ノ經過ヲ短縮セシムルコト能ハス然レモ肺炎ニ大發汗ヲ促シ善良ナル經過ヲ得セシムル者ナリ用量ハ三四歳ノ小兒ニハ〇、一「四歳以上ノ小兒ニハ〇、二—〇、三」一日ノ極量ハ熱度ノ高低ト效驗ノ多少ニ關シ一定セスト雖モ大約二、〇トセリデムメ氏ハ數多ノ小兒熱性病ニ試用スルニ其效確實ナレトモ二名ノ丹毒患者ニ於テハ惡心下痢ヲ發セリ又肺癆ニ於テハ中毒量ニテ「チアノーゼ」ヲ認メ急性關節僂麻質斯ニ於テハ其經過ヲ善良ナラシメタリ

僂麻質斯ニ
於ケル效
用

グットマン氏ハ二百四十八回僂麻質斯ニ試用シ特效藥トセリ即チ其效確實ニシテ急性症ニ於テハ發熱腫起疼痛ヲ減シ無熱性或ハ慢性ノ者ニ於テモ卓效アリ其他身體諸部ニ發起スル筋或ハ神經ノ痛ヲ緩解スルヲ急性慢性ヲ問ハス效アリ同氏ハ一日ノ最大量ヲ三、〇「一回ノ最少量ヲ〇、五通常一回量〇、七五—一、〇一日二三回ナリ經過ハ通常四日長キモ七日間ニ治癒セリ又重大ノ副作用ナシト

間歇熱ニ於
ケル效
用

〇醫學士魚住次作氏ハ間歇熱患者二十名ニ試用シ良效アルヲ實驗シ其效、規尼涅ニ髣髴タ

癲癇ニ於ケル效用

鎮痛作用

喘息ニ於ケル效用

防腐效用

リト用量ハ大人ニハ發作ノ前後〇、五翌發作ノ二三時前ニ〇、八小兒ニハ發作ノ前後〇、三翌發作ノ二三時前〇、五ヲ與ヘシト

バルツロウ氏ハ生理學及ヒ病牀上ノ實驗ニヨリ安知歌貌林ノ癲癇ニ效アルヲ論セリ用量ハ一日〇、二ヲ以テ足レリトス又ドユシヤルダン、ボーメ氏モ癲癇發作ノ抑壓鎮靜セシヲ報告セリ〇「ドクトル」緒方正清氏モ五名ノ患者ニ良效ヲ收メタリト報セリ

〇安知歌貌林ノ鎮痛作用ノ原理未タ詳ナラズ或ル人ノ臆説ニ由レハ大腦皮質ニ存スル知覺中樞ノ興奮性ヲ減退スル者ナラントセリ

ワイル氏ドユシヤルダン、ボーメ氏ハ本品ヲ神經藥トシテ稱用ス殊ニ脊髄癆ノ疼痛、癲癇、癱瘓質斯關節痛ニ效アリ用量ハ一日三四回〇、四乃至〇、六ニシテ少シモ不快ノ併發作用ナシト又偏頭痛、舞蹈病、神經痛ニモ效アリ

ドミヅ・エ氏ハ諸般ノ疼痛患者ノ十名ニ試用シ良效アルヲ證セリ用量ハ一日數回〇、七五

一、〇ナリ屢々蒼青色ヲ發スルモ患者苦悶ヲ訴ヘス又氏ハ睡眠ノ效ヲ認メタリト

〇醫學士江馬賤男氏ハ喘息患者ノ發作前三十分或ハ發作中本品〇、二五―〇、三ヲ用ヒ奇效アルヲ報告セリ

リーブライヒ氏ノ説ニ由レハ防腐ノ效アルハ即チ撒布藥トシテ防腐性ノ結皮ヲ形成セント欲シ試用セシ一創面ニ炎ノ症狀ヲ發セス醜膿ヲ減セリ最初ハ安知歌貌林ヲ撒布シ綿及ヒ「ガーゼ」ヲ置キ繃帶ヲ施シ八日間放置セシニ敢テ惡臭ナク上皮ハ再生セリ第二回ノ撒布ヲ

體內ニ於ケル變化

中毒ニ硫酸曹達效アリ

ナシ十四日間放置セシニ全治シテ後療法ヲ要セザリシ
カーン、ヘッブ兩氏ノ實驗ニ從ヘハ一部ハ分解セスノ尿中ニ排泄セラレ其他尿中ノ「エーテ
ル」硫酸少シク増加セリト〇「ミルレル」氏ノ試驗ニ由レハ「アミドフェノール」硫酸トナリ尿
ニ排泄セラレ、モノナルヘシ〇「ヒルベルト」氏ニ由レハ本品ノ分解ハ動物ノ異ナルニ由テ差
アリ兎ニ於テハ「バラアミトフェノール」トナリ犬ニ於テ其他「オルト」オクターカルブアミ
ル」ヲ生シ硫酸及ヒ「グリクロン」酸ト抱合シテ尿中ニ排泄スト

〇醫學士猪子吉人氏ノ試驗ニ由レハ他ノ「ペンゾル」誘導體ノ如ク尿ノ有機性硫酸ヲ増加ス
ルヲ殊ニ著シ依テ硫酸ト抱合セラレ、ヲ知ル然レモ安知歌貌林自己モ變形ス即チ「バラミ
トフェノール」トナリ然ル後硫酸ヲ攝取シ尿ニ顯ル又硫酸曹達ヲ投スルハ其排出盛ナル
カ故ニ安知歌貌林ノ中毒ハ宜シク硫酸曹達ヲ應用スヘシ

用量 内用ハ一回ニ〇、二五―〇、五ヲ一日數回散劑（「ラブラート」ヲ以テ）或ハ水ニ浮ヘ

（葡萄酒或ハ「コンニヤク」ニ溶解ス）或ハ丸劑トシテ用ユザリト等ハ腸壁扶斯及肺癆家ノ發
熱ニハ稀ニ大量ヲ投セスノ毎一二時間ニ頻々〇、〇五―〇、一ヲ用ユルヲ可トセリ即チ之ニ
由リテ緩和ノ解熱ヲ致シ患者爽快ニシテ危險ヲ免ル可ケレバナリ若シ習慣ヲ起スルハ
用量ヲ増加セスノ一時休服スベシ一般ニ非發熱者ハ發熱者ヨリモ大量ニ堪ヘ男子ハ婦人殊
ニ妊婦及乳授者ヨリモ大量ニ堪ユル小兒ニハ本品ハ全ク用ヒサルヲ良トス要スルニ之ヲ用
ユルハ殊ニ注意スルヲ必要トス、ビーデルト氏ハ一歳以下ニハ小兒ノ月數ニ應スル「センテ

グラム」ノ半量」一歳以上ニハ小兒年齢ノ數ニ應スル「デチグラム」ノ半量ヲ用ユ「デムメ氏
ハ〇、〇一〇、〇二ヲ以テ始ムベシト云ヘリ（極量一回〇、四「一日二、〇」）
外用ニハ純品ヲ散布シ或ハ格魯胃謨ニ混シ或ハ依的兒性溶液トナシ「ガーゼ」ニ浸シ用ユヘ
シ

○安知歌貌林二、〇 白糖 護謨末各一、
〇、二五

右爲二十九、一日二乃至四回二九

○安知歌貌林〇、二五 拵洵兒散〇、一

五

右爲一包、一日三回一包（流行性感胃） 右每三時一食匙

○安知歌貌林ニ於ケルカーン及ヘッブ兩氏ノ實驗

抑兩氏ノ今回此新藥ヲ熱性患者ニ試用シテ其解熱ノ效アルヲ試ミタルハ左ノ六十名ノ患
者ニ在リ

腸室扶斯	廿九名	肺 癆	六名
轉移性肺炎	一名	白血病ノ熱	一名
間歇熱	一名	（肺膿腫及ヒ稀膿樣氣管枝擴張症）	二名
胃 熱	一名	丹 毒	六名

試驗患者
ノ數及ヒ類

黃疸性肺炎

肋膜炎

膿血性熱（膀胱炎痔瘡）

服用時、用
量、用法

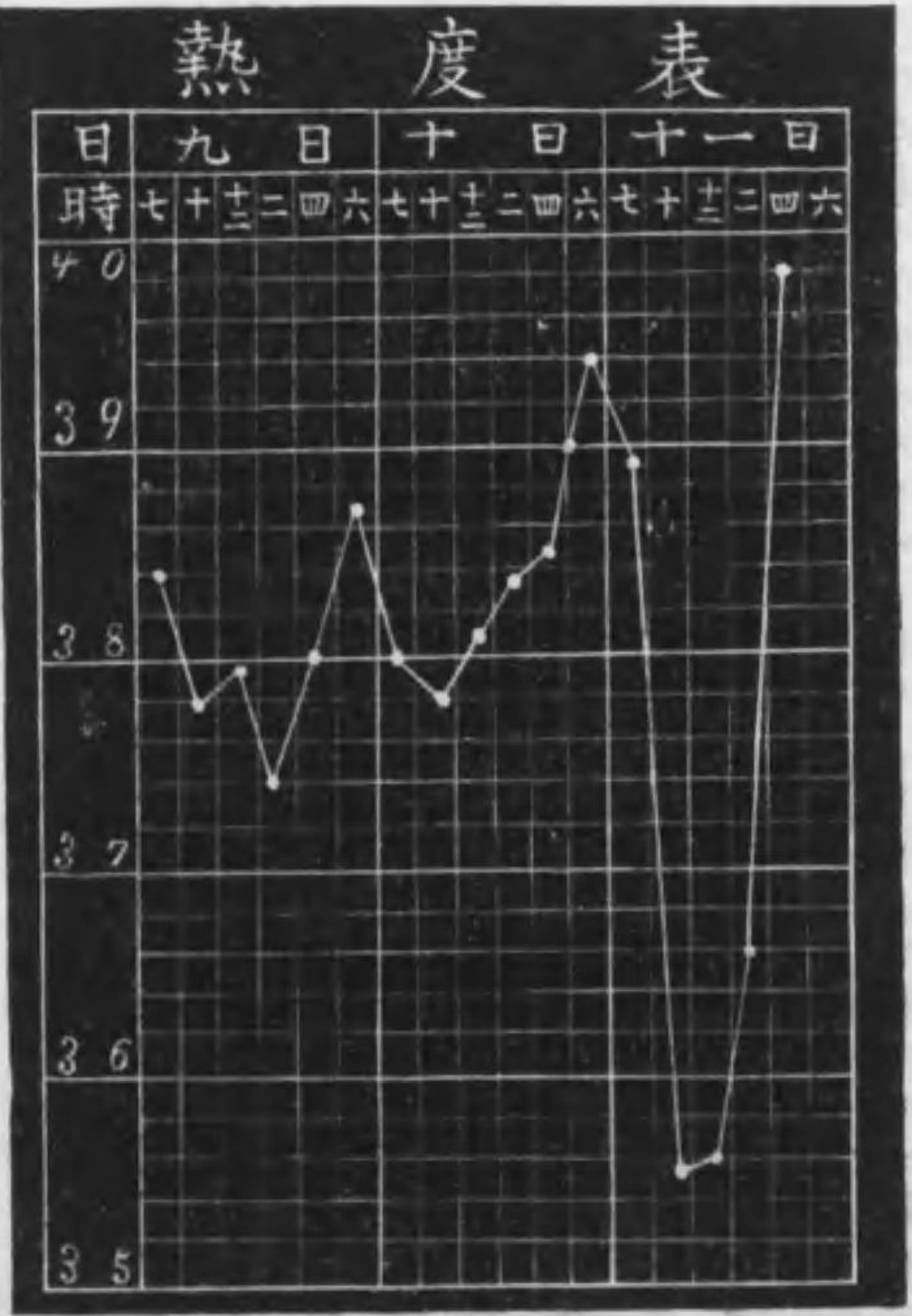
一名	義膜性肺炎	二名
一名	急性關節痲痺質斯	四名
二名	敗血症	二名

而シテ右等ノ患者ニ此藥劑ヲ用フルヤ亦他ノ解熱藥ニ於ケルカ如ク初メ小量〇、二五許ヲ
與フ然ルハ慢性ノ熱アル患者例之癆瘵家杯ニハ此小量ヲ正午或ハ午後一時頃ニ與フルニ
夕刻ノ體溫昇高ヲ能ク防クヲ得タリト云フ然レモ若シ熱甚タ高キハ殊ニ稽留熱ニハ右ノ
小量能ク其效ヲ奏スルヲ能ハサルヲ以テ〇、五ヲ同日或ハ次日ニ再ヒ頓服セシムルカ又ハ
半時乃至一時間ヲ置キ之ヲ二回ニ用ヒシメタリ然レモ尙ホ其奏效充分ナラザリシカ故ニ
〇、七七或ハ一、〇ヲ頓服セシメタル例アリ又數多ノ患者ニ在テハ解熱ノ效ヲ稍々持續セ
シメンカ爲メ後チ三時間ヲ經テ再ヒ〇、二五ヲ用ヒ稀レニハ〇、五ヲ用ヒタリト云フ而シテ
服用ノ法タルヤ或ハ之ヲ水ニ浮ベ或ハ「オブラート」ヲ以テ之ヲ包ミ或ハ葡萄酒ニ溶解シテ
用ユルニ胃中ノ吸收常ニ速カナリシト又之ヲ服用セシメタルハ多ク體溫増進ノ時期ナリキ
蓋シリーベルマイステル氏ノ言ヲ考フルニ「キニーネ」解熱ノ效タルヤ若シ自然的體溫減退
ノ時ニ會フキハ甚タ著シト雖モ體溫増進ヲ防カントスルハ難クシテ多量ヲ用ユルニ非サレ
ハ其目的ヲ達スルヲ能ハサルナリ安知歌貌林ニ於ケルモ其作爲全ク之ニ等シク例之、右ニ
掲ケタル熱度表ニ於ケルカ如ク腸室扶斯ノ第九日正午十二時ニ〇、五ヲ用ヒタルニ三十七
度四分ニ下リ第十日ニハ服藥セサルカ故ニ曲線通常ニ等シク第十一日午前七時ニ〇、五ヲ

解熱ノ例

温度ヲ著シク下降セシムルニハ大量ヲ頓服スヘシ
 大量ヲ用ヒ害ナキ例

用ヒタルトコハ病勢ハ尙ホ熾ンナルニ關ハラス二十五度五分ニ下レリ
 高度ノ體温ヲシテ實ニ甚シク下サシメント欲スルニハ大量ヲ一時ニ用ユルヲ勝レリトス
 アルベルト、フレンケル氏ハ少量ヲ數回用フルヲ稱用スト雖モ右表ニ由テ見ルキハ假令
 同量ヲ用フルモ數回ニ分ツキハ其效頓服ニ劣ルヲ知ルナリ(表ハ略ス)
 安知歌貌林ノ用量ヲ見ルニ兩氏ハ未タ二、〇以上ヲ用ヒタル經驗ナシト雖モ此數倍ヲ用ユルモ害ナシト云ヘリ蓋シ之ヨリ先キ兩氏ノ安知歌貌林ヲ以テ解熱藥ト爲サ、ル以前慢性加答兒ヲ患ヘ少シモ熱ナキ者ニ一週間毎日三、〇ノ安知歌貌林ヲ用ヒ毫モ害ナキヲ證セリ其他クリーゲル氏ハ三、四ヲ用ヒフニール
 プリンゲル、リーゼ氏ハ六、〇ヲ用ヒタル經驗アリ



生理的々用

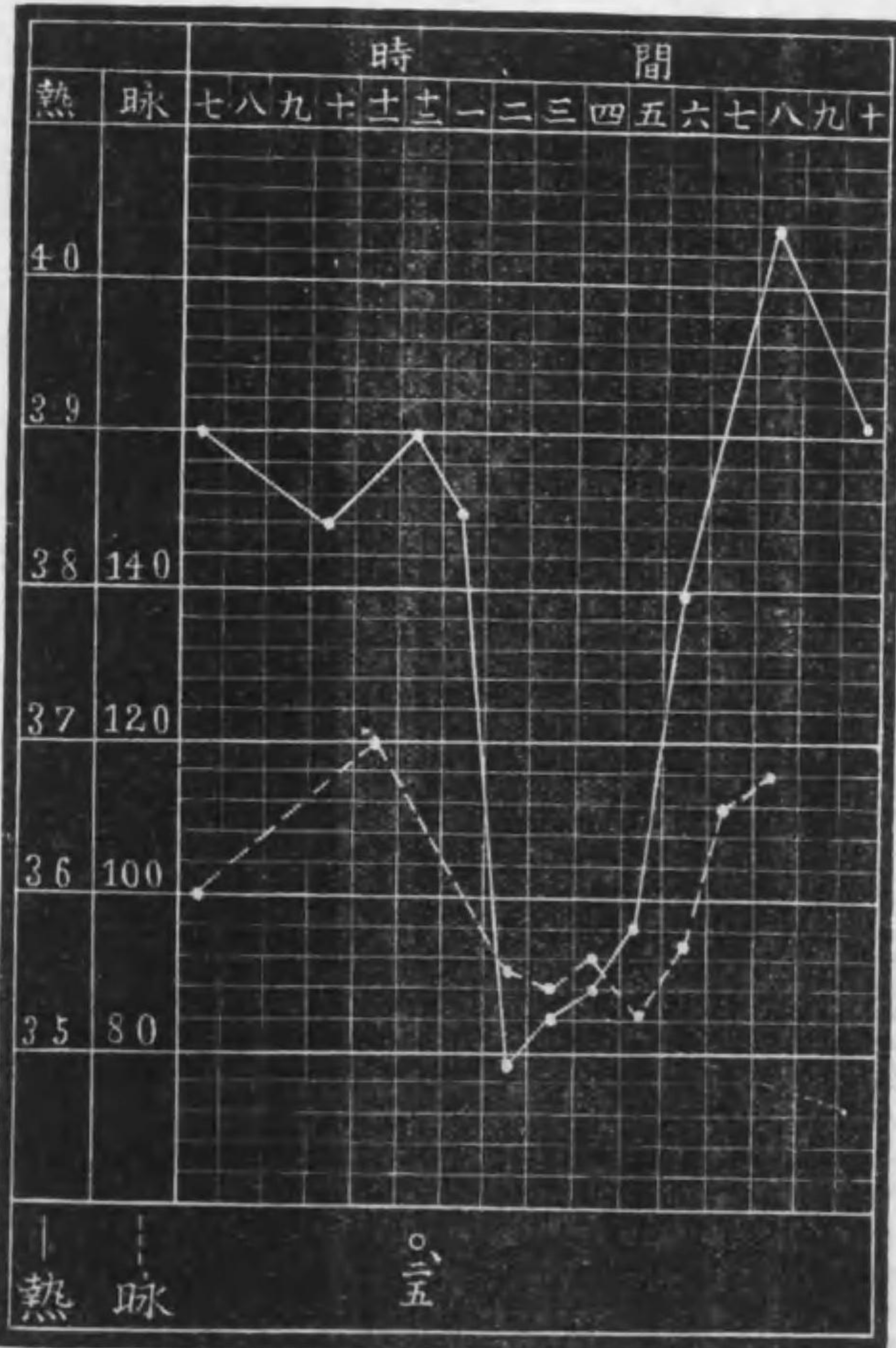
特異性ニ注意スヘシ

消化器ヲ害セス
 泌尿器ヲ害セス

通常大ノ犬ニ廿四間時ニ二、〇宛ヲ二回試ミ又家兎ニ毎日二、〇宛ヲ數日間食物ト共ニ與ヘ
 或ハ凡ソ一、〇ヲ血液中ニ注入シタリ然レモ兩氏カ八「キログラム」ノ犬ニ四、〇ノ安知歌貌
 林ヲ一回ニ與ヘタリシキハ中毒症ヲ現ハシ疲勞セルカ如ク行クニ蹣跚トシテ遂ニ睡眠ニ陥
 リタリ然レモ翌朝ニ至リテハ其平常ニ異ルヲナカリキ又六「キログラム」ノ犬ニ毎日三、〇
 宛ヲ與ヘ七日ニ及ビシニ嘔吐ヲ發シ後足ニ麻痺ヲ呈シ又失氣痙攣ヲ起シテ終ニ死ス以上見
 ル處ニ由テ考フルニ假令、人及ヒ動物ノ體温比較ハ取ルニ足ラザルニモセヨ人ニ右ノ五倍
 乃至八倍即チ二〇、〇ヨリ三〇、〇ヲ一回ニ用フルカ或ハ一五、〇許ヲ數日間用ユルニ於テ
 ハ中毒症ヲ發スルヲ明カナルヘシ
 此ノ如ク是レ安知歌貌林ハ大量ヲ用ユルモ害ナシト雖モ亦宜ク注意セサル可カラサル一事
 アリ是レ即チ各人ノ特異性ニシテ兩氏ノ實驗シタル者ハ一患者ニ敢テ大量ヲ與ヘタルニ非
 サリシカ體温ハ甚タ下降シ常溫以下ニ及フ依テ此患者ニ在テハ少量ニシテ實ニ其效充分ナ
 ルコヲ悟レリ例之ハ左ニ載セタル窒扶私患者ノ熱度表ニ於ケルカ如シト云フ
 安知歌貌林ハ腸胃ニ向テ少シモ害ナキハ實ニ明カニシテ之ヲ服シ嘔氣等ヲ催スコトナシ
 又眼ヲ轉シテ腎臟及ヒ都テ排泄器ヲ見ルニ又之ニ刺衝ノ痕跡ナシ兩氏ノ實驗ニ窒扶私患者
 ニシテ或ハ腎臟炎ヲ兼ネ或ハ膀胱刺戟ヲ兼ネ或ハ出血性腎臟炎ヲ兼タル者アリシカ安知歌
 貌林ヲ試ミタルニ此合併症ニ毫モ惡徵ヲ認メス蛋白尿症ハ或ハ該藥服用中ニ治シ或ハ全ク
 解熱後ニ至テ治シタリト云フ

安知歌貌林解熱ノ效ハ之ヲ適量ニ用フレハ内服後一時間ニシテ顯ハレ始メ皮膚ニ紅色ヲ帶

第 六 圖



ヒ多少ノ發汗アレモ敢テ甚シキニ至ラス從テ發疹等ノアルコ甚タ稀ナリ而シテ體溫減退ス

解熱保續時

ルキハ皮膚終ニ脱色シテ蒼白ヲ呈スルコ稀ニ見ル所ナリ
安知歌貌林ノ效用ヲ保ツ時間ハ熱ノ高低及ヒ減退シ難キ者ト易キ者ニ關シ或ハ用量ノ多少
又ハ服用ノ時刻ニ關シテ各々差アリ然リト雖モ一度解熱シタル後少量ヲ續々用フルルハ此
時間ヲ稍々長カラシムルヲ得可シ服用後最低ノ熱ハ三時乃至五時間後ニ在テ是ヨリ漸次
復タ増進シ急ニ昇リ終ニ藥用前ノ度ニ達ス而シテ此時恰モ體溫自然ノ増進ニ會スレハ藥用
前以上ノ度ニ上ルナリ即チ體溫減退及ヒ増進ヲ加ヘ全期凡ソ三時間ヨリ十二時間ニ在リト
ス體溫増進ノ際ハ安知必林ニ於ケルカ如ク時トシテ惡寒アリト雖モ甚シキ寒戰ハ極メテ稀
ナリト云フ

尿量増加ス

服後快氣ヲ覺フト共ニ患者或ハ渴ヲ訴ヘ或ハ食慾ヲ増スコアリ是レ此原因ハ蓋シ排尿機ノ
亢進ニ在ルモノニシテ安知歌貌林ヲ用ヒテ尿量ノ増加ハ爭フヘカラサルノ事實ナリ即チ兩
氏ハ重症窒扶斯ノ第二週ニ於テ排尿五「リッター」ニ上リタルヲ實驗シタルコ數々ナリト云
フ而シテ此際尿ノ異重ヲ檢スルニ毎ニ其下ルヲ見ルナリ(表ハ略ス)

脈數ヲ減ス

此ノ如ク熱性病ノ經過中ニ尿量ノ増加スルハ蓋シ善徵ニシテ其因テ來ルヤ安知歌貌林血行
器ニ害ヲ與ヘサルカ故ナリ又前ニ掲ケタル諸表ヲ見ルニ體溫ノ減退スルニ從ヒ之ト並行シ
テ脈搏モ亦多少其數ヲ減ス(表ハ略ス)安知歌貌林ハ右ノ如ク脈ヲ減スルニ從ヒ血管壁ノ緊
張ヲ強クス又安知歌貌林ノ他藥ニ勝ル所以ノモノハ之ヲ大量ニ靜脈中ニ注入スト雖モ血壓
ニ毫モ變動ヲ與ヘサルニ在リ

規尼涅及ヒ安知必林ヲ用フルキハ其解熱時中ニ患者能ク睡眠スルコトアルハ吾人ノ既ニ知ル所ナリ而シテ此安知必林ニモ亦此作用アリ

○「ザロキニン」 Salicin. $C_6H_7OH.CO_2O.C_{10}H_{15}N_2O$.

性状作用 本品ハ撒里矢爾酸規尼涅ニ無色無味ノ結晶ヲナシ水ニ溶ケズ酒精、依的兒ニ容易ニ溶解シ百三十度ニ溶解ス

ヲフェルラッハ氏ハ緩和ノ規尼涅劑トシテ治療上ニ用ヒシカ其真ニ全ク無味ナルト毫モ其規尼涅ノ毒作用及神經性障礙即チ耳鳴、重聽、頭重、視力障礙等ヲ發セサルト大量并ニ持長スルモ消化器及泌尿器ニ毫モ刺戟作用ヲ呈セサルトハ蓋シ規尼涅ニ優レル點ナリトセリ

應用 從來ノ實驗ニ由レハ本品ハ貴重ナル鎮痛藥ニシテ種々ノ神經痛、上眼竇神經痛、坐骨神經痛、脊髓癆ノ疼痛、筋癱瘓質斯、流行性感冒ニ效アリ然レモ解熱ノ效用甚弱シトスヲフェルラッハ氏ハ本品ハ腸窒扶斯ニ向テハ體溫ノミナラズ其病機ニモ良能アリテ神識ノ癡鈍ヲ減退スルト云ヘリ然ルニタウスク氏ハ之ニ反シテ腸窒扶斯ニハ著效ナシト云ヒリツテン氏ハ急性關節癱瘓質斯及ヒ他ノ癱瘓質斯性疾患ニハ毫モ效ナシト時トノ服後惡心ヲ來タス

用量 本品二、〇ハ規尼涅一、〇ニ應ス大人ニハ一回二二、〇宛一日數回散トメ投スヲフェルラッハ氏ハ坐骨神經痛ニ毎夕二、〇ヲ與ヘ第三夜ニ至ルモ尙疼痛増進スルキハ亦夜間ニ同量ヲ投セリ

○「サリガルロール」 Saligallol. ○「撒里矢爾酸」

本品ハ堅キ樹脂狀物ニシテ「ピロガロール」ノ化合物ハ「レニガルロール」ヨリモ尙堅キカ故ニ其作用ハ甚緩和ナリ其性質樹脂狀ナルヲ以テ「ファイルニス」ヲ製スルニハ甚妙ナリ「アチエトン」二分或ハ嚼囉仿謨十五分ヲ加ヘタル溶液ヲ皮膚ニ塗布スルキハ善ク粘著スル「ファイルニス」トナリテ速ニ乾固ス本品ハ皮膚病ニ塗布スルトキハ善ク粘著スル「ファイルニス」トナリテ速ニ乾固ス本品ハ皮膚病劑ニシテ其作用ヲ強力ナラシムルニハ「ライガルロール」ヲ加フベシ

○「ザロクレオール」 Saloreol.

「ザロクレオール」ハ撒酸ヲ結麗阿曹篤ニ働カシメタルモノニシテ殆ド無臭ノ褐色中性ノ油狀液ナリ、水ニハ不溶解性ニシテ無水酒精、依的兒及嚼囉仿謨ニハ容易ニ溶解ス、亞爾加里、亞爾個保爾ヲ加フルカ或ハ單ニ水ヲ加ヘテ煮沸スルコト數時ナルキハ鹼化ス

皮膚ニ塗布セバ該部ヲ變色スルコトナク、或ハ刺戟スルコトナクシテ吸收セラル、殊ニ脂肪少キ部ヨリ之ニ富メルノ部ヨリ容易ク吸收セラル

體內ニ入レバ分解シ撒酸ハ撒里矢爾酸トシテ排泄セラル
本品ハ癩麻質斯性關節腫脹、丹毒、畸形關節炎ニ效アリ殊ニ急性竝ニ慢性淋巴腺炎ニ效アリ、又能ク麻疹及猩紅熱後ノ咽頭炎竝ニ淋巴腺腫ヲ治ス
之ヲ用ユルニハ先ツ局部ノ皮膚ヲ乾燥セシムベシ然ラザレバ乳劑ヲ生シ吸收シ難カラシム

本品ハ一日六、〇—二〇、〇ヲ單用ス

〇「ザロザンター」 Salutarin. (サロサンター油)

性狀應用

本品ハ東印度産ノ純粹ノ紫檀油ト「ザロール」トノ結合物ニシテ澄明鮮黄色ノ液ヲナシ純紫檀油ノ外觀アリテ著シキ芳香性紫檀油臭及「フェノール」臭ヲ具フ而シテ此臭氣ヲ隠蔽スルガ爲メニ其臭味改良トシ薄荷油ヲ加ヘタリ本品ハ淋疾及泌尿器病ニ滴劑トシ十乃至二十滴宛一日三回食後服用セシム(本品ハ三三、三%ノ「ザロール」ヲ含ムヲ以テ「ザロザンター」一五、〇中ニハ「ザロール」五、〇ヲ含有ス)其際少許ノ砂糖ヲ加ヘ或ハ一食匙ノ糖水ニ加用ス本品ノ長所ハ左ノ如シ(一)「ザロザンター」ハ尿ノ病的性質ヲ改良スルノミナラズ同時ニ發炎セル粘膜ニ於テ鎮痛作用ヲ致ス(二)本品ノ殺菌及化膿制止ノ作用ハ獨リ亞兒加里性尿ノミナラズ酸性尿ニ於テモ之ヲ營ム(三)本品ハ尿量ニ持續的作用ヲ營ム已ニ休藥セル後モ亦然リ(四)本品ハ其價低廉ナルヲ以テ殊ニ貧病者、ボリクリニーク、汽車醫ノ使用ニ適ス

本品ノ適症

本品ノ適症ハ(一)尿道及膀胱病(淋疾及膀胱炎)ニシテ粘膜ノ知覺過敏且受衝機敏ナル爲メニ注射及洗滌ヲ行ヒ難キ者(二)急性増悪及合併症(膀胱炎、後尿道炎、攝護腺炎、副睾丸炎)ニシテ劇シキ炎症、疼痛、血尿、尿意頻數、膀胱痙攣アル者(消炎、鎮癒、鎮靜作用アルヲ以テ自覺症狀、著シク緩解ス)(三)慢性膀胱炎ニシテ亞兒加里性安母尼亞性尿酸酵、微菌尿、膿尿、慢性淋若クハ結核ニ由ル酸性尿アル慢性膀胱炎、(四)悪性頑固ノ尿道淋ノ諸症ニ於テハ殺菌

禁忌及服用ノ注意

性及加答兒制止性ノ作用アルヲ以テ淋疾ニ罹レル粘膜ノ局所防腐療法ニ向テ藥劑的補助法ノ要務アル者タリ

本品ノ禁忌ハ急性或ハ慢性腎臟炎ニシテ腎實質ノ刺戟ヲ起スヲ以テ用ユ可ラス故ニ本品ヲ用ユルニ先チ尿中蛋白ノ有無ヲ試驗シ若シ何等ノ腎臟症候ノ存セサル者ニシテ之ヲ用ユベシ胃ノ官能障礙ニ於テモ本品ノ服用ヲ中止スルヲ良トス本品ハ決シテ空心時ニ服ス可ラス必スヤ食後ニ與フ可シ歇私の里性及貧血性ノ婦人ハ服後惡心及嘔氣ヲ訴ヘタル者アリ善ク之ヲ服セシムルニハ膠囊トナシ與フベシ若シ服用後ニ石炭酸尿(黑色尿)ノ症狀アルモノニハ危險ノ石炭酸中毒アルカ爲メニ本品ノ持續ヲ廢スヘシ



又安息香酸「スルフェイニッド」カルトス
ル「アミン」安息香酸「アンヒドリット」

防腐藥及調味藥

性狀

「サツカリ」ハ強烈ノ甜味ヲ有スル白色ノ粉末ニシテ極テ強烈ナル甜味アリ通常ノ溫度ニ在テハ僅ニ苦扁桃油様ノ臭氣ヲ呈スレ之ヲ攝氏二百度以上ニ熱スルハ此臭甚著明トナル冷水ニハ唯僅ニ溶解シ酸性ヲ呈スルモ強甘味ヲ有シ熱湯中ニ飽和セル「サツカリ」溶液ヲ放冷スルハ針狀結晶トナリ又依的兒、酒精ニハ容易ニ溶解ス甜味ハ尙一分ト七萬分ノ水溶液ニ於ケルモ認知スルヲ得ヘシト雖モ蔗糖ハ唯二百五十倍ノ液ニ於テ甜味ヲ感スルノミ是故ニ「サツカリ」ハ蔗糖ヨリハ二百八十倍ノ甜味ヲ具フル者ナリ

鑑識

「サツカリ」ノ同性ハ簡短ニ溶解點ノ決定及肝色反應(則チ曹達ヲ加ヘ熱灼ノ炭化スルニ至

ザロサンター サツカリ

リ現ハル)ニ由テ證明スヘシ空氣ヲ通シ白金板上ニ熱スルキハ先、苦扁桃油ノ臭氣ヲ發生シテ溶解シ遂ニ燃燒シテ殘痕(無機性不潔物)ヲ殘スヲナシ含水炭素ヲ以テ擬造セル「サッカリン」ヲ試驗スルニハ五十倍ノ英國硫酸ニ溶解シ寒冷ニ於テ溶解スルカ或ハ液ヲ熱スルキハ褐色ヲ呈スルニ在リ「サッカリン」ノ亞兒加里性液ハ久時熱スルモ暗色ヲ呈スルコトナク(葡萄糖)亦酸化銅ヲ還元スルコトナシ

防霉效用

作用 身體ニ於ケル「サッカリン」ノ關係ハツウリンノアドユツコ、モツソ一及ア、スツチエルエ、サルコウスキイ氏等之ヲ講究シタリアドエツコ氏及モツソ一氏ハ「サッカリン」ヲ防霉藥トシテハ撒里失爾酸ニ優ル者トセリ即チ同量ノ尿ト〇、三二%ノ「サッカリン」溶液其他、尿ト〇、三二%ノ撒里失爾酸溶液及尿ト蒸餾水ヲ混和シタリシキニ「サッカリン」液ヲ混合セル尿ノ「アンモニア」性酸酵ハ十六度乃至十七度ノ温ニ於テ七日ヲ經ルモ尙未タ之ヲ起サハリシト雖モ撒里失爾酸ヲ含有セル尿ハ已ニ之ヲ發起シ餽水ヲ有セル尿ハ甚シク發生シタリキ〇サルコウスキイ氏ハ營養試驗ヲ施シ犬ニ一瓦及二瓦ノ「サッカリン」ヲ與ヘタルニ更ニ肉類及脂肪ノ消化及吸收ヲ不良ナラシムルヲナク安息酸曹達ノ如キ身體蛋白ノ分解增加ヲ發起セサルヲ發見セリ同氏ハ犬ニ二瓦ノ「サッカリン」ヲ與ヘタル日ニ於テ尿中ニ「ブレフオルミルテン」硫酸ノ比較的ニ増加スルヲ經驗セリ今ヤ依的兒硫酸ノ減少ニ由テ「サッカリン」ハ亦腸管ニ於テ微弱ノ防腐作用ヲ發起スルヲ決セントセリ

營養ニ及ス作用

尿ノ關係

〇「サッカリン」ノ攝取後、犬ノ排泄セル尿ハ甘味ヲ呈スルニ由リ本品ノ一部ハ變化セシテ

健康ヲ障害セス

排泄セラル、ヲ決スヘシ
〇サルコウスキイ氏ノ試驗ニ供セシ犬ハ其體重六、六「キログラム」ヲ有シ一、〇一ニ、〇ノ「サッカリン」ヲ與ヘタルニ有害ノ作用ヲ認メタルヲナシアドユツコ氏及モツソ一氏ハ自ラ其五瓦ヲ一回ニ服セシモ更ニ其健康ヲ損害セサリキ故ニ毎日〇、一〇、二ハ有害ノ作用ヲ呈セサルナリ

糖尿病ニ於ケル效用

應用 甘味ニ慣ル、所ノ糖尿病者ニハ「サッカリン」ハ砂糖ノ代用品トシテ常ニ貴重ナルヘキカ如シ故ニ甘味料トシテ用ユル各量ノ「サッカリン」ハ糖尿病ニ於テ殊ニ良效ヲ奏スルヤ將タ不良ナルヤヲ檢定スルヲ有益ナリトスアベレス氏ハ之ヲ檢セントシテ一回量〇、一〇、五ノ「サッカリン」ヲ與ヘタルニ糖分ノ排泄ニハ更ニ感應ナキカ或ハ之ヲ發見スルヲ證明セリ同氏ハ糖尿病者ノ消化ヲ倦怠セル營養狀況ニ於テ變化ヲ生スルニハ實ニ適當ナル者ナルヲ著意セリ「サッカリン」ヲ甘味配合料トシテ之ヲ以テ胡桃或ハ杏桃ヲ燒製スルニ少シモ有害ナルヲナク各隨意ニ酸味ノ葡萄酒ヲ甘味トナスヘク或ハ酸味ノ果實ハ砂糖ヲ加フルヲナク食用スルヲ得ヘシ
コールシユツテル氏及エルザツセル氏ハ糖分排泄ニ於ケル「サッカリン」ノ感應ヲ試驗スルカ爲メ已ニ甚シキ糖尿病者ニ毎日〇、六ノ「サッカリン」ヲ與ヘ次テ一、〇トシ爾後進テ一、五一ニ、〇ヲ與ヘタリ然ルニ「サッカリン」ヲ與フルノ間ハ尿量及糖分排泄モ減少シ「サッカリン」ノ休用ト共ニ増量セリ

サッカリン

クレメンズ氏ハ其防腐性質アルカ爲メ膀胱加答兒ノ「アンモニア」醱酵アル者（曹達ヲ以テ「サッカリン」ヲ水中ニ溶解ス）ニ内服及ヒ外用セシメ其他、胃ノ異常醱酵作用ニ制止薬トシテ良效ヲ奏セリ

醫學士中澤信四郎氏ハ本品ヲ種々ノ病ニ用ヒ其著效アルヲ認メ日本醫事週報百五十六號ニ報告セラレタルヲ以テ左ニ抄録セン

本品ノ防腐的效用ニ就イテ今日マデ價値アル實驗ナキモノ、如シ然ルニ余ハ之ヲ防腐的ニ應用シテ其治效ノ顯著ナルヲ認メタリ余ハ本藥ヲ用ユルニハ總テ二百倍乃至六百倍ノ範圍ニ於テ外用劑ニ供用シタル者ニシテ内用藥トシテノ治效ハ未ダ經驗ナシ外用トシテハ軟膏及ヒ水溶液ノ二種トシテ而シテ又應用シタル疾病ニ就テハ（一）洗滌薬トシテ中耳炎、外聽道炎、慢性鼻粘膜炎、子宮内膜炎兼腔加答兒、尿道加答兒、慢性膀胱加答兒（二）下疳（口）軟膏トシテ眼瞼炎、急性濕疹、破壊シタル「フルンケル」第二度ノ火傷（三）含嗽及ビ口中拭布用トシテ急性扁桃腺炎、濾胞性口腔粘膜炎、小兒爲口瘡（四）吸入用トシテ惡臭性氣管枝加答兒、急性氣管枝加答兒、肺結核等ニシテ皆諸症ニ著效ヲ得タリ（中略）

一步ヲ進メテ本品ニ於ケル利、不利ノ二點ヲ觀察スルヲ左ノ如シ

本品ノ利益ナル點ハ第一原價ノ廉ナラザルニアリ第二含嗽、吸入等ニ供スルトキハ甘味強キガ爲メ口腔内ニ於テ大キニ一種不快ノ感ヲ起スニアリ

本品ノ利益ナル點 第一無臭無刺激性ナルニアリ第二消臭防腐ノ效著大ナルニアリ第三小

兒等ニ於テハ甘味アルヲ以テ口中拭布ニ適用シ易キニアリ第四其價廉ナラズト雖モ使用スルニ當リテハ高度ニ稀釋シテ確效アルヲ以テ比較的廉價ナリ
（結論）本品ハ持續シテ用ユルモ中毒症狀及ビ副作用ハ毫モ認メズ多少嚙下スルモ利アリ寧ロ害ナシ軟膏劑トシテ夏期ニ於テハ單軟膏ニ伍シ冬期ニ於テハ華攝林ニ配伍シ洗滌薬ニハ本品ノ性トシテ冷水ニ溶解シ難キヲ以テ微温溶液トシテ供用スレバ可ナリ偶然ニモ本藥ノ性質ハ其聲價ヲ高ムルノ一原因トナレリ何トナレハ冷溶液ナルトキハ寒冷刺激ノ爲メニ患者ハ厭苦スト雖モ本品ノ性質上必ズ温溶液トナサル、ヲ得ザレバナリ
無臭無刺激性ニシテ防腐的作用ニ至リテハ其效顯著ナル豈ニ又得易カラザルノ藥劑ニアラズヤ余ハ信ズ今一步ヲ進メテ廣ク之ヲ内服、眼科用藥劑ニ供用スルトキハ蓋シ其奏效ノ尠少ナラザルヲ（下略）

○現今「サッカリン」製造ノ專賣特許ヲ有セルマダグデブルクノ「ファールベルグヒツト」及「コー社」ハ「サッカリン」規尼涅ヲ製セリ即チ三十六分ノ「サッカリン」ト六十四分ノ規尼涅ヲ含有セリ此劑ハ僅ニ規尼涅ノ苦味ヲ微スベキノミ
又「サッカリン」ハ「リキユール」酒ヲ甘味トナスカ爲メニ一分ト八千分ノ比例ヲ以テ混ス

○用法ハ散劑トシテ一日三回ニ服セシメタルニ病者ハ久シク不快ノ甘味ヲ口内ニ覺エタリ膠囊或ハ丸劑トナシ一〇—二〇ヲ一日三回ニ分服セシムルヲアリ

收斂及防腐

○「サッカリン」一、〇 炭酸曹達 一、
 一 蒸餾水 一〇〇、〇ノ液ニ規尼涅
 一、〇ヲ加フ
 右一茶匙ヲ服スヘシ
 ○「サッカリン」二、〇 薄荷油十滴 酒精
 一四〇、〇 水二〇〇、〇
 右半乃至一茶匙ヲ一盞ノ水ニ加ヘ洗
 口水トス
 ○「サッカリン」一、〇 沒藥丁幾五、〇
 刺賢姪兒精一〇〇、〇
 右半乃至一茶匙ヲ一盞ノ水ニ加ヘ洗
 口水トス

醋酸酒石酸亞兒密紐謨

Aluminium oeticobarbitaricum. 「アルソール」

性状及應用 本品ハ無色光輝アル護謨樣質ニ微ニ醋酸ノ臭氣アリ少許ノ水ヲ以テ振盪スレハ無色ノ粘膠質ヲ生ス味ハ酸ク且收斂スルモ不快ナラス同量ノ冷水ニ溶解シ水溶液ハ酸性ニ反應シ熱スルモ混濁セス尙凝膠シ得ヘシ酒精ニハ溶ケス水溶液ハ酒精ニ由テ沈降ス其化學的構成ニ從ヘハ酒石酸及醋酸ト陶土トノ重複鹽トナスベシ可及的、醋酸ノ蒸發

○「サッカリン」三、〇 乾燥炭酸曹達
 二、〇 「マンニツト」 五〇、〇
 右爲百丸、每丸ハ一鐘ノ珈琲、茶ヲ甘
 味ナラシムヘシ
 ○沈降製炭酸石灰二八、〇 葛蒲根末二、
 ○「サッカリン」一、五 薄荷油十滴
 右磨齒散トス
 ○「サッカリン」 重曹 撒里矢爾酸 各
 五、〇 酒精一五〇、〇
 右一茶匙ヲ一盞ノ水ニ加ヘ洗口水ト
 ス

有力ナル營
養劑

ヲ防クカ爲メ密閉セル器ニ貯フヘシ且五十%ノ溶液トナシ貯フルヲ便トス是レ稀濃ノ液ヲ製シ得レハナリ含嗽水、綑帶水、臭鼻ノ洗鼻料等ニ用ユ
用量 醋酸亞兒密紐謨ノ如ク亦無毒確效アル收斂及防腐藥トナス口内含嗽料ニハ一乃至二%ノ者、創傷療法ニハ一乃至三%液ヲ用ヒ凍瘡水胞ニハ五十%溶液ヲ賞用ス
 ○醋酸酒石酸亞兒密紐謨四、〇 サルフ
 イア水二〇〇、〇
 右含嗽料
 ○醋酸亞兒密紐謨液 *Liquor Aluminium acetica.*
 無色透明ノ液ニシテ、五乃至八%ノ醋酸亞兒密紐謨ヲ含ミ酸性ノ反應アリテ收斂性甘味ヲ呈ス緩和ノ收斂劑トシテ内用シ并ニ綑帶水トシテ外用ス

右綑帶料

○「サノーゼ」 *Sanosol.*
 「サノーゼ」トハ蛋白製劑ニシテ「カゼイン」八十%ト「アルブモーン」二十%ノ混合物ナリ本品ハ白色無臭無味ノ粉末ニシテ水ヲ和スレハ乳和液ヲ生ス煮沸スルキハ全ク乳汁ニ似タル液トナル是レ本品ノ「カゼイン」ト異ナル所ニシテ「カゼイン」ハ水ヲ加ヘテ煮ルキハ縷ヲ引ク稠厚物トナルヲ以テナリ本品ハ鹽酸百弗聖及「トリブシン」ニ由リテ容易ニ消化セララル
 本品ノ溶解性ナルト其無味ナルト爲メニ種々ノ形狀ニ調理シ患者ヲシテ之ヲ知ラシムルヲナク用ユルヲ得ベシ本品ハ乳汁及柯々阿(半)「リーテル」ノ乳汁ニ約二〇、〇—五〇、〇)

醋酸酒石酸亞兒密紐謨 醋酸亞兒密紐謨液 サノーゼ

莢豆汁(一皿ノ汁ニ約五、〇)其他粉類ヲ以テ製セル諸食品ニ和シテ與フルヲ得ベシ之ヲ麵
 麩ニ加フルキハ其蛋白ノ量著シク增多ス即チ十%ノ「サノーゼ」ヲ加フルニ由リテ平均二十
 乃至三十%ノ蛋白ヲ含ミ且美味ナル麵麩ヲ得ベシ此ノ如キ麵麩ハ殊ニ肉類ヲ厭惡セル患者
 或ハ肉食ヲ制減セサル可ラサル者例之、腎炎、尿酸體質ニ適ス蜜尿病患者ニハ「アロイロナ
 ート」麵麩ニ代用スルヲ得ヘシ「サノーゼ」ト「ヌトロール」ノ混合物ハ恰モ扁桃乳ノ如キ爽
 快ノ味アリ此劑ハ容易ニ吸收セラル、蛋白劑ニシテ患者久時食用スルモ之ヲ厭フコトナク善ク
 堪フル者トス數週間供用スルニ下痢ヲ發シ易キ肺癆家ト雖モ更ニ下痢ヲ起スコトナシ「サノ
 ーゼ」ヲ服スルキハ多クハ一回俄カニ窒素ノ排泄増進シ其後漸次窒素平均スルモ概シテ服
 用前ヨリハ多量ニ排泄ス亦同時ニ磷酸ノ排泄量モ増加ス

〇三貌魯謨化沃度 *Jodum tribromatum. J Br.*

本品ハ暗褐色ノ液ニシテ臭透様不快ノ臭氣アリ容易ニ水ニ溶解ス實布埜里ニ向テ本品一分水
 三百分ノ液ヲ以テ含嗽及霏散セシム乃チ每十五分時ニ含嗽シ一日二三回霏散セシム但用時
 沃度中毒ヲ發セシメサル爲メニ須ク注意ヲ加フヘシ

〇三貌魯謨「アルソール」 *Allium tribromatum* 又三貌魯謨「コドリン」

本品ハ無色ノ液ニシテ寒冷ニ遇ヘハ結晶シ二百十九度ニ沸騰ス鎮靜及鎮痛藥トシテ歌私的里、
 喘息、痙攣ニ二三滴ヲ一立方仙迷ノ依的兒ニ溶シタルモノヲ皮下注射シ又ハ五滴ヲ膠囊ニ
 入レ一日二三回服用セシム

〇三貌魯謨「フェノール」 *(「プロモール」ヲ見ヨ)*

〇三格魯兒化「フェノール」 *Trichlorphenol.*

本品ハ石炭酸及「クロール」石灰ノ混合物ニシテ「ジアン」氏ニ從ヘハ其防腐力ハ石炭酸ヨリ二
 十五倍強ク壞疽様腐敗性創傷及潰瘍ニハ最良ノ防腐劑トシテ稱用セリ用法ハ直ニ本品ヲ用
 ヒ(沃度仿謨ノ如ク)又一乃至五%ノ液ヲ用ユ石炭酸ヨリ廉價ナリ(其惡臭ハ「ラー」ヘンデ
 ル」油ニ由テ止ムベシ即三〇、〇中ニ同油五滴ヲ加フ)

〇三格魯兒醋酸(腐蝕劑トシテ格羅謨酸ニ代用ス)

〇III「メチール、アミン」 *Trimethylaminum. (HCN₃).*

無色透明青魚様臭氣アル液ニシテ水及酒精ニ容易ニ混和シ四乃至五度ニ沸騰ス小舞蹈病、關
 節痲質斯、振顫痲痺ニ一日數回水ニ芳香物ヲ加ヘ一回量〇、一〇、三ヲ與ヘ一日量一、〇
 一三、〇ナリ

〇鹽酸三「メーテル、アミン」ハ潮解シ易キ結晶ニシテ水ニ溶ケ易ク微ニ魚臭アリ丸劑或
 ハ篤兒拔兒撒謨ヲ以テ被ヒ急性筋痲質斯、關節痲質斯、痛風ニ一日三乃至五回
 〇、一〇、三ヲ用ヒ良效アリ

〇三格魯兒沃度 *Jodum trichloratum. J Cl₃.*

菱形板狀ノ結晶或ハ帶黃紅色ノ粉末ニシテ溶解シ易ク甚引濕性ニシテ強ク竄透スル臭氣アリテ
 流涙及咳嗽ヲ催起シ熱スルキハ忽チ分解シ三格魯兒沃度及格魯兒トナリ酒精及少許ノ水ニ容

劑防腐及消毒

三貌魯謨「フェノール」 三格魯兒化「フェノール」 三格魯兒沃度

易ニ溶解シ多量ノ水ニ由テ分解ヲ催ス「ペンツオール」ニ溶解スレバ暗櫻紅色ヲ呈ス
三格魯兒沃度ハ沃度五四、三九及格魯兒四五、六一ヨリ成リランゲンブツフ氏ハ消毒藥及防
腐藥トシテ賞用セリ其防腐力ハ石炭酸ニ優リ昇汞ニ次ク者ニシテ、一%ノ水溶液(即チ千倍)
ハ頗ル抗抵アル芽胞ヲモ暫時ニノ撲滅スルモ酒精溶液或ハ油溶液ハ無效ナリ同氏ニ從ヘハ
之ヲ應用スルモ中毒ノ危險ヲ經驗セスト云ヘリ

ランゲンブツフ氏ハ三格魯兒化沃度ノ水溶液(千倍或ハ千五百倍)ハ手、器械及繃帶料(「ガ
ーゼ」、木綿)ノ消毒藥ニ外用シ又千二百倍ノ溶液ヲ淋疾ニ注入ス之ヲ外用セルカ爲メニ皮
膚ニ生セル褐色斑ハ硫酸「チオ」那篤留謨ヲ塗布スルニ由リ除クヲ得可シ
内用ハ「バクテリア」ノ存在ニ歸スル胃ノ消化障礙ニ於テハ〇、一ヲ一二〇、〇一―一五〇、〇
溶液トナシ賞用セラル

〇三格魯兒化沃度〇、二 水二四〇、〇 〇三格魯兒化沃度〇、五 水六〇〇、〇

右尿道注入料

右繃帶料

〇撒里失爾酸亞兒密烏謨

Aluminium salicylicum.

(不溶性)「ザ
マン」

本品ハ微紅色ノ細粉末ニシテ水ニ溶ケス收斂ト稍刺戟ノ性アリ外用殊ニ鼻病(臭鼻)及喉頭病
ニ吹入ス

〇撒里失爾酸安母尼亞亞兒密烏謨

A. Salicylicum ammoniatum.

(溶解性)「ザ
マン」

本品ハ帶黃白色ノ粉末ニシテ水九分ニ溶解ス前者ヨリハ強ク刺戟シ鼻病ニ吹入シ慢性咽喉加

答兒ニ於テ咽喉頭ニ塗布ス(水或ハ偏利設林ニ溶解ス)

〇撒里失爾酸「メチール」*methylium salicylicum.*

本品ハ無色或ハ淡黃色ノ液ニシテ頗ル水ニ溶ケ難ク酒精、依的兒ニハ容易ニ溶解ス依的兒
性油及脂肪油ニ混合ス本品ノ水溶液ハ格魯兒鐵ニ由リテ紫色ヲ呈ス〇本品ハリノシエー及
レモイン氏ハ撒里失爾酸曹達ニ代用セリ蓋シ本品ハ消化器ヲ害セス且局所ノ如ク一般ニ奏
效スレバナリ一日三回一、〇―二、〇ヲ内用ニ供ス外用ニハ坐骨神經痛、假性神經痛、淋疾ニ
用ユ又カトリン氏ハ罌法トシテ諸種ノ痲痺質斯ニ用ヒタリ氏ハ「ガーゼ」二十乃至二十五ヲ
浸シテ疼痛アル關節ノ周圍ヲ纏絡シタル後不透性物品及綿ヲ以テ被包セリ

パウ、カジョー氏ハ淋毒性副峯丸炎ニ於テ峯丸ヲ綿及繃帶ニテ保持シ終日蔭中ニ安臥セ
シメ一日三回本品二十滴宛陰囊上ニ滴下シ之ニ水密ノ繃帶ヲ施シ甚シク壓迫スルヲナク固
定セリ同日ノ夕疼痛已ニ緩解セリ本品ノ滴下後輕キ灼熱ヲ來スモ忽チ消散シ溫度モ速ニ一
度以上低降シ安眠シ得サリシ患者モ甚善ク睡眠ス六日ノ後諸症狀消散セリト
近時皮膚癢痒ニ本品ヲ左ノ泥劑トナシ用ヒ大ニ緩解ノ效ヲ得タリ

〇撒里失爾酸「メチール」ニ、〇 亞鉛華 「ラノリン」各二、〇 右外用

〇「サノフォルム」*Sanoform.*

二沃度撒里失爾
酸「メチール」

本品ハ白色針狀ノ結晶狀粉末ニシテ無臭及無味ナリ沃度六二、七%ヲ含有シ酒精ニハ稍善ク
溶解ス依的兒、嘔嘔仿謨ニ溶解シ水、屈利設林ニ溶ケス沃度仿謨ノ代用劑トシテ粉末十%ノ軟

防腐藥

鎮痛劑

撒里失爾酸亞兒密烏謨 撒里失爾酸安母尼亞亞兒密烏謨 撒里失爾酸「メチール」
「サノフォルム」

膏「ガーゼ」トナシ用ユ

「ドクトル」フィリップ、ステルンベルク氏ハ本品ヲ九十四名ノ患者ニ用ヒタリ其三十七名ハ新創面ナリシガ之ヲ清洗シ厚ク本品粉末ヲ散布シ繃帯セリ二日乃至四日ヲ經テ繃帯ヲ交換セシニ其多數ハ已ニ治癒セシモ第二回ノ繃帯ヲ施セシ後ハ全治セリ二十八名ハ化膿創、膿瘍、瘻管等ニ切開、搔刮及繃帯シ其繃帯交換時創面ハ殆ト全ク乾燥シ第二回ノ繃帯後大部分ハ治ニ就ケリ十四名ノ裂創及皮膚ノ小皰裂ニ十%ノ「サノフォルム」軟膏ヲ用ヒシニ暫時ニ治癒セリ五名ハ會陰ノ小裂創ニ唯粉末ノ散布ニ由リテ治シ他ノ六名ハ腔内ニ本品ノ「ガーゼ」ヲ填塞シタリ此九十名ノ實驗ニ於テハ毫モ不快ノ作用ヲ認メサリキ又近來稍汎用セラル、ニ至リシモ未ダ曾テ不快ナル副作用アルヲ見聞セズ本品ノ沃度仿謨ニ優ルハ全ク無臭ニ無刺戟性ナルニアリ

「ドクトル」アルフレッド、フリードレンデル氏モ裂創、切創、挫創、化膿創、癰腫、蜂窠織炎、皮膚潰瘍、軟下疳等ノ四十名ノ患者ニ本品ノ純粉末、十%ノ「サノフォルム」、ワゼリン、十%ノ「サノフォルム」ガゼ」トナシ用ヒテ新創ハ反應ナク治シ化膿創ハ甚シキ分泌速ニ減少シ沃度仿謨ヲ用ユルモ分泌減少セサリシモノニ本品ヲ用ヒテ速ニ減少シタリ又沃度仿謨ノ少量ヲ用ヒテ劇シク濕疹ヲ發セシモノニ本品ヲ用ヒタルニ濕疹速ニ治癒セリ本品ハ沃度仿謨ノ良性質ヲ具ヘ而カモ無臭、無刺戟且無毒ナルハ即チ沃度仿謨ニ優ル所ナリ且本品ノ價低廉ナルハ上記ノ良性質ニ確定セラル、ニ至ラハ沃度仿謨ニ代リテ廣ク應用セラル、ニ至

ルベシト

○酸素 Oxygenium.

酸素水トナシ殊ニ佛醫ハ神經症、強直症、狂水病、子癇等ニ吸入及皮下注射トナシ又心臟代償機障礙ニノミ酸素吸入ヲ效アリト肺炎ノ絶息セントスル微アル者及氣管枝加答兒ニ續發スル喘息ニハ酸素ヲ用ヒ又萎黃病及貧血ニハ此酸素療法ニ由テ爾他ノ療法ヲ補助シ消化不良及慢性胃加答兒ニハ之ヲ注入シテ胃内容ノ酸酵ヲ防ク可シ

○「サブロール」(排泄物、腐圓、糞便等ノ消毒料)

○「サフロール」(鎮痛藥トシテ三、〇—四、〇ヲ痲質斯ニ用ユ)

○「サリチールレゾルチンケートン」(創傷療法及腸室扶斯ニ三、〇—四、〇ヲ用ユ)

○撒里矢爾酸「カドミウム」(防腐收斂藥)

○「サリフェブリン」Salysolin. (撒里失爾酸安知歌貌林)

本品ハ白色ノ粉末ニメ水ニ溶ケス酒精ニ溶解ス酒精溶液ハ格魯兒鐵ニ由リテ紫色ヲ呈ス本品ハ解熱及鎮痛劑トシテ一日數回〇、二五—〇、三五ヲ用ユ

○「サポラン」Sapolan. 「ナフタサポール」

本品ハ黒褐色ノ塊ニメ全ク酸ヲ含マス少シク「ナフタ」様臭アリ皮膚ニ擦入シ易シ本品ハ「ナフタラン」ノ代用品ニメムラチクレセル氏等ハ濕疹、老人癢痒、膿疱疹、蕁麻疹等ニ賞

解熱劑

用セリ

○「サリチン」Salicin.

性状 本品ハ光輝アル白色針狀或ハ小板狀結晶ニシテ水三十分ニ殆ト溶ケズ酒精ニ溶ケ易ク依的兒ニ溶ケス強硫酸ニハ紫紅色ヲ以テ溶解シ乳和及唾液ニ由リテ糖分及「サリゲニン」ニ分解ス稀硫酸ヲ加ヘ煮沸スルキハ糖分及「ザリレチン」ニ分裂シ重格魯酸加里及硫酸ノ混合物ヲ以テ處スルキハ「サリチールアルデヒッド」及蟻酸ヲ生ス

作用及應用 本品ハ間歇熱ニ於テ規尼涅ニ代用セント試ミタリ近時ゼナートル氏ハ熱性病、腸窒扶斯、肺癆、子宮周圍炎ニ之ヲ試用セシニ解熱ノ效アリテ不快ノ副作用ヲ發セス關節痠麻質斯、痛風、消化不良ニ用ヒタリ味ハ極メテ苦シ尿ハ「サリチン」服用後分解セサル「サリチン」「サリゲニン」「サリチールアルデヒッド」、撒里失爾酸及ヒ亞撒里失爾酸ヲ含有ス

用量 ○、五—一、〇ヲ一日數回丸、散、油糖、溶液劑トナシ又解熱劑ニハ二、五—六、〇ヲ投ス

○「サリゲニン」Saligenin.

本品ハ無色小板狀或ハ針狀結晶ニシテ冷水ニ稍容易ニ溶解シ熱湯及酒精ニ甚容易ニ溶解ス微ニ苦味アリ本品ハ痛風發作及關節痠麻質斯、痠麻質斯性疾患ニ於テ撒里失爾酸曹達ニ代用ス又肋膜炎ニ用ヒテ滲出吸收ノ效アリ但撒里失爾酸曹達ノ副作用ヲ具ヘス用量ハ〇、五—

鎮痛藥

解熱藥

一、〇ヲ每一二時散劑或ハ左ノ酒精兼水溶液トナシ用ユ

○「ザリゲニン」四、〇 酒精三〇、〇 水二〇〇、〇

右每一時一乃至二食匙

○「サリチールアミッド」Salicylanid.

本品ハ無色板狀ノ結晶ニシテ冷水二百五十分ニ溶解シ容易ニ沸湯、酒精、依的兒、囉呀仿謨ニ溶解ス體中ニハ吸收後撒里失爾酸ニ分解ス本品ヲ撒里失爾酸及其鹽類ニ代ヘテ痠麻質斯藥及鎮痛藥トナシ〇、一五ヲ每時或ハ〇、二五ヲ每三時ニ散劑トシテ「アブラート」ニ包ミ或ハ丸劑トス一日量一、〇ナリ

○「ザリコリン」Salipyrinum. $C_{11}H_{12}N_2O_6$ $C_6H_6O_2$ 撒里失爾酸
安知必林

性状及應用 本品ハ白色無臭ノ結晶性粉末ニシテ不快ナラザル甘味アリ酒精及「ベンツオール」ニ容易ニ溶解シ依的兒ニ溶ケ難ク水ニハ甚溶ケ難シ解熱劑トシテ感冒、急慢ノ關節痠麻質斯ニ良效アリモーゼンガイル氏ハ流行感冒ノ劇熱アル者ニ本品ト鹽酸規尼涅〇、五トノ兼用ヲ賞讃セリ其副作用ハ發疹等ヲ來スアリアイトネル氏ハ本品ヲ子宮出血ノ二十四例ニ一日三回一、〇與ヘシニ月經困難鎮靜シ心思鬱閉モ消散セリト用量ハ一、〇—二、〇ヲ一日數回散劑ト用ユ

○「サリピリン」一、〇

右與二十包、毎時一包ヲ投シ三包ニ

○「ザリピリン」六、〇 屈利設林一四、〇

覆盆子舍利別三〇、〇 水四〇、〇

撒里矢爾酸及「フェニール」硫酸トナリテ排泄セラル本品ヲ用ユル間尿ハ石炭酸尿ト同シク暗黒色ヲ呈ス但シ本品ハ久時毎日大量四、〇—六、〇ヲ使用スルモ危重ノ中毒症狀ヲ起スナシ本品ハ溶解セスノ胃ヲ通過スルカ故ニ撒里矢爾酸曹達ノ服後殆ト常ニ認ムルカ如キ胃ノ不快症狀ヲ呈セスザリー氏ハ本品ヲ痲瘋質斯藥及解熱劑トシテ撒里矢爾酸曹達ニ代用シタリ膀胱加答兒、腸加答兒ニモ之ヲ用ユレ虎列拉ニハ效ナシ

驅條蟲ノ效

「プロフエラソル」ガルワレリヲ氏ハ「ドクトル」ベツセル氏ガ報告セシ誤テ一食匙ノ樟腦精ノ服後條蟲ノ排出セラレタル實驗ヨリ案出シ一同僚ノ近來種々ノ症候ヲ訴フルニ遇ヒ其條蟲ノ存在ヲ決定スルニ足ルアリシト雖モ他ノ驅條劑存在セサリシヲ以テ試ミニ一回「ザロール」一、〇ヲ用ヒシメタリ是レ從來驅條劑タルヲ聞カサルモ本品腸中ニ至リテ分解シテ其兩成分(撒里矢爾酸及石炭酸)トナリ條蟲ヲノ棲息シ難カラシメントセリ果シテ其翌日ニ至リ廣節裂頭條蟲ノ頭首ト共ニ排出セラレ第一回ノ服後毫モ困難ヲ感セスシテ便中ニ出ルニ至レリ依テ此報告ハ後來實驗上試用シテ可ナルベシ
醫學士磯登氏ハ本品一日量五、〇ヲ肺壞疽、腐敗性氣管枝加答兒等腐敗痰ニ試用スルニ良效アリテ痰量及臭氣ヲ減少スト病牀日誌ヲ掲ケテ中外醫事新報第三百二十九號ニ報告セリ
醫學士佐藤勤也氏ハ赤痢ニ甘汞蓖麻子油ノ下劑ヲ與ヘ次テ「ザロール」三、〇—六、〇ヲ一日三乃至六回分服又ハ「ザロール」二、〇「ナフタリン」一、〇ヲ「ラブラート」ニ包ミ一日三回分服或ハ「ザロール」四、〇阿列布油四、〇嚼囉仿謨水一二〇、〇ヲ每半時若クハ每一時一茶匙

宛與ヘテ殊效ヲ得タリト(東京醫事新誌第千六十六號)
禁忌ハ腎臟病ナリ

用量 本品ヲ用ユルニ當リテ注目ス可キハ其細粉末ヲ溶解劑ヲ以テ濕シタル後チ使用ス可キト此粉末ハ再ヒ粗大ノ凝塊ヲナシ凝結シ易キト此不快ノ件ハ乳糖、澱粉、古魯胃謨(一分ト十分)ノ如キ中性粉末ヲ加ヘテ除キ得ルトナリ外用。創面及潰瘍面ニハ毛筆ヲ以テ原品ヲ散布シ或ハ水ヲ加ヘ糜粥狀トナシ塗布スヘシ散布末ニハ〇、一一、〇澱粉一、〇「軟膏ニハ〇、一一、〇阿列布油又ハ「ラノリン」一、〇、〇「注入ニハ五、〇護謨漿一〇〇、〇」洗口水ニハ一、〇—三、〇酒精一〇〇、〇トナシ一茶匙ヲ一盞ノ水ニ加ヘ用ユ内用。一日數回一、〇ヲ用ヒ一日量五、〇—六、〇ヲ散劑トナシ小兒ニハ一日數回〇、一一、〇ニヲ投シ五乃至十歳ノ兒ニハ二十四時間ニ二、〇—三、〇ヲ分服セシム

處方

- (イ)「ザロール」〇、五—五、〇 澱粉五、〇〇
- 右爲一包、蠟紙ニ包ミ八包ヲ與ヘ毎一二時一包
- (ロ)「ザロール」五、〇 阿列布油 石灰
- 水各二二、五
- 右爲擦劑(火傷)
- (ハ)「ザロール」一〇、〇 餡水二〇〇、〇
- (ホ)「ザロール」一、〇 薄荷油 適宜
- 右爲一包、蠟紙ニ包ミ八包ヲ與ヘ毎一二時一包
- (ニ)「ザロール」〇、五 酒精一〇、〇 水 二〇〇、〇
- 右洗口料(口内炎)
- (ト)「ザロール」〇、五—一、〇 白糖〇、

「アラビアゴム」五、〇

右尿道注入料(淋疾)

(ニ)「ザロール」五、〇 稀酒精一〇〇、〇

薄荷油二滴 薔薇油三滴

右含嗽料

二五

右澱粉囊ニ包ミ一包トナシ一日三回

一包

(チ)「ザロール」〇、五 撒里失爾酸蒼鉛

〇、二

右與十包、毎三時一包(虎列刺)

腸内防腐藥

〇「サロコール」(撒里失爾酸、フェノコールヲ見ヨ)

〇「サラチエトール」Salacetol. 「サラチエトール」

性状 本品ハ鱗片狀或ハ無色針狀ノ結晶ニシテ七十一度ニ溶融シ弱苦味アリ水ニ溶ケ難ク

熱酒精、依的兒、嚼囉仿謨、硫化炭素、「ベンツオール」「リグロイン」ニ溶解シ易シ

作用及應用 本品ヲ嚼囉仿謨ニ溶シ或ハ「ラノリン」、脂肪ヲ以テ軟膏トナシ用ユルハ

ハ皮膚ヨリ吸收セラル然レモ撒里失爾酸軟膏ニ比スレバ皮膚ヨリ吸收セラル、ト遙ニ僅少

ナリ之ヲ内用スルハ變化セズ胃ヲ通過シ腸中ニ至リテ撒里失爾酸及「アチエトール」ニ

分解セラル「プロフェン」ブルジエー氏ニ從ヘハ筋肉及關節僂麻質斯、肋膜炎等ニ投セリ

又小兒科ニモ賞用ス他ノ撒里失爾酸製劑例之「ザロール」ニ優リ體中ニ分解セル後石炭酸ノ

中毒作用ヲ呈セズ「ザロール」ニ代ヘテ腸防腐藥トシテ虎列刺及虎列刺様疾患ニ用ヒ其他撒

里失爾酸ノ外用ト兼用シ膽石病ニ投ス

ラスケル氏ハ本品作用ヲ實驗シ且之ヲ撒里失爾酸並ニ撒曹ニ比較シテ括論シテ曰ク本品ハ其撒里失爾酸含量ノ少許ナルニ拘ラズ其治效ハ兩撒酸劑ト殆ト同價ナリ之ニ反シテ本品ノ服後ニ來ル中毒作用ハ稀ナリ而シテ現ハル、モ輕微ナリ是レ兩撒酸劑ニ優ル點ナリ

用量 虎列刺下痢ニ於テハ二、〇—三、〇ヲ散劑トシ「ラブラート」ニ包ミ初メ二日ハ蓖麻

子油二〇、〇—三〇、〇ヲ兼用セシム急性關節僂麻質斯ニハ二、〇ヲ毎二三時「膽石病」ニハ毎

日二、〇ヲ扁桃油或ハ肝油ニ伍用ス小兒ニハ其年齡ノ「デチグラム」量ヲ與フ

〇「サラチエトール」一、〇 乳糖〇、五

〇「サラチエトール」三、〇 蓖麻子油一

右與十包、毎朝夕一包宛(關節僂麻質

五、〇 大黃舍利別三〇、〇 桂皮水一

斯)

二〇、〇 「アラビア」護謨適宜

〇「サラチエトール」一、〇 肝油一〇〇、

右毎時一食匙、服用前振盪スベシ作

〇薄荷油〇、五

用ノ現ハル、迄用ユ

右毎週一「キロ」瓦服用、四乃至六週

持長ス

〇「サングイナリン」Sanguinarin.

「サングイナリア、カナデンジス」根ヨリ取レル粉末狀樹脂ニシテ其根中ニ類鹽基「サングイナリン」ヲ含ミ白色針狀結晶或ハ無形白色ノ粉末ニシテ水ニ溶ケズ酒精ニ僅ニ溶解シ依的兒ニ溶ケ易シ其少量ハ強壯藥ニシテ大量ハ鎮靜藥トナリ尙大量ハ吐劑トス可シ良好ノ膽汁分泌催

進及ビ通經劑トナシ月經閉止、消化不良及ビ腸胃加答兒ニ一回量〇、〇二—〇、〇五—〇、一ヲ用ユ

○「ザリツキス、ニグラ」*Salix nigra.*

本品ノ皮ヲ流動越幾ストナシ淋疾、精液漏、卵巢痛及ビ遺精ニ二、〇—四、〇ヲ生殖器鎮靜劑トシテ投ス

○「サルラチエニア」*Sarracenia.*

本品ハ「サルラチエニア、ブルブレア」草ノ根ニ小兒ノ痘瘡ニ利尿劑ト用ヒ又赤痢ニ應用ス

○「サナトール」(粗製「クレソール」硫酸ニ消毒藥トス)

○「サバチア、エルリヲチー」(北米ノ龍膽屬ニ規尼涅ノ代用トス)

○「サビアナ、セルラタ」(子生殖器衰弱、筋肉弛緩、陰萎等ニ用ユ)

○「サナトーゲン」*Sanatogen.*

「サナトーゲン」ハ乳汁「カセイン」ヨリ製シ屈利設林磷酸曹達五%、水分約四%、「カセイン」九一、二—三%ヲ含有スル者ニ水ニ善ク溶解シ易ク且善ク消化シ身體ヨリ善ク費耗セラル殺菌性食品ト用スベシ即チ「カセイン」ヲ製スルルハ乳汁中ニ存スル菌芽悉ク死滅スレバナリグムベルト氏ハ大人ニ於テ本品ヲ用ヒ好結果ヲ得タリト又「ドクトル」エン、アウエバハ氏ハ之ヲ小兒科ニ使用セリ用量ハ小兒ニ一五、〇即チ三食匙ヲ投ス一五、〇中ニハ屈

營養劑

利設林磷酸曹達〇、七五ヲ含ム本品ハ毎食時ニ一茶匙或ハ少許ノ冷水ヲ加ヘ後チ溫羹汁、柯々阿等ヲ混シ用ユベシ

衰弱シタル佝僂病性小兒、亞急性及慢性腸加答兒、小兒ノ痲癩狀態、聲門痲癩、其他小兒ノ他種ノ痲癩性神經病即チ舞蹈病、「テタニー」等ニ用ユ

○「サナ」*Sana.*

從來使用セル食品ニ就テ之ヲ改良スルハ苟クモ怠ル可ラサルノ件タリ此件ニ就テ最重要ナルハ脂肪ノ需要ナリ燒炙肉ニ用ユル脂肪ニ至テハ衛生上毫モ危險アラス何トナレバ細菌ノ萌芽ハ燒熱ニ由リテ悉ク撲滅セラルレバナリ唯刺戟性ニ溶解シ難キ脂肪ハ不消化物トシテ使用セサルル脂肪ノ生食殊ニ乳酪及獸脂ノ應用ハ衛生上最モ注目ス可キ事タリ但獸脂ニ於テハ衛生上ノ問題ニ關係スル所少シトス豚脂ヲ食用スルモ檢肉法ニ由リテ旋毛蟲病ノ患者ノ危險ヲ免ル、ヲ得ベシ

乳酪ニ至リテモ其關係之ニ類セリ他ノ脂肪ニ比スレバ乳酪食用ノ利益ハ乳酪ノ脂肪ハ微細ニ乳和シタル狀態ニ於テ食用セラル、ニ在リトス則チ高度ノ溶解點ヲ具ヘサル脂肪ハ容易ニ身體中ニ同化セラル、者ナリ然ルニ乳酪ノ食用ハ實ニ左ノ二狀況ニ由リテ縮減セラル

(一)乳酪ノ頗ル高價ナルハ廣ク社會ニ其需要ヲ普カラシムル能ハサル(二)乳酪ハ最緊要ナル衛生上ノ問題ナルヲ是ナリ即チ結核菌ヲ含在スル肉類ヲ排斥シタル後、乳酪中ニ存在スル數多ノ結核菌ヲ除去スルノ法ハ全ク之レアルヲ見ズ是ニ於テカ「ドクトル」ラーベルミ

滋養料

ザリツキス、ニグラ サルラチエニア サナトーゲン サナ

ユルレル氏ハ乳糖中結核菌ヲ含ムト如何ニ多キヤニ就テ數回注目シタリシガ夫ノ乳汁ニ由リテ得ル所ノ「マルガリネ」ヲ製スルキモ亦結核菌ヲ驅除スルコト能ハサリキ故ニ乳糖ヲ殺菌スルコトヲ考案シタル者アリタレモ此ハ徒勞ニ過キサリキ故ニ「ブライヒ」氏ハ適當ナル脂肪ノ乳糖化ヲ乳汁ヨリ製セズノ扁桃ニ由リテ製センコトヲ唱道スルニ至レリ此建議ヲ實地ニ應用スルカ爲メ「ブライヒ」及「ミヘリス」氏ハ周密ナル試驗ヲ行ハレタリ然レモ此試驗ノ少數ニ過キサリシカ爲メ實地上此食品ノ應用スルニ足ルヤ否ヤヲ決スル能ハサリシガ「マンゲル」氏ハ數多ノ試驗ヲ施シ幸ニ此問題ヲ解釋スルヲ得タリ同氏ノ指導ノ下ニ設定セラレタル「サナ」會社ハ此新方ノ乳糖ヲ製シタリシカ精密ニ試驗スルモ眞ノ乳糖トハ毫モ辨別スルヲ得サリキ此新方ノ乳糖ハ乳汁ヲ用ヒサルニ由リテ結核菌ノ危險ヲ免カル、ヲ得ベシ且屠場ヨリ購ヒ蒸氣ニ由リテ溶解シタル脂肪或ハ植物脂肪ニハ從來毫モ結核菌ヲ發見セザルナリ此新乳糖ノ味ヲ檢スルニハ其乳糖ニ鹽ヲ加ヘタル者ト加ヘザル者ト互ニ比較セサル可ラス已ニ之レヲ比較シタルキハ良好ノ乳糖ノ呈スル固有ノ爽快ナル香味ハ則チ扁桃乳糖ニ歸スルヲ知ルベシ斯ク「サナ」ハ乳糖ノ諸性質ノ具フルヲ以テ乳糖及乳汁ヨリ製シタル「マルガリネ」ノ應用ニ當リテ懐カル、所ノ衛生上ノ疑慮ヲ免ル、ヲ得ルヤ疑ヲ容レズ

此新乳糖ヲ用ユルニハ素ヨリ特別ノ定則ヲ要セズ第一ニ與フベキハ結核菌ノ感染ヲ防止シ且多量ノ脂肪食品ニ堪フル所ノ腺病性小兒ナリ然レモ外觀上健全ノ小兒モ亦結核菌ニ感染シ易キヲ以テ一般ニ小兒ニ於テハ「サナ」ハ乳糖ヨリモ善ク食用ニ適スル者ナリト稱セザル

強壯劑

ヲ得ス大人ニ於テモ結核菌ニ由ル死亡數ノ危險ハ屢唱道セララル、所ナルガ「サナ」ヲ用ユルキハ生乳糖ヲ用ユルノ危險ヲ防クヲ得ベシ「サナ」ハ乳糖ト同一ノ營養價ヲ具フルカ故ニ其應用ニ由リテ危險ノ恐ヲ免ル、ヲ得ベシ

○「サングイナール」 Sanguinal.

「サングイナール」ハ動物ヨリ得タル鐵劑ニシテ天然ノ血液鹽類即チ「アルブミン」及少量ノ「ペプトン」ト共ニ鐵及滿飽ヲ吸收ニ適スル抱合物トシテ含有ス其構造最モ尋常ノ血液ニ類スル者ニシテ「サングイナール」百分ハ天然ノ血液鹽四十六%、化學的純粹ノ血球素十%、筋肉「アルブミン」四十四%ヲ含ム

鐵ノ吸收機ニ於ケル檢査ニ徴スルニ有機性蛋白化合物ヨリシテ鐵分ヲ同化シ新ニ血球素ヲ生成スルニ用ヒラル、モ無機性化合物ノ鐵分ハ唯最少部分吸收セララル、ノミ

「ドクトル」パンデリーエ氏ハ本品ヲ約一年間輕重ノ疾患即チ消化不良、貧血、萎黃病、重病後ノ恢復期不良ナル營養狀況、輕重ノ神經衰弱、歇私的里、(惡液ニモ暫時)ニ與ヘタリ其惡液ノ大部分ハ初期ノ肺癆、女子ノ貧血性及消化不良患者ニ係レリ肺癆等ニ於テハ本品ヲ常ニ能ク堪フル所ノ結麗阿曹篤ト伍用セリ同氏ハ「ツベルクリン」ト「サナ」ヲ以テ肺癆ヲ治療シタル以來、其患者ニハ唯純粹ノ「サングイナール」ヲ與ヘタリ本品ハ患者好テ服用シ善ク之ニ堪フル者ニシテ胃腸ノ障礙ヲ實驗セズ殆ト諸症殊ニ輕症ニ於テハ食思奮起セラレ全身調和著シク佳良トナリ就中、血液ノ血球素含量實ニ増加スルヲ見ル

驅蟲劑

以上ノ實驗ニ由リテ「サンガイナル」ハ他ノ之ニ類スル鐵製劑ニ優ル價值アルヲ認め大ニ
醫家ノ著目ヲ催シ殊ニ諸病院ニ於テ廣ク試用セラレントスルニ至レリ

○「ザルド」(泌尿器病藥)

○「サラントール」(夏季下痢ニ用ユ)

○「サントニンヲキシム」(Santonin. $C_{15}H_{15}O_2NOH$.)

「サントニンヲキシム」ハ白色針狀結晶ニ冷水ニ溶ケス熱湯ニハ僅ニ溶解スレモ酒精及依
的兒ニ容易ニ溶解スル如ク蠅蟲ニ用ユレモ之ヨリモ毒性僅少ニ至ク不快ノ副作用
ナキカ故ニ頗ル瑠璃寧ニ優レリ本品ヲ二三日間與ヘテ後チ下劑ヲ投ス用量ハ瑠璃寧ノ三倍
即チ一回〇・〇五—〇・三—一日〇・八ナリ

○「サルコステムマ」(此植物ノ汁液ハ眼炎ニ用ヒラル)

○撒里矢爾酸蒼鉛(蒼鉛化合物ノ條ヲ見ヨ)

○撒里矢爾爾酸醋酸(防腐藥)

○撒里矢爾酸樟腦 *Camphora salicylata*.

本品ハ樟腦八十四分撒里矢爾酸六十五分ヲ謹慎ノ熱スルキハ流動液トナリ放冷スルキハ凝
固シテ結晶トナル本品ハ軟膏狀ニ皮膚ニ塗ルキハ溶流ス水及屈利設林ニ僅ニ溶解スルモ
脂油ニハ一分ト二十分ノ比例ヲ以テ溶解ス水中ニ煮沸スルキハ抱水質ニ變シ油樣液ヲ生ス
狼瘡及侵蝕潰瘍ニ軟膏トナシ外用シ又著シキ防腐性アルヲ以テ下痢ニ丸劑トナシ一回量

防腐藥

〇・〇五—〇・二五ヲ服セシム

○「ザルプロール」(無臭ノ粉末ニ濃度仿謨ノ代用トシ創傷等ニ散布ス)

○顯草酸安母尼亞(安母尼亞製劑ノ條ヲ見ヨ)

○「キシレノールザロール」(消毒藥殊ニ胃腸病ニ用ユ)

○「ギトール」(下劑、墮胎劑)

○「ギムネマ、シウルウエストリス」(此根及葉ヲ蛇咬傷、吐劑ニ用ユ)

○「ギナンドロジスベントフィルラ」(痙攣及室扶斯熱ニ用ユ)

○「キセロフォルム」(Xerofolm. (三親魯謨「フエ
ニール」酸蒼鉛)

防腐藥

本品ハ黄色無味ノ不溶性細末ニ弱「フエノール」臭アリ酸化蒼鉛四九、五%ト共ニ三
親魯謨「フエノール」五〇、〇%ヲ含有シ殺菌及乾燥ノ作用アリ腸防腐藥トシヒツユベ氏ハ
虎列拉ニ用ヒタリ一回量〇・五—一、〇—二日量七、〇ヲ用ユ近時創傷療法ニ於テハ濃度仿謨
ニ代用セリ又十%及二十%ノ「キセロフォルム、ガーゼ」トナシ販賣セラル

「ドクトル」レウッス氏ハ百名以上ノ中耳化膿ヲ「キセロフォルム」ヲ以テ治療セシガ本品ハ
管ニ著シキ防腐藥タルノミナラス其他ノ貴重ナル性質即チ「ピラクタニン」ニ反シテ使用部
ニ汚斑ヲ生セサルト硼酸ニ反シテ相凝結セサルヲ以テナリ而シテ中耳ヨリ來ル漏出物減少シ
且耳漏ノ性質ヲ變化スルノ作用ヲ具フルヲ認ム

「ドクトル」エールマン氏ハ本品ヲ百七十八名ノ患者ニ外用シ(其四十五名ハ内用シ)タリシ

サントニンヲキシム 撒里矢爾酸樟腦 キセロフォルム

カ、龜頭炎、濕疹、軟下疳、皮膚潰瘍、蜂窠織炎、瘰癧、便毒、其他手術創等ニ用ヒタリ
眼科ニ於テ「プロフェツソル」ウイヘルキウイツ氏ハ本品ノ粉末ヲ吹入シ或ハ五%及十%ノ軟膏トナシ眼瞼濕疹(軟膏ヲ)濾胞性及膿疱性結膜炎(粉末及軟膏ヲ)慢性結膜加答兒(殊ニ老人)等ニ用ヒ良效ヲ得タリ

エドアルドチルン氏ハ敗血性角膜炎ニ一日三乃至六回角膜ニ本品粉末ヲ吹入スルヲ賞用セリ若シ涙囊膿漏アルキハ結腸ニ毎回昇華攝林(五千倍)ヲ塗擦シ強ク涙囊ヲ壓出シ昇華液ニ浸セル綿片ヲ以テ膿汁ヲ拂拭シ而シテ必要ナル時ハ涙囊内ニ「キセロフォルム」乳劑(本品一〇、〇屈利設林縮水各五〇、〇)ヲ一日二回乃至四回注入ス

頭皮ノ毛囊炎ニゴットハイル氏ハ本品ヲ用ヒタリ即チ左法ニ從ヒ頭部毛囊ノ急性化膿性炎ニ於テ毛髮再生シテ全治シタリ先ツ痂皮ヲ軟化シ三%本品阿列布油液ニ浸シタル壓抵帶ヲ貼シ數週此器法ヲ持長シタルニ毫モ新ニ化膿ヲ發呈セス痂皮消散シ脫毛部ハ白色トナリ終ニ全頭皮ハ柔弱ノ微毛ヲ發生シ漸次ニ發育シテ延長、硬固、暗色トナレリ最後ニ頭皮健全トナリ發病前ノ如ク毛髮叢生シタリキ然レモ唯生來ノ毛髮ニ比スレバ疎鬆ナリシ

○ 縮草酸規尼涅安知必林 *Antipyrin-chinin valerianicum.*

長稜柱針狀結晶ニノ水及酒精ニ溶ケ易ク臭味共ニ縮草酸規尼涅ニ類シ頭部神經痛及肋間神經痛ニ應用ス

○ 縮草酸「アミール」 *Amylum valerianicum. C₂₀H₃₀O₄.*

腸内防腐藥

本品ハ流動シ易キ液ニソ百九十度ニ沸騰シ爽快ノ果實様香氣アリ鎮痙及鎮靜藥トシテ偏頭痛、神經痛、膽石痛(コレステアリン)ヲ溶解スル性アリ)等ニ〇、一ヲ膠囊ニ包ミ用ユ

○ キナフトール *Cinaphol. C₁₀H₈N₂O₂.*

本品ハ黃色苦味ノ結晶性粉末ニシテ冷水ニ溶ケス熱湯及酒精ニ溶ケ難シ「プロフェツソル」エ、リーグレル氏ニ從ヘハ本品ハ胃液ニ由リテ分解セズ變化セズ胃ヲ通過シ腸ニ至リテ分解シテ「ベ、ナフトール」硫酸酸及規尼涅トナル本品ハ「ナフトール」硫酸酸ニ由リテ腸内容物ニ防腐的ニ感作スル者トス

腸窒扶斯ニ本品ヲ與フルニ著效ヲ得タリ應用ノ適症トシテハ腸結核、赤痢、腸ニ於ケル他ノ傳染性疾患ニ用ヒ其他急性關節痲痺質斯ニ於テ「ナフトール」硫酸酸ヲ含ムカ爲メニ本品ヲ用ヒ散劑トシ一回量〇、五「一日量五、〇」ヲ「ラブライト」ニ包ミ用ユルヲ最良トス然レモ通常ハ一日量二、〇—三、〇ヲ投ス

解熱劑

○ 規尼涅製劑 *Neuren chininsolae.*

○ 「エチール」硫酸規尼涅 *Chininum Aethylosulfuricum.*

白色引濕性ノ水ニ溶ケ易キ鹽類ニシテ七十一%ノ規尼涅ヲ含有ス〇、二—〇、五ヲ皮下注射ス

○ 蛋白化規尼涅 *Chin. albuminatum.*

白色或ハ帶黃白色ノ鱗屑或ハ小板ニシテ水ニ溶ケス消化シ易キヲ以テ過敏家ニモ善ク堪ユ

○ 「エラソール」酸規尼涅 *Chininum eosohicum.*

縮草酸規尼涅 安知必林 縮草酸アミール キナフトール 規尼涅新製劑 エチール硫酸規尼涅 七一

本品ハ黄色無形ノ粉末ニシテ水ニ溶ケ難ク酒精ニ溶ケ易シ醋酸様ノ臭氣ト苦味アリ近時「ドクトル」ア、グ、チブリアニール氏ハ麻拉利亞ニ賞用セリ蓋シ規尼涅鹽ノ特效アリテ其副作用（耳鳴等）ナケレバナリ麻拉利亞ニハ〇、一〇、二ヲ與ヘ一日〇、三〇、六トス他ノ解熱劑トシテハ單ニ一日二回〇、五〇、六ヲ「ヲブラート」ニテ投ス

○「エラソール」酸規尼涅 還元鐵各五、〇 硫酸斯篤里幾尼涅 亞砒酸各〇、一
龍膽越幾新適宜
右爲五十九、一日三回一二九宛

鹽酸規尼涅 *Chininum hydrochloricum.*

「プロフェッソル」ガクリヲ氏ハ左液ヲ皮下注射ニ賞用セリ

○鹽酸規尼涅三、〇 「ウレタン」一、五 餾水三、〇

之ヲ注射スルニハ先ツ攝氏三十八度ニ加温シ其一立方仙迷（鹽規凡ソ〇、四）ヲ用ユ此液ハ中性ニ刺戟セズ貯藏ニ宜シ「ウレタン」ヲ加フルハ容易ニ規尼涅鹽ヲ溶解スレバナリ此少量ニ於テハ「ウレタン」ハ毫モ作用ヲ發展セズ若シ規尼涅ノ作用ト共ニ「ウレタン」ノ鎮靜作用ヲ得ントスルキハ「ウレタン」ノ量ヲ增加スベシ他ノ一良方ハ左ノ如シ

○鹽酸規尼涅 鹽酸「フェノコール」各二、〇 餾水四、〇

此方モ亦加温シテ注射スベシ

アウフレヒト氏ハ妊娠ノ末期ニ肺炎ニ罹リ本病ノ經過中ニ分娩シ甚重症產熱ヲ起セシ婦

產熱ニ於ケル效用

人ニ於テ肺炎ノ病毒ハ頗ル產熱ノ發生ニ關係アルヲ臨牀上ヨリ認定セリ之カ爲ニ同氏ハ最近三年來產熱ニハ悉ク規尼涅ノ皮下注射ヲ行ヒ肺炎療法ニ頗ル效アリシト同シク亦甚良效ヲ得タリ氏ノ説ニ由レハ分娩後腫或ハ子宮頸部ノ粘膜炎ノ狀況、惡露ノ關係、熱候、腹部ノ知覺過敏アリテ產熱性子宮内膜炎ト診斷スヘキ諸症ニハ假令其熱度輕微ナルモ適應ノ局所消毒療法ヲ行フト共ニ二、三日連續シテ左液（鹽規一、〇 餾水三四、〇）ノ者但シ溶液調製ノ際ニ加温スルモ酸ヲ加フ可ラス）ヲ取其半量（鹽規〇、五）ヲ皮下ニ注射セリ注射部ハ腹側部ヲ最良トシ注射器ヲ消毒スルニハ之ヲ煮沸スルノミニテ石炭酸水ヲ以テ再ヒ洗清スル勿レ蓋シ石炭酸ハ規尼涅液ニ遇ヘバ沈澱ヲ生スレバナリ素ヨリ其際凡テ症候の適症ヲモ參考スベシ疼痛或ハ嘔吐アルキハ莫兒比涅ノ皮下注射ヲ缺ク可ラス此際酒類ヲ用ユルハ必要ナラズ但シ衰弱或ハ虛脱アルキハ葡萄酒或ハ「シヤンパン」ヲ用ユルコトアル可シ

腸胃扶助ニ於ケル效用

「プロフェッソル」エルブ氏ハ腸胃扶助ニ於テ患者ヲ微温浴中ニ留メツ、漸次ニ之ヲ冷却シ午後（約七八時頃）規尼涅〇、五〇、七五ヲ二回相次テ内服セシム然ルキハ温度漸徐ニ下降シ全經過ニ良影響アリ第二日ニモ同量ヲ投ス唯稀ニハ毎日之ヲ投スルコトアルノミ而シテ解熱ニ至ルマテ持長セラル本品ヲ用ユル最良ノ時期ハ第二週ノ後半期及第三週ニ在ルガ如シ中等症ニ於テハ三四週ノ後顯著ノ奏效ヲ認ム茲ニハ直ニ本病ノ持續ヲ短縮ス是レ此點ハ他ノ解熱劑ニ優ル所ナリ○「プロフェッソル」ビンツ氏モ亦本品ノ腸胃扶助ニ良效アルヲ賞揚セリ

アウフレヒト氏ハ格魯布性肺炎并ニ流行感冒性肺炎ニ規尼涅ノ皮下注射ヲ行ヒ良效ヲ得タ

有力ノ截瘡劑

フ

○茴香加規尼涅(爽快ノ味アルヲ特色トス)

○亞砒酸規尼涅 *Chin. arsenicum*

白色結晶性粉末ニ冷水ニ溶ケ難ク熱湯ニ容易ニ溶解シ規尼涅ト亞砒酸ノ作用ヲ併有シ殊ニ有效ノ截瘡劑トシ麻刺利亞ニ一回量〇、〇〇五—〇、〇二ヲ丸劑トナシ用ユ一日極量〇、〇五トス

○貌魯謨規尼涅 *Chin. bromicum*

本品ハ近時、神經痛ノ殊ニ麻刺利亞或ハ癩麻質斯感應ニ起因スル者ニ賞用ス

○二貌魯謨水素酸規尼涅及二鹽酸規尼涅 *Chin. dihydrobromicum*

Chin. dihydrochloricum

本品ハ溶解シ易キ便益ノ劑トシ〇、〇三—〇、一ヲ皮下注射ニ供ス

○撒里失爾酸鐵規尼涅及「グリチルリチン」酸規尼涅

褐色ノ粉末ニシテ二十五%規尼涅ヲ含ミ甘味ノ「グリチルリチン」酸ニ由テ規尼涅ノ苦味ヲ稍善ク被フ此點ニ於テ他ノ製劑ニ優レリ

○貌魯謨水素酸規尼涅 *Chin. hydrobromicum*

無色絹糸様光輝アリ苦味ヲ帶ヒ十六分ノ冷水、一分ノ熱湯、三分ノ酒精ニ溶解シ又依的兒嘔囉仿謨及偏利設林ニ溶解ス殊ニ有效ノ規尼涅鹽類ニシテ實地上、硫酸鹽ヨリモ善ク堪フル

者ニシテ〇、五—一、〇ヲ與フ

○鹽酸枸橼酸規尼涅 *Chin. hydrochlorico-citricum*

光輝アル細小ノ結晶ニシテ水ニ溶ケ難ク酒精ニ容易ニ溶解ス

○鹽酸「カルブアミダ」規尼涅 *Chin. hydrochloricum carbamidatum*

白色稜柱狀結晶ニシテ等分ノ水ニ溶解シ易キヲ以テ五十%ノ液トナシ〇、一—〇、五ヲ皮下注射ニ供スルニ適ス

○「フルオル」水素酸枸橼酸規尼涅 *Chin. hydrofluorico-citricum*

白色輕鬆ノ粉末ニシテ僅ニ冷水ニ溶解シ熱湯ニハ容易ニ溶解ス

○沃度化沃度水素酸規尼涅 *Chin. jodo-hydrojodicum*

暗綠色金屬様ノ光輝アル結晶ニシテ水ニ溶ケズ頑固ノ間歇熱ニ内用シ脾腫ニ軟膏トナシ外用ス内用量ハ〇、二—一、〇丸劑トナシ一分ト三十分ノ軟膏トナシ外用ス

○乳酸規尼涅 *Chin. lacticum*

白色無形顆粒狀ノ粉末ニシテ水ニ容易ニ溶解シ中性ノ反應アリ本劑ハ服用シ易ク又溶解シ易キヲ以テ皮下注射ニ適シ毫モ疼痛及炎症ヲ發起セズ坊間販賣スル品ハ往々規尼涅ト乳酸ノ眞ノ化合物ニ非ズノ水ニ溶ケ難キカ故ニ其純品ハ三分ノ水ヲ加フレバ透明ノ液ヲ呈スルニ注意ス可シ其一分ノ液ハ淋疾ニモ亦賞用ス皮下注射ニハ一分ト留水四分ノ者ヲ用ユ

○規尼寧酸規尼涅 *Chin. chinicum*

亞砒酸規尼涅 貌魯謨水素酸規尼涅 鹽酸カルブアミダ規尼涅 フルオル水素酸枸橼酸
規尼涅 沃度化沃度水素酸規尼涅 乳酸規尼涅 規尼寧酸規尼涅

本品ハ針狀結晶ニシテ水及酒精ニ溶ケ易シ故ニ皮下注射ニ適ス

○屈利設林磷酸規尼涅 *Chin. glycerinophosphoricum.*

本品ハ無色針狀結晶ニシテ熱湯及酒精ニ溶解ス神經痛、重症熱病ノ恢復期其他麻拉利亞、營養減衰狀態ニ〇、一ヲ丸劑トシ投ス

○沃度酸規尼涅 *Chin. joticum.*

本品ハ白色結晶性粉末ニシテ水ニ溶解ス神經痛ニ皮下注射スルニ痛少ク膿瘍ヲ生セズ注射部ニハ往々一二日間按壓的過敏アリ

○沃度酸規尼涅一、〇 餾水一〇〇

右一筒皮下注射

○油酸規尼涅 *Chin. oleicum.*

帶黃褐色ノ物質ニシテ酒精ニ溶解スレバ透明ノ液トナル五十四%ノ規尼涅ヲ含有ス皮膚病ニ軟膏トナシ殊ニ毛髮脱落ニ用ユ

○「ペプトン」化規尼涅 *Chin. peptonatum.* 「フェニール」規尼涅 *Chin. phenylum.*

○「フタル」酸規尼涅 *Chin. phalicum.*

白色ノ凝結シ易キ結晶性ノ粉末ニシテ酸性反應ヲ呈シ五十乃至五十二%ノ規尼涅ヲ含ミ冷水及熱湯ニ溶ケス熱酒精及稀酒精ニ容易ニ溶解シ溶解點ハ百五十五度ナリ

○撒里失爾酸規尼涅 *Chin. salicylicum.* (「ザロキニン」ヲ見ヨ)

○沃度・沃度水素酸規尼涅 *Chin. joto-hydrojoticum.*

本品ハ褐色ノ粉末ニシテ水ニ溶ケス酒精ニ溶解ス頑固ノ間歇熱ニ内用シ脾腫、及アサッキ一氏ハ第二期梅毒ニ外用ス〇、三一一、〇ヲ丸劑トナシ第二期梅毒ニハ一日量二、五—三、〇ヲ用ヒ軟膏ニハ一分ト脂肪三十分トナシ外用ス

○硫基酸「フェニール」規尼涅 *Chin. sulfo Phenylicum.*

此純品ハ美麗ノ結晶ニシテ分子ノ結晶水ヲ含有ス解熱劑及同時ニ防腐劑トシテ麻刺利亞、窒扶斯等ニ用ユ、本劑ノ純粹ナルニ殊ニ注意セシムバアル可ラズ

○「キニチン」 *Chinidinum.* $C_{25}H_{31}N_2O_2$ (「キニチン」)

本品ハ無色ノ光輝アル堅固ノ結晶ニシテ冷水ニハ甚タ溶ケ難ク酒精、依的兒、稀酸類ニ溶ケ易シ本品ノ硫酸溶液ハ螢石彩ヲ放ツ此溶液ハ分極光線ヲ右方ニ回旋シ格魯兒水及安母尼亞ヲ加フレバ綠色ヲ呈ス

本品及其鹽類ノ作用ハ規尼涅ニ同シキモ唯稍弱キノミ本品ト規尼涅トノ作用ノ強弱ハ四、一—三、五ノ如シ當該規尼涅化合物ノ代用品トシテ用ヒラル用量ハ規尼涅ノ如シ

(イ)鹽酸「キニチン」ハ白色光輝アル柱狀結晶ニシテ硫酸鹽ヨリモ水ニ溶ケ易シ用量ハ硫酸規尼涅ノ如シ

(ロ)硫酸「キニチン」ハ白色絹糸樣光輝アル針狀結晶ニシテ中性或ハ弱亞兒加里性反應アリ冷水百分熱湯七分酒

精八分ニ溶解シ酸性ナラサル水ニ溶解シ易シ用量ハ硫酸規尼涅ヨリ稍多量ニ用ユベシ

(ハ)單寧酸「キニチン」ハ白色或ハ帶黃白色ノ粉末ニシテ僅ニ溶解シ主トシテ小兒科ニ於テ單寧酸規尼涅ニ代

規尼涅ノ代用品

屈利設林磷酸規尼涅 沃度酸規尼涅 油酸規尼涅 ペプトン化規尼涅 フタル酸規尼涅 七一八
撒里失爾酸規尼涅 硫基酸「フェニール」規尼涅 キニチン

用シテ下痢、瘧疾ニ投シ解熱劑トシ氣道ノ加答兒ニハ大人ニモ亦實用セラル〇、一〇、五ヲ丸、散劑トナシ一日數回鐵ニ炭酸苦土ヲ加ヘタル者ヲ配伍シテ用ユメシ配合禁忌ハ酸類ナリトス

○單寧酸「キニジン」五、〇 炭酸苦土〇、五 白糖二〇、〇 茴香油糖一〇、〇
○單寧酸「キニジン」五、〇 柯々阿泥四五、〇
右爲錠劑五十個、一日四回一個宛(瘧疾)

右硝子器ニ容レ與フ毎二時一小刀尖宛(小兒ノ下痢、加答兒)

○「キニヲイジン」Chinoinum.

本品ハ褐色或ハ黒褐色樹脂様物ニ破碎シ易ク酸性トセル水、酒精、嘔囉仿謨ニ容易ニ溶解ス燃燒スルキハ〇、五—〇、七%ノ灰分ヲ殘ス本品ノ效用ハ規尼涅ノ如キモ其作用強ク且確實ナラス一日數回〇、一—〇、五—一、〇ヲ丸、散劑又ハ酒精溶液トナス

解熱劑

○「キネート」Chineton.

本品ハ規尼涅八、八七、シンコニジン二九、三無形ノ類鹽基三、六ヨリ構成セラル、者ニ苦味アル黄色ノ粉末ナリ水ニハ溶ケ難ク酸性トナセル水、酒精ニハ容易ニ溶解ス本品ハ善良ノ截瘡劑トシ規尼涅ニ代用ス其解熱作用ハ規尼涅ニ比スレバ劣レリ和蘭ニ於テ多ク賞用スル所ニシテ規尼涅ヨリモ廉價ナリ〇、二—〇、五—一、〇ヲ散劑、丸劑、又ハ酸類、葡萄酒、丁幾ニ加ヘタル溶液劑トナス

○「キネート」三、〇 酸性硫酸ミキスツール五、〇 蜀葵根末一、五

右爲六十九、石松子ヲ衣トス一日三四回一二丸宛

痘瘡藥

○「キサシチウム、スピノスム」(狂犬病ニ用ユ)

○「キサントキシルム、レートサ」(癩麻質斯及虎列刺ニ用ユ)

○「キシロール」Xylol. C₈H₁₀.

性状及應用 無色透明ノ液ニシテ芳香臭ト灼味アリ酒精、依的兒ニ溶ケ易ク水ニ溶ケズツルゼル氏ハ痘瘡ニ於テ粘液或ハ芳香性粘漿トナシ速ニ膿疱ヲシテ凝固セシメントセハ落屑期ニ上皮甚シク剥出シ爲メニ生起スル危險ヲ減スル者ナリ防腐藥トシ近時多數ノ重症痘瘡症ニ試用シ亦本劑ヲ内用ニ供セリ

エトフエー氏ハ本品ノ一般知覺脫失作用ヲ賞讃シ膿疱ノ内容ハ三四日ノ後ハ已ニ凝固シ痘瘡ハ湊合セテ合併症ナク乾燥シ癩痕ヲ殘スハ稀ナリキ呼氣ハ「キシロール」臭アリ大人ハ一日二、〇—三、〇ヲ六回「マラガ」酒、覆盆子水或ハ曹達水ヲ以テ服セシム小兒ニハ左方ヲ與フ即チ「キシロール」末三、〇薄荷水、餛水各五〇、〇桂皮舍利別「アラビア」護膜漿各一〇、〇右毎二時一食匙ヲ用ヒシム本品ハ實地治療上ニ供用スルニハ尙試驗ヲ經サル可ラス

○金製劑

(イ)溶解性金(内用ニハ消化力障礙ニ與ヘ外用及内用トシ癌腫、梅毒、腺病及梅毒性及腺病性ノ眼病、子宮出血ニ一回量〇、〇三—〇、〇六一日量〇、一—〇、二ヲ投ス)

(ロ)藏化金(黄色無味ノ粉末ニシテ脊髓病ニ〇、〇〇四—〇、〇一六ヲ一日二三

神經藥

回用ユ)

(ハ)三氯化金(無色ノ結晶ニシテ肺結核ニ〇、〇〇四—〇、〇一六ヲ一日二三回用ユ)

○銀製劑

(イ)格魯兒銀 *Argentum chloratum. Ag. Cl.*

本品ハ白色ノ粉末ニシテ水、硝酸ニ溶ケス安母尼亞液ニ溶解ス光ニ遇フキハ紫色ヲ呈ス加熱時ニ溶解シ冷却後黃色角質狀物ヲ生ス、有色燻ニ貯フヘシ

本品ハ硝酸銀ノ如キ局所腐蝕作用ヲ有セス銀鹽類ノ遠達作用ヲ呈ス蓋シ本品ハ食鹽溶液ニ溶解スルコト少シトセサレバナリ

硝酸銀ニ代ヘテ種々ノ神經病、舞蹈病、癲癇、痙咳、胃痛、慢性下痢ニ與フ用量ハ〇、〇二—〇、〇五—〇、一ヲ丸劑トシテ一日三四回投ス(散劑ハ佳ナラス)

○格魯兒銀〇、〇五 亞硫酸曹達〇、三 水一〇、〇

右混和シ濾過シ黒瓶ニ貯フ半筒乃至一筒毎日皮下注射(脊髄癆)

(ロ)格魯兒安母尼亞銀(無色溶解性結晶ニシテ舞蹈病、癲癇等ニ〇、〇〇五—〇、〇一ヲ丸劑或ハ水劑トシ一日三四回與フ不適ノ品ナリ)

(ハ)酸化銀(白色ノ粉末ニシテ驅梅毒、癲癇、舞蹈病、胃痛、子宮出血ニ〇、〇〇二—〇、〇〇五ヲ一日三四回、丸、散トス甚劇毒物ナリ)

(ニ)沃度酸銀(無形黃色無臭ノ粉末ニシテ效用ハ格魯兒銀ノ如シ善良ノ腸收斂劑ニシテ急性下痢及慢性腸出血并腸炎ニ陶土、縮水ヲ以テ丸劑トナシ與フ即チ〇、〇〇五—〇、〇一ヲ丸劑トシ一日乃至三四回與フベシ)

(ホ)酸化銀(綠褐色無臭ノ粉末ニシテ腐蝕作用ナキヲ以テ梅毒、癲癇、舞蹈病、胃痛、下痢、子宮出血、子宮疝痛ニ〇、〇〇五—〇、〇一—〇、〇五ヲ丸、散トシ一日三四回)

(ヘ)枸橼酸銀(「イトロール」ヲ見ヨ)

(ト)乳酸銀(「アクトール」ヲ見ヨ)

(チ)乾酪化銀(「アルゴニン」ヲ見ヨ)

(リ)磷酸銀(灰白色ノ水ニ溶解スル鹽類ニシテ淋疾ニ四分一乃至二分一ノ溶液ヲ注射ス)

○「ギムネム」酸(帶綠白色ノ粉末ニシテ酒精ニ溶ケ易シ吐劑又苦味鈍麻藥トシテ二%酒精液ヲ以テ口内ヲ洗滌スルニ用ユ)

○狂犬病(恐水病)ノ豫防接種法 *Prophylaktische Impfung des Lyssa.*

狂犬病ハ最恐ルベキ病ニシテ吾邦ニ於テモ近時各地ニ狂犬ノ咬傷ヲ被ムル者少シトセス依テ左ニバストール氏豫防接種ヲ略記セントス

製劑ノ方法ハ先ツ狂犬病ニ罹レル犬ノ腦髓ヲ家兎ニ接種シ順次家兎ヨリ家兎ニ接種シ遂ニ

接種毒ノ製劑ノ方法

格魯兒銀 狂犬病ノ豫防接種法

其發病ニ至ルノ潛伏期漸次短縮シ七日ニ至ル此七日以下ニハ潛伏期復タ減縮セス是レ即チ固定毒力ナリ此固定毒力ヲ減弱スルニハ氣中ニ乾燥スルニ在リ即チ乾燥時日ノ多キニ從ヒ毒力益々微弱トナル第十五日乾燥スルキハ毒力消失ス(乾燥ノ方法ハ固定毒力ヲ接種シタル後一定時ヲ經テ死シタル家兎ヲ解剖シテ其脊髓ヲ十分清潔ニ他ノ細菌ノ混入ヲ防キテ採出シ次ニ殺菌シタル硝子壺ノ底面上ニ數條ノ苛性加里ヲ容レ之ニ觸レサル様ニ脊髓ヲ壺中ニ懸吊シ壺口ハ硝子栓ヲ以テ密閉スルキハ苛性加里ハ壺中ノ濕氣ヲ吸收シテ脊髓ヲ乾燥スルナリ)

注射ノ方法
順次

注射ノ方法 乾燥シタル脊髓ノ長サ三密迷ヲ肉汁一、〇ニ混シ善ク磨碎シ乳汁様ノ液トナシタルモノヲ一回量トナシ殺菌セル注射器ヲ以テ無水酒精ヲ以テ洗清セル下腹部或ハ腰部ニ注射スベシ但脊髓ノ腐敗スルナキニアラサルヲ以テ嚴密ニ検査シタル後使用スベク此注射液ハ用ニ臨ミ新ニ調製セサル可ラス而シテ注射スルニハ第一日ニハ一日二回即チ朝時十六日間乾燥シタルモノヲ注射シ晡時十五日間乾燥シタル者ヲ注射シ第二日ニハ十四日乾燥ノモノト十三日乾燥ノモノトヲ注射シ第三日ニハ十二日及十一日乾燥ノモノヲ用ユ以下此ノ如ク毎日二回宛順次乾燥時日ノ少キモノヲ注射シ第六日ニ至リテハ六日間乾燥ノモノヲ一日一回注射シ順次毎日一回乾燥時日少キモノヲ用ヒ第九日ニ三日間乾燥ノモノヲ注射スベシ而シテ第十日以後ハ更ニ六日間乾燥ノモノヨリ三日間乾燥ノモノヲ注射ス此順序ニ由リ一二

危重症ニ於
ケル注射法

回反覆ス
バストール氏ハ危重ノ場合(頭部顔面ノ咬傷ハ多クハ危險ナリ)ニシテ迅速ニ注射ノ效ヲ收メントスルキハ一日間ニ五六時間ヲ隔テ、三回注射セリ即チ第一日ニハ十二日、十日、八日間乾燥ノモノヲ用ヒ第二日ニハ六日、四日、二日間乾燥ノモノヲ用ヒ第三日ニハ一日間乾燥ノモノヲ一回注射ス第四日ニハ更ニ第一日ノ如クシ第二日三日モ亦前記ノ法ノ如クス此法ヲ反覆スルコト二三回ナルベシ

此バストール豫防注射ヲ施セル後發病セルモノハ〇、二、〇、三%ニ過ギス然ルニボルリソゲル氏ニ從ヘハ治療ヲ施サ、ルキハ八三%ハ發病シ咬傷部ヲ藥物ヲ以テ燒灼スルキハ二三%發病スト云フ又バストール氏研究所ニ於テ千八百八十六年乃至千八百九十四年ノ間ニ施行セシ總數一萬三千八百七十七名ニ内死亡者ハ〇、五%ナリト

栗本東明氏
ノ實驗

醫學士栗本東明氏ハ長崎ニ於テ此注射ヲ實驗セラレタルガ其成績頗ル佳良ナリシト云フ今同氏實驗ノ人員及成績ノ數ヲ掲ケン明治廿八年一月ヨリ廿九年三月卅一日ニ至ルマテ狂犬咬傷總數六十二名中、治療後發病者二名、治療後發病セシ者ノ百分比例ハ三、二二六ナリ又同氏ガ廿九年四月ヨリ三十年三月三十一日ニ至ルマテ狂犬咬傷患者總數二十一名ニ注射治療ノ完結後發病シタル者一名モ之ナカリシト云フ但此中原因不明ノ死者一名アリシト云フヲ以テ假リニ狂犬病ノ爲メニ斃レタリトスレバ二十一名ニ對スル一名ニノ百分比例ニ算スレバ四、七六二ナリ今廿八年一月ヨリ三十年三月三十一日ニ至ル總數八十三名中注射後

發病者二名發病ノ疑アルモノ一名ヲ併セテ三名ノ發病者アリトスレハ即チ百分比例ニ算スルキハ三、六二六強ノ比例ナリ

○チツツヲニー及カツタニーノ兩氏ハ近時狂犬病治療血清ヲ製シ之ヲ人ノ恐水病ニ應用セントスルニ至レリ

○桔梗

本品ハ強壯劑トナシ漢醫ハ祛痰劑ニ供用セリ二、〇一六、〇ナリ

○「ユカ」根 *Juca*.

本品ハ「ラクマ、ギガンテ」樹ノ根ニ水腫、肺癆、喘息ニ用ヒ又此皮ヲ丁幾トナシ挫傷ニ用ユ

○「ユグランデン」 *Juglans*.

本品ハ北米ニ産スル「ユグランズ、チネレア」ノ根皮ニ緩下劑トノ供用ス但シ胡桃葉ヨリ析出セル類鹽基タル「ユグランデン」ト誤ル可ラス

○「ユルベバ」 *Jurubeba*.

北「ブラジル」ニ産スル「ソラヌム、バニクラーツム」ノ根、葉及果實ニ下劑及利尿劑トス殊ニ其根皮及「ユルベバ」舍利別(一日三回二食匙毎食前半時ニ服用)ヲ用ヒ又流動越幾スヲ卓越ノ下劑トナス

○綿馬酸 *Acidum Stricnium*. $C_{11}H_{15}O_6$.

本品ハ黄色微小ノ菱形板狀結晶或ハ粉末ニ綿馬ニ代用シ驅條劑トナス

○「メコナルセイシ」(阿片ヨリ製セル鎮靜藥)

○「メラントラ、ブラウネ」(止血及防腐藥)

○「メリアンツス」(皮膚病及癌性潰瘍ニ用ユ)

○「メニスベルム、ムカナデンゼ」(強壯、變質、利尿劑トノ一回〇、一ヲ一日三回丸劑トノ用ユ)

○「メタアルデヒド」 *Methylhydrum*. $(C_2H_5O)_2$.

本品ハ白色細微ノ針狀結晶或ハ稜柱狀結晶ニ酒精及依的兒ニ容易ニ溶解シ水ニ溶ケズ鎮靜藥及催睡藥トノ〇、一〇、四ヲ丸劑或ハ「オブラート」ヲ以テ服セシム

○「メタチエチン」 *Methactinum*. $C_6H_4OCH_2NH(CH_2CO)_2$ 「バラ、アチエタニオン」

本品ハ白色或ハ微紅色無臭無味ノ結晶様粉末ニ百廿七度ニ溶解シ酒精ニ溶解シ稍水ニ溶ケ難シ解熱劑及鎮痛藥ニノ比較的ニ少量ニ解熱シ其應用ニ當テハ毫モ不快ノ副作用、發疹等ヲ發セズ又多發關節炎并ニ神經痛ニ甚良效アリ主トシテ窒扶斯、肺結核等ニ小兒ニハ〇、一五—〇、五大人ニハ〇、二五—〇、五ヲ與フ

○「メトキシシ」(安知必林ノ別名)

○「メトキシカツフェン」 *Methoxycaffinum*. $C_8H_8(OCH_3)_2N_4O_2$.

本品ハ白色輕鬆ノ結晶粉末ニ百七十七度ニ溶解シ「エトキシカツフェン」ノ如ク神經痛ニ

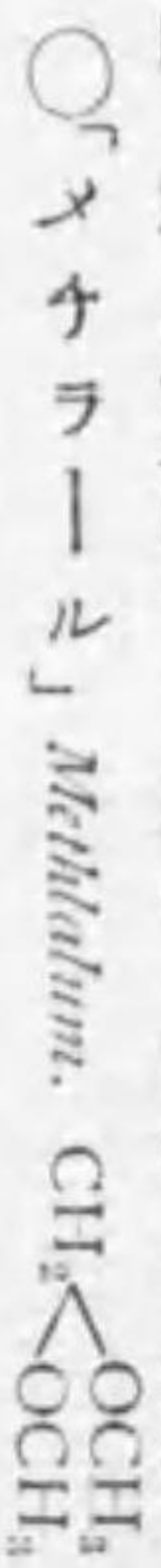
解熱及鎮靜藥

ユカ根 ユグランデン ユルベバ 綿馬酸 メタアルデヒド メタチエチン メトキシカツフェン

應用ス

○「メチールアチエタニリツド」(「エキサルギン」ヲ見ヨ)
 ○「メチールヨヂツト」 *Methyloin*. (沃度化、メチール)
 「メチールヨヂツト」ハ透明揮發性ノ液ニメ攝氏ノ四十四度ニ於テ沸騰スローベルトキルリ
 氏ハ善良ノ發泡藥トシテ稱用セリ其法該液ヲ綿花ニ灌ギ二三分時間皮膚ニ壓抵スレバ既
 ニ劇甚ノ灼感ヲ起シ二三時ニシテ發泡シ爾後更ニ疼痛ヲ殘サス

催睡及鎮痛劑



性狀 「メチラール」即「メチレンデメチールエーテル」ハ無色ニメ揮發シ易ク且ツ容易
 ニ流動スル液ニメ皮膚ニ觸ルレハ忽チ蒸發シ其部寒冷ヲ覺エ水三分ニ溶解シ酒精、脂肪油
 及揮發油ニ能ク溶解ス噁囉仿謨、醋酸依的兒ニ類スル香氣ヲ具ヘ燒クガ如キ味ヲ有シ攝氏
 四十二度ニ沸騰シ比重ハ〇、八五ナリ

應用 本品ハ種々ノ神經症ニ應用シ外用ハ軟膏或ハ擦劑トナシ鎮痛劑トメ用ユ〇ベルゾ
 ナリー氏ハ斯篤里幾尼涅中毒ニ稱用シ且ツ胃痛、腸痛ニ效アリ催睡藥ニ供スルニ皮下注射
 フ良トス人體ニ用ユルニ奏效速ニシテ不快ノ症ヲ誘起スルコナシリチャードソン氏ハ一回
 ニ一、二—、五ヲ用量トス又或ル人ハ精神病ニ五、〇—八、〇ヲ投スルニ催眠ノ效ヲ奏シ有
 害ノ副作用ナシ

リチャードソン氏ハ催眠鎮痛藥トシテ稱用シ左ノ報告ヲナセリ即チ其效「メチール」亞爾簡

處方

保兒及依知兒依的兒ノ中間ニ位シ動脈血壓ヲ減シ局所作用ニハ諸腺ノ機能ヲ衝動ス而シテ
 發起セル睡眠ハ大量ニアラザレバ深カラズ排泄ハ速カニシテ不快ノ結果ヲ來スコナク又嘔
 吐胃症ヲ起サス死量ヲ與フレハ心ノ筋纖維弛緩シ心ハ擴張シ全身血管ニ鬱血ス鎮痛藥トシ
 屢、反復スレハ他ノ麻酔藥ト同ジク習慣スルヲ以テ同一ノ效ヲ得ルニハ漸々増量スルヲ要
 スベシ

○フォン、クラフトエビング氏ハ二十一人ノ酒客譫妄ニ注入法ヲ實驗シ其量ハ「メチラール」
 一、〇縮水九、〇ノ者一筒ヲ用ユベシ生理的睡眠ニ異ナラス副作用ヲ起サス吸入料トシテ
 五、〇—一〇〇、〇ヲ用ユルニ中毒症ヲ見スト云ヘリ極量一回四、〇—一日八、〇ナリ

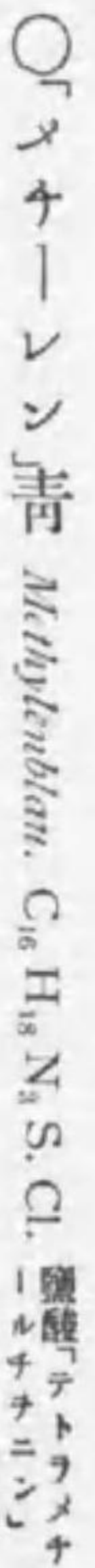
○「メチラール」一五、〇 扁桃油八五、〇 ○「メチラール」一〇、〇 酒精八五、〇

右爲擦劑 塗擦料 刺賢姪兒油五、〇

○「メチラール」二、〇 縮水一〇〇、〇 右爲擦劑、塗擦料

單含四〇、〇 ○「メチラール」一五、〇 豚脂一〇〇、〇

右内用 右外用



性狀 本品ハ紅褐色光輝アル粉末ニメ水ニハ藍色ヲ以テ容易ニ溶解ス格魯兒亞鉛ヲ含有
 スル製劑ヲ用ユ可ラス

作用及應用 本品ハ筋攣麻質斯、坐骨神經痛、(クレムベレル氏ハ良效ヲ得タリ)血管

防痙鎮痛解熱劑

メチールヨヂツト メチラール メチーレン青

瘰癧性偏頭痛其他麻拉利亞、(エル、コツホ氏ハ規尼涅ノ良代用品トシテ賞用セリ即チ規尼涅ヲ用ユル能ハザル場合例之、嫌忌スルカ嘔吐ヲ來ス場合ニハ本品ヲ用ユルヲ大ニ益アリトセリ)膀胱炎、蜜尿病ニ用ユ本品ノ服用後直ニ排泄スル尿ハ帶黃綠色ニシテ後期ニ排泄スル尿ハ帶綠藍色乃至暗藍色ナリ服後屢ニ發スル膀胱刺戟及尿意急迫ニ對シハ粉末トナセル肉豆蔻一二小刀尖ヲ與フ千八百九十年エールリツヒ及レツブマン兩氏ハ「メチーレン」青ヲ用ユルキハ忽チ尿中ニ移行スルヲ知リ十五名ノ腎炎ニ用ヒ良效ヲ得タリ其法タル「メチーレン」青〇、一ヲ一日三回「ヨブラート」ヲ以テ隔日ニ用ユルニ在リ然ルキハ用後一時間ヲ經テ尿青色ニ變シ尿量非常ニ増加シ漸次ニ蛋白圓柱消失シ不快ノ副作用ヲ發セス

醫學士今井通氏ハ右ノ報告ニ從テ四名ノ患者ニ實驗シテ良效ヲ得タル病例ヲ詳報シタリ(東京醫學會雜誌第七卷第二十二號)

ワルデン氏ハ本品ヲ二十名ノ結核患者ニ試用シ内十二名ハ呼吸器結核ナリシ重症四名ハ加療後六週ニシテ死シ八名ハ治療後六週ニシテ咳嗽痰及微菌著シク減少セリ盜汗、消耗熱發作等モ全ク消失シ二名ノ如キハ自覺的ハ勿論他覺的ニ肺症狀ヲ證明スルヲ能ハサルニ至レリ用量ハ一日量〇、一ヨリ初メ漸次増量〇、五ニ達シ再ヒ減量シ〇、一五ニテ持續セリト

醫學士山田鐵藏氏ハ醫科大學第一醫院ニ於テ試用シタルニ重症肺癆ノ自覺的症狀輕快スルト解熱作用ハワルデン氏ノ說ノ如ク良效アリト用後二三日ヨリ七日ヲ經過シ大ニ良效ヲ奏シ夕熱一度五分ヲ減降セリ氏ハ膠囊ニ容レテ與フルヲ利アリトシ服後五六時ニシテ尿青色ヲ

呈シ且尿意頻數トナル其他副作用ヲ認メヌ他ノ解熱劑ハ本病ニ對シテ遠ク及ハサル所ナリ(中外醫事新報第三百二十七號)

用量 皮下注射ニハ〇、〇二〇、〇八「内用ニハ神經痛藥トシテ一回〇、一〇、五」一日量

一、〇ナリ麻拉利亞ニハ〇、一ヲ一日五回服用シ發作消散後八日乃至十日間尙持長ノ用ユヘシ膀胱炎ニハ〇、二ヲ一日二三回投ス之カ服用ハ膠囊トナスヲ最適當トス

○「メチールグアニジン」 *Methylguanidin. NHC (NH₂) NH (HC.)*

本品ハ無色潮解シ易キ物ニシテ水ニ溶解シ酒精ニ溶ケズ治療上ニハ從來用ヒタルヲ少シ

○「メチールフェナチエチン」 *Methylphenacetin.*

本品ハ無色ノ結晶ニシテ四十度ニ溶解シ水ニハ僅ニ溶解スルモ依的兒性液ニ容易ニ溶解ス催睡及解熱劑トシテ治療上ニ應用スルヲ得可シ

○「メチールウイラレット」 *Methyluracil*

○「メチールサロール」 *Methylsalol* (瘰癧質斯藥)

○「メンタ、ブレギウム」 *Mentha, pulegium* (墮胎藥、通經藥)

○「メスア、フェルレア」 *Messia, ferrea* 油(瘰癧質斯ノ塗擦料)

○「メルクリヨール」 *Mercuriol.*

本品ハ「アルミニウム」ト苦土トヲ「アマルガム」法ニ由テ製シタル者ニシテ灰白色無臭輕鬆微細ノ粉末ヲナシ四十%ノ鑛屬性水銀ヲ含ムアーマン氏ハ此粉末ヲ木綿布片ノ長サ四五十仙

驅梅毒

メチールグアニジン メチールフェナチエチン メルクリヨール

足汗制止劑

迷ト廣サ二十乃至四十仙迷ノ小囊ニ含孕セシメ患者ヲシテ日夜之ヲ胸部或ハ背部ニ貼セシム
ムアーマン氏ハ水銀粉末ヲ含孕セル小囊ハ水銀軟膏ヲ含孕スル小囊ヨリモ清潔ナリ交換スル
ルコトナク用ヒラル、小囊ハ其囊縁ヲ縫合セズノ鈕ヲ以テ嵌合シ以テ水銀粉末ノ交換ヲ容
易ナラシム氏ノ經驗ニ從ヘハ此法ノ驅梅作用ハ他種ノ水銀療法ノ作用ニ同シク確效アリ此
法ノ中毒作用ハ口内炎及輕度ノ蛋白尿ヲ以テ徴知スベシ
用量ハアーマン氏ニ從ヘハ初メ五日乃至十日ハ毎日本品五、〇ヲ撒布(小囊内ニ)シ次ニ三
十日乃至四十日ノ終ニ至ルマテハ唯毎二日ニ五、〇ヲ用ユルノミ

○「メチールアルコール」 *Methylalcohol.*

本品ハ近時足汗過多ニ賞用セリ即チ就眠前ニ可及的溫湯ヲ以テ足ヲ洗ヒ清潔ノ木綿足袋ヲ
穿チタル後足ヲ一時「メチールアルコール」ヲ容レタル器中ニ投入セシメ全夜足袋ヲ脱セ
サラシムベシ此法ヲ施スコト一週間(毎夕)ニ及フキハ確然治癒スベシ

○「メスビロダフネス」(白帶下、下肢浮腫等ニ用ユ)

○「メタクロラール」 *Methchloral. C₇H₁₃O₂.*

本品ハ白色輕鬆ノ粉末物ニシテ依的兒臭アレモ格魯拉爾ノ如ク刺戟性ナラス水、酒精、嘔囉仿
謨ニハ溶解セズ抱水格魯拉爾ニ代用シテ外用トナシドユシヤルダンボーメ氏ハ著シキ防腐
性アリトナシ沃度仿謨ニ代用シテ創傷ノ撒布末(石松子、滑石、澱粉ニ伍用ス即チ一分ト九
分ノ比例)トナシ直ニ創上ニ撒布ス

防腐藥

○「メタクレソール」(「クレソール」ヲ見ヨ)

○「メジツトアルコール」(「アチエトン」ヲ見ヨ)

○「メチールエチルエーテル」 *Methylalcohol. C₂H₅O.*

麻酔藥

本品ハ一種ノ臭氣アル液ニシテ極テ發火シ易シ攝氏十一度ニ沸騰スルヲ以テ中等ノ溫度(攝
氏十五度)ニ於テハ瓦私狀ヲナス特ニ製セル壓定器内ニ貯フベシ

リチアルドソン氏ハ麻酔藥トシテ嘔囉仿謨ニ代用セリ其效用同一ナリト雖モ嘔囉仿謨ノ如ク
不快ノ偶發症ナキヲ以テ優レリトス獨逸ニ於テハ用ユル者甚少シ

○「ミドリン」 *Mydrin.*

瞳孔散大藥

本品ハ「ホムアトロピン」一分ト鹽酸「エフェドリン」十分ノ合成物ニシテ速ニ瞳孔散大ヲ來シ
亦從テ速ニ消散スルガ故ニ純粹ノ「ホムアトロピン」及「アトロピネ」ニ代ヘテ檢眼鏡検査ニ
適ス十%溶液ノ二三滴ヲ結膜内ニ點スルキハ約八分半ヲ經テ瞳孔散大ヲ來シ半時ノ後其極
度ニ達シ四乃至六時ニシテ再ヒ消散ス調節機ニハ影響セズ

○「ミドリン」〇、二 縮水二、〇

右點眼科

○「ミルレフオリー」花(強壯劑鎮痙劑トシテ消化不良、痙痛、子宮出血及痔疾ニ浸
劑五、〇—一五、〇水一五〇、〇トナシ用ユ)

○「ミルレフオリー」葉(前者ト同ク二、〇—五、〇ヲ浸劑トス)

○「ミグレニン」 *Migravin*.

本品ハ「フェルラッハ氏カ偏頭痛(即チ「ミグレート」)流行性感冒ノ頭痛、酒精中毒、莫兒比涅及「ニコチン」中毒ニ賞用セル所ニメイ、イ、ホフマン氏ノ分析ニ由レバ安知必林八九、四〇%咖啡涅八、二〇%及枸橼酸〇、五六%ト濕潤含量一、八四%ノ混合物ヨリ成レリ用量一、一瓦ナリ

○「ミグロール」 *Migrol*.

本品ハ「ブレンツカテヒンモノアチエト」酸咖啡涅ト「グアヤチエチン」トヨリ成ル者ニ頭痛ニ一日三回〇、五ヲ賞用ス

○「ミトーゼ」(容易ニ溶解スル肉蛋白ナリ)

○「ミクロチジン」 *Microcin*. 「ミタナフトー」
「ルナトワム」

本品ハ白色無臭無味ノ粉末ニシテ水三分ニ溶解ス防腐藥ト用ユルニ腐蝕セス又比較的ニ無毒ナリ本品溶液ハ石炭酸ヨリモ十倍防腐力強シ「バイロン氏」ハ創傷ノ傳染ヲ豫防スルカ爲メニ糊帶料ニ五「プロミルレ」ノ溶液ヲ用ヒタレモ已ニ三「プロミルレ」ノ溶液ニテ足レリ此溶液ハ腔及子宮ノ洗滌其他膿瘍ノ洗滌及化膿粘膜、大鼻腔ノ洗滌ニ供用セラル
コツヲリノ氏ハ種々ノ耳鼻咽喉病殊ニ臭鼻ニ用ヒテ良效ヲ收タリ子宮及腔ノ洗滌ニハ三—五%、鼻喉頭病ニハ〇、一%耳病ニハ〇、三—〇、四%ノ溶液ヲ用ヒタリコツヲリノ氏ハ臭鼻ニ左ノ軟膏ヲ用ヒタリ

○「ミクロチジン」〇、一 鹽酸古加乙涅〇、一五 華攝林三〇、〇

右外用

○「ミルロリン」又「ミルレー」油(鼻孔部ノ濕疹ニ外用ス)

○「ミロニン」(植物性蠟及「デーグリンワール」油ノ新軟膏質ナリ)

○「ミヘリア」(印度ニ於テ解熱劑ト用ユ)

○「ミリチン」(收斂藥ニシテ下痢及黃疸ニ〇、一—〇、二五ヲ用ユ)

○「ミロパラネン」(收斂藥ニシテ下痢、輕症虎列刺、腸加答兒等ニ用ユ)

○「ミロシン」 *Myrosinum*.

皮膚刺戟劑

黑芥子及白芥子ヨリ冷水ヲ以テ浸出シ四十度ニ於テ蒸發セシメ酒精ヲ以テ沈降セシムレバ其沈澱中ニ「ミロシン」ヲ含有ス本品ハ「ミロシン」酸加里トナシ用ユル者ニシテ水ニ溶解スル結晶ヲナス皮膚刺戟劑トナシ芥子泥又芥子紙ニ代用ス則チ此目的ニハ一紙片ニ「ミロシン」溶液ヲ浸シ他ノ紙片ニ「ミロシン」酸加里溶液ヲ浸シ此兩紙片ヲ乾燥セシメ次テ使用スルニ臨ミ交互相接著シ水ヲ以テ濕ス可シ

○「ミルトール」 *Myrtholium*.

消毒防腐藥

性狀及應用

本品ハ「ミルテン」葉ヲ蒸餾シ製スル水明ノ液ニシテ不快ナラザル特異ノ臭氣アリ味灼クカ如ク後チ冷感ヲ覺フ有力ノ消毒防腐藥ニシテ腐敗性氣管枝炎ニ對スル確實ノ速效アル藥劑ナリ列並底油ノ如ク頭痛、眩暈、神識朦朧ヲ發セス又石炭酸結麗阿曹篤ノ

ミグレニン ミグロール ミクロチジン ミロシン ミルトール

如ク粘膜ヲ刺戟セズ本品ヲ服セシムレバ即チ不快ノ症狀ヲ發セズ食思及全身狀況佳良トナル、本品ハ腐敗性氣管枝炎ノ外、肺壞疽ニ用ヒ又結核杆菌ノ發生及瀰蔓ヲ防止スル性アリ本品ヲ與フレバ呼吸氣及尿ニ特異ノ臭ヲ放チ時トノ尿ヲ紫色ニ變スルコトアリ一日五六回〇、一
二〇〇、一五ヲ膠囊トナシ一日二一、〇ヲ與フ

〇「ミルトール」〇、一

右一膠囊ニ容レ一日三回一個宛

〇「ミルトール」〇、一 薄荷腦〇、一

右一膠囊ニ容レ一日三回一個宛

〇「ミストレイト」Mistletoe.

〇「ミルトール」〇、一 百露拔兒撒謨〇、

三

右一膠囊ニ容レ一日三回一箇宛

「ドクトル」アール、ハルク氏ハ「ミストレイト」ノ製劑ヲ心力微弱不正及雜音アル疾患ニ試ミ良效アルヲ認メ「ヂキタリス」ノ代用品ニ佳良ナリト報告セリ用量ハ同製劑毎四時二、〇ナリ又民間ニテ癩癩發作ニ用ユト云フ

〇食鹽溶液(生理的) Kochsalz-Lösung, Physiologische.

本品ノ便毒ニ對スル效用 「ドクトル」ウエルシュ氏ハ豫メ膿汁ヲ吸引器ニテ排出シタル後便毒ノ波動スル部分ノ平面ニ於テ一二立方仙迷ノ生理的食鹽溶液ヲ注射シ而シテ腺質内ニ二乃至六仙迷ノ數多ノ刺戟ヲ作ルベシ次テ醋酸礬土ニ浸シタル壓抵綑帶ニテ局部ヲ被フベシ疼痛ハ即日消散シ患者ノ歩行ヲ妨ケザルニ至ル化膿作用ハ靜止シ腫瘍速ニ縮小ス而シテ

便毒ニ於ケル效用

高度衰弱ニ於ケル效用

便毒已ニ注射前ニ破開シタルカ或ハ皮膚已ニ甚シク菲薄トナル場合ニ切開ヲ要スルノミ然レモ此場合ニモ亦手術部ハ甚狭小ナリ從來此法ニ由リテ二十五名ヲ治療シタルカ其二十名ハ約十五日ニシテ治セリ他ノ五名ハ尙外科的處置ヲ要シタリキ
高度衰弱ニ於ケル效用、ベールス氏ハ本品ヲ以テ高年或ハ貧血ニ由來スル高度ノ衰弱ニ於テ其身體ヲ強壯且興奮セシムル有力ノ效用アリトセリ同氏ハ多年來左法ヲ行ヘリ即チ朝夕蔭中ニ於テ全身ノ皮膚(常ニ唯一部分ヲ他部分ト交替的ニ裸出スルノミ)ニ生理的食鹽溶液(食鹽六、〇即チ一咖啡匙ヲ蒸餾水或ハ豫メ煮沸セル常水千瓦ニ溶解セル液)ニ浸メ貼シ次テ稍壓搾シタル麻布手巾ヲ以テ他人ニ由リテ輕ク拭清シ(鹽液ハ恰モ露ノ如ク小滴ヲナシ皮上ニ存置ス)而シテ當該身體部分ハ忽チ再ヒ被衾ヲ以テ被ヒ乾燥セシメズ被衾ノ下ニ蒸發セシムルナリ高度ノ衰弱ニ於テハ上記分量ノ食鹽ヲ精密ニ秤量スベキカ故ニ食鹽六、〇ト水千立方仙迷ノ液ヲ調製セシムルヲ最良トス早朝全身ノ皮膚ヲ拭清シタル後患者ヲ尙十五分乃至三十分間蔭中ニ留ムベシ此法ハ溶液寒冷ナルキハ殊ニ效アリ何トナレバ然ルキハ興奮的寒冷作用ニ加ヘテ強壯的鹽作用ヲ發スレバナリ寒冷ノ拭擦ニ堪ヘザルキ(例之寒冷ノ時季或ハ同時ニ痲瘋質斯性素質アルカ或ハ高年ノ爲)ニハ溶液ヲ温メテ用ヒサル可ラス強壯ノ目的ニ此ノ生理的食鹽溶液ヲ用ユルノ法ハ此溶液ノ皮下注射ニ比スレバ其衰弱感覺ト輕微ノ身體運動ニ由リテ發スル呼吸困難ノ爲メニ苦惱セラル、患者ニ於テ大ニ行ヒ易キ長所アリ且皮下注射時ノ疼痛ノ如キ不快感覺ヲ除クベケレバナリ此鹽液洗拭ノ爲メニ著シ

ミストレイト 食鹽溶液

ク高度ノ身體衰弱佳トナレル後ベールス氏ハ益強壯ノ目的ニ炭酸ニ富メル礦泉水ヲ用ヒシメタリ氏ハ上記ノ劑ト同時ニ毎日葡萄糖(「グリコゲナール」ノ代用品)四分一磅ヲ内用セシメタリ

齒科ニ於ケル應用 レーゼ氏ハ生理的食鹽溶液ヲ適當ニシ且廉價ナル洗口水トシ賞用セリ即チ動物組織ニ向テ全ク無害ナル〇、七%(生理的)食鹽溶液ハ著シキ殺菌作用ヲ具フル者タリ此弱鹽溶液(約一小刀尖ノ食鹽ヲ一小酒盞ノ微温湯或ハ一指帽ノ食鹽ヲ一杯ノ大「コップ」ノ微温湯ニ加フ)ハ虛弱家、幼兒及貧民ニ最適當ノ洗口水ナリ又皮膚過敏ナル人ニ於テハ販賣セラル、洗口水中ニ含メル依的兒油ノ爲メニ口角ニ皮疹(濕疹)ヲ發生スルコトアリ此發疹ニハ生理的食鹽溶液ヲ以テ洗口スルヲ最良トス

興奮收斂藥

樟腦酸 *Acidum camphoricum. C₆H₄(C₆H₅)₂(COOH)₂*

性状 樟腦酸ハ無色ノ小板狀結晶或ハ白色ノ粉末ナリ酸味ニシテ後稍苦味アリ臭氣ナク百七十八乃至百八十度ニ溶解ス冷水約百四十分沸騰水八分酒精一、三分依的兒一、八分噶囉仿謨約千分ニ溶解ス本品ノ水溶液ハ藍色「ラクムス」紙ヲ紅變シ多量ノ樟腦酸ハ安母尼亞液并ニ曹達滴汁ニ攝取セラル此溶液ニ鹽酸ヲ加フレバ再ビ沈降ヲ生ス本品ノ冷飽和溶液ハ硝酸重土液并ニ硝酸銀液ニ由テ變化ス可ラス

作用及應用 外用 本品ハ輕易ノ興奮及消毒性收斂藥ニシテ咽頭、喉頭及鼻腔ノ諸種ノ急性及慢性炎症其他潰瘍、膿疱、濕疹、慢性尿道炎、丹毒、酒刺鼻ニ用ヒ又膀胱炎ノ洗滌料、病

的發汗ノ洗滌料トス〇内用 フェルブリンゲル氏ハ本品ヲ初メテ盜汗ニ用ヒニール氏ハ其良效アルヲ確定シ實ニ亞篤羅必涅ヨリモ確效アリ三、〇—五、〇ヲ用ユルモ善ク之ニ堪ユ

用量 外用 急性症ニ於テ含嗽水、噴霧料、吸入料、注入料ニハ半—二%慢性粘膜炎ニハ三—六%喉頭結核ニハ毎日三—六%感冒ニハ一—三%ヲ綿ニ附シテ挿入シ末期ニハ本品一分ニ硼酸五—九分ヲ加ヘタル者ヲ吹入ス本品ノ溶液ニハ酒精ヲ加フヘクライヘルト氏ハ樟腦酸每一%ニ酒精十一%ヲ加ヘタリ〇内用 毎夜一、〇—三、〇—五、〇ヲ少時間ヲ隔テ、散劑ヲ「オブラート」ニテ服セシム

- 〇樟腦酸一、〇—二、〇
- 右爲一包朝夕一包(盜汗)
- 〇樟腦酸加里 *Kalium Camphoricum.*

本品ハ溶解シ易キヲ以テ樟腦酸ニ優レリ引濕性ナルカ故ニ通常舍利別様ヲナシ全ク乾燥スレバ結晶トナル、應用ハ樟腦酸ノ如キモ其防腐性質稍劣レリトス

〇樟腦酸「アニリン」 *Anilinum camphoricum. (C₆H₅N₂)C₁₀H₁₆O₄*
本品ハ白色、時トシテ紅色ノ細小ナル結晶ニシテ十分ノ屈利設林、二十五%ノ酒精六分、五十%ノ酒精三分ニ全ク溶解シ偏陳ニハ全ク溶ケズ噶囉仿謨、硫化炭素、脂油ニ由テ全ク分解セラ

樟腦 *Camphora.*

感冒劑トシテ應用ス

樟腦酸 樟腦酸加里 樟腦酸アニリン 樟腦

ケーレル氏ハ感冒及咽頭加答兒ニ樟腦ヲ吸入セシムルヲ賞セリ即チ粉碎セル樟腦一茶匙ヲ深キ容器ニ入レ其半ニ至ルマテ沸湯ヲ充タシ其上ニ三角形ノ紙匣ヲ覆フ可シ此紙匣ノ裂隙ハ適宜、鼻ヲ挿入ス可ラシム樟腦ヲ含メル温蒸氣ヲ鼻ニ由テ凡ソ十乃至十五分時吸入セシメ一日二三回反覆スルナリ三回吸入セシメタル後ハ頑固ナル鼻加答兒モ亦消散ス

○樟腦油

「ドクトル」アレキサンデル氏ハ肺結核患者ニ樟腦油ヲ皮下注射シテ頗ル良效ヲ得タリ則チ發熱セル同患者ニハ一日一回〇、〇一〇、〇二ニ衰弱シタル患者ニハ〇、〇三ヲ數週數月間、間斷ナク注射スベシ無熱ノ患者ニ於テモ前ト同様ニ注射シ或ハ毎四日ニ一回〇、一ヲ注射シ少クモ八日間休止シタル後ハ再ヒ此注射ヲ續行スベシ

○四格魯兒化炭素 *Carbonum bichloratum*. CCL₄. 「テトラクロ

無色依的兒樣香氣アル液ニソ水ニ溶ケズ局所麻酔藥トノ忽チ其效ヲ現ハスモ長ク持續セズ枯草熱、月經異常、顔面神經痙攣ニ用ユ

○樟腦化格魯兒兒 *Chloratum Cymphoratum*.

樟腦化格魯兒兒ハ無色油狀ノ液ニソ依的兒、酒精、油類ニハ適宜ノ比例ヲ以テ溶解シ鎮痛劑トノ神經痛及痲痺質斯ニ外用ス

○酒精繃帶 *Alkoholverband*.

酒精繃帶法ハ局所ノ血量増加シ血壓亢進シ其效力深部ニ波及ス而シテノザルツウエーデル氏

肺結核ニ於ケル效用

持、久、的、酒、精、繃、帶、ハ、三、層、ヨリ、成、ル、即、チ、一、層、ハ、脫、脂、ム、ル、(或ハ「ガーゼ」ヲ八層ニ重ネ酒精ニ浸シテ復タ滴下セサルニ至リタル者ヲ皮上ニ貼シ其上ヲ二三仙迷ノ厚サニ清潔乾燥可及的鬆疎ノ綿花ヲ以テ被包シ更ニ其上ニ不透過性ノ物質ヲ以テ全部ヲ悉ク被フニ在リ而シテ之ヲ繃帶ニテ固定ス氏ハ九十六%ノ再留酒精ヲ最適當ノ液トセリ此繃帶法ハ二十四時ニシテ交換シ且炎性部分ヨリモ廣ク被ハサル可ラズ

此繃法ハ殊ニ林巴管炎、蜂窠織炎性創傷、皮下蜂窠織炎、帶狀水泡疹、癰腫、丹毒、瘰癧、炎性鶏眼ニ賞用セラル

此繃法ノ希望セザル副作用、ハレロー氏ニ由レバ皮膚ノ往々著シキ表在性木乃伊變化ニシテ殊ニ從前水治繃法ヲ行ヒシ場合ニ於テ然リ此際ニハ例之、手ニ於テハ表皮恰モ手袋ノ如ク剝離ス而シテ或ハ繃法中ニ疼痛ヲ訴ヘ或ハ通常忽チ消散スル劇シキ灼熱ヲ訴フ然レモ大多數ハ善ク此繃帶法ニ堪ヘ頗ル其效力ニ満足ヲ表シタリ

エルシユネル氏ハ化膿症ニ此繃法ヲ行ヒ良效ヲ得タリ即チ此繃法間ニ著シク減退シ癰腫、癰疽、瘰癧、大蜂窠織炎、ニハ數日ニシテ消散シ壞疽片ハ容易ニ鑷子ニテ除キ得タリ創面ハ善良肉芽ヲ以テ被ハレ爾後撒布末ヲ以テ治セリ

マイエル氏ハ九歳小兒ノ重症結核性腹膜炎ニ此繃法ヲ行ヒ良效ヲ收メフイラトウ氏及ゴルド氏ハ蟲樣垂炎ニ此繃法ヲ行ヒ甚良效ヲ得タリ即チ皮上ニ四層ニ重ネテ九十六%酒精ニ浸シタル「ガーゼ」ヲ置キ其上ニ一枚ノ「フネネル」ヲ被ヒ其上ヨリ氷囊ヲ貼シタリキ

樟腦油 四格魯兒化炭素 樟腦化格魯兒兒 酒精繃帶

赤痢藥

ブフネル氏ハ結核性關節炎ニ施行シテ偉效アリトブルウインケル氏ハ肋膜炎滲出物ニ諸法ヲ施シテ效ナキニ際シ酒精療法ヲ施シテ得タリ卷法ハプリスニッツ氏ノ卷法ノ如クシ水ニ代ヘテ九十六%ノ酒精ヲ用ヒ其上ニ「グッタベルカ」紙ヲ被ヒ二三時間其儘ニ放置シ毎三日ニ一回此卷法ヲ施行セリ次急性關節痲痺質斯ニモ酒精療法ハ效アリ慢性關節痲痺質斯及淋毒性痲痺質斯モ亦之ニ由リテ治セリト

○「シヌス、モルレ」實(淋疾ニ内用セシム)

○「シマルバ」皮 *Cortex Simarubae*

性状 本品ハ長キ撓屈性粘膠ノ長形ノ皮片ニシテ外面ハ鮮褐黃色粗糙疣狀ノ黃皺襞アリ内面ハ鮮黃色ニシテ味頗ル苦シ

作用及應用

古來グアヤナ及西印度ニ於テハ赤痢藥トシテ用ヒ又前世紀ノ初頃迄ハ歐洲醫家モ之ヲ赤痢ノ特效藥トシテ用ヒタリシカ其後世醫ノ遺忘スル所トナリタリキ然ルニ東印度及和蘭領印度ニ於テハ今日モ亦多ク之ヲ應用シ近時ハ急慢ノ赤痢及夏季下痢ニ甚盛ニ用ヒラル、ニ至レリ此品ノ生理的作用ハ未タ詳ナラス少量ハ苦味劑ノ如キ作用アリ大量ハ嘔吐、下痢ヲ發シ易シ

用量

○、五—一、〇ヲ一日數回浸劑或ハ煎劑トナシ用ユ

○「シマルバ」皮煎(八、〇)一七〇、〇 「コンニヤック」 沙列布漿 各一〇、〇 阿片丁 幾〇、五—一、〇 橙皮舍利別 二五、〇

利尿劑

右毎二時一食匙 (赤痢及夏季下痢)

○「シムフォローネ」 *Symphorale*

本品ハ硫酸咖啡涅ニシテ咖啡涅ノ如ク直チニ腎上皮ヲ刺戟シテ利尿ノ效アレハ心臟及血管中樞ニハ咖啡涅ノ作用ヲ呈セス其那篤留鹽ハ甚シキ苦味アレハ胃ノ善ク堪ユル所ニシテ不快ノ副作用ヲ發セズ諸種ノ水腫ニ利尿劑トナシ其他肥胖、脂肪心ニ投シ身體ノ脫水ヲ催スカ爲メヲエルタル氏療法ヲ補助スルニ用ユ

用量ハ一、〇ヲ一日數回一日量四、〇—六、〇ニシテ散劑ヲ膠囊ニ入レ又ハ「ヲブラート」ニテ服セシム溶劑ハ宜ク避ベシ

○「シマール」 *Dynamal*

「シマール」ハ撒里失爾酸「ジジミウム」ニシテ甚微細ナル無臭ノ粉末ヲナシ單ニ撒布末トナシ或ハ十%ノ「ラノリン」軟膏トナシ用ユ本品ハ無毒、無刺戟ニシテ分泌減、乾燥及同時ニ防腐的ニ創傷ニ撒布セラル可キ者ニシテ實ニ切創、裂創、挫創ニ適シ又已ニ化膿シタル者ニハ屢、本品ヲ撒布シテ綳帶ヲ交換スルキハ治癒ノ經過ヲ善良ナラシム

便毒ノ一症ニ於テ「ドクトル」コツプ氏ハ腺ヲ摘出シタル後創面頗ル惡臭膿ヲ泄シタル者ニ本品ノ綳帶ヲ施セシニ五日ニシテ不良ノ潰瘍面ハ善良ノ肉芽ヲ生シ十六日ニシテ全ク治シテ癩痕ヲ結ベリ

同氏ハ第二度及第三度ノ火傷ニ「シマール」撒布及軟膏トナシ良績ヲ得タリ即チ分泌甚シキ

キハ厚ク本品ヲ撒布シ速ニ上皮ノ發生ヲ催シ得タリ然レモ其際疼痛ハ速ニ消散セサリキ
ヲフエルラツハ氏モ上記ノ諸症ニハ無毒無刺戟ニシテ分泌制減、防腐、乾燥劑トシテ賞用セラレ
タリコツプ氏ハ左ノ皮膚病即チ急慢性濕性及乾性ノ「エクツエマ」、鱗屑疹、傳染性膿疱疹、
丹毒、多汗、糜爛、魚鱗癬、種々ノ皮膚壞疽ニ用ヒタリ
コツプ氏ハ急性濕疹(丘疹性水泡性)ニ本品ヲ撒布シタルモ他ノ撒布劑ニ優ル所ナシ急性糜
爛性濕疹ニ於テモ「ジマール、ラノリン」ハ他ノ軟膏(「イヒチヤール」、撒酸等)ニ比スレバ劣
レリ概シテ皮膚病ニハ著效ナシ

○「ジクイリチー」(Jequirity)

「ジクイリチー」ハ亞米利加、亞非利加、印度、支那等ニ産スル植物ニシテ藥用ニ供スルハ紅色
卵圓形ヲ有スル其子實ニシテ臍ヲ具ヘ之ニ黒點ヲ印スル、デー、ウエツケル氏ハ「トラホー
ム、パンヌス」ニ創用シ化膿炎ヲ發セシメ偉效ヲ得ルヲ報告セリ爾來諸家ノ試驗ヲ經テ遂
ニ眼科的一新藥ニ算入セラレタリザツトレル氏ノ行ヘル用法ハ子實三、〇即チ三十二粒ヲ
取り殻皮ヲ去リ粗末トシ冷水五〇〇、〇ニ浸スルニ二十四時間更ニ熱湯五〇〇、〇ヲ加ヘ冷後
濾過シ其液ヲ以テ一日三回洗眼セシム其症狀ハ洗眼後、若干時ヲ經レハ初メ眼球及眼瞼結
膜ノ刺戟症狀ヲ發起シ翌日ニ至リテ劇甚ノ炎症ヲ發ス然ルモハ眼瞼浮腫シ分泌甚ク増多
ス此ノ刺戟症三日間持續シ兼ルニ發熱、不眠、頭痛、便秘等ヲ發シ化膿期ニ移行ス此期五日
間連續後、漸次化膿減退シ患者ハ大ニ快ヲ覺エ洗眼後十五日ニ至レハ終ニ炎症消退シ肉芽

眼科藥

本品ノ用法

「ジクイリチー」
眼炎

「ジクイリチー」
眼炎
ノ原因

效害論

面モ全癒スルニ至ルヘシ屢角膜不透明ヲ殘スヲアリト雖モ日ヲ經ルニ從テ漸々消退スル者
ナリ此療法ヲ施ス間ハ淡白ノ食品ヲ與ヘ暗室ニ靜臥セシムルヲ要ス又角膜健全ナルキハ
〇、五%ノ浸液ヲ一日二三回點眼スルヲアリ
此「ジクイリチー」眼炎ノ原因ハザツトレル氏ニ由レハ浸液中ニ存スル圓柱狀ニシテ兩端圓形
ノ「バチル、ス」ニ由ル者ナリト而シテ此眼炎ノ膿汁中ニハ常ニ此「バチル、ス」ヲ發見スト
ナイセルボンデツトザロモンゼンノ諸氏ハ「バクテリア」ニ由ラスシテ其子實中ニ含有スル
所ノ溶解性物ニ由ル者ナリトシ「バチル、ス」説ヲ排撃セリ
「ドクトル」エーナ、ナツプ氏ハ粗糙性結膜炎ニハ貴重ノ藥品ナリトシ且ツ次ノ如キ説ヲナ
セリ即チ「ジクイリチー」ハ速ニ「トラホーム」ヲ治スト雖モ其效常ニ同一ナラズ且化膿ヲ制
限シ難シ又治後、結膜消耗及ヒ癢痕ヲ殘スヲアリト劇甚ノ實布垚里性結膜炎或ハ甚シ
キ角膜潰瘍ヲ發スルヲアリ故ニ本品ハ經久難治ノ症ニノミ試ムヘシ
エマイル、クリュニク氏ハ「ジクイリチー」ヲ應用スルニ當リ左ノ事項ニ注意シタリ即チ治
法ヲ施ス前ノ角膜及結膜ノ景況、用後成績如何ノ豫想、局處及全身ニ發スル症狀、藥液ノ強
弱及攝生ノ注意」以上記スルカ如ク「トラホーム」ニ良效アリト雖モ屢、危害ヲ惹起スルカ故
ニ百方效ナキキニ小心注意ノ用ユベキノミ
岡山縣病院ニ於テ清野醫學士ノ指導ニ由リ牧野氏ハ本品ヲ「トラホーム、パンヌス」ニ試用シ
テ良效ヲ收メタリト(中外醫事新報第二百二十三號)

「ジクイリチー」

○「ジクイリチン」Jequiritin.

本品ハ「ジクイリチン」實ノ有效成分ニシテ非常ノ猛毒物ナリ帶褐黄色ノ粉末ニシテ水ニ溶解ス
コーベルト氏ニ從ヘバ「ジクイリチン」眼炎ヲ發起スルコト前者ノ如シ從來未ダ曾テ治療上ニ
應用スルニ至ラズ

○「ジエクイリトール」Jequiritol. 「ジエクイリチン」血清 Jequiritiserum.

本品ハ「アブルスブレカトリウス」ノ子實ヨリ得タル「アブリン」製劑ニシテ特別ノ理由アリテ
改良法ニ由リテ製造シタル品ナリ本品ハ常ニ同一ノ生理的作用ヲ具ヘ全ク殺菌シタル「ア
ブリン」溶液ニシテベールリング氏原則ニ從ヒ得タル「ジエクイリチン」血清ハ「ジエクイリト
ール」ノ作用ヲ毎時神速ニ廢絶セシムル者ナリ是ニ由リテ種々ノ強度ノ「ジエクイリトール」
ヲ用ユルニ由リテ希望スル度ノ結膜ノ炎症ヲ發起セシムベク過劇ノ反應ヲ來スルハ「ジエ
クイリチン」血清ヲ用ヒテ忽チ之ヲ除クヲ得ベシ本品ハ「レーメル」氏ノ賞用セル所ナリ

「ジエクイリトール」溶液ノ用法 先ツ第一號本品溶液ヨリ毛細「ビベット」ニ由リテ一滴
(○、○一立方仙迷)ヲ當該眼目ニ點眼シ此稀釋ニ於テ未タ毫モ發炎セザルキハ毎日增量
シ即チ第一號液○、○二或ハ○、○三立方仙迷宛増加シテ最初ノ定型性「ジエクイリト
ール」炎ヲ發生スルニ至ルベシ而シテ「トラホーム」様結膜炎ハ往々第二號本品溶液ヲ由ヒテ
初テ現ハル、者トス眼目ノ最初ノ炎症一二日ニシテ反響セザルキハ此眼目ハ更ニ多量ノ
「ジエクイリトール」ニ堪ユル者ニシテ炎症性反應ノ増加ト共ニ免病性モ増進シ終ニハ最多

淋疾藥

量ノ「ジエクイリトール」モ眼ニ感應セサルニ至ル然ルキハ四日乃至六日ヲ休止シテ漸次
ニ「ジエクイリトール」ヲ增量シ更ニ發炎セシメテ以テ「トラホーム」性變化「バンヌス」角
膜混濁等ヲ除去スルヲ期成スルニ在リトス

「ジエクイリトール」溶液ヲ容レタル壺子ニハ其壺頸ニ腐蝕輪アリ且同部ニ截痕ヲ具フ此
壺頸ヲ折碎スルキハ截痕ノ正否ニ注意スベシ壺ヲ開キタル後ハ添附シアル硝子帽ヲ以テ
被フベシ「ビベット」ハ使用後直チニ水ヲ以テ次ニ酒精ニテ洗滌ス又使用前ニハ之ヲ酒精
或ハ石炭酸ヲ以テ濕ス可ラズ然ラサレバ「ジエクイリトール」凝固スレバナリ

「ジエクイリチン」血清ノ用法 「ジエクイリトール」ノ用後二十四時間ニシテ炎症過劇ナル
キハ發炎眼目内ニ一日數回「ジエクイリチン」血清一二滴ヲ點眼ス此ニ由リテ炎勢頓挫セ
ラル唯破格的ニ此血清ノ皮下注射ニ要スルコトアルノミ

○紫椴油 Oleum Santali.

純紫椴油ハ鮮黄色骨拜巴様ノ臭氣ト苛烈ノ味アリ酒精ニ溶ケ易シ比重○、九四—○、九六ア
リ其高價ナルカ爲メ往々骨拜巴拔兒撒謨及蓖麻子油ヲ以テ欺ク者アリ淋疾ノ卓效劑トス其
效力ハ近時諸家皆良幸ナリト爲セリレツツエル氏ニ從ヘバ胃腸障礙及腎臟充血ヲ起スモ謹
慎ヲ加ヘ應用スレバ良效アリ淋毒性膀胱炎及攝護腺炎ニ用ヒ良效ヲ奏スルヲ見ルモ慢性淋
疾ニ效アルハ稀ナリ用量ハ○、三ノ膠囊トナシ一日六乃至十二個ヲ與フ

○昇汞漿 Serum sublimatum.

防腐藥

ジクイリチン ジエクイリトール 紫椴油 昇汞漿

可及的、血球ヲ除ケル血漿ニ昇汞ヲ加ヘ製ス(則チ昇汞一分血漿五十乃至百分)本品ハ昇汞ト過剰ノ血漿ノ化合物ニシテ此ニ形成セル蛋白化水銀ハ其内ニ尙溶存ス而シテ一%ノ昇汞漿ハ液體ヲナシ十%ノ者ハ小板狀ヲ呈ス昇汞ノ如ク防腐藥トシテ皮下注射シ且綑帶料トス

○昇汞依的兒 *Sabinuathier*.

昇汞一、〇枸橼酸或ハ酒石酸一、〇ヲ五立方仙迷ノ酒精ニ加ヘ全量五十立方仙迷ノ依的兒ヲ失フニ至ルマテ加ヘ溶解セシムタラモン氏ハ昇汞依的兒ヲ顔面ノ瘡瘡膿泡ニ噴射スルニ良效アルヲ見タリト

○酒石酸「ニコチン」 *Nicotinum tartaricum.*

本品ハ白色針狀結晶ニシテ水ニ溶解ス其水溶液ハ純粹ノ本品ヨリモ能ク保存ス心機ノ官能的障礙及慢性皮膚病ニ内用セシメ外用ニハ局部衝動及鎮靜藥トシテ膀胱麻痺ニ皮下注射ス内用ニハ酒精性溶液トナシ〇、〇〇一—〇、〇〇三ヲ一日一回乃至二回投與ス

○酒石酸「ペペリン」 *Piperidinum tartaricum.*

本品ハ無色爽快ノ味アル結晶ニシテ水ニ容易ニ溶解ス諸家ハ痛風ニ對スル有效ニシテ無害且廉價ノ藥劑トシテ一日三回〇、六一—、〇ヲ散劑トナシ少許ノ炭酸水ニ溶シテ服セシム

○「ジヲニン」 *Dionin* 鹽酸「エチール」莫兒比涅 $C_7H_9NOHCl + H_2O$

性狀 「ジヲニン」ハ莫兒比涅ノ新誘導體ニシテ其化學的構造ニ從ヘハ「エチール」莫兒比涅即チ「エチール」莫兒比涅ノ鹽酸鹽ナリ本品ハ白色微細ノ結晶性粉末ニシテ苦味ト中性反應アリ

麻酔鎮靜劑

リ水及酒精ニ甚容易ニ溶解ス

作用及應用

本品ハ莫兒比涅及古逕乙涅ノ適症ニハ凡テ用ユルヲ得「ジヲニン」ハ近時ノ藥物中最價値アル品ニシテ初期肺癆ノ刺激性咳嗽ヲ鎮靜スルニ有要ノ藥品ニシテ古逕乙涅及莫兒比涅ニ代用シテ甚シク増進セサル肺癆殊ニ慢性氣管枝炎、肺氣腫、氣管枝喘息ニ賞用ス此諸症ニハ曾テ無効ナリシヲ見ス則チ呼吸困難及咳嗽刺激鎮靜セラレ喘息發作ハ本品服後絶止シ祛痰甚タ善良トナル

本品ハ元來莫兒比涅及古逕乙涅ニ頗ル類スル者ナレモ其莫兒比涅ト異ナルハ麻酔作用緩和ナルト決シテ消化器ニ影響セサルト著シキ副作用ヲ呈セサルトニ在リ古逕乙涅ニ比スレハ一般ニ其作用強劇ニシテ持續スルカ如シ又佳良且安靜ナル睡眠ヲ催シ大ニ祛痰ヲ容易ナラシム

フロンメ氏ハ莫兒比涅奪却療法ニ於テ莫兒比涅ノ代用劑トシテ賞用セリ鎮痛劑トシテ神經痛、月經困難(此症ニハ内服或ハ皮下注射)子宮周圍炎(此ニモ内服或ハ皮下注射或ハ坐藥トス)ニ用ヒタリ

古逕乙涅ハ莫兒比涅ノ「メチール」誘導體ナレモ「ジヲニン」ハ莫兒比涅ノ「エチール」誘導體ナルカ故ニ「ジヲニン」ノ作用強劇ナルハ恐ラク此點ニ於テ存スル者ナラン經驗上「エチール」化合物ハ之ニ適應ノ「メチール」化合物ヨリモ藥物學上有效ナルヲ以テ一般ニ治療上卓效アルカ如シ

昇汞依的兒 酒石酸ニコチン 酒石酸ペペリン ジヲニン

本品ハ一般ニ鎮痛劑トシテ莫兒比涅ノ如ク有效ナラスシテ之ヨリモ需要少シトス慢性疼痛性疾病ニ於テハ「ジヲニン」ヲ内用或ハ皮下注射ニ供用スベク鎮痛作用ハ使用後約十五分乃至三十分ニ現ハレ數時間持續ス(内服及灌腸共ニ同一ノ效アリ)許多ノ患者ヲシテ慢性莫兒比涅中毒ノ危險ヲ免レシムルヲ得ベシ然レモ其最主要ノ作用ハ咳嗽刺戟及氣管枝炎殊ニ肺癆家ノ咳嗽ニ在リ其他一般ノ安靜及佳良ノ睡眠ヲ營ミ祛痰ヲ催ス效アリ盜汗ニ良效アルカ如シ

本品ハ眼科ニ於テ病的產物ノ吸收ニ用ヒラル

醫學士高橋剛吉氏ハ虹彩炎、腺病性角膜炎、殊ニ角膜乾燥症ニ之ヲ用ヒテ著效ヲ得又「トラホームバンヌス」ニモ其吸收ヲ催スヲ見タリ本品ハ點眼後灼熱、五六分時ニノ角膜周圍堤狀腫起ヲ呈スルモ早キハ三十分遅キハ二十四時ニ消散ス此刺戟症狀ハ慣習スルルハ減弱シ三四日ニ及ヘバ單ニ充血スルニ過キス然レモ五六日休止後再點眼スレバ始テ點眼セシト同狀ヲ呈ス氏ハ五%乃至十%ノ液ヲ用ヒ又ハ粉末ヲ用ユルモ大差ナシト(鎮西醫報七九號)

本品ハ未タ習慣性トナルヲ見ズ不快ノ副作用ハシユレジンゲル氏カ一回心臟病患者ニ於テ見タルノミ故ニ此症ニハ小量ヲ以テ始メサル可ラズフロンメ氏ハ副作用トノ皮膚癢疹ヲ認メフレスネル氏ハ皮膚癢疹及毒麻疹ヲ見タルニ過キス然レモ此等ハ莫兒比涅及古埤乙涅ニモ見ル所ナリ

用量 内用量(散劑或ハ水劑)大人ニハ〇、〇一五—〇、〇五(一日數回〇、〇一五或ハ夕頃

〇、〇三)一日量〇、一ナリ小兒ニハ左量ヲ投ス

第一歳ノ終期ニハ一回量〇、〇〇〇五(〇、〇一ヲ水百瓦ニ溶シ每三時一咖啡匙)

第二歳ニハ一回量〇、〇〇一(〇、〇二ヲ水百瓦、每三時一咖啡匙)

第三歳及四歳ニハ一回量〇、〇〇三—〇、〇〇四(〇、〇三—〇、〇四水百瓦每三時一咖啡匙)

第五歳乃至第八歳ニハ一回量〇、〇〇五(〇、〇五水百瓦、每三時一咖啡匙)

此際母タルモノハ睡眠セシメサルト疲勞感覺ヲ起スルハ本品ヲ小量ニ投與スヘキヲ注意セサル可ラズ

皮下注射量ハ〇、〇一—〇、〇二五—〇、〇五ヲ用ヒ莫兒比涅蓄却療法ニ於テハ〇、〇五—

〇、〇八ヲ用ユ(莫兒比涅〇、〇二—〇、〇四ノ代用トス)

ヲエフエーレ氏ハ肺癆ニハ丸劑ヲ賞用セリ即チ

〇「ジヲニン」〇、四 吐根末一、〇 澱粉四、〇 卵白適宜

右爲六十丸、毎日五乃至十九

〇「ジヲニン」〇、三 水二〇〇、〇

右一日二三回十五滴糖水加用

〇「ジヲニン」〇、五 單舎一〇〇、〇

右毎夕一茶匙

〇「ジヲニン」〇、三 甘草根末及同膏適

宜

右爲三十九丸、一日三四回一丸宛或ハ每夕二三丸

○「ジゲストーゼ」 Digestase.

本品ハ暗褐色粘稠ノ甘味アル半流動物質ニシテ能ク水ニ溶解ス本品ハ東京帝國大學醫科大學教授下山及ビ丹波ノ兩博士ノ創意調製ニ係ル消化力ヲ具フル滋養品ニシテ多量ノ「ヂヤスターゼ」ト尙ホ「マルトローゼ」「デキストリン」「磷酸鹽類、含窒素物等各種ノ有效成分ヲ含有セリ殊ニ「ヂヤスターゼ」ヲ多量ニ含在スルヲ以テ澱粉質ヲ消化スル作用アリ之レヲ服スレバ唾液及ビ唾液ノ作用ヲ代償シ消化機ヲ容易ナラシム今左ニ侍醫醫學士伊勢錠五郎氏ノ述ヘラレタル本品中各成分ノ生理的作用及ビ應用ヲ抄出シテ世ノ本品ヲ應用セントスル人ニ示ス

作用 「ヂヤスターゼ」ハ天然的酸酵素ノ首位ヲ占メ近時消化薬トシテ盛ニ醫療上ニ賞用セラル之ヲ攝取スレバ人體消化機能ノ最大要素タル唾液及ビ唾液ノ作用ヲ代償シ殊ニ我日本人ノ常食タル穀類澱粉質ヲ容易ニ糖化シ大ニ消化機ノ勞ヲ省キ抱水炭素性食餌ノ滋養的效力ヲ全クセシムルノ性能アリ○「マルトローゼ」ハ唾液ノ分泌ヲ増シ食慾ヲ進メ又滯便ヲ疏通シテ腸管ノ吸收作用ヲ敏活ニシ殊ニ身體諸機關ノ働作ヲ活潑ナラシムルノ要素トナリ卵白質ニ代リテ其消耗ヲ防ギ又脂肪ノ蓄積ヲ助ク○「デキストリン」モ亦良好ナル營養成分ニシテ其效用ハ前者ニ同キモ往時ヨリ胃ノ消化ヲ促進スル物質トシテ推奨セラレ其緩和包攝性ハ消化機ノ過敏ヲ制シ之ヲ保庇スルノ效ヲ逞ウス○磷酸鹽類ニ至テハ腦髓神經血液等ノ強壯劑タルノミナラズ骨質及齒牙ノ必要成分トシテ之ヲ鞏固ナラシム含窒素物(主トシテ蛋白質)モ亦身

體各組織殊ニ筋肉ノ消耗ヲ補償スルニ必要ノ滋養質タルコト論ヲ待タズ

此「ジゲストーゼ」ハ上記ノ如キ貴重ナル本性ヲ具ヘ有力ナル諸成分ヲ含有シ殊ニ消化、滋養、ハ、兩作用ヲ兼備スルノ一點ハ確ニ本劑ノ特長トスル所ニシテ第一ニ胃腸ノ官能ヲ振起シ且幫助シ新陳代謝ノ機能ヲ圓滑ニシ身體諸器官ノ運營ヲ旺盛ナラシメ常ニ服用ヲ繼續スルトキハ體格ヲ強壯ニシ延ヒテ精神ノ機能ヲ活潑ナラシムルコト疑ナシ加フルニ本品ハ時日ヲ經過スルモ決シテ變質ノ憂ナク況ンヤ其味澹泊佳快ニシテ溶解及吸收最モ容易ク毫モ味覺嗅覺ヲ煩ハサザルノミナラズ反テ胃液ノ分泌ヲ増加シ食慾ヲ催進スルノ效アリ是レ實ニ消化藥滋養劑等ノ如キ常ニ繼續シテ服用スベキ藥劑ニ於テ最モ缺クベカラザルノ特性トス

應用 凡ソ消化機ヲ振興シテ營養ヲ増進シ體力ヲ鞏メ衰弱ヲ防グベキ病症ニハ何レノ場合ニ論ナク恰當シ決シテ禁忌ノ顧慮アルコトナシ其適症大略左ノ如シ

- (一) 消化器官ノ器質的及官能的疾患ニ基因スル種々ノ消化不良其ノ他慢性ノ胃痛胃痙殊ニ常習便秘但シ慢性下利アルモノト雖モ、本劑ヲ禁忌セズ却テ營養ヲ助ケ且局部ヲ包攝スルノ功アリ(二) 諸般ノ原因ヨリ來ル衰弱及瘦削、病中、病後、手術後、殊ニ急性傳染病ノ回復期(三) 營養及發育不全ノ小兒(腺病、佝僂病)貧血症、萎黃病其ノ他、新陳代謝機ノ變常ニ關スル諸病(四) 產時及授乳時ニ於ケル營養不良並ニ妊娠時ニ於ケル消化機ノ異常(五) 喉頭及氣管支慢性加答兒、氣管支喘息、殊ニ肺尖加答兒、肺勞ニ對スル滋養劑トシテ與フルニ適ス(六) 心臟瓣膜疾患、慢性泌尿器疾患ノ消化不良(七) 脚氣病ノ豫防治療並ニ

恢復期

用量 大人ニハ一回約八、〇ヲ一日三回食後直ニ服用スベシ其滋養ヲ主トスル場合ニハ適宜分量及服用ノ度數ヲ増加シテ可ナリ但小兒ニ對シテハ其年齡ニ應ジテ斟酌スベシ〇用法ハ匙又ハ箸ニ分取シテ其儘服用シ或ハ牛乳、微温湯、稀薄トナセル葡萄酒等ニ溶和シテ飲用ス可シ(本品ハ神戸市元町通五丁目精々藥館製造發賣スル所ニ係ル)

赤痢藥トノノ應用

〇硝酸銀 *Argennum nitricum.*

醫學士小林廣氏ハ數年ノ實驗ニ由テ硝酸銀ハ赤痢ニ特效アリト報セリ用法ハ初メ甘汞蓖麻子油ヲ與ヘ硝酸銀ヲ一日量〇、一—〇、一三ヲ丸劑トナシ五六回乃至七八回ニ分服セシムルニ在リ發病後二三日ニ本法ヲ用ユルキハ必ス頓挫ノ效アリト服用後既ニ一日ヲ經レバ血便去リ二三日ニテ良性便トナルト云フ若シ内服ノ奏效確著ナラサルキハ結晶硝酸銀〇、〇六縮水三〇、〇ノ灌腸ヲ一日二回兼行スベシト

〇結晶硝酸銀〇、三 白陶土四、五 護謨

末一、五

〇結晶硝酸銀〇、〇一—〇、〇二單舎二、

〇(又ハ屈利設林二、〇) 縮水一五、〇

右爲六十九、黑瓶ニ容レ投ス一日六

右黑瓶ニ容レ投ス一日六回ニ分服セ

七回三四丸宛服用

シム(二三歳ノ小兒)

詳説ハ同氏ノ著ニ係ル赤痢病新治療法ヲ見ヨ

ラング氏ニ從ヒテクルール氏ハ便毒ニ本品一%液ヲ注射シテ奏效ヲ得タリ

便毒ノ硝酸銀注射療法

軟下疳ニ由來スル便毒ノ療法ハ治療ヲ施ス時期ニ從ヒテ異ナリ初メ炎症ノ廣ク増進スルキハ冷罨法及安臥ヲ處ス然レモ之ニ拘ラズ炎勢廣ク蔓延シテ潰瘍ノ高處ニ波動ヲ生スルキハ吸收消散セズ然ルキハ腺ヲ或ハ摘出シ或ハ其化膿ヲ催スベシ多數ノ場合ニハ廣ク切開シテ次テ搔刮スルハ蛇足ニシテ加之、却テ有害ナリ何トナレバ動モスレバ持續的ノ浮腫或ハ表皮肥厚ヲ起セバナリ其他此手術ヲ行フキハ久時患者ヲシテ安臥セシメ其業務ヲ廢セシムルヲ要スル弊アリ故ニラング氏ノ法ヲ用ユルヲ適當トス

即チ便毒ハ先ツ温罨法ヲ施シ可及的速ニ溶解セシメ「エーテル」或ハ格魯兒「エチール」噴射ニ由リテ唯淺ク三四仙迷ノ長サニ切開シ單ニ指壓ニ由リテ可及的の多ク排膿シ創腔ハ數回縮水ヲ注入シタル後其内ニ注射器ヲ以テ一%硝酸銀液ヲ注射ス而シテ創面ハ單ニ壓抵綑帶ヲ施スベシ患者ハ起立シ其業ヲ操ルニ痛ナシ綑帶ハ毎日交換シ後ニハ稀ニ尙硝酸銀液ヲ注射シテ交換ス此法ハ全ク痛ナク速ニ癰痕ヲ結フ若シ第一膿瘍ノ外ニ第二ノ膿瘍ヲ生シタルキハ茲ニモ亦同様ニ處置ス唯此際ニハ耐忍シ能ハサル者アルノミ此法ハ常ニ奏效アリ其無痛ナルノ外ニ患者ノ職業ヲ妨害セザル長所アリ但甚シク蔓延シタル膿瘍ニ於テハ全膿竈ノ切開ヲ要スル場合アリ膿瘍既ニ破潰シ且瘻管ヨリ膿ヲ泄ラスニ及ヒテ初メテ之ヲ深ク切開シ丁寧ニ搔刮シ沃度仿謨ヲ以テ處置スベシ最良ナルハ十%「エーテル」液ヲ創内ニ注入スルニ在リ此法ニ由リテ等閑ニ附セラレタル便毒モ速ニ且確實ニ治癒ス

〇「ジアフテリン」 *Diaphtherin.* 「チキシロニン」

防腐藥

硝酸銀 ジアフテリン

性状 本品ハ澄明琥珀様黄色ノ結晶ニシテ八十五度ニ溶解シ又稀酒精ニ溶解スレモ純酒精ニハ唯温熱スルキノミ容易ニ溶解シ放冷スルキハ再ヒ其大部分ハ析出スエムメリッヒ氏ノ試験ニ由レハ本品ノ〇、三%溶液ハ十五分間ニシテ醗菌葡萄狀球菌ヲ殺滅スル者ナリ故ニ本品ハ殺菌性アルヲ以テ強烈ノ防腐藥タリ且比較的ニ無毒ノ物質ニシテメーニルシユワインヘンニ五%溶液ノ五立方仙迷ヲ皮下注入スルニ堪ヘ四立方仙迷ノ水ニ本品二、〇ヲ溶解シテ胃中ニ輸送スルモ著シキ障碍ナシ

フラゲルラ氏ハ「ジアフテリン」ノ殺菌作用ヲ試験スルニ最抗抵性ニ富メル葡萄狀球菌培養ヲ用ヒ此際兼テ温度ノ比例ヲ參考セリ其試験ニ從ヘハ本品ハ醗菌葡萄狀球菌ニ對スル強烈ノ殺菌力アリ脾脫疽杆菌ノ芽胞ニ對シテハ其力微弱ナリ

應用 クロナッヘル氏ハ外科的療法ニハ澄明ニ溶解セル本品ノ水溶液ヲ用ヒタリ即チ稀薄ニシテ顯著ノ防腐力アリテ且毒性微弱ナルカ爲ニ甚實用セラル又火傷及下脚ノ大潰瘍ニ濕潤繃帶料トシテ殊功アリ創傷療法ニハ多クハ半%乃至二%ノ溶液ヲ用ユルニ創面及創圍ニ刺戟ヲ及ホスコナカリシ唯或患者ハ忽チ消散スル微弱ノ灼熱ヲ訴ヘシノミ本品應用後創面速カニ清潔トナリテ肉芽ノ發生及創面ノ被膜ヲ生スルニ至ル本品ハ空腔部ノ洗滌ニ宜シ但シ本品ハ「ニツケル」ヲ鍍金セサル器械ヲ消毒スルニ用ユ可ラス是レ此等ノ器械ハ本品ニ觸ルレハ黒變スレハナリ創面ハ變色セス

耳病及鼻病即チ慢性耳漏、化膿性鼓室炎、ハキモル氏寶ノ化膿、臭鼻ニ本品ヲ用ヒタリ聽道ニハ〇、五乃至一%液、鼻腔ニハ〇、一乃至〇、二%ノ液ヲ注入スヘク又綿球ニ浸スニハ半%ノ液ヲ半時間挿置スヘシ齒科ニハ半%ノ液ヲ拔牙後ノ洗滌及齒槽膿漏ニ用ヒブランド氏ハ精製セサル本品ノ粉末ヲ齒膿瘍及顎骨化膿ニ投シ其精製品ヲ防腐ノ目的ニ齶齒ニ用ヒタリ

内用ニハオフェーレ氏ハ小兒ノ關節痲質斯ニ用ヒタリ

用量 小兒ニハ一日量〇、五ヲ與ヘ大量ハ耳鳴ヲ起ス又創傷療法ニ外用スルニハ半乃至二%ノ液ヲ供ス

〇「ジアフテール」(黄色ノ結晶ニシテ泌尿生殖器ノ消毒藥トス)

〇「シッコ」Sicca (乾性「ヘモグロビン」)

本品ハ牛血ヨリ製シタル有機性鐵滿飽ニシテ蛋白八十九%有機性鐵〇、三%ヲ含有シ冷水ニ溶解スル無臭無味ノ粉末ニシテ煮沸スレバ凝固ス貧血及衰弱狀態ニ一日三四〇、二五—〇、五ヲ投ス本品ニハ「シッコ」錠、「シッコ」錠、「シッコ」シヨコラード、「シッコ」カ、ヲ「トナシタル製品アリ

〇「シドナール」Sidonin (規尼涅酸「ビペラチン」)

本品ハ白色結晶様粉末ニシテ水ニ甚容易ニ溶解シ爽快ノ酸味アリテ有害ノ副作用ナシ痛風及之ニ類スル病ニ用ヒラルブルメンター氏ガライデン氏ノ「クリニーク」ニ於テ實驗シタル所ニ由レバ本品一日量五、〇—八、〇ヲ投セシニ日々體中尿酸ノ形成四十乃至五十%減少シ之ニ代リテ體中ニハ水ニ溶解スル馬尿酸形成セラル故ニ本品ハ一方ニハ尿酸形成ヲ減少シ

他方ニハ尿酸ヲ溶解スル成分ヲ含有スル者ナリト云ヘリ
用量ハ大人ニ〇、五宛散トナシ毎日十包ヲ用ヒ或ハ本品一〇、〇ヲ水一五〇、〇ノ溶劑トシ
毎二時一食匙ヲ投ス

○新「シドナー」 Sidonal "new"

本品ハ容易ニ水ニ溶解シ爽快ノ味アリ無害且全ク中性ナリ亦痛風ニ用ユ前者ヨリモ廉價ナ
リ大人ノ一日量ハ二、〇—五、〇ナリ

○「ジナモーゲン」 Dymnogen.

本品ハ變化セサル流動形ヲナセル牛血ノ純血液鹽ニシテ(本品一食匙ハ三食匙ノ新鮮牛血ニ
同シ)久シク貯藏セラレ爽快ノ味アリ容易ニ消化セラル(小兒ニモ亦)貧血、衰弱状態ニ於テ
滋養物トシテ殊ニ賞用セラル一日三回一食匙(小兒ニハ一茶匙宛)純品或ハ糖「コンニヤッ
ク」、芳香丁幾ヲ加用ス

○「ジャムボ」葉 Folia Djambou.

本品ハ東印度及南米ニ蕃殖セル或樹葉エノジャマボニ於テ民間ニテ虎列拉ニ投シ近時吐瀉
症、急慢ノ下痢ニ浸劑(本品五、〇水八〇、〇單舎二〇、〇ヲ一茶匙小兒ニ投ス)散劑(〇、五ヲ
小兒ニ)等トナシ用ユ

○商陸 Phytolacca. (山牛蒡)

商陸ハ歐洲、本邦等ニ生スル宿根草ニシテ古來水腫ニ應用シ本草綱目ニ於テ毒草類ニ列セ

利尿藥

リ櫻村清徳氏ハ明治二十一年ノ春其分析ヲ長井長義氏ニ托セリ同氏ハ同二十三年一月ニ至
リ有毒成分ナル「フイトラコトキシ」ヲ得タリ

○該毒物ハ炭素六三、四四—六三、四七水素八、四〇—八、四二酸素二八、一六—二八、一〇
ニヨリ成立シ水ニ不溶性ナル無結晶ノ華爾斯ニシテ善ク酒精ニ溶解シ水ヲ注テ稀薄
トナストキハ再ヒ沈澱ヲ生スル者ナリ故ニ初メ其越幾斯ヲ水製トナシ用ユルモ寸效ヲ認メ
ス酒製トナスニ及テ現著ノ奏效ヲ見タルハ蓋シ有毒成分ノ溶解スルト否トニ歸因セシ者
ナラン(以上ハ大日本製藥會社技術)○又高橋氏犬ニ〇、五ヲ乳劑トナシ胃中ニ送入スレハ毎回嘔
吐ヲ起シ投藥一時乃至二時間ヲ經テ不穩ノ狀ヲ呈シ呼吸短息トナリ且ツ痙攣ヲ發シテ卒倒
ス其痙攣ハ始メ強直性ニシテ終ニ搐搦性トナリ四肢頻ニ動搖シ恰モ水中ニ游泳スルカ如シ
該痙攣ハ間歇シテ發作スルヲ以テ一ニ癲癇様痙攣ト云フ○中等ノ猫ニ〇、三五ヲ乳劑トナ
シ胃中ニ入ル、片ハ同様ノ發作ヲ發起シ來ル然レモ毒物ヲ皮下ニ注射スル片ハ中毒症狀ヲ
發スルヲ反テ遲慢ナリ

○本毒物ノ生理的作用ハ全ク痙攣毒ノ諸徴ニ符合シ「ピクロトキシ」チクトキシ」等ノ
毒物ト同類ナルニヨリ予(試驗者)ハ「フイトラツコトキシ」ト命シタリ鳩ニ〇、一ヲ九劑
トナシ胃中ニ送入スル片ハ一時間後ニ於テ劇キ嘔吐ヲ起シ然ル後特異ノ痙攣ヲ發ス右犬猫
鳩ニ於ケル諸徴ヲ分析スレハ(一)延髓ニ於ケル痙攣中樞ヲ刺戟ノ全身ニ搐搦ヲ發シ(二)呼
吸運動ノ中樞ヲ刺戟シテ呼吸頻數トナリ(三)血管運動神經ノ中樞ヲ刺戟ノ血壓ノ昇騰ヲ致

新シドナル シナモーゲン ジナムボ工業 商陸山牛蒡

シ(四)迷走神経ノ中樞ヲ刺戟シテ心動ノ減少ヲ來ス(制止作用)(三)ノ條下ニ述ベタル血壓亢進ハ或ハ筋肉ノ痙攣ニ起因スルヤモ知ルヘカラス故ニ此ノ疑ヲ避ンカ爲メ動物ニ「クラール」ヲ與ヘテ此害ヲ免カレシメ然ル後毒物ヲ與フルニ痙攣ハ缺如スレモ血壓ハ發作的ニ昇騰スルヲ認ム又動物ノ頸髓ヲ切斷シタル後チ該毒物ヲ投スルキハ更ニ血壓ノ昇騰ヲ認メス故ニ血壓ノ昇騰ハ全ク血管運動神經ノ發作的ニ刺戟セラレ動脈管ノ收縮スルニ起因スナラン(此項醫科大學教授醫學士高橋順太郎氏ノ試驗ニ係ル)

○山龍堂病院長樫村清徳氏ハ常ニ酒製越幾斯ヲ脚氣ニ用ヒタリ又慢性腎臟炎、肋膜炎、心囊水腫、腹水等百般ノ水腫ニ用ヒテ卓效ヲ得タリ是レ即チ生理的試驗ニ明ナル如ク血管運動神經ノ中樞ヲ刺戟シテ血壓ヲ増進セシメ尿ノ分泌ヲ増加セシムルニ起因スル者ナリ毒物ヲ動物ニ與フルキハ數時ニ嘔吐ヲ起スト雖モ商陸越幾斯ヲ持續投藥スルモ胃腸症ヲ發スルヲ認メス又他ノ傍發作用ヲ見ス而シテ本劑ヲ投スルモ始メ四五日間ハ更ニ尿ノ増加ヲ見サルヲ往々之レアルノミナラス反テ減少スルヲアリ投藥後四五日後或ハ二週ノ半ニ至テ始メテ藥力ヲ逞シ恰モ實麥答利斯ノ如ク蓄積作用ヲナスカ如シ人或ハ此劑ヲ投シテ無効トナスハ蓋シ其效ヲ奏スルニ至ラスノ休藥スルニ坐スルナランカ例之、山龍堂入院患者某女入院當時尿量二百瓦ノ者ニ商陸越幾斯〇、八ヲ與ヘ二週ノ始メニ至リ一千五百立方仙迷、三週ノ始メニ及ヒ二千四百立方仙迷ニ増加セシカ如シ〇商陸越幾斯ハ一日〇、四―〇、七、商陸丁幾ハ一日四、〇―八、〇ナリ

○商陸越幾斯〇、八 乳糖 適宜
右爲六包、分服

○昇汞 *Sublimat* (過格魯兒汞)

ニウヨルク府ノメイエル氏ハ本品ヲ蜜尿病ニ與ヘタリ其說ニ曰ク神經系統ハ體中ニ於テ正常ノ糖分形成ヲ主宰スル者ナリ今若シ外傷、新生物、持續スル憂愁、精神感動、毒物等ノ如キ或一狀況ニ由リテ此官能ヲ損害スルカ或ハ絶止シタルキハ「バクテリア」或ハ「プトマイチ」ハ其成糖破壞機轉ヲ發展スル者タリ

此說ハ體中ニ「バクテリア」ノ進入或ハ存在ヲ認定スル者ニ健康ノ狀況ニ於テハ「バクテリア」ハ體力ノ抵抗ノ爲メニ其ノ損害作用ヲ發展スル能ザルカ或ハ新陳代謝ニ由リテ諸器ニ形成セル生理的醱酵素ハ恐ラク此「バクテリア」ニ對シ「アンチトキシシン」トシテ働ク者ナルベシ此說ニシテ果シテ正當ナランカ有力ナル殺菌力アル藥劑ヲ「バクテリア」作用ノ廢絶ニ適スル量ニ於テ内用スルキハ蜜尿病ノ症候著シク佳良トナラサル可ラズ數回ノ試驗ニ基キテ氏ハ適當量ノ昇汞ハ此目的ニ最モ適合スルヲ認メタリ

氏ノ此療法ヲ行フニハ先ツ蜜尿病患者ノ既往症、現症ヲ調査シ二十四時間ノ尿量ヲ集合測定シ比重及糖分ヲ確定シ異常ノ發見物ヲ認知シテ行フニ在リ

用量(メイエル氏)尿若シゲルハルト氏試驗ニ由リテ反應セサルキハ二週間非蜜尿病性食餌ヲ投シテ此間ニ昇汞ヲ一日三回〇、〇〇六ヲ以テ始メ二三日内ニ〇、〇〇七或ハ〇、〇〇八

蜜尿病ノ昇
汞療法

ノールデン
氏ノ反對説

色表母斑ニ
於ケル效用

彈力「カテ
ーテル」ノ
消毒效用

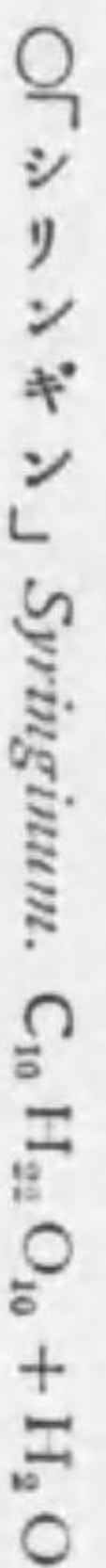
ニ增量ス一週ノ後ニハ一日三回食後直チニ〇、〇一二ヲ多量ノ水ト共ニ服セシム糖分著シク減少シ營養充進シタル後ハ昇汞一日量〇、〇一八或ハ尙以下ニ減量ス此時ニハ亦食餌ヲ稍増加シ麵麩及少許ノ果實ヲ許スベシ初メ二三週間ハ毎日或ハ毎二日檢尿シ午後ノ尿ハ夕刻ニ糖分ヲ定量スベシ糖分ノ減スルニ從ヒ昇汞ノ量ヲ減少シ食餌攝生ハ制減スルヲ要セズ時々休藥シ糖分全ク消散シタルキニハ昇汞ノ少量即チ一日三回〇、〇〇五ヲ投スベシ未タ曾テ水銀中毒症狀ヲ認メズ第一日ニハ殊ニ便秘ヲ患タル患者ニ於テハ却テ善良トナスベキ稍強劇ノ下痢ヲ來タス二週或ハ三週ノ後糖分著シク減少シ全身狀況頗ル佳良トナル「プロフェッソル」ノールデン氏ハ此昇汞療法ヲ讚セサリキ氏ハ之ヲ全ク禁止シ或ハ暫時效アルニ過キスノ糖分排泄ニ良效アルモ唯少時(數日)ナルガ故ニ斯ク危險ノ藥劑ヲ其微效ヲ得ンカ爲メニ廣ク應用スルハ余ヲ以テ見レバ正當トナス能ハスト

ジエスネル氏ハ小ナル扁平色素性母斑ニ十%昇汞古魯胃謨ヲ塗布セリ即チ母斑ノ周圍ニハ硬膏、華攝林、或ハ單純古魯胃謨ヲ貼シテ防護シ母斑上ニ厚ク塗布シ其乾涸シタル後尙塗布シ其儘放置ス昇汞ハ深ク皮膚ヲ腐蝕シ化膿ヲ來タシテ皮膚ノ表層脱落ス其部分ノ破壊セル皮膚ノ皮層剝除セラレ同部ハ硼酸軟膏ヲ貼ス其癢痕ハ通常甚善良ナリ

ウオルフ氏ハ昇汞一分屈利設林及水各五百分ノ液ヲ以テ彈力性「カテール」ヲ消毒セリ此液中ニ「カテール」ヲ煮沸スルノミナラズ之ヲ貯フルヲ得ヘシ故ニ隨時ニ無腐敗的ノ應用スベキ「カテール」ヲ具フルヲ得ル利益アリ其他諸家カ確定セシカ如ク此法ハ從前ノ乾燥

強壯劑

貯藏法ヨリモ久シク「カテール」ヲ貯フルヲ得ルナリ粘膜ニ對シテ此液全ク無刺戟ニシキ不潔ヲ避クルニハ毎三四週ニ液ヲ變更スベシ



「シリソギン」ノ樹皮ヨリ採レル糖原質ニシテ白色針狀ノ結晶ヲナシ熱湯及酒精ニ容易ニ溶解シ依的兒ニ溶ケズ硫酸ヲ加フレバ美麗ナル暗藍色ノ液トナル麻刺利亞ノ解熱劑トス毫モ毒作用ヲ見ザル者ノ如シ

○次亞磷酸石灰 *Calcium hypophosphorinum. Ca(H₂PO₃)₂*

性状 本品ハ無色或ハ白色六角形結晶或ハ菲薄ノ貝殼狀光輝アル鱗片ニシテ氣中ニ變化セズ臭氣ナク冷水六、八分沸湯六分ニ溶解シ酒精ニ溶ケズ加熱スルハ初メ結晶水ヲ失ヒテ火セザル磷酸水素トナル本品ハ酸化シ易キ物質ナリ

作用及應用 本品ハ苦味ニシテ惡心ヲ催シ已ニ比較的小量ニシテ毒性アリ少量ニシテ思ヲ起シ脈搏及體溫亢進ス久時持長スルカ或ハ大量ヲ投スルハ食氣ヲ失ヒ耳鳴、眩暈、呼吸困難、咯血ヲ起スクルヒル氏ハ肺癆ニ投セシニ食思亢進、粘膜潮紅、體力增加、盜汗閉止ヲ見タリ或症ニ於テハ全ク治癒ヲ得タリト云フ然レモ他ノ諸家ハ此ノ如キ良果ヲ認ムル能ハスト其他萎黃病、腺病、衰弱セル惡液家、生齒期ノ小兒及佝僂病ニモ用ヒラル○發熱アル者ニハ禁忌トス本品ハ忽チ惡心及不快ノ暖氣ヲ發シ易キヲ以テ效益ナキ無用品ナリ

シリソギン 次亞磷酸石灰